

令和8年度 起工第389号
市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事

建 築		電 気 設 備		機 械 設 備	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-01	図面リスト	E-01	電気設備工事特記仕様書	M-01	機械設備工事特記仕様書（1）
A-02	建築改修工事特記仕様書（1）	E-02	電気設備 1階平面図（改修後）	M-02	機械設備工事特記仕様書（2）
A-03	建築改修工事特記仕様書（2）	E-03	電気設備 2階平面図（改修後）	M-03	機械設備 全体配置図
A-04	建築改修工事特記仕様書（3）	E-04	電気設備 3階平面図（改修後）	M-04	機械設備 全体外構図
A-05	建築改修工事特記仕様書（4）	E-05	電気設備 本館1階1-A 平面詳細図（改修前・後）	M-05	機械設備 給排水系統図・凡例
A-06	建築改修工事特記仕様書（5）	E-06	電気設備 本館1階1-B 平面詳細図（改修前・後）	M-06	機械設備 1階平面図
A-07	建築改修工事特記仕様書（6）	E-07	電気設備 本館1階1-C 平面詳細図（改修前・後）	M-07	機械設備 2階平面図
A-08	建築改修工事特記仕様書（7）	E-08	電気設備 本館1階シャワー・脱衣室 平面詳細図（改修前・後）	M-08	機械設備 3階平面図
A-09	建築改修工事特記仕様書（8）	E-09	電気設備 本館2階2-A 平面詳細図（改修前・後）	M-09	機械設備 R階平面図
A-10	建築改修工事特記仕様書（9）	E-10	電気設備 本館2階2-B 平面詳細図（改修前・後）	M-10	機械設備 衛生器具・機器表
A-11	建築改修工事監督基準	E-11	電気設備 本館3階3-A 平面詳細図（改修前・後）	M-11	機械設備 本館1階1-A 平面詳細図（改修前・後）
A-12	設計概要・敷地案内図・全体配置図	E-12	電気設備 本館3階3-B 平面詳細図（改修前・後）	M-12	機械設備 本館1階1-B 平面詳細図（改修前・後）
A-13	外部・内部仕上表（1）	E-13	電気設備 本館3階3-C 平面詳細図（改修前・後）	M-13	機械設備 本館1階1-C 平面詳細図（改修前・後）
A-14	内部仕上表（2）	E-14	電気設備 西館1階 平面詳細図（改修前・後）	M-14	機械設備 本館2階2-A 平面詳細図（改修前・後）
A-15	内部仕上表（3）	E-15	電気設備 西館2階 平面詳細図（改修前・後）	M-15	機械設備 本館2階2-B 平面詳細図（改修前・後）
A-16	1階平面図	E-16	電気設備 西館3階 平面詳細図（改修前・後）	M-16	機械設備 本館3階3-A 平面詳細図（改修前・後）
A-17	2階平面図	E-17	電気設備 本館2階 執務室2-2 平面詳細図（撤去図）	M-17	機械設備 本館3階3-B 平面詳細図（改修前・後）
A-18	3階平面図			M-18	機械設備 本館1階 機械室、本館3階3-C 平面詳細図（改修前・後）
A-19	R階平面図			M-19	機械設備 本館1階 シャワー・脱衣室 平面詳細図 展開図（改修前・後）
A-20	立面図（1）			M-20	機械設備 西館1階 平面詳細図（改修前・後）
A-21	立面図（2）			M-21	機械設備 西館2階・3階 平面詳細図（改修前・後）
A-22	断面図				
A-23	①本館1階1-A(女子便所・多目的便所・湯沸室)		平面詳細図・展開図（改修前後）		
A-24	①本館1階1-A(女子便所・多目的便所・湯沸室)		天井伏図（改修前後）		
A-25	②本館1階1-B(男子便所・湯沸室)		平面詳細図・展開図・天井伏図（改修前後）		
A-26	③本館1階1-C(女子便所・多目的便所)		平面詳細図・展開図（改修前後）		
A-27	④本館1階(機械室)		平面詳細図（改修前後）		
A-28	⑤本館1階(シャワー・脱衣室)		平面詳細図・展開図・天井伏図（改修前後）		
A-29	⑥本館2階2-A(女子便所・多目的便所・来客用便所・湯沸室)		平面詳細図・展開図（改修前後）		
A-30	⑥本館2階2-A(女子便所・多目的便所・来客用便所・湯沸室)		天井伏図（改修前後）		
A-31	⑦本館2階2-B(男子便所・湯沸室)		平面詳細図・展開図・天井伏図（改修前後）		
A-32	⑧本館2階(執務室2-2)		天井伏図（改修前後）		
A-33	⑨本館3階3-A(女子便所・多目的便所)		平面詳細図・展開図（改修前後）		
A-34	⑩本館3階3-B(男子便所・湯沸室)		平面詳細図・展開図・天井伏図（改修前後）		
A-35	⑪本館3階3-C(湯沸室・副議長室・議長室)		平面詳細図・展開図・天井伏図（改修前後）		
A-36	⑫西館1階(男子便所・女子便所・湯沸室)		平面詳細図・展開図・天井伏図（改修前後）		
A-37	⑬西館2階(男子便所・女子便所・湯沸室)		平面詳細図・展開図・天井伏図（改修前後）		
A-38	⑭西館3階(男子便所・女子便所・湯沸室)		平面詳細図・展開図・天井伏図（改修前後）		
A-39	⑮西館1階(事務室)・⑯本館3階(廊下)		天井伏図（改修前後）		
A-40	全体外構図（舗装・植栽・敷地内給排水）				
A-41	部分詳細図（竪樋）				
A-42	部分詳細図（屋内外）				
A-43	シャワーユニット・キッチン詳細図（1）				
A-44	キッチン詳細図（2）				
A-45	仮設計画図（樋・屋外）（参考図）				
A-46	仮設計画図（1）（参考図）				
A-47	仮設計画図（2）（参考図）				
A-48	仮設計画図（3）（参考図）				
A-49	1階 仮設図（参考図）				
A-50	2階 仮設図（参考図）				
A-51	3階 仮設図（参考図）				
A-52	移設範囲図(2階)（参考図）				

建築改修工事特記仕様書

I 工事概要

1. 工事名称

市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事

2. 工事場所

福岡県宗像市東郷1丁目1番1号

3. 工事期間

契約締結の翌日から

4. 工事概要

給排水配管更新工事、衛生設備更新工事 外

5. 別途工事

6. その他

市庁舎本館・西館：鉄筋コンクリート造3階建て 8858.76 m²
敷地面積：27,469m²

7. 特記事項

8. 安全管理

本工事において、アスベスト(石綿)を含有した建材等の除去及び改修工事を行う場合は、「建築物解体工事共通仕様書」(国土交通省 最新版)によること。

9. その他

(1) 受注者は、工事施工に伴う下請業者及び資材・製品供給業者の選定にあたっては、特段の理由がない限り地場企業への発注等を行うこと。

(2) 受注者は、工事にかかる資材・製品については、特段の理由がない限り地場企業資材・製品を使用すること。

(3) 受注者は、使用する資材・製品について、事前に書面を発注員に提出すること。

(4) 本工事の施工に伴う下記の工事に係る下請負人の選定にあたっては、特段の理由がない限り本市競争入札有資格者名簿の地場登録業者とすること。(該当する工事に○印)
・塗装 ・防水 ・金属製建具

(5) 本工事の施工に伴う工事事用資材等の輸送においては、過積載をしないこと。

(6) 本工事の施工においては「建設リサイクル法」に基づき廃棄物の抑制・適正処理を行い、再生資材及び再生資材製品の活用を図ること。

(7) 施工体制台帳等の提出
受注者は、工事を施工するために下請契約を締結した場合は、その金額にかかわらず施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを発注者に提出すること。
また、国土交通省令に従って、各下請負人の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げるとともに、発注者に提出する施工体制台帳に添付すること。
施工体制の確認方法は、「Ⅳ. 施工体制の確認」による。

(8) 中間技術検査
(該当事項○印) ・実施する ・実施しない

II. 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（最新版）による。
なお、新築・増築工事を含む場合は「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（最新版）により、解体工事を含む場合は「建築物解体工事共通仕様書」（最新版）による。

2. 特記仕様の適用

(1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。
○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 各項目に記載の [] 内表示番号は、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 各項目に記載の () 内表示番号は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5) 形状寸法の単位は、特記なき限りミリメートルとする。

3. CADデータ ○有 ・無
貸与するCADデータを当該工事における施工図及び完成図書を作成するため以外に使用してはならない。これに基づく完成図書、施工図のCADデータの著作権は本市に帰属する。また貸与したCADデータは工事完成検査までに返却すること。

章

項 目

特 記 事 項

1 各章共通事項

①適用基準等

②工事実績情報システムの登録（コリンズ）
[1.1.4]

③工事の一時中止に係る事項
[1.1.9]

④監督基準

⑤工事の記録
[1.2.4]

6.電気保安技術者
[1.3.3]

⑦施工条件
[1.3.5]

⑧事故報告
[1.3.10]

9.発生材の処理等
[1.3.12]

⑩環境への配慮
[1.4.1]

⑪材料
[1.4.2]

(1節 一般事項)

・建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 最新版）
・学校標準詳細図

※ 請負金額500万円以上の工事は、監督員の確認を受けた後に、当該工事に関するデータを（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録し、下記の区分で10日（土日祝日を除く）以内に登録し、「登録内容確認書」を発注者に提出すること。
受注時、途中変更時、訂正時、竣工時

※工事の一時中止に係る計画の作成

1) 契約約款第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本事項を明らかにする。

2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

※別紙「建築改修工事監督基準」による ・標準仕様書による。
（2節 工事関係図書）
工事日報は、工事記録を兼ねることができる。
下記要領により撮影し、写真帳に説明を記入のうえ提出する。
(原版は撮影業者が保管する。)

区 分

分 類

規 格

部数

原版の大きさ

備 考

着工前

カラー

※サービス版
・（ ）

※1部
・（ ）

24×36以上又は
デジタ画像

撮影箇所は発注者との協議による

施工中

カラー

※サービス版
・（ ）

※1部
・（ ）

24×36以上又は
デジタ画像

撮影箇所は発注者との協議による

完成時

カラー

※サービス版
・（ ）

※2部
・（1）

24×36以上又は
デジタ画像

撮影箇所は発注者との協議による

注 記

各工程ごとに作業時の状況がわかるように黒板(工事名、撮影箇所、年月日等記入)、スケール等をあて撮影する。このほか、写真の撮影、整理等については国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編」による。

(3節 工事現場管理)

・適用する ・適用しない

・施工条件 (現場説明書による)

災害及び事故が発生した場合は、直ちに発注者に連絡すること。

・引き渡しを要するもの ()
・中間再生処理 ()

(4節 材料)

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）により、環境負荷を低減できる材料を選定すること。

本工事に使用する材料は、設計図書に定めるもの又はこれらと同等のものととする。ただし、同等のものとする場合は発注者の承諾を受ける。
なお、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」により省略することができる。

⑫化学物質を発散する建築材料等

⑬特別な材料の工法

⑭事前調査
[1.5.1]

⑮技能士
[1.7.2]

⑯化学物質の室内空気濃度測定
[1.7.9]

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1) から5) を満たすものとする。
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒド及びスチレン（以下「ホルムアルデヒド等」という。）を発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド等を発散しないか、発散が極めて少ない規格品とする。
3) 接着剤はホルムアルデヒド等を発散しないか、発散が極めて少ないもの並びにトルエン、キシレン及びエチルベンゼン（以下「トルエン等」という。）の含有量が少ない規格品とする。壁紙用及び木工用接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。
4) 塗料はホルムアルデヒド等を発散しないか、発散が極めて少ないもの並びにトルエン等の含有量が低い規格品とする。
5) 1)、3) 及び4) の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド等を発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
※規制対象が①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるJIS規格品 a. 接着剤等不使用
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
・第三种 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品
③旧JISのEo規格品 ④旧JISのFco規格品

改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

(5節 石綿含有建材の調査)
調査範囲 ※図面図示による (施工範囲) ・ ()
○貸与できる資料等 (○ 既存図 ○ 石綿含有調査報告書)
石綿含有建材の除去にあたり、あらかじめ資格者による事前調査を行う。
調査結果は、発注者に提出すること。
資格者の分析による石綿含有調査 ○行う (下記による) ・行わない
「アスベスト分析マニュアル」(厚生労働省) による調査方法
○定性分析1 ・定性分析2 ・定性分析3 ・定量分析1 ・定量分析2
1材料あたりの試料数 ※3 ・()
(7節 施工)

・適用する ・適用しない

工事項目

技能検定職種

技能検定作業

仮設工事

とび

○ とび作業

防水改修工事

防水施工

・ F777防水工事作業 ・ クレソール系塗膜防水工事作業
・ F777防水系塗膜防水工事作業
・ 合成ゴム系シート防水工事作業
・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 セメント系防水工事作業
・ シーリング防水工事作業
・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業
・ FRP防水工事作業

外壁改修工事

建築板金
スレート施工
樹脂接着剤
注入施工
左官
タイル張り

・ 内外装板金作業
・ スレート工作業
・ 樹脂接着剤注入工事作業
○ 左官作業
○ タイル張り作業

建具改修工事

サッシ施工
ガラス施工
自動ドア施工

・ ビニルサッシ施工作業
・ ガラス工事作業
・ 自動ドア施工作業

内装改修工事

建築大工
内装仕上施工
建築板金
内装仕上施工

・ 大工工事作業
○ 鋼製下地工事作業
・ 内外装板金作業
○ プラスチック床仕上げ工事作業 ・ カバネット系床仕上げ作業
○ ボード 仕上工事作業

塗装改修工事

塗装

○ 壁装作業
○ 左官作業
○ タイル張り作業

耐震改修工事

鉄筋施工
型枠施工
コンクリート
充填工
鉄工
とび

○ 建築塗装作業
・ 鉄筋組立作業
・ 型枠工事作業
・ コンクリート圧送工事作業
・ 構造物鉄工作業
・ とび作業

環境配慮改修工事

配管
路面表示施工
造園

・ 建築配管作業
・ 溶融ビニルパッドマーカ工事作業
・ 加熱ビニルパッドマーカ工事作業
・ 造園工事作業

・ 受注者は発注者の指示に従い工事完了時に室内空気中の化学物質の濃度を測定すること。
(測定物質)
①ホルムアルデヒド ②トルエン
③キシレン ④エチルベンゼン ⑤スチレン
(測定箇所)
※測定室は発注者の指示による。 箇所数 (箇所)

⑰完成図等
[1.9.1~3]

18.CALS/EOC
電子納品

⑱設計GL
⑳施工図等の取り扱い

2 仮設工事「2章」

①騒音・粉じん等の対策
[2.1.3]

②足場その他[2.2.1]
1) 仮囲い
2) 足場

③材料、撤去材等の運搬
[表2.2.1]

④仮設間仕切
[2.3.2]
[表2.3.1]

⑤監督職員事務所
[2.4.1]

6.監督職員事務所の備品等
[2.4.1]

⑦工事用水

⑧工事用電力

⑨工事用地復旧

⑩工事表示板等

(9節 完成図等)
種類及び提出形式は下記による (1.9.2)

種 類

提 出 形 式

部 数

完成図
※設計図一式

・二つ折り白焼き製本（A3）
※CADデータ（JWW又はDXF）
※PDFデータ

※1部
・（ ）部

総合図
※一式

※二つ折り白焼き製本（適宜A1又はA3）
※CADデータ（JWW）

※1部
・（ ）部

施工図
※構造躯体
※平面図
※建具
※屋根及び種
・（ ）

※二つ折り白焼き（適宜A1又はA3）
※CADデータ（JWW）

※1部
・（ ）部

工作図
※家具図
・（ ）

※二つ折り白焼き（適宜A1又はA3）
※CADデータ（JWW）

※1部
・（ ）部

(注) データの提出はCD-R、DVD-R又はUSBフラッシュメモリーに保存して提出すること。

・設計額2,000万円以上の工事は対象
・設計額250～2,000万円で市が指定する工事は対象。
・指定する ・指定しない

※図示 ・設計GL=現状GL
施工図等の著作権に係わる、当該建築物に限る使用权は発注者に移譲するものとする。

(1節 共通事項)

・防音パネル (設置範囲)
・防音シート (設置範囲)
・防音シート (採光用) (設置範囲)

(2節 足場等)

仮囲い ○ 設ける (種類 万能鋼板 H=2,000) ・ 設けない
内部足場 種別 ※脚立、足場板等
外部足場 種別 ○ 枠組足場 ・ くさび緊結式足場 ・ 単管本足場 ・ ()
範囲 ・ 図面図示による ・ ()
防護シートによる養生 ※行う ・ 行わない

※ 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について
(厚生労働省 平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時は常時、全ての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものとし、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種

(3節 養生)

既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 ・ ()
既存家具等の養生 ※ビニルシート等 ・ ()
備品等の移動 ・行わない ※行う (図示)

仮設間仕切り等の種別

種 別

下 地

仕上材 (厚さ mm)

充てん材

塗 装

・A種

※軽量鉄骨

・合板(※9.0 ・)

・()

※無し

※B種

・木下地

※せっこうボード(※9.5 ・)

厚さ(mm)

・片面

・C種

単管下地

・防炎シート ・ ()

・仮設扉

※木製扉
・ 鋼製扉

※合板張り程度
・ ※片面フラッシュ程度 ・

※無し
・ 有り

設置箇所 ・ 図面図示による ・ ()

(4節 仮設物)

○ 設置する ・ 設置しない
・ (m2) 程度

・設備の種類 ※監督職員と協議 ・ ()
・備品等の種類 ()
・備品等の数量 ()

構内既存の施設 ※利用できない ○ 利用できる (※有償 ・ 無償)
構内既存の施設 ※利用できない ○ 利用できる (※有償 ・ 無償)

※塵埃、コンクリート屑等を撤去し地均しをする。
・塵埃、コンクリート屑等を撤去し、凹部に良土を入れ工事用地全面にローラ転圧をする。

※工事表示板 ※建設業許可票 ※労災保険関係成立票
※施工体系図 ・ 運搬経路表示板

工事名

市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事

図面名

建築改修工事特記仕様書（1）

日付 令和8年2月

宗像市 建築課

No.
1
A-02

4-1 外壁改修工事

・ 施工数量調査
[4.6.2]
[4.6.3]

調査範囲
・ 外壁改修範囲
・ 図示による

調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。
また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び
錆汁の流出の有無を調査する。

モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては
浮き部分を壁面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。

コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及び
はく落部を壁面に表示する。
また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。

既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・ 図示による

調査報告書の部数（・2部）

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mmごと及びその端数につき1個

抜取り部の補修方法
※図示による

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない

シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

4-2 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

4-1 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.2.5]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

4-2 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

4-1 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.2.5]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

4-2 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

4-1 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.2.5]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

4-2 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

4-1 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.2.5]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

4-2 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

4-1 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.2.5]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

4-2 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

4-1 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.2.5]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

4-2 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

4-1 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.2.5]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

4-2 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

4-1 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.2.5]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

4-2 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

4-1 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.2.5]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

4-2 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

4-1 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.2.5]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

4-2 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

4-1 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.2.5]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

4-2 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

4-1 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.2.5]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

4-2 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

4-1 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.2.5]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

4-2 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

4-1 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.2.5]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.7]

4-2 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 120
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・ 50～100 ・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・ 100～200 ・ 70
0.5以上～1.0未満 ・ 150～250 ・ 120

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

・ 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.3.5]
[4.3.6]

4-1 外壁改修工事

・ ひび割れ部改修工法
[4.1.4]

5

建具改修工事

・改修工法
[5.1.3]

・防火戸
[5.1.4]

・見本の製作等
[5.1.5]

・防犯建物部品
[5.1.7]

・アルミニウム製建具
[5.2.2]

・樹脂製建具
[5.2.2]

・網戸等
[5.2.3、5.3.3]

・樹脂製建具
[5.3.2]

建具の種類

かぶせ工法

撤去工法

適用箇所

・アルミニウム製建具			・建具表による
・樹脂製建具	－		・建具表による
・鋼製建具	・外部		・建具表による
・鋼製軽量建具	・内部		・建具表による
・ステンレス製建具			・建具表による
・木製建具			・建具表による

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方
※ 図示による

新規建具周囲の補修工法及び範囲
※ 図示による

防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる（・建具表による）
・連動させない

建具見本の製作
・行う（建具符号：）
・行わない

特殊な建具の仮組
・行う（建具符号：）
・行わない

・適用する（・建具表による）
・適用しない

性能値等
耐風圧性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
気密性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
水密性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
外部に面する建具の種類
・A種（建具符号：・建具表による）
・B種（建具符号：・建具表による）
・C種（建具符号：・建具表による）
枠の見込み寸法（・建具表による）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
材料
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※ HL
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種類
・BG-1
・BG-2（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色
・特注色
屋内の建具
種類
・BC-1
・BC-2（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色
・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式
・排水式
工法
水切り板、ぜん板
※ 図示による
種類
・合成樹脂製
・ガラス繊維入り合成樹脂製
・ステンレス（SUS316）製
・防虫網
・防鳥網
ステンレス（SUS304）線材
1.5mm
網目寸法15mm
性能値等
耐風圧性の等級（・）
気密性の等級（・）
水密性の等級（・）
外部に面する建具の種類
・A種（建具符号：・建具表による）
・B種（建具符号：・建具表による）
・C種（建具符号：・建具表による）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・T-1
・T-2）
（建具符号：・建具表による）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・H-4
・H-5
・H-6）
（建具符号：・建具表による）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
・
枠の見込み寸法
・建具表による
材料
ガラス
※ 複層ガラス
ステンレス製の番番の仕上げ
※ HL
形状及び仕上げ
表面色
・標準色
・特注色
工法
水切り板、ぜん板
※ 図示による

・鋼製建具
[5.4.2]

・鋼製軽量建具
[5.5.1]

・ステンレス製建具
[5.6.2]

・木製建具
[5.7.1]

性能値等
簡易気密型ドアセット
適用する（建具符号：・建具表による）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
材料
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※ HL
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※ 改修標準仕様書表5.4.2による
mm
使用箇所（
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※ 建具表による
性能値等
簡易気密型ドアセット
適用する（建具符号：・建具表による）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
材料
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※ HL
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※ HL
鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※ 普通曲げ
・角出し曲げ
建具材の加工、組立時の含水率
※ A種
・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※ 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)による
表面材の合板の種類
合板の種類
規格等
備考
・普通合板
表面の樹種
板面の品質（※ 広葉樹1等
・接着の程度（・1種
・2種）
樹種名（
・天然木材組合板
接着の程度（・1種
・2種）
化粧加工の方法
※ プリント
・ポリエステル化粧合板
・メラミン化粧合板
接着の程度（・1種
・2種）
・断

・建具用金物
[5.8.2]

・鍵
[5.8.4]

・自動ドア
開閉装置
[5.9.2]

性能値等
簡易気密型ドアセット
適用する（建具符号：・建具表による）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
材料
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※ HL
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※ 改修標準仕様書表5.8.1による
mm
使用箇所（
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※ 建具表による
性能値等
簡易気密型ドアセット
適用する（建具符号：・建具表による）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
材料
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※ HL
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※ HL
鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※ 普通曲げ
・角出し曲げ
建具材の加工、組立時の含水率
※ A種
・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※ 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)による
表面材の合板の種類
合板の種類
規格等
備考
・普通合板
表面の樹種
板面の品質（※ 広葉樹1等
・接着の程度（・1種
・2種）
樹種名（
・天然木材組合板
接着の程度（・1種
・2種）
化粧加工の方法
※ プリント
・ポリエステル化粧合板
・メラミン化粧合板
接着の程度（・1種
・2種）
・断

表面板の厚さ
※ 表5.7.6による
（
・かまち戸
かまち樹種（
鏡板樹種（
見込み寸法
※ 36mm
・建具表による
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型
・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子
・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁
・生地縁（素地）
・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法
※ 19.5 mm
・建具表による
・戸ふすま
表面板の仕上
・建具表による
見込み寸法
※ 30mm
・建具表による
・紙張り障子
見込み寸法
※ 30mm
・建具表による
枠、くつずりの材料
・建具表による
金物の種類及び見え掛り部の材質等
※ 改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※ 改修標準仕様書表5.8.2による
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※ 改修標準仕様書表5.8.3による
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※ 改修標準仕様書表5.8.4による
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※ 改修標準仕様書表5.8.5による
・建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・建具表による
マスターキー
・製作しない
・既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数
※ 各室3本1組（室名札付き）
鍵箱
・無し
・有り
戸の開閉方式
・建具表による
・引き戸用駆動装置
性能値
※ 改修標準仕様書表5.9.1による
（防錆
・以下による
耐電圧
温度上昇
耐久性（サイクル）
防錆
電線
・車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置
性能値
※ 改修標準仕様書表5.9.2による
（防錆
・以下による
温度上昇
耐電圧
耐久性（サイクル）
防錆
電線
・引き戸用検出装置
性能値
※ 改修標準仕様書表5.9.3による
（防錆
・以下による
放射線無線周波数電磁界耐性（
耐電圧
耐電圧
防錆
電線
引き戸検出装置の種類は改修標準仕様書表5.9.4により、
適用箇所は建具表による
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ
・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便所スイッチの種類
・大型押しボタンスイッチ
・非接触スイッチ
凍結防止措置
・行う
・行わない
性能値等
※ 改修標準仕様書表5.10.1
・以下による
手動開き力
手動閉じ力
閉じ速度の調整
制動区間
開閉繰返し
耐衝撃性
シャッターの種類
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（
）Pa
開閉方式の種類
※ 電動式（手動併用）
・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
設置箇所（・図示）
電動式シャッターの障害物感知装置
設置箇所（・図示）

・軽量シャッター
[5.12.2]

・オーバーヘッドドア
[5.13.2、3]

・ガラス
[5.14.1~4]

・ガラスブロック
[5.14.1]

性能値等
簡易気密型ドアセット
適用する（建具符号：・建具表による）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・）
（建具符号：・建具表による）
材料
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※ HL
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種類
・BG-1
・BG-2（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色
・特注色
屋内の建具
種類
・BC-1
・BC-2（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色
・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式
・排水式
工法
水切り板、ぜん板
※ 図示による
種類
・合成樹脂製
・ガラス繊維入り合成樹脂製
・ステンレス（SUS316）製
・防虫網
・防鳥網
ステンレス（SUS304）線材
1.5mm
網目寸法15mm
性能値等
耐風圧性の等級（・）
気密性の等級（・）
水密性の等級（・）
外部に面する建具の種類
・A種（建具符号：・建具表による）
・B種（建具符号：・建具表による）
・C種（建具符号：・建具表による）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・T-1
・T-2）
（建具符号：・建具表による）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・H-4
・H-5
・H-6）
（建具符号：・建具表による）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
・
枠の見込み寸法
・建具表による
材料
ガラス
※ 複層ガラス
ステンレス製の番番の仕上げ
※ HL
形状及び仕上げ
表面色
・標準色
・特注色
工法
水切り板、ぜん板
※ 図示による

屋屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
※ 危害防止装置
・既設シャッターに改修により取り付け可能な座板式
設置箇所（・図示）
管理用シャッターのシャッターケース
・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量
※ Z12又はF12
開閉方式の種類
※ 手動式
・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度（
）Pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置
設置箇所（・図示）
スラットの材質
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量（※ Z06又はF06）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板）
めっきの付着量（※ AZ90）
スラットの形状
・インターロッキング形
・オーバーラッピング形
セクション材料
耐風圧性
開閉方式
能の区分
収納形式
による区分
ガイドレールの材質
※ スチールタイプ
・アルミニウムタイプ
ファイバー
グラスタイプ
・50
・75
・100
・125
※ バランス式
※ ローヘッド形
※ ハイルフト形
※ パーチカル形
※ スタンダード形
※ 溶融亜鉛めっき鋼板
※ ステンレス鋼板
電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
設置箇所（・図示）
・設けない（設置箇所
・建具表による）
・フロント板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
・建具表による
・型板ガラスの厚さによる種類
・建具表による
・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、
板の表面の状態及び厚さの
呼びによる種類
・建具表による
・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さ、
特性による種類
・建具表による
・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び
特長による種類
・建具表による
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類
・建具表による
・複層ガラス
材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性
による区分、日射取得性、日射遮蔽性による区分及び乾燥気体の種類
・建具表による
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
○ガラスの留め材及び溝の大きさ
建具の種類
ガラス留め材
ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製
・シーリング材
○グレイジングガスケット
※ 建具の製造所の仕様による
・図示による
鋼製及び鋼製軽量
・シーリング材
※ 建具の製造所の仕様による
・図示による
ステンレス製
・シーリング材
※ 建具の製造所の仕様による
・図示による
樹脂製
・グレイジングガスケット
※ 建具の製造所の仕様による
・図示による
表面形状
呼び寸法（mm）
厚さ（mm）
目地幅（mm）
平積み
曲積み
目地（mm）
伸縮調整
防火
性能
・160×160
・95
・200×200
・95
壁用金属枠及び補強材・形状
・図示による
カ骨
材質
※ ステンレス鋼（SUS304）
寸法
※ 径5.5mm
形状
※ はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色（・白
・グレー）
シーリングの種類
（・SR-I
・PS-I）
金属製化錠カバー
材質
・ステンレス製
・アルミニウム製
寸法
・図示による
形状
・図示による
目地部の横カ骨の納まり
※ ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による

工事名

市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事

図面名

建築改修工事特記仕様書（４）

日付

令和8年2月

宗像市 建築課

No.
4

A-05

- 改修範囲
[6.1.1]
- 既存床の撤去及び
下地補修
[6.2.1]
- 既存壁の撤去及び
下地補修
[6.2.2]
- ・施工一般
[6.5.1]
- ・製材

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、
壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
○図示による

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし既存仕上げに準じた仕上げを行う
○図示による

既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修
※既存のまま ○図示による

ビニル床シート等の撤去
※仕上材のみ（接着剤とも）
○図示による ・撤去範囲全て）

合成樹脂塗床材の除去工法
○機械的除去工法 ・目荒し工法

既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※図示による ・

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り
（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示による）

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(g)(b)による

・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
・	・	※2級 ・	※A種 ・B種	
・	・	※2級 ・	※A種 ・B種	

・JAS 1083-2 製材・第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面	・	※上小節 ・	※A種 ・B種	
見え掛り面以外	・	※小節以上 ・	※A種 ・B種	

・JAS 1083-6 製材・第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
・	・	※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種	
・	・	※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種	
・	・	※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種	

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率
・	・	（ ） 造作材の場合 （※A種・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・
・	・	（ ） 造作材の場合 （※A種・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・
・	・	（ ） 造作材の場合 （※A種・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・

・「集材材の日本農林規格」による製材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質
・	・	・	・	・	※1等・2等 ・
・	・	・	・	・	※1等・2等 ・

・「集材材の日本農林規格」による化粧ざり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質
・	・	化粧薄板： 芯材：	・	・	・	※1等・2等 ・
・	・	化粧薄板： 芯材：	・	・	・	※1等・2等 ・
・	・	化粧薄板： 芯材：	・	・	・	※1等・2等 ・

・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率
・	・	・	・	※15%以下 ・
・	・	・	・	※15%以下 ・

・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ざり造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
・	・	・	・	・	※15%以下 ・
・	・	・	・	・	※15%以下 ・
・	・	・	・	・	※15%以下 ・

- ・造作用
単板積層材
[6.1.2]
- ・合板等
[6.1.3]
- ・接合具等
[6.5.3]
- 接着剤
[6.5.3、4]

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理
・	・	・	・	・適用する ・適用しない

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理
・	・	・	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)
・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・

・「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
・	※5.5 ・	・	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-0以上 ・	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級
・	※2級以上 ・1級	・	※1類 ・特類	※C-0以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ざり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
・	・	・	・特類 ・1類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧ざりに使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用
・	・	・	・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
・	・	・1類 ・2類	・	・	・適用する ・適用しない

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
・	・	※13タイプ ・	※P又はM ・	・	※15 ・

・構造用パネル

施工箇所	品名	寸法 (mm)
・	・	・

・MDF

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分
・	・	・	・	・	・

造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つばし頭釘打ち
・釘頭現し

諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度）

・（形状： 寸法： ）
材質： ）

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・防腐・防蟻処理
[6.5.5]

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
・	・K2 ・K3 ・K4
・	・K2 ・K3 ・K4
・	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
・	※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品
・	・	・
・	・	・

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（ ）

・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位（ ）

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松
・

・床組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松
・

・窓、出入口その他
[6.5.7]

・床板張り
[6.5.8]

・壁及び天井下地
[6.5.9]

○軽量鉄骨
天井下地
[6.6.2]

[6.6.3]

[6.6.4]

野縁等の種類
屋外
※25形
・19形

屋内
※19形
・25形

屋外の形式及び寸法
野縁受、吊りボルトの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
・図示による

周辺部の端からの間隔
・図示による

野縁の間隔
・図示による

既存の埋込みインサート
・使用する
・使用しない

あと施工アンカーの確認試験
・行う
（試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・ か所）
（確認強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ
天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が
20kg/m²以内の天井の場合は400N程度
・ N）

・行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法 ※図示による ・ ）

・天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法 ※図示による ・ ）

・天井の下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所 ※図示による ・ ）
（補強方法 ※図示による ・ ）

スタッド、ランナの種類
※改修標準仕様書表6.7.1による
○スタッドの高さによる区分に応じた種類
○図示による

スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による

出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6.7.4(5)による

材 種	種 類	記号	色柄	厚さ	工法	特殊機能	備 考
ビニル床シート	※発泡層のないもの ・発泡層のあるもの	※F S ※無地 ・（ ） ・模様	※2.5 ○2.0	※熱溶接 ・突付け	・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防滑性 ・耐薬品性 ○防汚性	・	・

目地処理する場合の工法

材 種	種 類	形状	厚さ	色柄
ビニル床 タイル	※コンポジションビニル床タイル（半硬質） ・コンポジションビニル床タイル（硬質） ・ホモジニアスビニル床タイル ・帯電防止ビニル床タイル（直敷タイプ） ・ホモジニアスビニル床タイル（パネル一体タイプ）	※300角 ・（ ）	※2 ・3 ・（ ）	※500角 ・（ ） ・（ ）

帯電防止ビニル床タイル（直敷タイプ）の接着剤は粘着剥離形とし、製造所の指定する製品とする。

・防滑性床タイル ※図示による ・（ ）

シート・タイルの種類	種類	性能	厚さ、寸法、形状(mm)
・帯電防止床シート	・	・	厚さ： 寸法： 形状： 厚さ：
・帯電防止床タイル	・	・	厚さ： 寸法： 形状： 厚さ：
・視覚障害者用の床タイル	・	・	厚さ： 寸法： 形状： 厚さ：
・耐動荷重性床シート	・	・	厚さ： 寸法： 形状： 厚さ：
・防滑性床シート	・	・	厚さ： 寸法： 形状： 厚さ：
・防汚性床タイル	・	・	厚さ： 寸法： 形状： 厚さ：

材質の種類 ・軟質 ・硬質

高さ(mm) ※30 ・75 ・100

厚さ(mm) ※1.5以上

・ビニル床タイル
[6.8.1]

・ビニル床タイル
[6.8.2]

・特殊機能床材
[6.7.1]

[6.7.4]

○ビニル床シート
[6.8.2、3]

・ゴム床タイル
[6.9.2]

・カーペット敷き
[6.9.2]表6.9.1]

[6.9.3]

[6.9.2][6.9.3]

種類 ・単層品 ・積層品
色柄 （ ）
厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm) （ ） × （ ）

・織じゅうたん
織り方

織り方	パイル形状	帯電性
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル	・適用する ・適用しない

色柄（※模様のない無地 ・ ）
パイル系の織維種等
※無地の織りじゅうたんの種別（ ・A種 ・B種 ・C種）
・

織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法 ・つづり縫い

下敷き材
※反モフェルト（JIS L 3204）の第2種1号 呼び厚さ 8mm
・

・タフテッドカーペット

パイルの形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	・5～7 ・4～6 ・	・全面接着工法 ・グリッパー工法	・適用する ・適用しない	・

下敷き材（グリッパー工法の場合）
※反モフェルト（JIS L 3204）の第212号 呼び厚さ 8mm
・

タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	・	※500×500 ・	※6.5 ・	・
・カットパイル	・第一種 ・第二種	・	※500×500 ・	※6.5 ・	・
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種	・	※500×500 ・	※6.5 ・	・

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

タイルカーペットの敷き方
平場 ※市松敷き・模様流し ・（ ）
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・（ ）

見切り、押え金物
材質（ ）
種類（ ）
形状等 ※図示による ・

・合成樹脂塗床
[6.10.2]

[6.10.2]

・フローリング張り
[6.11.2～5]

単層フローリング

種類	工法	樹種	厚さ、幅、長さ
・フローリング ボード1等	・釘留め工法（根太張り） ・	・	※改修標準仕様書表6.11.1による ・
・	・釘留め工法（直張り） ・	・	※改修標準仕様書表6.11.3による ・
・	・接着工法 ・	・	※改修標準仕様書表6.11.5による ・
・フローリング ブロック1等	・接着工法 ・	・	・

複合フローリング

種類	工法	樹種	厚さ、幅、長さ
・複合フローリング （天然木化粧）	・釘留め工法（根太張り） ・	・	※改修標準仕様書表6.11.2による ・A種 ・B種 ・C種
・	・釘留め工法（直張り） ・	・	※改修標準仕様書表6.11.4による ・A種 ・B種 ・C種
・	・接着工法 ・	・	※改修標準仕様書表6.11.6による ・A種 ・B種 ・C種

接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート ・

[6.11.5]

・畳敷き
[6.12.2]

種類
・A種 ・B種 ・C種
D種（畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N）

下地の種類
・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロム）
・

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを
発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

衝撃緩和型畳（畳表：・C1 ・C2）

8	1. 既存部分の撤去等 [8.21.2][8.22.4] [8.23.2][8.24.4] [8.25.2][8.26.5] [8.27.2]	(1節 共通事項) 既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示による ・ ()	9. 機械式継手 [8.4.2]	(4節 鉄筋の機械式接手及び溶接継手) 適用箇所 ・ 図示による ・ () H12建告第1463号に適合する性能 ・ A級 ・ () 性能、種類 ・ () 鉄筋相互のあき ・ 図示による ・ () 施工完了後の継手部の試験 ・ 外観試験 試験対象 ※ 全数 ・ () 試験項目 ・ () 試験方法 ・ () ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ () ・ 全数 不合格となった場合の措置 ・ () 適用箇所 ・ 図示による ・ () H12建告第1463号に適合する性能 ・ A級 ・ () 溶接継手の性能、工法、鉄筋相互のあき ・ 図示による() 施工完了後の継手部の試験 ・ 外観試験 試験対象 ※ 全数 ・ () 試験項目 ・ () 試験方法 ・ () 不合格となった場合の措置 ・ () ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ () 不合格となった場合の措置 ・ ()	14. 構造体用モルタル [8.2.6]	構造体用モルタル 圧縮強度 () フロー値 ()	13. 鉄骨工事	22. 鉄骨製作工場 [8.1.5]	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 () グレード以上 ・ 監督職員の承諾する工場 ※ 配置する
	2. 既存部分の処理 [8.21.3][8.22.4] [8.23.3][8.26.6] [8.27.3]	はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・ 図示による ・ () 既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度 ・ 既存柱、梁面 ・ 打継ぎ面等の15～30%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける。 ・ () ・ 既存壁 ・ 打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける。 ・ ()		10. 溶接継手 [8.4.3]		15. 暑中コンクリート [8.10.2]		23. 鉄骨製作工場における 施工管理技術者 [8.1.6]	
9-1	3. 既存杭の撤去等 [8.28.2]	・ 撤去範囲及び撤去方法 ・ 図示による ・ ()	11. 鉄筋の加工 及び組立 [8.21.6][8.22.7]	②コンクリートの種類 [8.1.3]	18. 型枠工事 [8.7.8]	コンクリートの仕上がり 種 別 ・ A種 ・ B種 ・ C種	25. 高力ボルト [8.2.9]	24. 鋼材 [8.2.8]	種類等 種類の記号 適用箇所（主要な部分） 規 格 ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる
	④鉄筋 [8.2.1]	(2節 材料) 鉄筋の種類等 種類の記号 呼 び 径 (mm) 備 考 C3245 D10－D16 シャワー室 ・ S3245 ・ S3390				16. 無筋コンクリート [8.1.1]			
9-2	5. 溶接金網 [8.2.2]	鉄線の形状等 種 類 種類の記号 鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm) 使 用 部 位 ・ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 (3節 鉄筋の加工及び組立) 鉄筋の継手の方法等 部 位 継 手 方 法 呼 び 径 (mm) 柱、梁の主筋 ・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手 耐力壁の鉄筋 ・ 重ね継手 ・ () その他の鉄筋 ○ ※重ね継手 ・ () ※D16以下 (床スラブ) 継手位置 ・ 図示による ・ () 柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ ※ 改修標準仕様書 表8.3.2による ・ 図示による ・ () 耐力壁の重ね継手の長さ ※ 改修標準仕様書8.3.4(3)(7)による ・ 図示による ・ () 先組工法等の、柱及び梁の主筋の隣り合う継手位置 ・ 同一箇所とする ・ 改修標準仕様書 表8.3.3による 鉄筋の定着の長さ ※ 改修標準仕様書 表8.3.4による ○ 図示による ・ () 折り曲げ定着の方法 ※ 改修標準仕様書8.3.4(5)(4)の図8.3.3による ・ () 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所 ・ 図示による ・ () 種 類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 螺合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定 ・ () ※評定等の評価内容による 帯防組立の形、継手及び定着 ・ 図示による ・ ()	13. コンクリートの 品質・材料・調合 [8.1.3][8.1.4] [8.2.5][8.9.2]	20. 型枠の加工 及び組立 [8.7.8]	19. 型枠の材料 [8.2.7]	27. 溶接材料 [8.2.10]	28. スタッド [8.2.11]	29. 仮組 [8.13.10]	
	⑥鉄筋の継手 及び定着 [8.3.4]	コンクリートの種類 [8.1.3]							21. コンクリートの 打込み工法等 [8.21.8][8.23.5]
9-3	7. 鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔 (溶接金網を含む) [8.3.5]	最小かぶり厚さ ※ 改修標準仕様書8.3.5(1)による ・ 図示による ・ () 軽量コンクリートを適用する場合 ・ あり 適用箇所 () ・ 改修標準仕様書 表8.3.6の最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm 耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・ あり 適用箇所 () ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm ・ ()	セメント [8.2.5]	②コンクリートの種類 [8.1.3]	21. コンクリートの 打込み工法等 [8.21.8][8.23.5]	コンクリートの打設工法の種類 補 強 工 法 打 設 工 法 部 位 ・ 現場打ち ・ 工法指定なし ・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()			

7 耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事「8章」(続き)	32. 溶接部の試験 [8.15.12]	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・ 工場溶接の場合 ※ 全数 ・ () ・ 工場現場溶接の場合 ※ 全数 ・ ()	6-7 耐震スリット新設工事	連続繊維補強材の強度試験 ・ 引張強度試験 ※ JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法) による ・ () 試験数量 ・ 図示による ・ () ・ 付着強度試験 ※ JIS A 6909 (建築用仕上塗材) による ・ () 試験数量 ・ 図示による ・ ()	8 環境配慮改修工事「9章」	①一般事項 [9.1.1]	(1節 石綿含有建材の除去工事) 適用基準 ※「建築物解体工事共通仕様書」(国土交通省 最新版) 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※図面図示による 石綿粉じん濃度測定 ※行う(測定箇所数()箇所) ・行わない 測定は、「アスベスト(石綿)除去改修工事仕様書」に定める方法をもとに発注者と協議する。除去工事を行う当該建物の敷地境界において、規制のある場合はその規制に従う。	13. 断熱材後張り工法 [9.3.4]	断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ () 厚さ(mm) ・ () ・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 ・ () 厚さ ・ (mm) ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 ・ () 断熱材へのボードの張付け工法 ・ () (4節 屋上緑化改修工事) 植栽基盤及び材料 ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の種類等 ※ 図示による ・ () 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示による ・ () (品質・性能、試験方法は別表による)											
	33. 錆止め塗装 [8.17.2]	塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示による() ・ () 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)(7)～(9)による ・ 図示による() ・ ()		41. 仕上げ [8.24.7]		補強工事後の仕上げ ・ 図示による()	3. 石綿含有吹付材除去工事 [9.1.3]		除去工法 ※「建築物解体工事共通仕様書」 ・ 処分方法 ※管理型最終処分場で特別管理型産業廃棄物として埋立処分 ・中間処理(溶融処理又は無害化処理) 飛散防止措置 ※湿潤化 ・ 固化	14. 材料 [9.4.2]	植栽基盤及び材料 ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の種類等 ※ 図示による ・ () 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示による ・ () (品質・性能、試験方法は別表による)									
	34. 耐火被覆 [8.18.2]～[8.18.8]	塗料の種類 下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※ A種 ・ () ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ ()		42. 耐震スリットの方式、幅及び深さ [8.25.2]		方式 ・ 完全 ・ 部分 幅及び深さ ・ 図示による ・ () 設置箇所 ・ 図示による ・ ()	4. 石綿含有保温材等の除去 [9.1.4]		除去工法 ※「建築物解体工事共通仕様書」 ※ 原形のまま手ばらし ・手ばらし以外の場合、石綿含有吹付材に準ずる 処分方法 ※管理型最終処分場で特別管理型産業廃棄物として埋立処分 ・中間処理(溶融処理又は無害化処理) 飛散防止措置 ※湿潤化 ・ 固化	15. 工法 [9.4.3]	建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による									
	35. 鉄骨ブレースの設置工事 [8.22.9]	種類、材料、工法等 種 類 材料・工法 性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部分) ・乾式吹付け ロックウール ・半乾式吹付け ロックウール ・耐火材吹付け ロックウール ・湿式ロックウール ・ ・繊維混入けい酸 カルシウム板 ・耐火板張り ・ ・耐火材巻付け ・ ・ラス張り モルタル塗り ・耐火塗料		43. 耐震スリット 充填材の挿入及び周囲補修等 [8.25.2]		・耐火材 使用箇所及び仕様 ・ 図示による ・ () ・遮音材 使用箇所及び仕様 ・ 図示による ・ () 撤去部の補修 ※ 撤去材と同一材で補修 ・ ()	5. 石綿含有成形板等の除去 [9.1.5]		除去工法 ※「建築物解体工事共通仕様書」 ※ 手ばらし 処分方法 ・せっこうボード ※管理型最終処分場で石綿含有産業廃棄物として埋立処分 ・成形板等(せっこうボード)除く ※安定型もしくは管理型最終処分場で石綿含有産業廃棄物として埋立処分 ・中間処理(溶融処理又は無害化処理)	16. 新植芝及び地被類の枯補償 [9.4.4]	新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・ () (5節 透水性アスファルト舗装改修工事) ※ 図示による ・ ()									
	36. あと施工アンカー [8.2.4]	材料等 ・金属系アンカー ・引張耐力 ・ kN ・ 図示による() ・せん断耐力 ・ kN ・ 図示による() アンカー本体の径及び埋込み長さ ・ 図示による ・ () セット方式 ※ 本体打込み式改良型 ・ () 接合筋の種類、径、長さ ・ 図示による ・ () ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による ・ () ・接着系アンカー ・引張耐力 ・ kN ・ 図示による() ・せん断耐力 ・ kN ・ 図示による() アンカーの種類 ※ カプセル方式回転打撃法 アンカー筋の径及び埋込み長さ ・ 図示による ・ () アンカー筋の種類 ・ 図示による ・ () アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ・ 図示による ・ () ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による ・ ()		44. 埋戻し及び盛土 [8.28.3]		材料及び工法 ・材料 () ・工法 () ※ 改修標準仕様書表8.28.1による ・A種 適用場所() ・B種 適用場所() ・C種 適用場所() 土質() 受渡場所() ・D種 適用場所() 建設発生土の処理 ※ 構外搬出適切処理 ・構内指定場所に堆積 ・構内指定場所に敷き均し	6. 石綿含有外壁仕上塗材の除去 [9.1.6]	除去工法 ※「建築物解体工事共通仕様書」 処分方法 ※安定型もしくは管理型最終処分場で石綿含有産業廃棄物として埋立処分 (2節 外断熱改修工事) 断熱材の種類 <table><tr><th>材料名</th><th>種 類</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 外装材の種類 <table><tr><td>・</td><td>防火性能</td><td></td></tr></table>	材料名	種 類	厚さ (mm)	・	・	・	・	防火性能		17. 既存舗装の撤去及び再利用 [8.5.2]	※ 図示による ・ ()	
材料名	種 類	厚さ (mm)																		
・	・	・																		
・	防火性能																			
6-4 あと施工アンカー工事	37. 穿孔 [8.12.4]	埋込み配管等の探査方法 ・鉄筋探知器(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う はつり出しによる ()	6-8 土工事及び地業工事	45. 地業工事 [8.2.15][8.28.4]	7. 材料 [9.2.2]	既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ () 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 ・ () 断熱材の施工 ・断熱材製造所の仕様による ・ () 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による ・ () 通気層の有無 ・あり(mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による ・ () 笠木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による ・ () (3節 断熱・防露改修工事) フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ () 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ () 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ () 厚さ(mm) ・ () 施工場所 ・ () 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ () 吹付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 ・ () 施工箇所 ・ 図示による ・ ()	18. 路床 [8.5.3]	路床の材料 <table><tr><th>種 別</th><th>材 料</th><th>厚 さ(mm)</th></tr><tr><td>・盛土</td><td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 ・()</td><td>・図示による ・()</td></tr><tr><td>・凍上抑制層</td><td>・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 ・()</td><td>・図示による ・()</td></tr><tr><td>・フィルター層</td><td>・砂 ・()</td><td>・図示による ・()</td></tr></table> 凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない ・路床安定処理 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種 類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号 ・1号) ・消石灰(・特号 ・1号) 試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない	種 別	材 料	厚 さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 ・()	・図示による ・()	・凍上抑制層	・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 ・()	・図示による ・()	・フィルター層	・砂 ・()	・図示による ・()
	種 別	材 料		厚 さ(mm)																
	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 ・()		・図示による ・()																
	・凍上抑制層	・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 ・()		・図示による ・()																
	・フィルター層	・砂 ・()		・図示による ・()																
38. 施工確認試験 [8.12.7]	試験方法 ※ 引張試験機による引張試験 確認強度 ・ 図示による ・ ()	46. 砂利地業 [8.2.15][8.28.4]	8. 既存外壁の処置 [9.2.3]	既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ () 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 ・ () 断熱材の施工 ・断熱材製造所の仕様による ・ () 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による ・ () 通気層の有無 ・あり(mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による ・ () 笠木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による ・ () (3節 断熱・防露改修工事) フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ () 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ () 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ () 厚さ(mm) ・ () 施工場所 ・ () 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ () 吹付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 ・ () 施工箇所 ・ 図示による ・ ()	19. 舗装の構成及び仕上がり [8.5.5]	舗装の構成 ・ 図示による ・ ()														
39. 柱底均しモルタル及びグラウト材 [8.2.12]	・柱底均しモルタル ※ 無収縮モルタル ・ ()	47. 捨コンクリート地業 [8.2.15][8.28.4]	9. 工法 [9.2.4]	断熱材現場発泡工法 [9.3.3]	断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ () 吹付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 ・ () 施工箇所 ・ 図示による ・ ()	20. 試験 [9.5.9]	開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの ・ ()													
6-5 グラウト工事 連続繊維補強工事	40. 連続繊維シート [8.2.13] [8.24.6]	連続繊維の材料 ・炭素繊維 ・ アラミド繊維 ・ () 引張強度(含浸硬化後) ・ () N/mm2 ・ () ヤング係数(含浸硬化後) ・ () N/mm2 ・ () ・下地処理 ・ひび割れ部改修 範囲 ・ 図示による ・ () 工法の種類 ・ 図示による ・ () ・柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ・ 図示による ・ ()																		

Ⅲ. 現場代理人及び技術者の適正配置について 1. 現場代理人の常駐義務について（該当事項○印） ・ 本工事における現場代理人については、工事現場における常駐を要する工事であり他の工事への兼任は認められません。 ※ 契約金額が4,500万円（建築一式工事：9,000万円）以上となる場合、本工事における現場代理人については、工事現場における常駐を要する工事です。ただし、下記に示す期間については現場代理人の常駐を要しないものとします。 ① 請負契約の締結後から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの期間） ② 工用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により工事を全面的に一時中止している期間 ③ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター、発電機・配電盤等の電機品等の工場製作を含む工事全般について、工場制作のみが行われている期間 2. 監理技術者等の工事現場にける専任及び専任期間について ※ 監理技術者制度運用マニュアル（国交省）による 3. 配置技術者の直接的かつ恒常的な雇用関係について 建設工事の適正な施工を確保するため、配置技術者（主任（監理）技術者、特例監理技術者、監理技術者補佐）については、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者を配置しなければならない。なお、ここでいう「恒常的な雇用関係」とは、次の要件を満たす必要がある。 ○ 一般競争入札による工事の場合は、入札参加資格確認申請の日以前に3か月以上の雇用関係にあること。 ○ 指名競争入札による工事の場合は、入札の執行日（開札日）以前に3か月以上の雇用関係にあること。 ○ 随意契約による工事の場合は、見積書の提出日以前に3か月以上の雇用関係にあること。 4. 専任特例2号の監理技術者（特例監理技術者）の配置について（該当事項○印） ・ 本工事は、専任特例2号の監理技術者（建設法第26条第3項ただし書第2号による監理技術者）の配置は認められません。 ・ 本工事は、次の要件に該当する場合、専任特例2号の監理技術者（建設法第26条第3項ただし書第2号による監理技術者）を配置することができます。 ① 本工事の当初請負金額が3億円未満である場合 ② 兼任する工事が、24時間体制での応急処理や緊急巡回等が必要な維持工事同士（単価契約含む）でない場合 Ⅳ. 施工体制の確認 第1条 施工体制の確認方法 本工事の施工体制の確認は以下の方法により行う。 （1）下請契約を締結した場合は、「施工体制台帳」及び「工事作業所災害防止協議会兼施工体系図」を基に確認する。 （施工体制台帳） 施工計画書に添付せず、施工体制台帳の写しを単体で提出すること。 （工事作業所災害防止協議会兼施工体系図） ①施工計画書ではなく、施工体制台帳に添付すること。 ②工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示すること。 （2）下請契約を締結しない場合は、施工計画書等により確認する。 （3）施工体制に変更が生じた場合は、上記書類をそのつど提出すること。 第2条 施工体制の確認に関する点検 （1）抜き打ち点検 一括下請など施工体制に関する点検を抜き打ちで行う場合がある。 （2）検査時における点検 I 10. その他（10）で適用する中間技術検査等、各段階の検査時において点検を行う。	第3条 不備が発覚した場合の措置 （1）工事成績評定での減点処置 工事担当課、契約検査課が連携し減点措置を行う場合がある。 （2）請負代金の支払い 書類が完備するまでは検査完了として取り扱わず、請負代金の支払い事務を開始しないものとする。 （3）悪質なケース 虚偽の記載や一括下請等悪質なケースが判明した場合は、関連部署と協議の上、建設業許可部局への通知や指名停止等の措置を行う場合がある。 Ⅴ. 公共事業労務費調査に対する協力 1. 本工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し市に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。 2. 調査票等を提出した事業所を発注者が事後に訪問して行う調査・指導の対象に受注者がなった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。 3. 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。 4. 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が前3項と同様の義務を負う旨を定めなければならない。 Ⅵ. 設計変更にかかる取り扱い 工事請負契約書に定める設計変更に伴う契約変更の手続きは、下記のとおりとする。 契約変更の時期について 設計変更に伴う契約変更の手続きは、その必要が生じた都度、遅滞なく行うものとする。ただし、軽微な設計変更に伴うものは、工期の末（複数年度にわたる工事にあつては、各会計年度の末、または工期の末）に行うことができるものとする。 軽微な設計変更とは、原則として次に掲げるもの以外をいう。 ① 設計変更額が当初設計金額の20％を超えるもの ② 構造、工法、位置又は断面等の変更で重要なもの ③ その他上記に準ずる重要なもの Ⅶ. 地下埋設物調査等に関する特記仕様書 【適用】（適用事項○印） ・地下埋設物が予想される場所において、工事を実施する場合 1. 工事着手前における地下埋設物調査の徹底について 1）工事箇所に地下埋設物がある場合、工事着手前にその種類、位置、形状、深さ、構造等をそれらの管理者が有する資料（台帳、完成図等）と照合し確認するものとする。特に、破損による影響が広範囲に及び重要な地下埋設物については、管理者と協議を行い詳細な確認を行うものとする。 2）必要に応じて試掘、ボーリング及び地中探査等原位置での調査を、監督員と協議のうえ実施するものとする。 3）地下埋設物の確認については、別紙様式により行い、結果を監督員へ報告するものとする。 2. 近接工事に関する確認・対策の徹底について 1）工事箇所に近接する地下埋設物等について、その種類、位置、形状、深さ、構造等を確認し、工事による影響について管理者と協議のうえ検討を行うものとする。なお、対策が必要となった場合には、監督員と協議を行うものとする。 2）近接の範囲については、各管理者によって異なるため、管理者と協議を行うものとする。 ・オールケーシング工事の場合 1. 作業中止の判断基準について 1）オールケーシング工法の圧入・掘削時に、異常音・回転トルクの上昇等の異変が確認された場合は、作業を中止し、原因の確認を行うものとする。 2）オールケーシング工法のコンクリート打設時に、コンクリートが予定通りに打ち上がってこなかった場合は、作業を中止し、原因の確認を行うものとする。 3）工事の施工中に上記1. 2. が発生した場合、現場代理人は、直ちに監督員に連絡し、協議を行うものとする。 4）工事着手前に、上記1～3の事項を盛り込んだ、施工の実態に応じた施工計画書を作成し、監督員へ提出するものとする。 Ⅷ. 熱中症対策 受注者は、熱中症対策として、以下の項目を実施する場合は、使用や費用が分かる資料（カタログ・見積等）を発注者に提出の上、必要な設置期間等を協議することとし、その費用については設計変更の対象とする。 （1）遮光ネット（足場に設置するものに限る） （2）ドライミスト （3）暑さ指数（WBGT値）の計測装置 なお、上記熱中症対策の実施後、実績が分かる資料（写真等）を発注者に提出すること。	Ⅸ. 快適トイレの設置の施行に関する特記仕様書 1. 快適トイレの試行 受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレの設置に努めること。(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。 【快適トイレに求める機能】 (1) 洋式便器 (2) 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む） (3) 臭い逆流防止機能 (4) 容易に開かない旋錠機能 (5) 照明設備 (6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg以上とする） 【付属品として備えるもの】 (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8) 入口の目隠しの設置（男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等） (9) サニタリーボックス（男性・女性専用トイレに必ず設置） (10) 鏡と手洗器 (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品 【推奨する仕様、付属品】 (12) 室内寸法900×900mm以上（面積ではない） (13) 騒音装置（機能含む）※女性用トイレ必須 (14) 着替え台 (15) 臭気対策機能の多重化 (16) 室内温度の調整が可能な設備 (17) 小物置き場等（トイレトペーパー予備置き場等） 2. 快適トイレに要する費用 快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議のする。なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事までとする。また、運搬費は共通仮設費（率）に含むものとする。 Ⅹ. 法定外の労災保険の付保 本工事において、受注者は政府労災保険への加入義務がある場合、法定外の労災保険に付さなければならない。また、保険契約を締結した際はその証券又はこれに代わるものを監督員に提示すること。 ⅩⅠ. 情報共有システム活用の試行 1 本工事は、情報共有システム活用の対象工事とする。 2 受注者は、監督員との協議により情報共有システムを活用できる。 3 活用にあたっては、「情報共有システム活用試行要領（建築・設備工事）」及び「情報共有システム活用の手引き（建築・設備工事）」に基づき行う。 ⅩⅡ. 週休2日工事 1. 週休2日工事の対象工事について 本工事は、週休2日工事であり、週休2日（4週8休以上）を前提とした工期を設定している。 2. 発注方式について（該当事項○印） ・発注者指定方式（発注者が月単位の週休2日に取り組むことを指定して実施（通期の週休2日は必須）） ・受注者希望方式（受注者が工事着手前に発注者に月単位の週休2日に取り組む旨を協議して実施（通期の週休2日は必須）） 3. 費用補正について 1）発注者指定方式の場合、月単位の4週8休以上を前提に労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正して予定価格を作成している。現場閉所（現場休息）の達成状況を確認し、月単位の4週8休以上に満たない場合は、労務費の補正を変更し、通期の4週8休に満たない場合は、補正係数を除し、請負代金額のうち労務費補正分を減額変更する。 2）受注者希望方式の場合、通期の4週8休以上を前提に労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正して予定価格を作成している。現場閉所（現場休息）の達成状況を確認し、月単位の4週8休以上を満たす場合は、労務費を補正し、請負代金額を増額変更する。また、通期の4週8休に満たない場合は、補正係数を除し、請負代金額のうち労務費補正分を減額変更する。 3）補正率は、「福岡市営繕工事における週休2日工事実施要領」を参照すること。 4. 部分的交替制（試行）について 1）受注者は、工事全体のうち部分的に交替制の実施を希望する場合、監督員との協議により交替制を実施することができる。部分的交替制を実施できる期間は1カ月間とする。 5. その他 1）発注者は、労働安全衛生法に基づき指名する統括安全衛生管理義務者が現場休息となる日に、その職務を行う代理者をあわせて指名する。 2）「福岡市営繕工事における週休2日工事実施要領」に基づき実施すること。（「福岡市ホーム」> 創業・産業・ビジネス > 公共工事・技術情報 > 公共工事の技術情報 > 週休2日工事）	<table><tr><td>工事名</td><td colspan="3">市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事</td></tr><tr><td>図面名</td><td>建築改修工事特記仕様書（9）</td><td>日付</td><td>令和8年2月</td></tr><tr><td colspan="3">宗像市 建築課</td><td>No. 9 A-10</td></tr></table>	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事			図面名	建築改修工事特記仕様書（9）	日付	令和8年2月	宗像市 建築課			No. 9 A-10
工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事														
図面名	建築改修工事特記仕様書（9）	日付	令和8年2月												
宗像市 建築課			No. 9 A-10												

建築改修工事監督基準

主 旨 本基準は工事請負契約の本旨に基づき発注者の監督業務の範囲を示すものであり、標準仕様書のうちの監督業務に代わるものである。

一般事項 本監督基準並びに設計図書に明記なき事項又は疑義ある場合には発注者と協議を行い、軽微なものについては発注者の指示に従い入念に施工する。

監督業務 本工事受注者は当監督基準を熟知の上、下記に示す監督項目につき発注者の検査、立会、承諾、指示、協議等を受けなければならない。

工 種	監 督 項 目			工 種	監 督 項 目			工 種	監 督 項 目				
	区 分	事 項	処 理		区 分	事 項	処 理		区 分	事 項	処 理		
一般共通事項	現場管理		疑義	協議	コンクリート工事	準備	打設計画	承諾	木工事	準備	加工図	承諾	
			軽微な変更	指示			コンクリート工場	承諾			材料	木材	検査
			別途工事	指示			コンクリート配合計画書	承諾				防腐・防蟻	承諾
			発生材の処理	指示			鉄筋	承諾				防虫	承諾
			災害及び公害の恐れのある場合の処理	協議			型枠（せき板）	承諾				加工・組立	承諾
	工程管理		実施工程表	承諾		施工		混和材料	承諾	材料	屋根葺材	承諾	
			施工計画書	承諾			鉄筋組立	検査	葺方		承諾		
			施工図・現寸図・見本	承諾			ガス圧接	検査	とい		承諾		
			色・柄	指示			型枠建込組立	検査	材料		各材料	承諾	
			記録等	指示			打込み	報告	施工		工法	承諾	
			管理	協議			型枠取外し	承諾	材料		各材料	承諾	
			試験所	承諾			試験（材齢28日強度試験は公約機関）	指示	施工		工法	承諾	
			電気保安技術者	承諾			圧接技能資格者	承諾			外壁タイル下地確認	報告	
仮設工事	施工	技能士	承諾	準備		仕上り及びかぶり厚さの確認	報告	大規模全園型	材料	養生	承諾		
		縄張り	検査		製作工場	承諾	建具			承諾			
		ベンチマーク	検査			施工管理技術者	承諾		施工	建具金物	承諾		
		遣方	検査			溶接管理技術者	承諾			建付調整	検査		
			危険物貯蔵所		承諾		溶接技能資格者		承諾	サッシ	承諾		
土工事	施工	根切り底	検査	材料	工作図	承諾	全園型	材料	建具金物	承諾			
		地中障害物	協議		超音波探傷試験機関	承諾			施工図	承諾			
		埋戻し・盛土	協議		工作	鋼材等		承諾	施工	建付調整	検査		
	杭心（コラム心）	検査	製作	承諾		硝子	承諾						
	施工中の異状	協議	溶接（試験成績表）	承諾		材料	塗料	承諾					
	工法	協議	製品受入	検査			施工	工法	承諾				
	地盤工事	既設コンクリート杭・鋼管杭	準備	溶接技術者等	承諾	施工	建方完了	検査	内装工事	材料	内装材	承諾	
			杭	検査	高力ボルト接合		検査	施工			工法	承諾	
			試験杭（試験掘削）	立会	溶接接合		検査			材料	養生	承諾	
			支持地盤	検査	スタッド溶接		検査	性能			承諾		
場所打ちコンクリート杭		材料	建込み	立会	材料	コンクリートブロック	承諾	雑工事	カーテンウォール	コンクリート	承諾		
			完了	検査		ＡＬＣパネル	承諾			製作家具	承諾		
			杭の精度	指示		押出成形セメント板	承諾			黒板	承諾		
		施工	施工記録	報告	施工	コンクリートブロック積み	承諾		側溝縁石等	側溝縁石等	承諾		
			施工管理技術者	承諾		施工図	承諾			舗装	承諾		
			コンクリート	承諾		防水仕様	承諾			遊具施設	承諾		
地盤改良	準備	鉄筋	承諾	材料	防水施工	検査	養生工事・その他	製作金物	製作家具	承諾			
		試験掘削	立会		保証書	承諾			黒板	承諾			
		鉄筋加工組立	検査		石材	承諾			側溝縁石等	承諾			
		コンクリート打設	立会		工法	承諾			舗装	承諾			
	材料	深さ・支持地盤	検査	施工	割り付	承諾			内・外欄	承諾			
		施工記録	報告		陶磁器質タイル	承諾			植樹	承諾			
		溶出試験	指示		工法	承諾			敷地境界標	承諾			
		固化材・添加量	承諾		割り付	承諾			排水	承諾			
	施工	深さ・支持地盤	検査	施工	外観の確認	報告			立会				
		施工記録	報告		接着力試験	指示							

注 1）○印をしたものは本工事に於ける監督項目を示す。
注 2）上表の○を付したものの以外でも監督員が必要と認めた場合は適宜監督業務を行う。

工事区分表

- 1）本工事施工中は、別途工事受注者と連絡を密にし、工事の進捗等に支障なきよう責任をもってあたること。
2）工事区分表は○印のついたものを適用する（特記ある場合は除く）

共 通 事 項	工 事 項 目	建築	空調	衛生	電気		
鉄筋コンクリート造躯体貫通部（設備工事用）の補強防工事	同上用スリーブ並びに箱入れの穴埋補修（仕上げは除く）		○	○	○		
	床上機器用コンクリート基礎工事	○					
	床上機器用コンクリート仕上	○					
	設備配管吊りボルト用インサート類		○	○	○		
	吹出口、吸込口、並びに埋込照明器具、埋込スピーカー、天井埋込換気扇、取付の為の枠組みと補強	○					
	同上穴あけ工事		○	○	○		
	防火区画貫通部のダクト、配管等の防火養生		○	○	○		
	鉄骨造（ＳＲＣ造も含む）鉄骨貫通部開口（設備工事用）と補強	○					
	機器操作盤への一次側電源供給工事				○		
	煙導製作取付、煙突接続（空除耐火材詰め含む）（発電気用含む）		○	○	○		
	A．L．C板穴あけ工事（設備工事用）	○					
	A．L．C板貫通部の補修（設備工事用）	○					
	鉄骨耐火被覆（ロックウール成形板等）の穴あけ（設備工事用）	○					
	盤類器具類（衛生器具）取付の枠組と補強（木造、プレハブ、ＳＲＣ等）	○					

建築工 事 関 係	工 事 項 目	建築	空調	衛生	電気		
パイプシャフト、及び天井の点検口製作取付	建物内の排水溝並びに配管配線用ビット及び、各水槽の蓋製作取付	○					
	建物外壁に取付く、ガラリ（吸気・排気）の製作取付（防虫網取替可能型）（ダクト接続型）	○					
	ドア並びに間仕切壁のガラリ、製作取付	○					
	壁付換気扇の取付用穴あけ	○					
	壁付換気扇の取付及びガラリ、フードの取付	○					
	コンクリート造のチャンバ及びダクト（消音、保温共）	○					
	ルーフトレーン及び縦樋（ＧＬ－２００迄）	○					
	縦樋以降配管（継ぎを含む）			○			
	建物廻り雨水側溝の接続（側溝と側溝）工事	○					
	建物廻り側溝以降の雨水排水設備			○			
	厨房内排水溝						
	サービスタンク、油ポンプ廻り防汚提案造	○					
	二重スラブ内連通管及び通気管（湧水槽等）	○					
	煙突工事（内部ライニング含む、コンクリート躯体）	○					
	煙突内部排水配管（目皿含む）			○			
	汲取便槽	○					
同上煙突	身障者用便所の手すり	○					
	照明付化粧鏡への電源接続工事				○		
	空調機の間接排水配管工事（トラップは機器工事）			○			
	屋上集熱器設備工事			○			
	電 気 工 事						

工 事 項 目	建築	空調	衛生	電気		
はり、床、壁の貫通スリーブ				○		
同上に伴なう補強	○					
天井埋込器具取付箇所のボード切込			○			
同上に伴なう下地補強	○					
壁埋込器具盤の仮枠又はボード切込				○		
同上に伴なう補強	○					
自立盤、トランス、発電気等のコンクリート基礎	○					
同上コンクリート基礎仕上	○					
発電気減圧水槽及び冷却水槽への給水管			○			
別途工事盤類の取付	○	○	○			
同上に伴なう二次側配管、配線	○	○	○			

工 事 項 目	建築	空調	衛生	電気		
別途工事機器への接続（直接接続に限る）				○		
回転方向等の確認				○		
照明器具、幹線等の吊りボルト用インサート				○		
身障者用便所使用灯、鍵運動装置取付				○		
同上に伴なう一・二次側配管、配線				○		
テレビアンテナマスト、避雷針等のコンクリート基礎	○					
同上 コンクリート基礎仕上	○					
配管類の防火区画貫通部の補修				○		
防火扉用レリーズの取付				○		
防火シャッター、防火垂壁用レリーズの取付	○					
防火ダンパー用レリーズの取付		○				
上記3項目に伴なう配管、配線				○		
防火シャッター警報ブザー用リミットスイッチ取付	○					
ファンコイルユニット用操作スイッチ取付及び配管、配線				○		
配線ビット	○					
同上用蓋	○					
電動暗幕装置	○					
同上電源接続及び操作スイッチ取付				○		

衛 生 工 事 関 係	工 事 項 目	建築	空調	衛生	電気		
大便器用箱入れ	同上用補強工事	○					
	大便器用箱入れ位置（墨出し）			○			
	消火栓ボックス用箱入れ（補修は除く）			○			
	同上用補強工事	○					
	高架水槽用架台			○			
	高架水槽用基礎（仕上共）	○					
	ステンレス製流し台（V．P管接続用トラップ含む）	○					
	同上流し排水管接続			○			
	造り付け各種流し台（人研・コンクリート等）	○					
	同上流し排水トラップ取付			○			
	洗濯機用パン（排水トラップ共）			○			
	グリーストラップ（既製品）			○			
	浴槽並びに風呂釜	○					
	ハロン消化設備（ガス圧ダンパー制御配管含む）			○			
	同上制御盤迄の1次側配線、配管（電源供給）				○		
	ハロン消火設備連動のファン等の停止回路				○		
化粧棚及び化粧鏡	消火ポンプ起動回路及び表示灯回路			○			
	消火栓ボックスの起動押ボタン及び表示灯取付並びに配線、配管				○		
	消火栓ボックスの取付			○			
	非水洗及び簡易水洗の便器	○					
	同上用紙巻器（取付具）			○			
	簡易水洗便器の止水栓（器具接続迄）			○			

昇 降 機 工 事 関 係	工 事 項 目	建築	空調	衛生	電気		
昇降機械室床軽量コンクリート仕上並びにスラブ開口及び補強工事	乗場廻り（扉、三方枠）、仮枠	○					
	同上補修	○					
	同上補修後の仕上工事	○					
	乗場数居持出コンクリート工事	○					
	荷揚用フック取付工事	○					
	昇降機中間ビームの取付（鋼構造の場合）						
	レール取付用ブラケット、プレート共	○					

凡 例		改修対象範囲		 株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 浩	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/400 A3:1/800	No. A-12	
					図面名	設計概要・敷地案内図・全体配置図	令和8年2月		
						宗像市 建築課			

【外部 仕上表】														
雨樋	縦樋	改修前	硬質塩化ビニル角パイPVP 75×125	【撤去】	掘込み物	改修前	ステンレス製FB曲加工	【撤去】	外構	敷地内 舗装	改修前	アスファルト舗装、その他	【撤去】	
			硬質塩化ビニル角VP 50φ	【改修】		改修前	ステンレス製FB曲加工 (50φ・100φ)	【改修】		改修後	アスファルト舗装、その他	【改修】		
			硬質塩化ビニル角VP 100φ	【改修】		改修後	ステンレス製 (SUS304)	【新設】		植栽	改修前	樹木	【撤去】	
			SUS製 60×120	【既存のまま】			ステンレス製FB曲加工 (50φ・100φ)	【VP塗装】			改修後			
		改修後	硬質塩ビ製VP管125φ (カラー)	【新設】	軒天 (堅樋部のみ)	改修前	ケイ酸カルシウム板t=6.0 EP-G塗装 (塩ビ製縁共) ×1	【撤去】						
			硬質塩化ビニル角VP 50φ	【VP塗装】		改修後	ケイ酸カルシウム板t=6.0 EP-G塗装 (塩ビ製縁共) ×1 ※既設仕様 (有孔板又は無孔板) に合わせる	【新設】						
			硬質塩化ビニル角VP 100φ	【VP塗装】										
			SUS製 60×120	【既存のまま】										

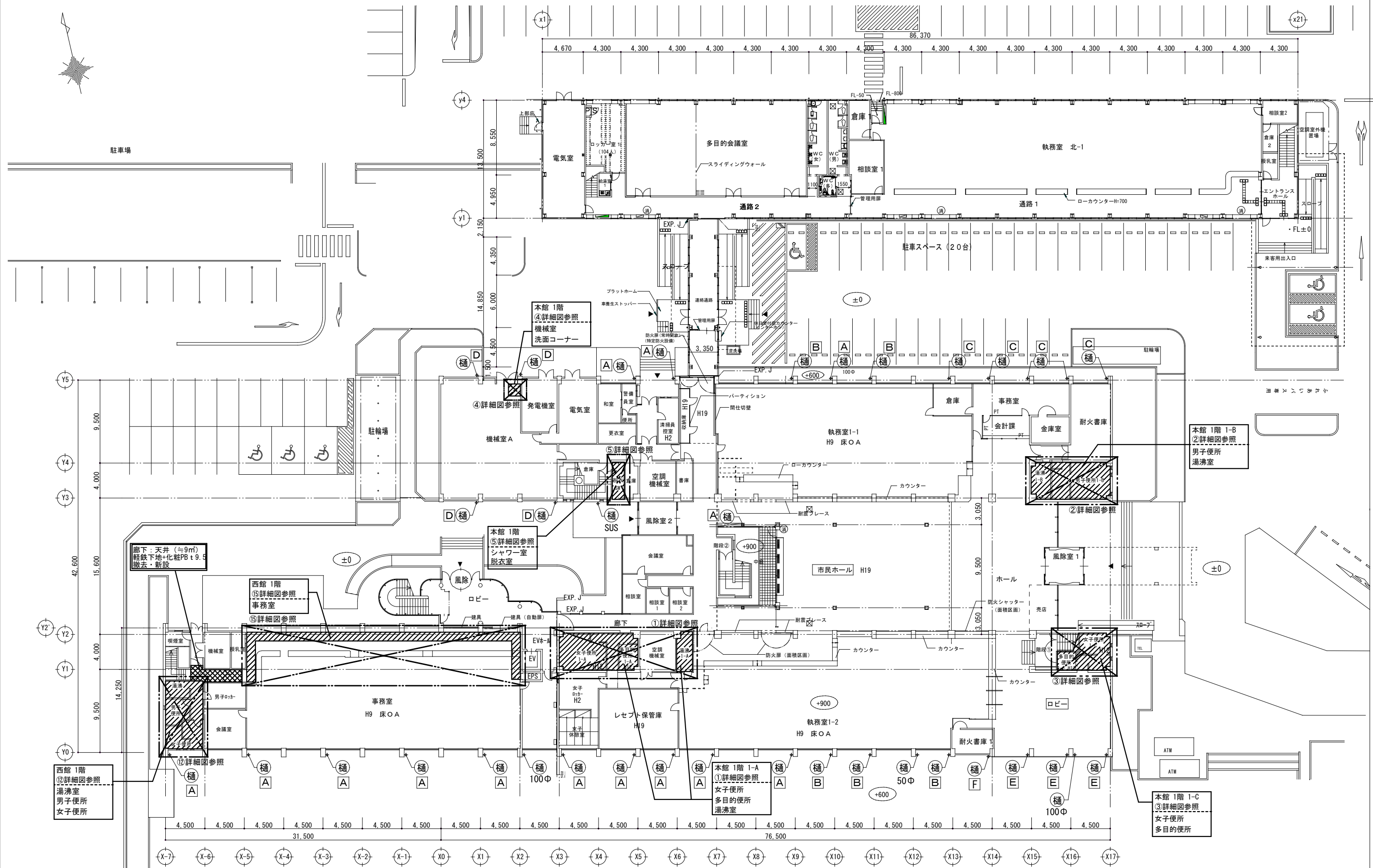
【内部 仕上表】本館															
	階	室 名		床		巾 木		壁			天 井		天井高	廻縁	備 考
				下 地	仕 上	仕 上	下 地	仕 上	仕 上		下 地	仕 上			
本館	1F	廊下 (執務室1-2側)	既存 改修後	RC	長尺ビニルシート t=2.2 【既存のまま】	ビニル巾木 H=60 【既存のまま】	RC, LGS下地 【既存のまま】	モルタル金縷 VE 【既存のまま】	LGS下地 【一部撤去】 LGS下地 【一部新設】	ミネラートン張り石膏ボードt=9 捨張り 【一部撤去】 化粧石膏ボードt=9.5mm 【一部新設】	2300	塩ビ 【一部撤去】 塩ビ 【一部新設】			天井点検口 450角 【新設】
		湯沸1-A	既存 改修後	RC	長尺ビニルシート貼りt=2.5 目地溶接 【一部撤去】 長尺ビニルシートt=2.0 【一部新設】	100角半磁器タイル 【既存のまま】 ビニル巾木 H=60 【一部撤去】	RC, LGS下地 【既存のまま】	流し台前: 100角半磁器タイル貼り モルタル金縷 VE 【既存のまま】	LGS下地 【撤去】	アスベストラックスt=6 目透張り (V目地) AEP 【撤去】 化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】	2300	塩ビ 【撤去】 塩ビ 【新設】		流し台 L=1000、吊戸棚L=1100 (H500+400×D400, 300) コンロ台1100×600 フード L1100xD550xH500 (設備工事)、天井点検口×1 サイン・切り文字50角x3文字、消火器×1、 キッチン (流し台・IH2口仕様) L2100・吊戸棚・水切棚 レンジフード (設備工事)・給湯器 (設備工事) 天井点検口 450角 【撤去】 【既存のまま】 【新設】 【新設】	
		廊下 1-A	既存 改修後	RC	長尺ビニルシート t=2.2 【既存のまま】	ビニル巾木 H=60 【既存のまま】	RC, LGS下地 【既存のまま】	PB t=12.5 (GL工法) の上 ビニールクロス貼 【既存のまま】	LGS下地 【既存のまま】	当緯吸音板 t=12 【既存のまま】	2250	塩ビ 【既存のまま】		ビクトサイン、床下点検口 【既存のまま】	
		女子便所 1-A	既存 改修後	RC	長尺ビニルシート t=2.2 【一部撤去】 長尺ビニルシート t=2.0 【一部新設】 ※設備床: 壁管孔20φ 無収縮モルタル充填 【新設】	ビニル巾木 H=60 【一部撤去】 ビニル巾木 H=60 【一部新設】	RC, LGS下地 【一部改修】	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0 【一部改修】 一部開口塞ぎ: メラミン化粧板t=3.0 上貼り 【一部改修】	LGS下地 【撤去】 LGS下地 【新設】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP 【撤去】 化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】	2300	塩ビ 【撤去】 塩ビ 【新設】		ビクトサイン、床下点検口 【既存のまま】	
		パウダーコーナー 1-A リフレッシュコーナー 1-A	既存 改修後	RC	長尺ビニルシート t=2.2 【既存のまま】	ビニル巾木 H=60 【既存のまま】	RC, LGS下地 【既存のまま】	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0 【既存のまま】	LGS下地 【撤去】 LGS下地 【新設】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP 【撤去】 化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】	2300	塩ビ 【撤去】 塩ビ 【新設】		パウダーカウンター、手洗いカウンター、鏡 【既存のまま】	
		多目的便所 1-A	既存 改修後	RC	長尺ビニルシート t=2.2 【一部撤去】 長尺ビニルシート t=2.0 【一部新設】	大理石 H=60 【既存のまま】	RC, LGS下地 【既存のまま】	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0 【既存のまま】	LGS下地 【撤去】 LGS下地 【新設】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP 【撤去】 化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】	2300	塩ビ 【撤去】 塩ビ 【新設】		ビクトサイン、ペビーシート、ペビーチェア 【既存のまま】	
		湯沸1-B	既存 改修後	RC	タイル張り 床用100×200 樹脂同等级品 【一部撤去】 長尺ビニルシートt=2.0 【一部新設】	100角半磁器タイル 【既存のまま】 ビニル巾木 H=60 【一部撤去】 100角半磁器タイル 【一部新設】 ビニル巾木 H=60 【一部新設】	RC, LGS下地 【既存のまま】	流し台前: 100角半磁器タイル貼り モルタル金縷 VE 【既存のまま】 流し台廻り: モルタル補修の上 キッチンパネル 【新設】	LGS下地 【撤去】 LGS下地 【新設】	アスベストラックスt=6 目透張り (V目地) AEP 【撤去】 化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】	2300	塩ビ 【撤去】 塩ビ 【新設】		流し台 L=1500、吊戸棚L=1500 (H500+400×D400, 300) コンロ台600×6002台、 フードL1200xD500xH600 (設備工事)、天井点検口×1 サイン・切り文字50角x3文字、消火器×1 床下点検口×1 壁点検口SD×1 キッチン (流し台・IH2口仕様) L2100・吊戸棚・水切棚 レンジフード (設備工事)・給湯器 (設備工事) 天井点検口 450角 【撤去】 【撤去】 【既存のまま】 【新設】 【新設】	
		男子便所 1-B	既存 改修後	RC	長尺ビニルシート t=2.2 【一部撤去】 長尺ビニルシート t=2.0 【一部新設】 ※設備床: 壁管孔20φ 無収縮モルタル充填 【新設】	大理石 H=60 【既存のまま】	RC, LGS下地 【既存のまま】	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0 【既存のまま】	LGS下地 【撤去】 LGS下地 【新設】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP 【撤去】 化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】	2300	塩ビ 【撤去】 塩ビ 【新設】		床下点検口 【既存のまま】	
		リフレッシュコーナー 1-B	既存 改修後	RC	長尺ビニルシート t=2.2 【既存のまま】	大理石 H=60 【既存のまま】	RC, LGS下地 【既存のまま】	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0 【既存のまま】	LGS下地 【新設】 LGS下地 【新設】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP 【撤去】 化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】	2300	塩ビ 【撤去】 塩ビ 【新設】		ビクトサイン、手洗いカウンター、鏡 【既存のまま】	
		女子便所 1-C	既存 改修後	RC	長尺ビニルシート t=2.2 【一部撤去】 長尺ビニルシート t=2.0 【一部新設】 ※設備床: 壁管孔20φ 無収縮モルタル充填 【新設】	大理石 H=60 【既存のまま】	RC, LGS下地 【既存のまま】	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0 【一部改修】 一部開口塞ぎ: メラミン化粧板t=3.0 上貼り 【一部改修】	LGS下地 【既存のまま】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP 【撤去】 【既存のまま】	2300	塩ビ 【既存のまま】		ペビーチェア、姿見鏡、床下点検口 【既存のまま】	
		パウダーコーナー 1-C	既存 改修後	RC	長尺ビニルシート t=2.2 【既存のまま】	大理石 H=60 【既存のまま】	RC, LGS下地 【既存のまま】	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0 【既存のまま】	LGS下地 【既存のまま】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP 【撤去】 【既存のまま】		塩ビ 【既存のまま】		手洗いカウンター、鏡、ビクトサイン、ペビーチェア 【既存のまま】	
		多目的便所 1-C	既存 改修後	RC	長尺ビニルシート t=2.2 【一部撤去】 長尺ビニルシート t=2.0 【一部新設】 ※設備床: 壁管孔20φ 無収縮モルタル充填 【新設】	大理石 H=60 【既存のまま】	RC, LGS下地 【既存のまま】	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0 【既存のまま】	LGS下地 【既存のまま】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP 【撤去】 【既存のまま】	2300	塩ビ 【既存のまま】		ビクトサイン、ペビーシート、床下点検口 【既存のまま】	
		掃除具入れ1-C	既存 改修後	RC	VP塗装 【既存のまま】	———— ————	RC	モルタル金縷仕上げ (一部耐水PBt=9.5 VP) 【既存のまま】		コンクリート打放し 素地 (改修なし) 【既存のまま】	直天				
		シャワー室	既存 改修後	RC	25mm角磁器モザイクタイル貼り 25 【撤去】 ————	———— ————	RC	100角半磁器タイル貼り 25 【撤去】 ————	LGS下地 【撤去】	アスベストラックスt=6 目透張り 【撤去】	2300	塩ビ 【撤去】		シャワーユニット 【新設】	
		脱衣	既存 改修後	RC	桧縁甲板張りt=15 【撤去】 踏込 ビニル系タイル貼り t=2.0 25 【撤去】 長尺ビニルシート t=2.0 【新設】 踏込・階段・置床の上 長尺ビニルシートt=2.0 【新設】	木製SOP H=60 【撤去】 ビニル巾木 H=60 【新設】	RC LGS下地 (一部) 【新設】	モルタル金縷 目地切り A E P 【撤去】 耐水石膏ボードt=12.5の上ビニールクロス貼り (水廻り用) 【新設】	LGS下地 【撤去】 LGS下地 【新設】	アスベストラックスt=6 目透張り 【撤去】 耐水石膏ボード t=9.5 EP-G塗装 【新設】	2480	塩ビ 【撤去】 塩ビ 【新設】		上り框、階段ノスリアップ、鏡 450×600 室名表示札 上り框、鏡 450×600 【撤去】 【既存のまま】 【新設】	
		機械室 A	既存 改修後	RC	モルタル金縷 目地切り 【既存のまま】	モルタル金縷 H=300 【既存のまま】	RC	ベニヤ型枠コンクリート打放し t=20 原色 吹付け 【既存のまま】		ベニヤ型枠コンクリート打放し 【既存のまま】	直天			手洗い器 撤去 (設備工事) 手洗い器 新設 (設備工事)	
	2F	2-A	湯沸2-A	既存 改修後	RC	長尺ビニルシート貼りt=2.5 目地溶接 【一部撤去】 長尺ビニルシート t=2.0 【一部新設】	100角半磁器タイル 【既存のまま】 ビニル巾木 H=60 【一部撤去】 100角半磁器タイル 【一部新設】 ビニル巾木 H=60 【一部新設】	RC, LGS下地 【既存のまま】	流し台前: 100角半磁器タイル貼り モルタル金縷 VE 【既存のまま】 流し台廻り: モルタル補修の上 キッチンパネル 【新設】	LGS下地 【撤去】 LGS下地 【新設】	アスベストラックスt=6 目透張り (V目地) AEP 【撤去】 化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】	2300	塩ビ 【撤去】 塩ビ 【新設】		流しL=1500、吊戸棚L=1500 (H500+400×D400, 300)、コンロ台600×600 2台 フードL1200xD550xH500 (設備工事)、天井点検口×1 壁点検口木製 W500×H1550 サイン・切り文字50角x3文字、消火器×1 キッチン (流し台・IH2口仕様) L2100・吊戸棚・水切棚 レンジフード (設備工事)・給湯器 (設備工事) 天井点検口 450角 【撤去】 【既存のまま】 【既存のまま】 【新設】 【新設】 【新設】

特記事項		囲んでいる箇所はアスベスト含有建材として取り扱うこと、 (アスベスト含有建材については、石棉障害予防規則等関係法令を遵守の上、除去、収集運搬、処分を行なうこと) ※・アスベスト調査箇所		株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	—	No. A-13		
		図面名			外部・内部仕上表 (1)	令和8年2月				
		床シート取合部: 既存床シートと新設床シートの継ぎ目は熱溶接とする			一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 堀井 潤 宗像市 建築課					

【内部 仕上表】本館																																																																																																																																																																																																																																																									
	階	室 名		床		巾 木		壁		天 井		天井高	廻縁	備 考																																																																																																																																																																																																																																											
				下 地	仕 上	仕 上	下 地	仕 上	下 地	仕 上																																																																																																																																																																																																																																															
本館	2F	廊下 2-A	既存	RC	長尺ビニルシート t=2.2	ビニル巾木 H=60	RC, LGS下地	PB t=12.5 (GL工法) の上 ビニルクロス貼	LGS下地	珪綿吸音板 t=12	2300	塩ビ	ビクトサイン、姿見鏡、掃除用シンク																																																																																																																																																																																																																																												
			改修後		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】																																																																																																																																																																																																																																															
		女子便所 2-A	既存	RC	長尺ビニルシート t=2.2	【一部撤去】	ビニル巾木 H=60	【一部撤去】	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0	【一部改修】	LGS下地	【撤去】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP	【撤去】	塩ビ	【撤去】	ビクトサイン、ペビーシート																																																																																																																																																																																																																																								
			改修後		長尺ビニルシート t=2.0	【一部新設】	ビニル巾木 H=60	【一部新設】	一部開口塞ぎ：メラミン化粧板t=3.0 上貼り	【一部改修】	【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り	【新設】	塩ビ	【新設】	【既存のまま】																																																																																																																																																																																																																																									
		パウダーコーナー 2-A リフレッシュコーナー 2-A	既存	RC	長尺ビニルシート t=2.2		ビニル巾木 H=60		RC, LGS下地	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0	LGS下地	【撤去】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP	【撤去】	2300	塩ビ	【撤去】	手洗いカウンター、鏡、ビクトサイン																																																																																																																																																																																																																																							
			改修後		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り	【新設】	【新設】	【既存のまま】	トイレブースTB-1【新設】																																																																																																																																																																																																																																										
		多目的便所 2-A	既存	RC	長尺ビニルシート t=2.2	【一部撤去】	ビニル巾木 H=60		RC, LGS下地	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0	LGS下地	【撤去】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP	【撤去】	2300	塩ビ	【撤去】	ビクトサイン、ペビーシート																																																																																																																																																																																																																																							
			改修後		長尺ビニルシート t=2.0	【一部新設】	【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】	LGS下地	【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り	【新設】	塩ビ	【新設】	【既存のまま】																																																																																																																																																																																																																																								
		来客用便所 2-A	既存	RC	ノンスリップビニルタイルt=2.0	【撤去】	ビニル巾木 H=60		RC, LGS下地	強化けい酸ガラス板の上ビニルクロス貼り	【一部撤去：クロスのみ】	LGS下地	【撤去】	アスベストラックスt=6 目透張り(V目地)AEP	2300	塩ビ		鏡、洗面カウンター																																																																																																																																																																																																																																							
			改修後		長尺ビニルシート t=2.0	【新設】	【既存のまま】		強化けい酸ガラス板の上ビニルクロス貼り	【一部新設：クロスのみ】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】	トイレブース【建具調整】																																																																																																																																																																																																																																								
	2-B	湯沸 2-B	既存	RC	長尺ビニルシート貼りt=2.5 目地溶接	【一部撤去】	100角半磁器タイル	【既存のまま】	RC, LGS下地	流し台前：100角半磁器タイル貼り	【既存のまま】	LGS下地	【撤去】	アスベストラックスt=6 目透張り(V目地)AEP	【撤去】	2300	塩ビ	【撤去】	流し L=1500、吊戸棚L=1500 (H500+400 x D400, 300) コンロ台600 x 600、																																																																																																																																																																																																																																						
							ビニル巾木 H=60	【一部撤去】		モルタル金鏝 VE	【既存のまま】						フード L600xD550xH500 (設備工事)、																																																																																																																																																																																																																																								
		改修後		長尺ビニルシート t=2.0	【一部新設】	ビニル巾木	【一部新設】		流し台廻り：モルタル補修の上 キッチンパネル	【新設】	LGS下地	【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り	【新設】	塩ビ	【新設】	サイン・切り文字50角x3文字、消火器 x 1																																																																																																																																																																																																																																								
																キッチン(流し台・IH2口仕様)L2100・吊戸棚・水切棚																																																																																																																																																																																																																																									
		男子便所 2-B	既存	RC	長尺ビニルシート t=2.2	【一部撤去】	ビニル巾木 H=60		RC, LGS下地	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0	【一部改修】	LGS下地	【撤去】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP	【撤去】	2300	塩ビ	【撤去】	レンジフード(設備工事)・給湯器(設備工事)																																																																																																																																																																																																																																						
			改修後		長尺ビニルシート t=2.0	【一部新設】	【既存のまま】		一部開口塞ぎ：メラミン化粧板t=3.0 上貼り	【一部改修】	LGS下地	【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り	【新設】			天井点検口 450角																																																																																																																																																																																																																																								
		リフレッシュコーナー 2-B	既存	RC	長尺ビニルシート t=2.2		ビニル巾木 H=60		RC, LGS下地	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0	LGS下地	【撤去】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP	【撤去】	2300	塩ビ	【新設】	手洗いカウンター、鏡、ビクトサイン																																																																																																																																																																																																																																							
			改修後		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】	LGS下地	【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り	【新設】		【既存のまま】																																																																																																																																																																																																																																									
	執務室2-2	既存	RC	OAフロアーH=50 タイルカーペット500 x 500 (雑モザイクパーケット張り ガシュ・ド・ム200#塗)		白ラワンAC H=60		RC, LGS下地	ビニルクロス貼り、下地：石膏ボードt=12+9 目透し張り	LGS下地	【一部撤去】	ミネラートン張り	【一部撤去】	2700	塩ビ	【一部撤去】																																																																																																																																																																																																																																									
		改修後		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		下地：モルタル金鏝 目地切り	【既存のまま】	LGS下地	【一部新設】	石膏ボードt=9 捨張り	【一部撤去】	塩ビ	【一部新設】																																																																																																																																																																																																																																										
3F	3-A	廊下 3-A	既存	RC	長尺ビニルシート t=2.2	ビニル巾木 H=60		RC, LGS下地	PB t=12.5 (GL工法) の上 ビニルクロス貼	LGS下地	【一部撤去】	ミネラートン張り 石膏ボードt=9 捨張り	【一部撤去】	2250	塩ビ		ビクトサイン、床下点検口																																																																																																																																																																																																																																								
			改修後		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	LGS下地	【一部新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm	【一部新設】	【既存のまま】	【既存のまま】																																																																																																																																																																																																																																											
		女子便所 3-A	既存	RC	長尺ビニルシート t=2.2	【一部撤去】	ビニル巾木 H=60	【一部撤去】	RC, LGS下地	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0	LGS下地	【撤去】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP	2300	塩ビ		ビクトサイン、床下点検口																																																																																																																																																																																																																																								
			改修後		長尺ビニルシート t=2.0	【一部新設】	ビニル巾木 H=60	【一部新設】	一部開口塞ぎ：メラミン化粧板t=3.0 上貼り	【一部改修】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】																																																																																																																																																																																																																																										
	パウダーコーナー 3-A リフレッシュコーナー 3-A	既存	RC	長尺ビニルシート t=2.2		ビニル巾木 H=60		RC, LGS下地	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0	LGS下地	【撤去】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP	2300	塩ビ		パウダーカウンター、手洗いカウンター、鏡																																																																																																																																																																																																																																									
		改修後		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】																																																																																																																																																																																																																																										
	多目的便所 3-A	既存	RC	長尺ビニルシート t=2.2	【一部撤去】	ビニル巾木 H=60	【一部撤去】	RC, LGS下地	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0	LGS下地	【撤去】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP	2300	塩ビ		ビクトサイン、ペビーシート、ペビーチェア																																																																																																																																																																																																																																									
		改修後		長尺ビニルシート t=2.0	【一部新設】	ビニル巾木 H=60	【一部新設】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】			【既存のまま】																																																																																																																																																																																																																																										
	3-B	湯沸 3-B	既存	RC	長尺ビニルシート貼りt=2.5 目地溶接	【一部撤去】	100角半磁器タイル	【既存のまま】	RC, LGS下地	流し台前：100角半磁器タイル貼り	【既存のまま】	LGS下地	【撤去】	アスベストラックスt=6 目透張り(V目地)AEP	【撤去】	2300	塩ビ	【撤去】	流し台 L=1500、吊戸棚L=1500 (H500+400 x D400, 300) コンロ台600 x 600 2台、																																																																																																																																																																																																																																						
							ビニル巾木 H=60	【一部撤去】		モルタル金鏝 VE	【既存のまま】						フード L1200xD500xH600 (設備工事)、天井点検口 x 1、																																																																																																																																																																																																																																								
改修後			長尺ビニルシート t=2.0	【一部新設】	ビニル巾木	【一部新設】		流し台廻り：モルタル補修の上 キッチンパネル	【新設】	LGS下地	【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り	【新設】	2300	塩ビ	【新設】	壁点検口SD x 1、サイン・切り文字50角x3文字、消火器 x 1																																																																																																																																																																																																																																								
															キッチン(流し台・IH2口仕様)L2100・吊戸棚・水切棚																																																																																																																																																																																																																																										
男子便所 3-B		既存	RC	長尺ビニルシート t=2.2		ビニル巾木 H=60		RC, LGS下地	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0	LGS下地	【撤去】	けい酸カルシウム板t=6.0 VP	2300	塩ビ		床下点検口																																																																																																																																																																																																																																									
		改修後		長尺ビニルシート t=2.0	【一部新設】	【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】																																																																																																																																																																																																																																									
リフレッシュコーナー 3-B	既存	RC	長尺ビニルシート t=2.2		ビニル巾木 H=60		RC, LGS下地	耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 メラミン化粧板張りt=3.0	【一部改修】	LGS下地	【撤去】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り	2300	塩ビ		ビクトサイン、手洗いカウンター、鏡																																																																																																																																																																																																																																									
	改修後		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		一部開口塞ぎ：メラミン化粧板t=3.0 上貼り	【一部改修】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】																																																																																																																																																																																																																																										
3-C	湯沸 3-C	既存	RC	長尺ビニルシート貼りt=2.5 目地溶接	【一部撤去】	100角半磁器タイル	【既存のまま】	RC, LGS下地	流し台前：100角半磁器タイル貼り	【既存のまま】	LGS下地	【撤去】	アスベストラックスt=6 目透張り(V目地)AEP	【撤去】	2300	塩ビ	【撤去】	流し L=1000、吊戸棚L=1500 (H500+400 x D400, 300)、コンロ台600 x 600																																																																																																																																																																																																																																							
						ビニル巾木 H=60	【一部撤去】		モルタル金鏝 VE	【既存のまま】						フード L1200xD550xH500 (設備工事)、天井点検口 x 1																																																																																																																																																																																																																																									
		改修後		長尺ビニルシート t=2.0	【一部新設】	ビニル巾木	【一部新設】		流し台廻り：モルタル補修の上 キッチンパネル	【新設】	LGS下地	【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り	【新設】	2300	塩ビ	【新設】	壁点検口木製 W500 x H1550																																																																																																																																																																																																																																							
																サイン・切り文字50角x3文字、消火器 x 1																																																																																																																																																																																																																																									
	洗面コーナー 3-C	既存	RC	ビニル系タイル貼りt=2.0		ビニル巾木 H=60		RC, LGS下地	アスベストラックスt=6 目透張り(V目地)AEP	LGS下地	【撤去】	アスベストラックスt=6 目透張り(V目地)AEP	2300	塩ビ		手洗いカウンター、鏡																																																																																																																																																																																																																																									
		改修後		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】																																																																																																																																																																																																																																									
	議会事務局	既存	RC	モザイクパーケット貼り	【既存のまま】	ビニル巾木 H=60		RC, LGS下地	アスベストラックスt=6 目透張り(V目地)AEP	LGS下地		アスベストラックスt=6 目透張り(V目地)AEP	2700	塩ビ																																																																																																																																																																																																																																											
		改修後		置床の上 下地2枚貼り	【一部改修】	【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】																																																																																																																																																																																																																																										
議長室 洗面コーナー	既存	RC	ジュウタン敷き(毛足7mm) フェルト下地		ビニル巾木 H=60		RC, LGS下地	マヨ練付ベニヤ目透張り AC ミネート張り 石膏ボードt=9 (捨張り)	LGS下地		アスベストラックスt=6 目透張り(V目地)AEP	2700	塩ビ		手洗いカウンター、鏡																																																																																																																																																																																																																																										
	改修後		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】																																																																																																																																																																																																																																										
副議長室 洗面コーナー	既存	RC	ジュウタン敷き(毛足7mm) フェルト下地		ビニル巾木 H=60		RC, LGS下地	マヨ練付ベニヤ目透張り AC ミネート張り 石膏ボードt=9 (捨張り)	LGS下地		アスベストラックスt=6 目透張り(V目地)AEP	2700	塩ビ		手洗いカウンター、鏡																																																																																																																																																																																																																																										
	改修後		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り		【一部新設】	【既存のまま】	【既存のまま】																																																																																																																																																																																																																																										
特記事項																																																																																																																																																																																																																																																									

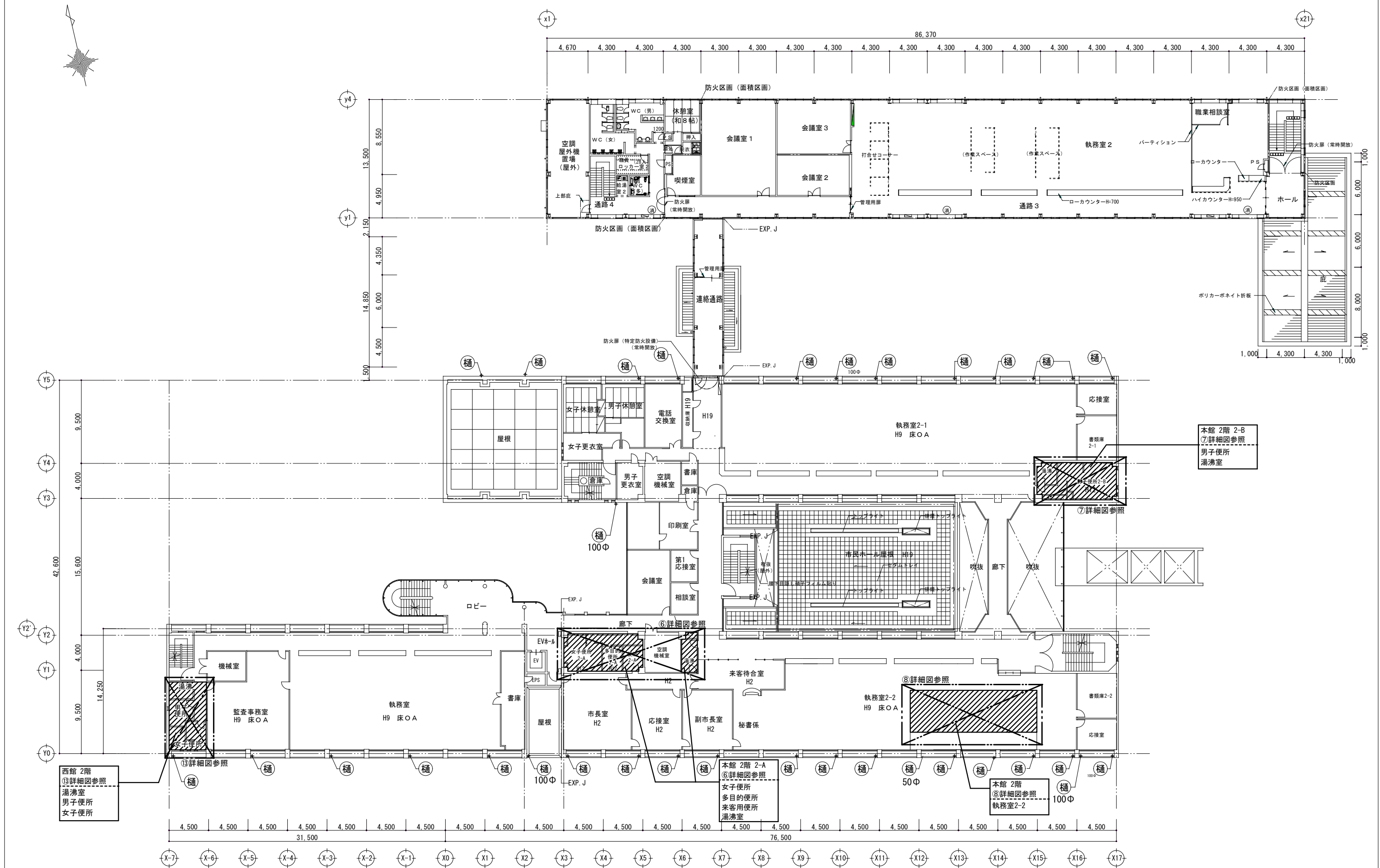
【内部 仕上表】西館																												
	階	室 名			床		巾 木		壁		天 井				備 考													
					下 地	仕 上	仕 上	下 地	仕 上	下 地	仕 上	天井高	廻縁															
西 館	1F	事務室	既存 改修後	RC	カーベツトタイル 【既存のまま】		白ラワン(OL) 【既存のまま】	RC, LGS下地 【既存のまま】	PB [※] ・ド [※] の上 VP塗装 【既存のまま】	LGS下地 【一部撤去】 LGS下地 【一部新設】	岩綿吸音板 【一部撤去】 化粧石膏ボードt=9.5mm 【一部新設】	3800	塩ビ 【一部撤去】 塩ビ 【一部新設】	天井点検口 450角 【新設】														
		湯沸	既存	RC	ノンスリップビニルタイルt=2.0 【一部撤去】	ビニル巾木 H=60 【一部撤去】	RC, LGS下地	繊維強化けい酸カルシウム板t=8 VP 【既存のまま】 一部磁器タイル (50×50.45二丁) 模様張り 【既存のまま】	LGS下地 【撤去】	けい酸カルシウム板t=4 目透し張りVP 【撤去】	2300	塩ビ 【撤去】	流し台L=1500、吊戸棚L=1500 (H500×400×D400,300)、コンロ台600×600 2台 【撤去】 フードL1200xD500xH600 (設備工事)、天井点検口×1 【撤去】 壁点検口SD×1、床下点検口×1 【既存のまま】 サイン・切り文字50角x3文字、消火器×1 【既存のまま】															
			改修後		長尺ビニルシートt=2.0 【一部新設】	ビニル巾木 H=60 【一部新設】		流し台廻り:モルタル補修の上 キッチンパネル 【新設】	LGS下地 【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】		塩ビ 【新設】	キッチン(流し台・IH2口仕様)L1800・吊戸棚・水切棚 【新設】 レンジフード (設備工事)・給湯器 (設備工事) 【新設】 天井点検口 450角 【新設】															
		男子便所	既存	RC	50x50磁器質タイル模様貼り 【一部撤去】【清掃】	――	RC	200×100陶器質デザインタイル	LGS下地 【撤去】	けい酸カルシウム板t=4 目透し張りVP 【撤去】	2300	塩ビ 【撤去】	手洗いカウンター、 鏡、天井点検口 【既存のまま】 【撤去】															
			改修後		長尺ビニルシートt=2.0 【一部新設】	ビニル巾木 H=60 【一部新設】		【既存のまま】	LGS下地 【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】		塩ビ 【新設】	鏡、天井点検口 【新設】 トイレブースTB-1 【新設】															
		女子便所	既存	RC	50x50磁器質タイル模様貼り 【一部撤去】【清掃】	――	RC コンクリートブロック 【一部撤去】	200×100陶器質デザインタイル 【一部撤去】	LGS下地 【撤去】	けい酸カルシウム板t=4 目透し張りVP 【撤去】	2300	塩ビ 【撤去】	手洗いカウンター、床下点検口 鏡、天井点検口 【既存のまま】 【撤去】															
			改修後		長尺ビニルシートt=2.0 【一部新設】	ビニル巾木 H=60 【一部新設】	LGS65下地 【一部新設】	石膏 [※] ・ド [※] t=12.5、ケイ酸t=6.0 EP-G塗 【一部新設】	LGS下地 【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】		塩ビ 【新設】	トイレブースTB-2 【新設】 鏡、天井点検口 【新設】															
	2F	湯沸	既存	RC	ノンスリップビニルタイルt=2.0 【一部撤去】	ビニル巾木 H=60 【一部撤去】	RC, LGS下地	繊維強化けい酸カルシウム板t=8 VP 【既存のまま】 一部磁器タイル (50×50.45二丁) 模様張り 【既存のまま】	LGS下地 【撤去】	けい酸カルシウム板t=4 目透し張りVP 【撤去】	2300	塩ビ 【撤去】	流し台L=1500、吊戸棚L=1500 (H500×400×D400,300)、コンロ台600×600 2台 【撤去】 フードL1200xD500xH600 (設備工事)、天井点検口×1 【撤去】 壁点検口SD×1、床下点検口×1 【既存のまま】 サイン・切り文字50角x3文字、消火器×1 【既存のまま】															
			改修後		長尺ビニルシートt=2.0 【一部新設】	ビニル巾木 H=60 【一部新設】		流し台廻り:モルタル補修の上 キッチンパネル 【新設】	LGS下地 【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】		塩ビ 【新設】	キッチン(流し台・IH2口仕様)L1800・吊戸棚・水切棚 【新設】 レンジフード (設備工事)・給湯器 (設備工事) 【新設】 天井点検口 450角 【新設】															
		男子便所	既存	RC	50x50磁器質タイル模様貼り 【一部撤去】【清掃】	――	RC	200×100陶器質デザインタイル	LGS下地 【撤去】	けい酸カルシウム板t=4 目透し張りVP 【撤去】	2300	塩ビ 【撤去】	手洗いカウンター、 鏡、天井点検口 【既存のまま】 【撤去】															
			改修後		長尺ビニルシートt=2.0 【一部新設】	ビニル巾木 H=60 【一部新設】		【既存のまま】	LGS下地 【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】		塩ビ 【新設】	鏡、天井点検口 【新設】 トイレブースTB-1 【新設】															
		女子便所	既存	RC	50x50磁器質タイル模様貼り 【一部撤去】【清掃】	――	RC コンクリートブロック 【一部撤去】	200×100陶器質デザインタイル 【一部撤去】	LGS下地 【撤去】	けい酸カルシウム板t=4 目透し張りVP 【撤去】	2300	塩ビ 【撤去】	手洗いカウンター 鏡、天井点検口 【既存のまま】 【撤去】															
			改修後		長尺ビニルシートt=2.0 【一部新設】	ビニル巾木 H=60 【一部新設】	LGS65下地 【一部新設】	石膏 [※] ・ド [※] t=12.5、ケイ酸t=6.0 EP-G塗 【一部新設】	LGS下地 【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】		塩ビ 【新設】	トイレブースTB-2 【新設】 鏡、天井点検口 【新設】															
		3F	湯沸	既存	RC	ノンスリップビニルタイルt=2.0 【一部撤去】	ビニル巾木 H=60 【一部撤去】	RC, LGS下地	繊維強化けい酸カルシウム板t=8 VP 【既存のまま】 一部磁器タイル (50×50.45二丁) 模様張り 【既存のまま】	LGS下地 【撤去】	けい酸カルシウム板t=4 目透し張りVP 【撤去】	2300	塩ビ 【撤去】	流し台L=1500、吊戸棚L=1500 (H500×400×D400,300)、コンロ台600×600 2台 【撤去】 フードL1200xD500xH600 (設備工事)、天井点検口×1、 【撤去】 壁点検口SD×1、床下点検口×1 【既存のまま】 サイン・切り文字50角x3文字、消火器×1 【既存のまま】														
	改修後				長尺ビニルシートt=2.0 【一部新設】	ビニル巾木 H=60 【一部新設】		流し台廻り:モルタル補修の上 キッチンパネル 【新設】	LGS下地 【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】	塩ビ 【新設】		キッチン(流し台・IH2口仕様)L1800・吊戸棚・水切棚 【新設】 レンジフード (設備工事)・給湯器 (設備工事) 【新設】 天井点検口 450角 【新設】															
	男子便所		既存	RC	50x50磁器質タイル模様貼り 【一部撤去】【清掃】	――	RC	200×100陶器質デザインタイル	LGS下地	けい酸カルシウム板t=4 目透し張りVP 【撤去】	2300	塩ビ	手洗いカウンター、 鏡、天井点検口 【既存のまま】 【撤去】															
			改修後		長尺ビニルシートt=2.0 【一部新設】	ビニル巾木 H=60 【一部新設】		【既存のまま】		【既存のまま】		【既存のまま】	鏡、天井点検口 【新設】 トイレブースTB-1 【新設】															
	女子便所		既存	RC	50x50磁器質タイル模様貼り 【一部撤去】【清掃】	――	RC コンクリートブロック 【一部撤去】	200×100陶器質デザインタイル 【一部撤去】	LGS下地 【撤去】	けい酸カルシウム板t=4 目透し張りVP 【撤去】	2300	塩ビ 【撤去】	手洗いカウンター 鏡、天井点検口 【既存のまま】 【撤去】															
			改修後		長尺ビニルシートt=2.0 【一部新設】	ビニル巾木 H=60 【一部新設】	LGS65下地 【一部新設】	石膏 [※] ・ド [※] t=12.5、ケイ酸t=6.0 EP-G塗 【一部新設】	LGS下地 【新設】	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り 【新設】		塩ビ 【新設】	トイレブースTB-2 【新設】 鏡、天井点検口 【新設】															
特記事項																												
囲んでいる箇所はアスベスト含有建材として取り扱うこと、 (アスベスト含有建材については、石綿障害予防規則等関係法令を遵守の上、除去、収集運搬、処分を行なうこと) ※・アスベスト調査箇所										株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 堀井 潤	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事			―	No.												
床シート取合部：既存床シートと新設床シートの継ぎ目は熱溶接とする											図面名	内部仕上表 (3)			令和8年2月	A-15												
											宗像市 建築課																	

1 階平面図



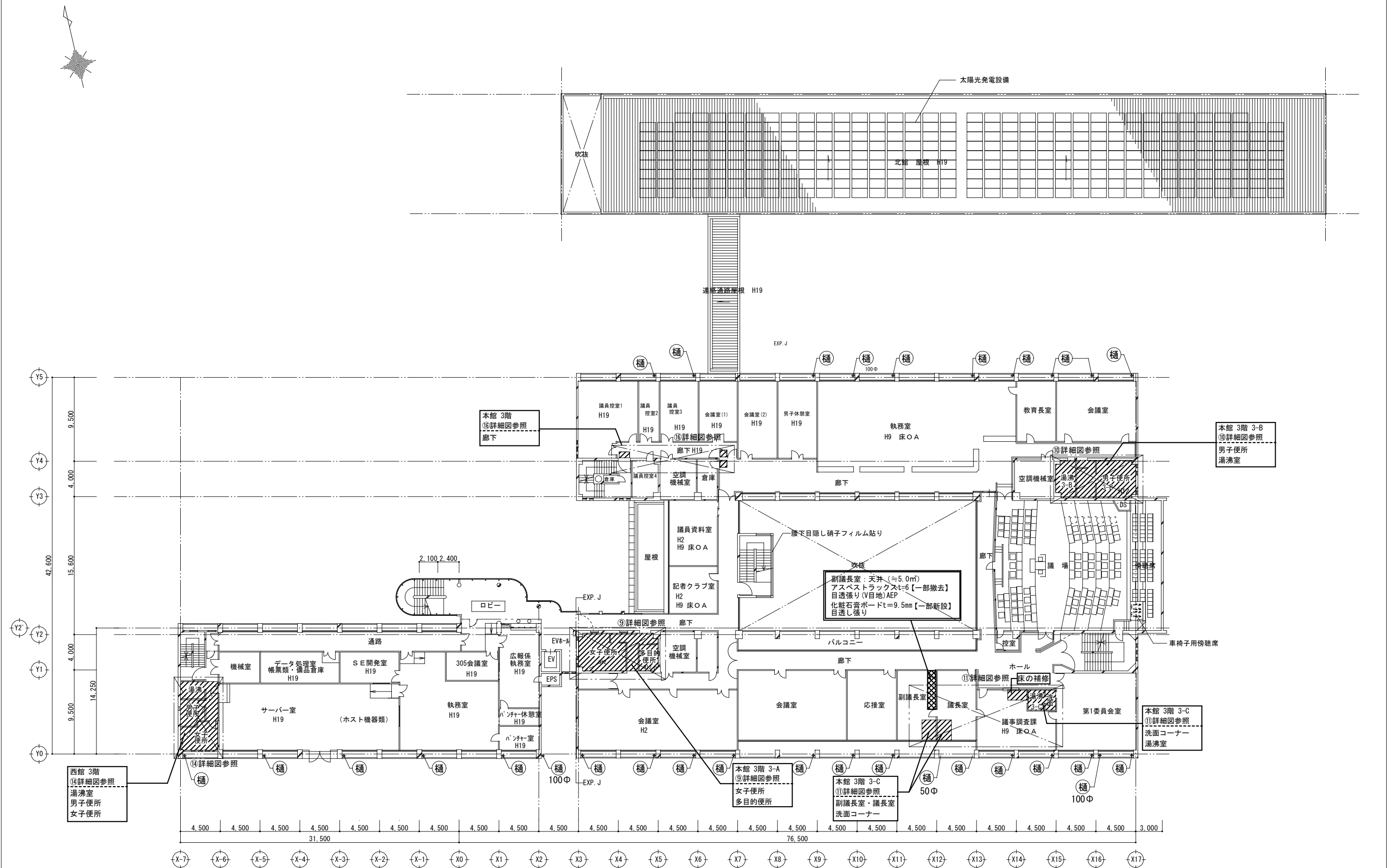
凡 例		改修対象範囲	 SUS	SUS製 60×120	 株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/200 A3:1/400	No. A-16	
		硬質塩化ビニール角パイプVP 75×125	 A~F	A-41:外部 部分詳細図(壁樋) 参照		 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤	図面名	1階平面図		令和8年2月
		硬質塩化ビニル 50Φ		天井のみ改修対象範囲			宗像市 建築課			
		硬質塩化ビニル 100Φ								

2階平面図

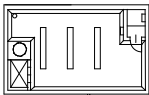


凡 例		改修対象範囲		SUS	SUS製 60×120	 株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO	工事名 市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/200 A3:1/400	No. A-17		
		硬質塩化ビニール角パイプVP 75×125								図面名 2階平面図	令和8年2月
		硬質塩化ビニル 50Φ									
		硬質塩化ビニル 100Φ									
	硬質塩化ビニル 100Φ				宗像市 建築課						
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤											

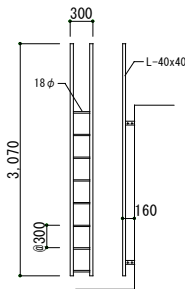
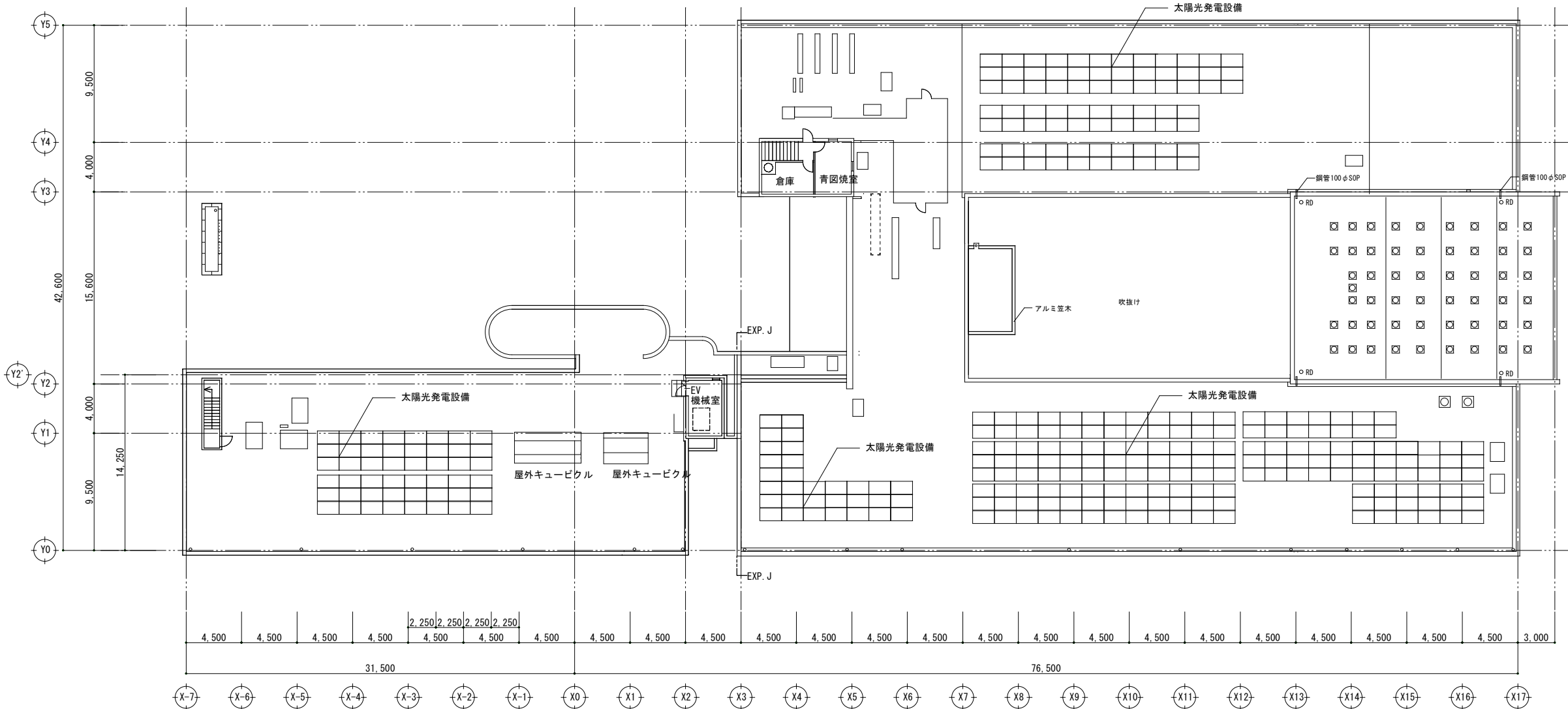
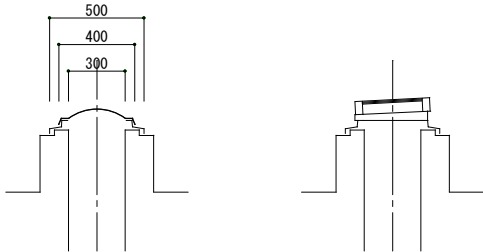
3 階平面図



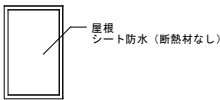
凡 例		改修対象範囲	 SUS	SUS製 60×120	 株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/200 A3:1/400	No. A-18	
		硬質塩化ビニール角パイプVP 75×125		天井のみ改修対象範囲		図面名	3階平面図	令和8年2月		
	 50φ	硬質塩化ビニール 50φ					一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤 宗像市 建築課			
	 100φ	硬質塩化ビニール 100φ								



倉庫・青図焼室 屋根伏図

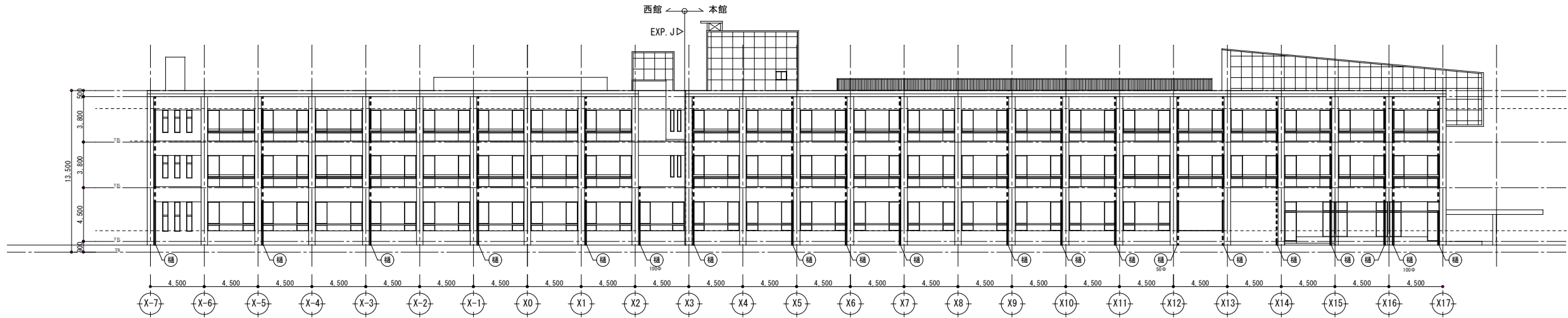


トラップ詳細 1/50

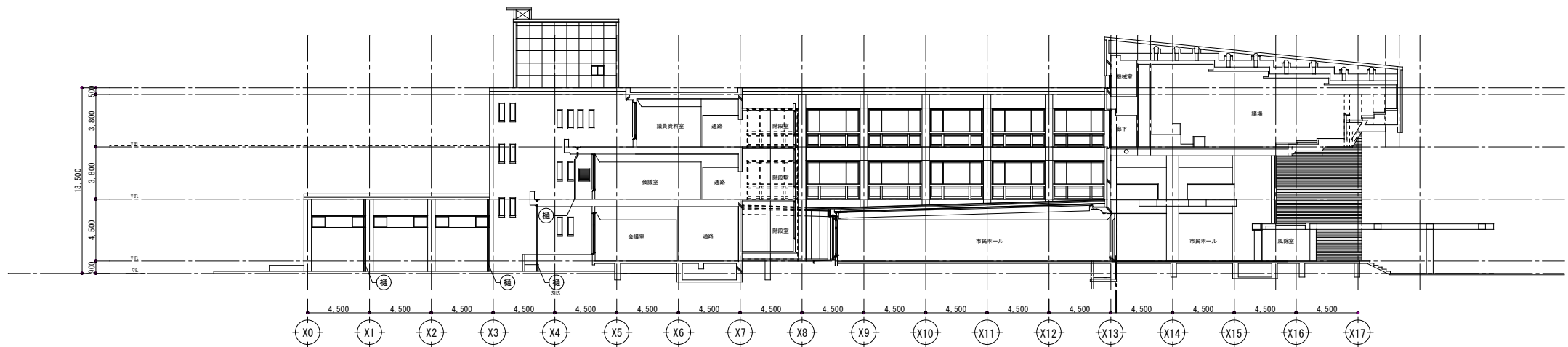


機械室屋根伏図

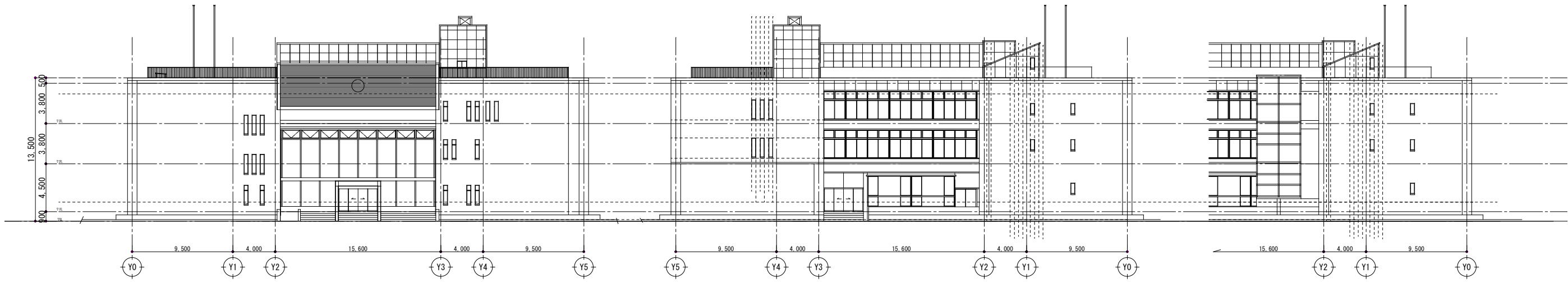
凡 例		改修対象範囲		 株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/200 A3:1/400	No. A-19	
					図面名	R階平面図	令和8年2月		
					宗像市 建築課				



南側立面図-1 1/200



南側立面図-2 1/200



東側立面図 1/200

西側立面図-1 1/200

西側立面図-2 1/200

【凡例】		記号	改修前	改修後
雨樋	縦樋	(横)	硬質塩化ビニール角パイプVP 75×125	【撤去】 硬質塩化ビニール角パイプVP 75×125 (カラー)
		(横)	硬質塩化ビニール 50φ	【改修】 硬質塩化ビニール 50φ
		(横)	硬質塩化ビニール 100φ	【改修】 硬質塩化ビニール 100φ
		(横)	SUS製 60×120	【既存のまま】 SUS製 60×120
雨樋	横樋	(横)	ステンレス製FB曲加工	【撤去】 ステンレス製 (SUS304)
		(横)	ステンレス製FB曲加工	【SOP塗装】 ステンレス製FB曲加工
		(横)	ステンレス製FB曲加工	【既存のまま】 ステンレス製FB曲加工
		(横)	ステンレス製FB曲加工	【既存のまま】 ステンレス製FB曲加工



株式会社 蟻ノ塔設計事務所
ARCHITECT OFFICE ARINOTO

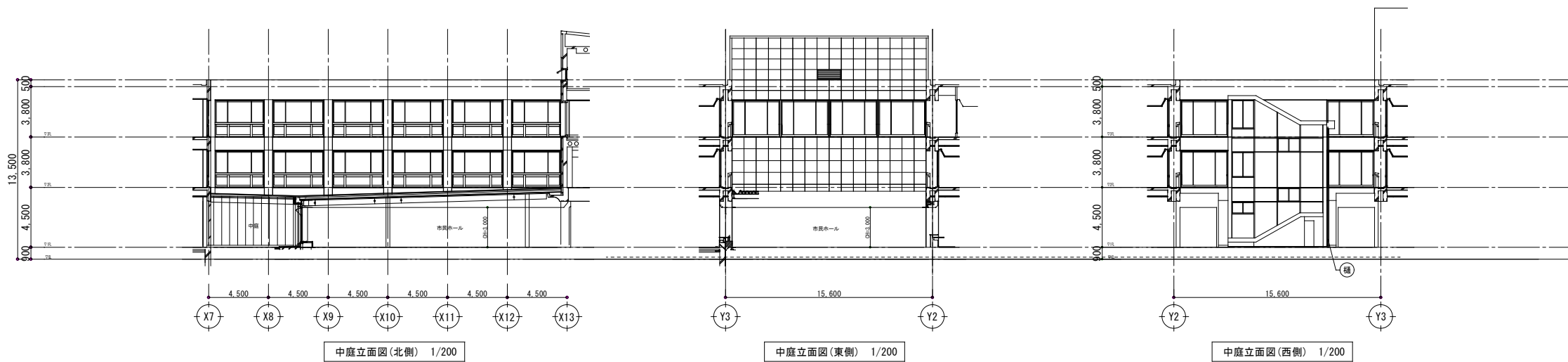
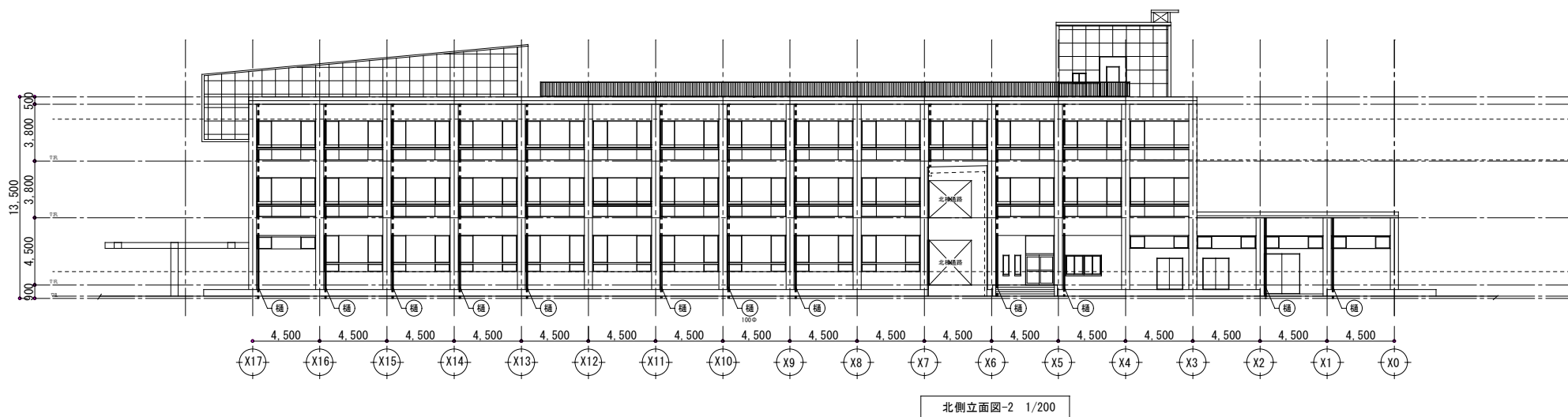
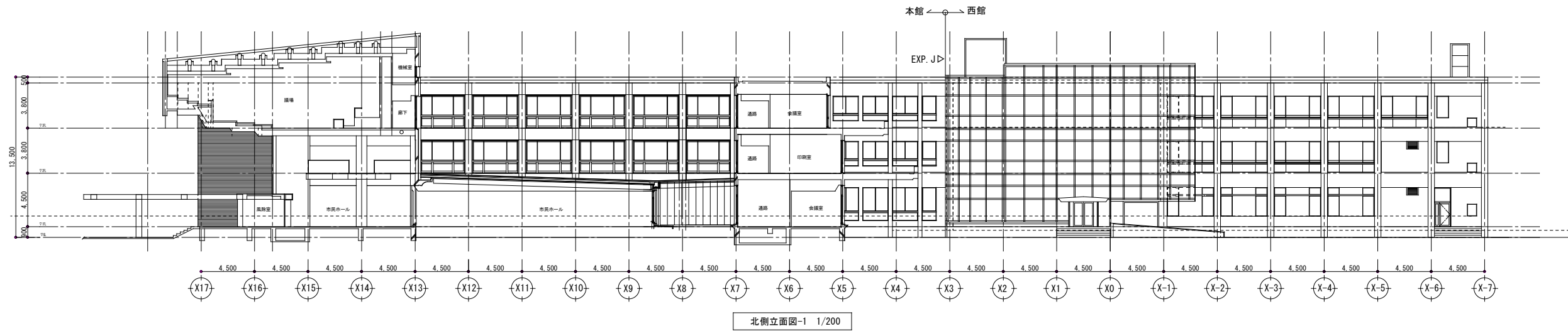
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号
一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤

工事名 市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事
図面名 立面図 (1)

宗像市 建築課

A1: 1/200
A3: 1/400
令和8年2月

N₀
A-20



【凡例】				
部位	記号	改修前	改修後	
雨樋	④	硬質塩化ビニール角パイプVP 75×125	【撤去】 硬質塩化ビニール角パイプVP 75×125 (カラー)	【新設】
	⑤	硬質塩化ビニール 50φ	【改修】 硬質塩化ビニール 50φ	【SOP塗装】
	⑥	硬質塩化ビニール 100φ	【改修】 硬質塩化ビニール 100φ	【SOP塗装】
	⑦	SUS製 60×120	【既存のまま】 SUS製 60×120	【既存のまま】
振り金物	⑧	ステンレス製FB曲加工	【撤去】 ステンレス製 (SUS304)	【新設】
	⑨	ステンレス製FB曲加工	【SOP塗装】 ステンレス製FB曲加工	【SOP塗装】
	⑩	ステンレス製FB曲加工	【既存のまま】 ステンレス製FB曲加工	【既存のまま】



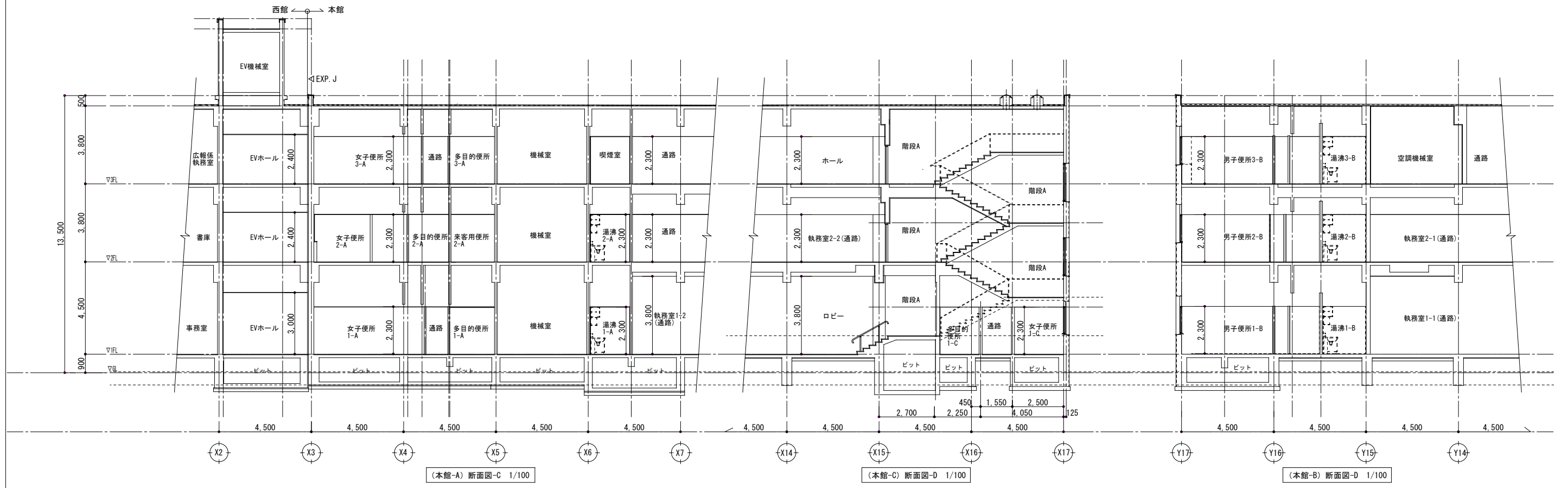
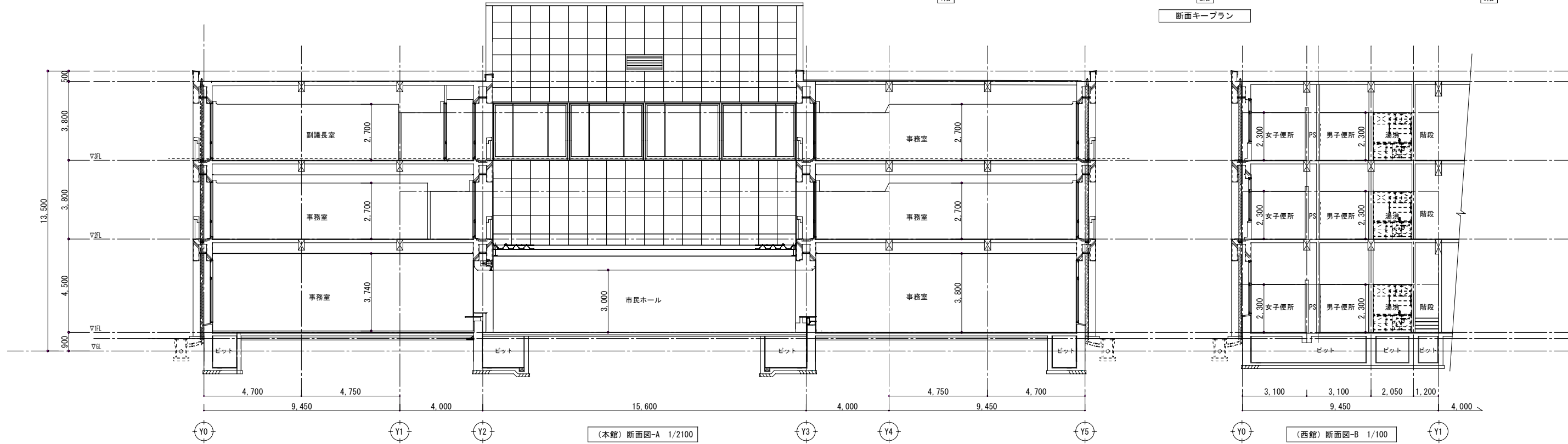
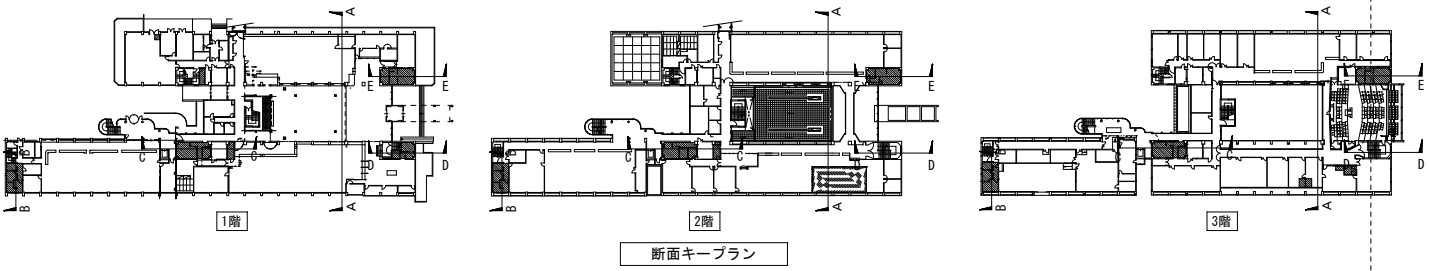
株式会社 蟻ノ塔設計事務所
ARCHITECT OFFICE ARINOTO

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号
一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤

工事名 市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事
図面名 立面図(2)

宗像市 建築課

A1: 1/200
A3: 1/400
令和8年2月
No. A-21



凡 例			 株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/100 A3:1/200	
					図面名	断面図	令和8年2月
					宗像市 建築課		

女子便所 23.081 m²
廊下 11.473 m²
多目的便所 7.187 m²
湯沸室 5.833 m²
合計 47.574 m²

凡例

- (a) 汚垂れ石:花崗石30×400本磨き 撤去
面台下壁:一部開口 改修
- (b) 床:長尺ビニルシートt2.2 撤去
設備床・壁管孔20φ 改修
- (c) 壁:LS655地下の地、耐水石膏t12.5+メラミン化樹脂化粧板 撤去
- (e) トイレブース:高圧メラミン樹脂化粧板(ペーパーハニカムコア芯) 撤去
巾木:SUSヘアライン仕上
- (k) 床:長尺ビニルシートt2.2 撤去
巾木:ビニル巾木H60 撤去
面台:ステンレス 撤去
流し台L1000・コンロ台L1100・吊戸棚 撤去
レンジフード 撤去(設備工事)

本館1階 1-A 平面詳細図(改修前)
(女子便所・多目的便所・湯沸室)

撤去範囲を表す

既存和便器の開口部遮ぎ
鉄筋D13@200たてよ共 S0295
コンクリート強度 $f_c=21N/mm^2$
※撤去時に鉄筋に鉄筋の配筋に合わせて施工すること。
※衛生器具撤去は設備工事
※衛生器具更新の場合は:コアレス対応とする)

[illegible]

本館1階 1-A 平面詳細図 (改修後)
(女子便所・多目的便所・湯沸室)

凡例

(a)	床: 長尺ビニルシートt2.0 新設 面台下壁: 一部開口部 メラミン化粧合板 上貼り 新設	(k)	床: 長尺ビニルシートt2.0 新設 巾木: ビニル巾木H60 新設 壁: モルタル補修の上 キッチンパネル 新設 レンジフード・給湯器 新設 (設備工事)
(b)	床: 長尺ビニルシートt2.0 新設 設備床: 壁管孔20φ 無収縮モルタル充填 新設		
(d)	壁: LGS65下地の下、耐水石膏t=12.5+メラミン化粧合板張り 新設		
(e)	トイレブース: 高圧メラミン樹脂化粧板 (ペーパーハニカムコア) 新設 巾木: SUSヘアライン仕上 新設		

※ 撤去時に鉄筋を確認し既存鉄筋の配筋に合わせて施工すること。
※ 衛生器具新設は設備工事
※ ペーパーホルダー更新の場合: コアレス対応とする

The second floor drawings include a plan view and a section view.

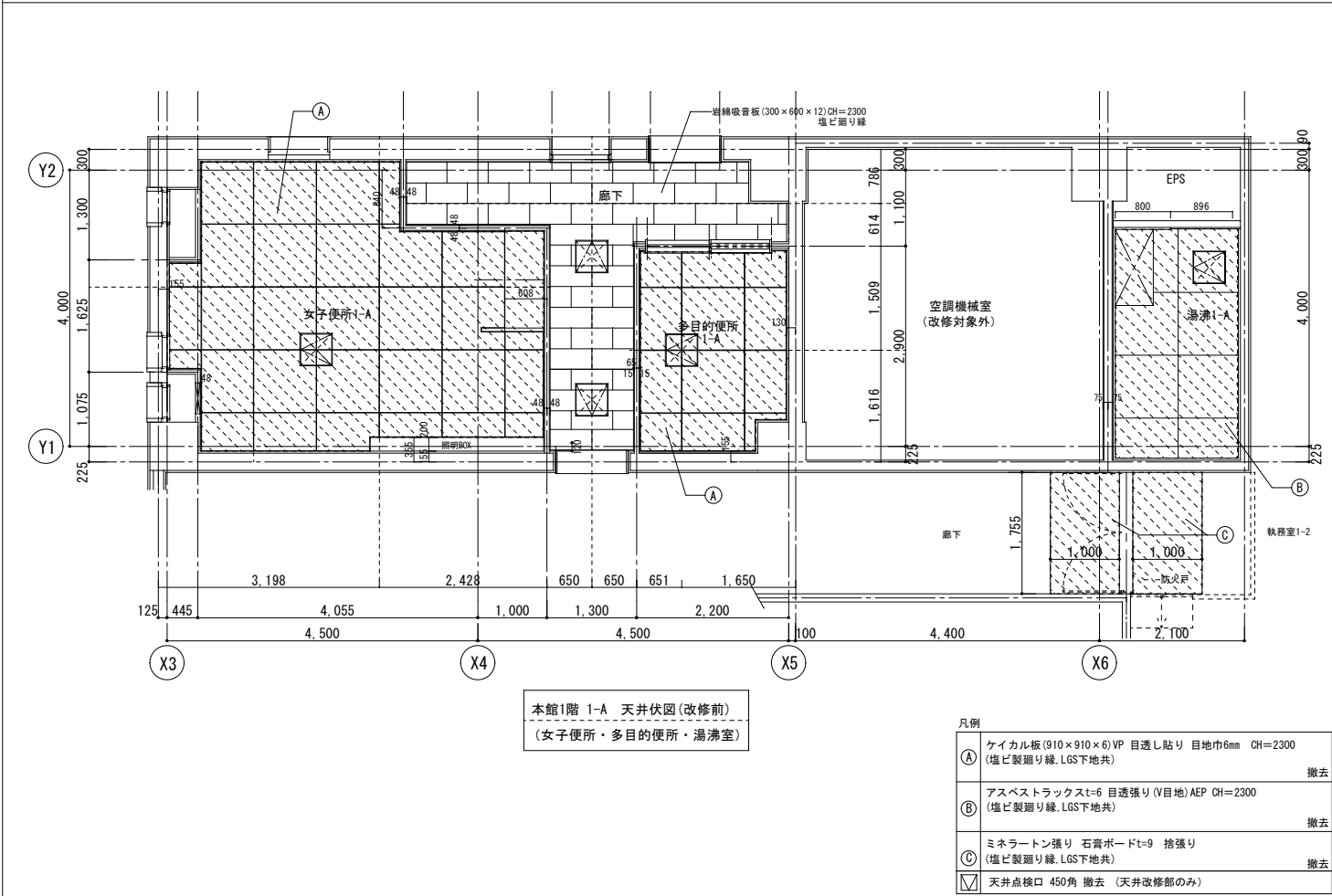
Plan View (Second Floor):

- Overall Dimensions:** 12.5m (width) x 3.16m (depth).
- Rooms:**
 - 女子便所1-A (Women's Toilet 1-A):** Located at the top left, measuring 1.848m x 1.400m. It includes a sink, mirror, and door.
 - 湯沸室1-A (Water Heating Room 1-A):** Located at the bottom left, measuring 1.975m x 1.000m. It includes a water heater and a door.
 - 洗面室 (Sinking Room):** Located at the bottom right, measuring 2.100m x 1.000m. It includes a sink and a door.
- Other Features:**
 - 壁:モルタル補修の上 キッチンパネル 新設 (Wall: Mortar repair, new kitchen panel):** Located on the right wall.
 - レンジフード 新設 (レンジフード) (Range Hood New Installation):** Located on the right wall.
 - 壁:メラミン化粧合板貼り 防水P8 12.5 (工法) 下地 (Wall: Melamine decorative laminate, waterproof P8 12.5 (method) base):** Located on the right wall.
 - 面台:花崗石t=25本磨き (Counter: Granite t=25 polished):** Located on the right wall.
 - 面台下壁:一部開口蓋ぎ メラミン化粧合板 上貼り 新設 (Under counter wall: Part of the opening cover, melamine decorative laminate, top layer, new installation):** Located on the right wall.

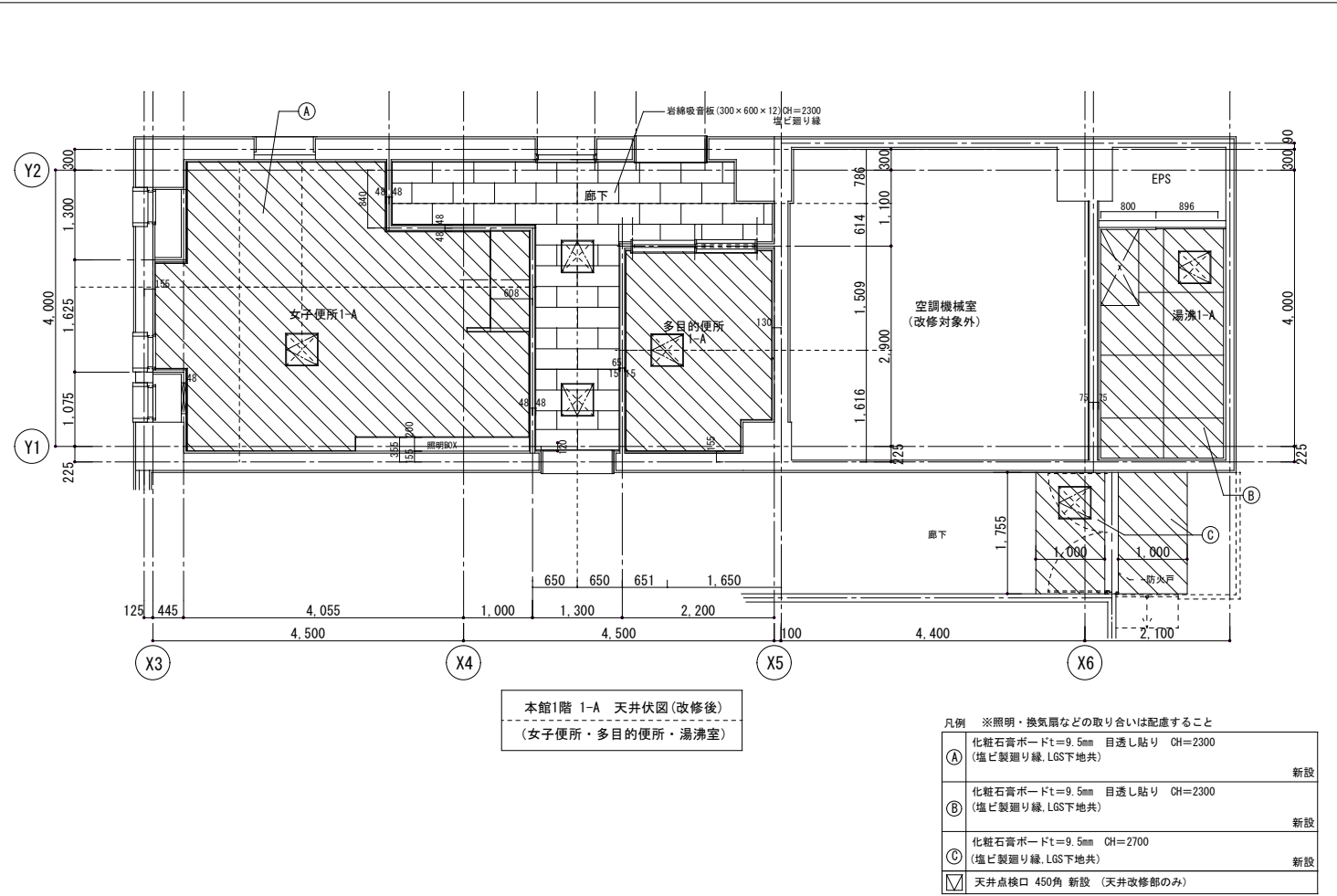
Section View (Second Floor):

- Overall Dimensions:** 2.300m (height) x 4.500m (width).
- Rooms:**
 - 女子便所1-A (Women's Toilet 1-A):** Located at the top left, measuring 1.848m x 1.400m. It includes a sink, mirror, and door.
 - 湯沸室1-A (Water Heating Room 1-A):** Located at the bottom left, measuring 1.975m x 1.000m. It includes a water heater and a door.
 - 洗面室 (Sinking Room):** Located at the bottom right, measuring 2.100m x 1.000m. It includes a sink and a door.
- Other Features:**
 - 壁:メラミン化粧合板貼り 防水P8 12.5 (工法) 下地 (Wall: Melamine decorative laminate, waterproof P8 12.5 (method) base):** Located on the right wall.
 - 面台:花崗石t=25本磨き (Counter: Granite t=25 polished):** Located on the right wall.
 - 面台下壁:一部開口蓋ぎ メラミン化粧合板 上貼り 新設 (Under counter wall: Part of the opening cover, melamine decorative laminate, top layer, new installation):** Located on the right wall.

①本館1階 1-A（女子便所・多目的便所・湯沸室）天井伏図（改修前）



①本館1階 1-A（女子便所・多目的便所・湯沸室）天井伏図（改修後）



株式会社 蟻ノ塔設計事務所
ARCHITECT OFFICE ARINOTO

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号
一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤

工事名 市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事

図面名 ①本館1階1-A(女子便所・多目的便所・湯沸室)：天井伏図(改修前後)

A1:1/50
A3:1/100

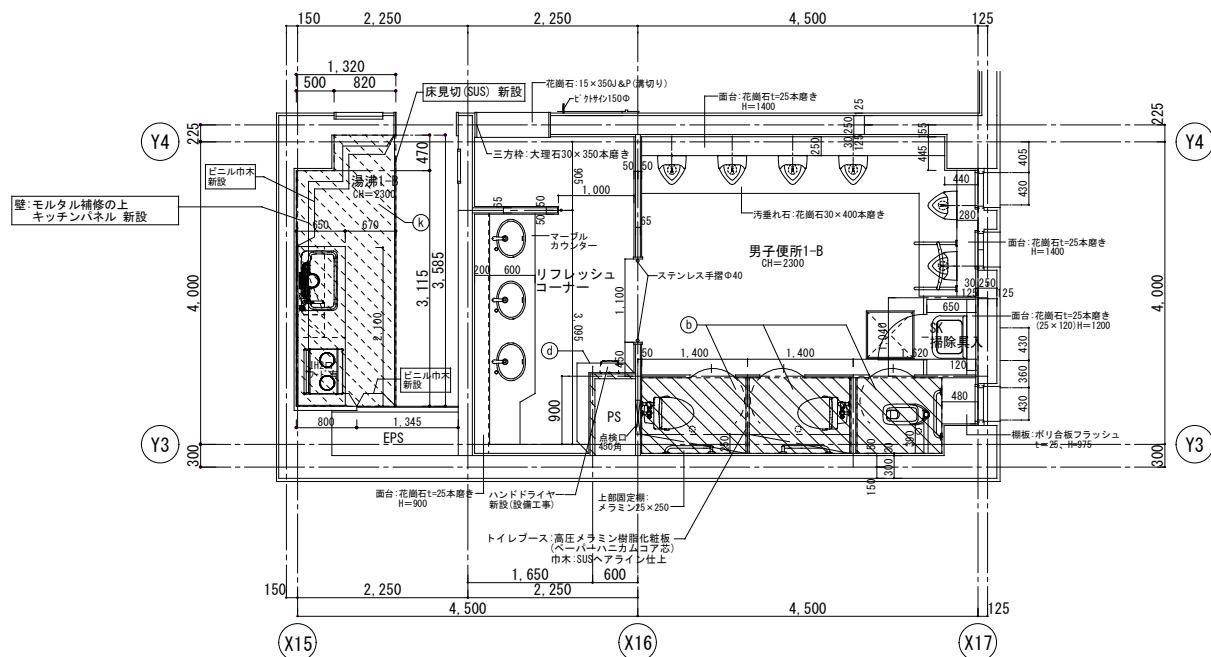
令和8年2月

Nr.

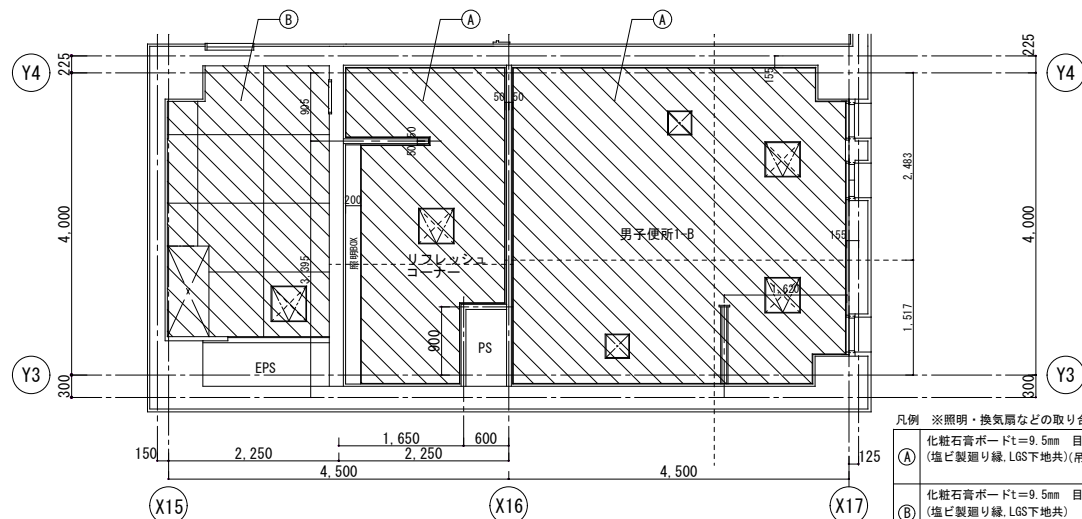
A-24

宗像市 建築課

②本館1階 1-B(男子便所・湯沸室) 平面詳細図・天井伏図(改修後)

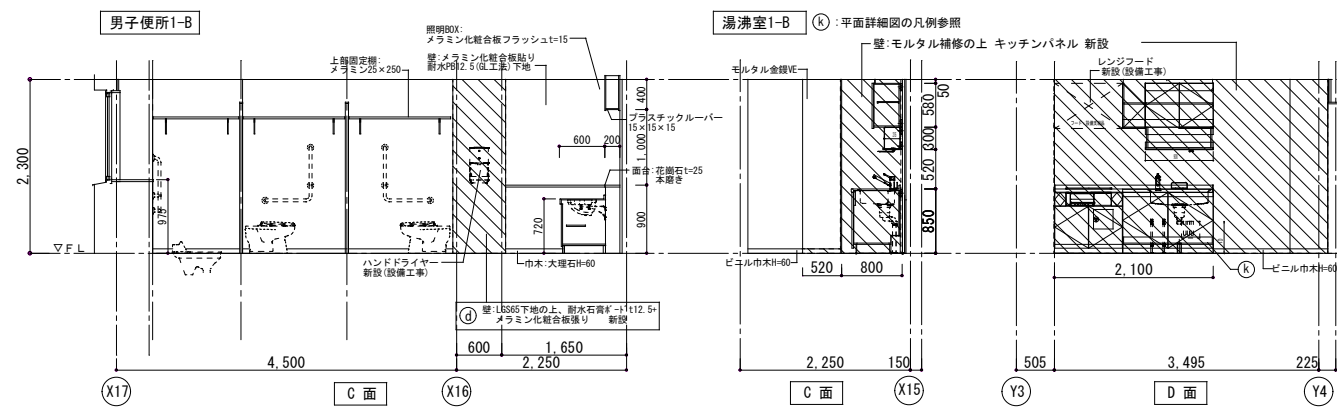


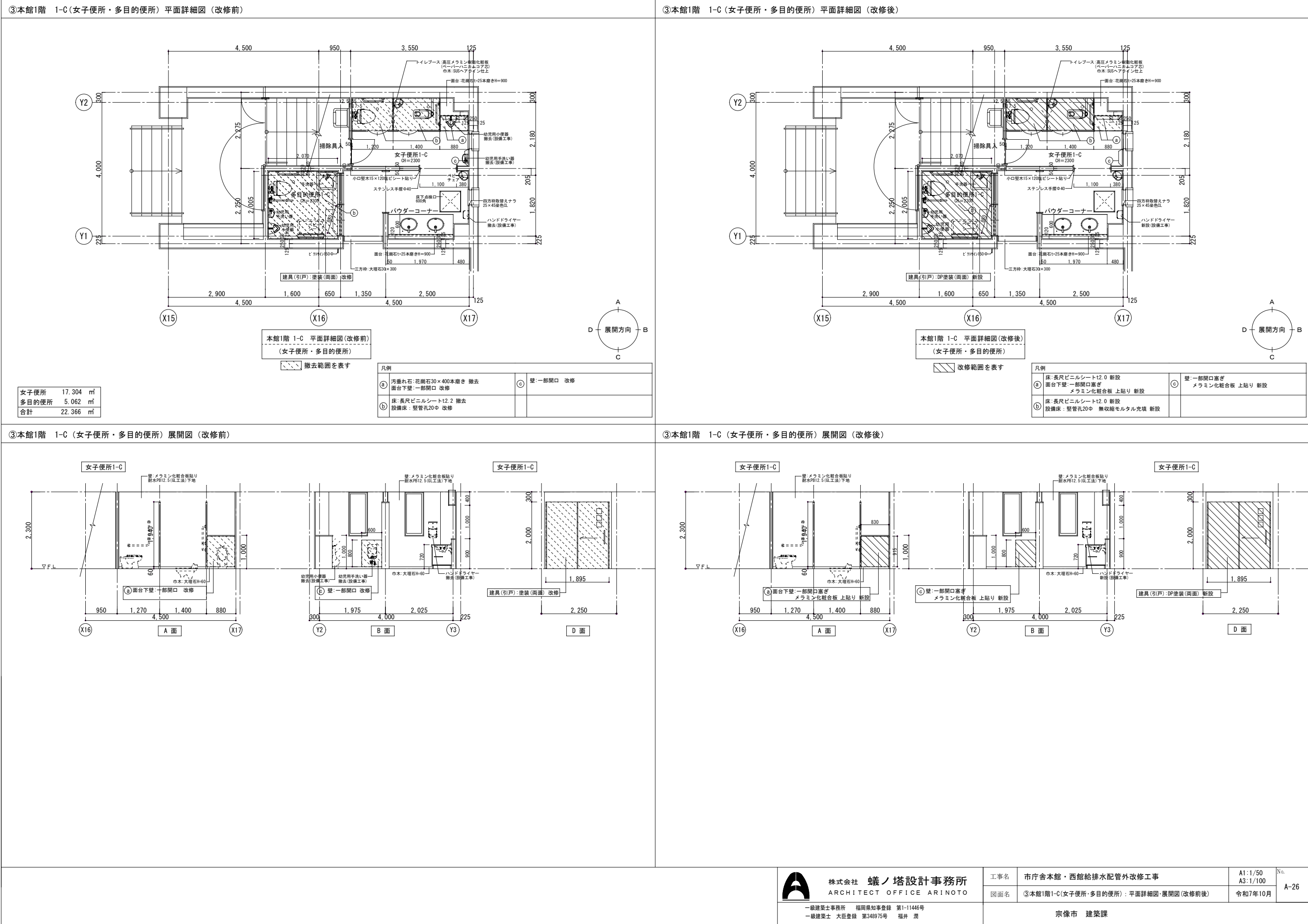
凡例	
(b)	床: 床尺ビニルシートt2.0 新設 設備床: 堅管φ20φ 無取組モルタル充填 新設
(d)	壁: L658地下の上、耐水石膏ボードt12.5+メラミン化粧板張り 新設
(k)	床: 床尺ビニルシートt2.0 新設 巾木: ビニル巾木H60 新設 壁: モルタル補修の上 ケッチンパネル 新設 流し台t2100・吊戸棚 新設 レンジフード・給湯器 新設 (設備工事)

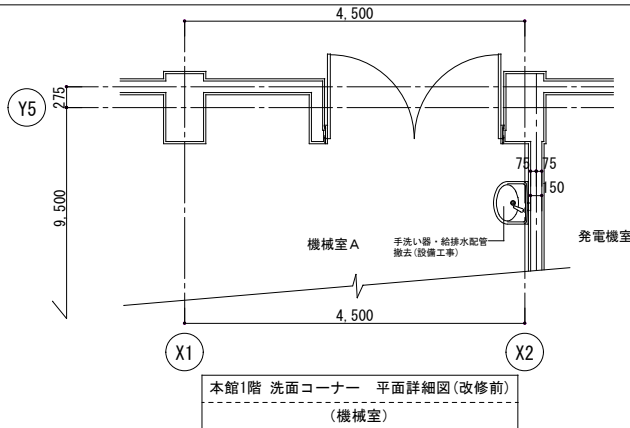
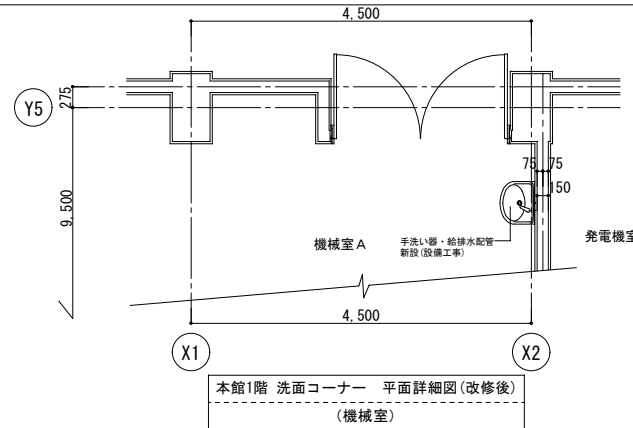


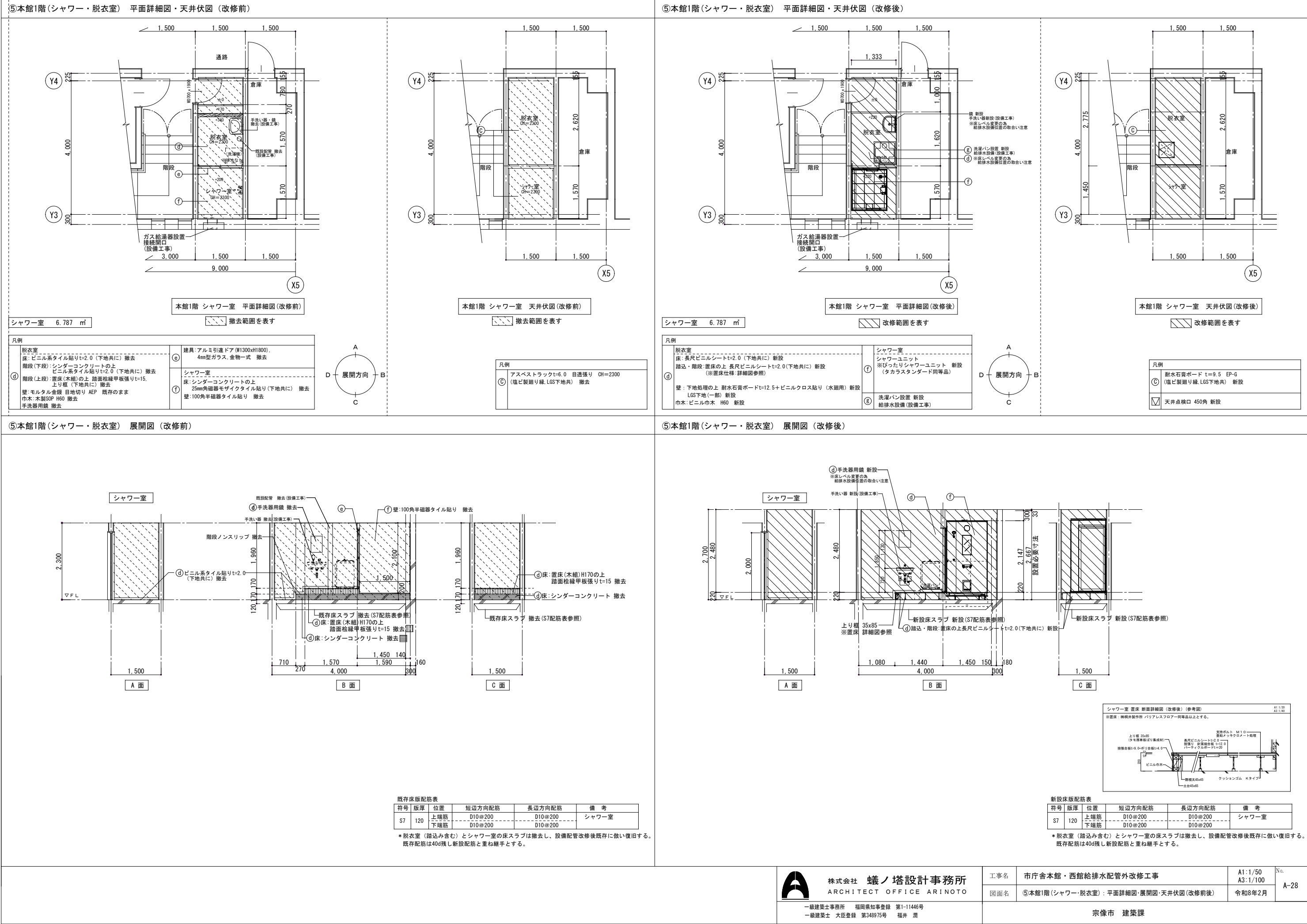
凡例	※照明・換気扇などの取り合いは配座すること		
Ⓐ	化粧石膏ボードt=9.5mm 目隠し貼り OH=2300 (塩ビ製廻り縁、LGS下地共)(吊ボルト既存流用)		新設
Ⓑ	化粧石膏ボードt=9.5mm 目隠し貼り OH=2300 (塩ビ製廻り縁、LGS下地共)		新設
☑	天井点検口 450角	新設	
☒	天井給気口 300角	復旧	

②本館1階 1-B (男子便所・湯沸室) 展開図 (改修後)

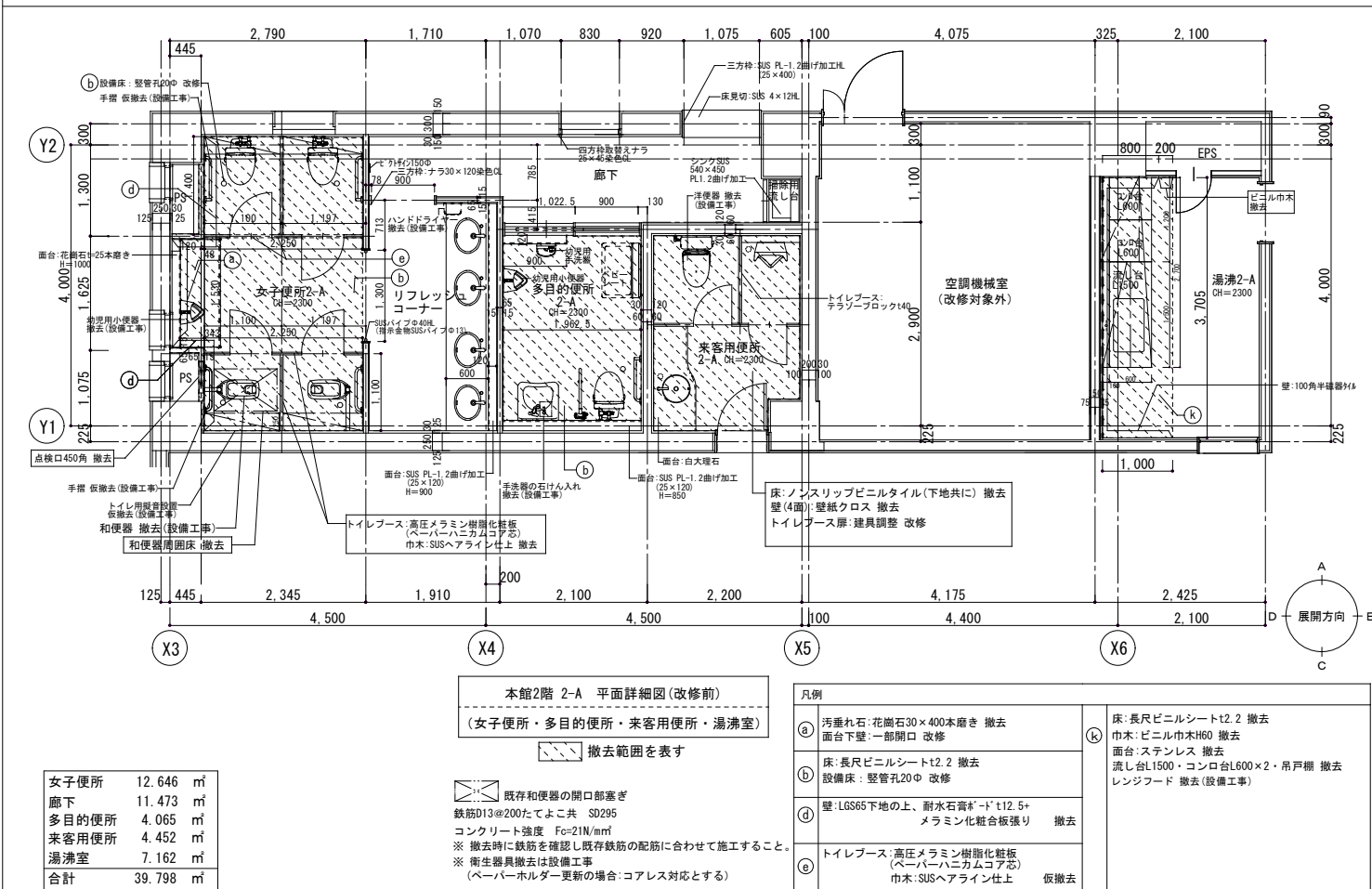




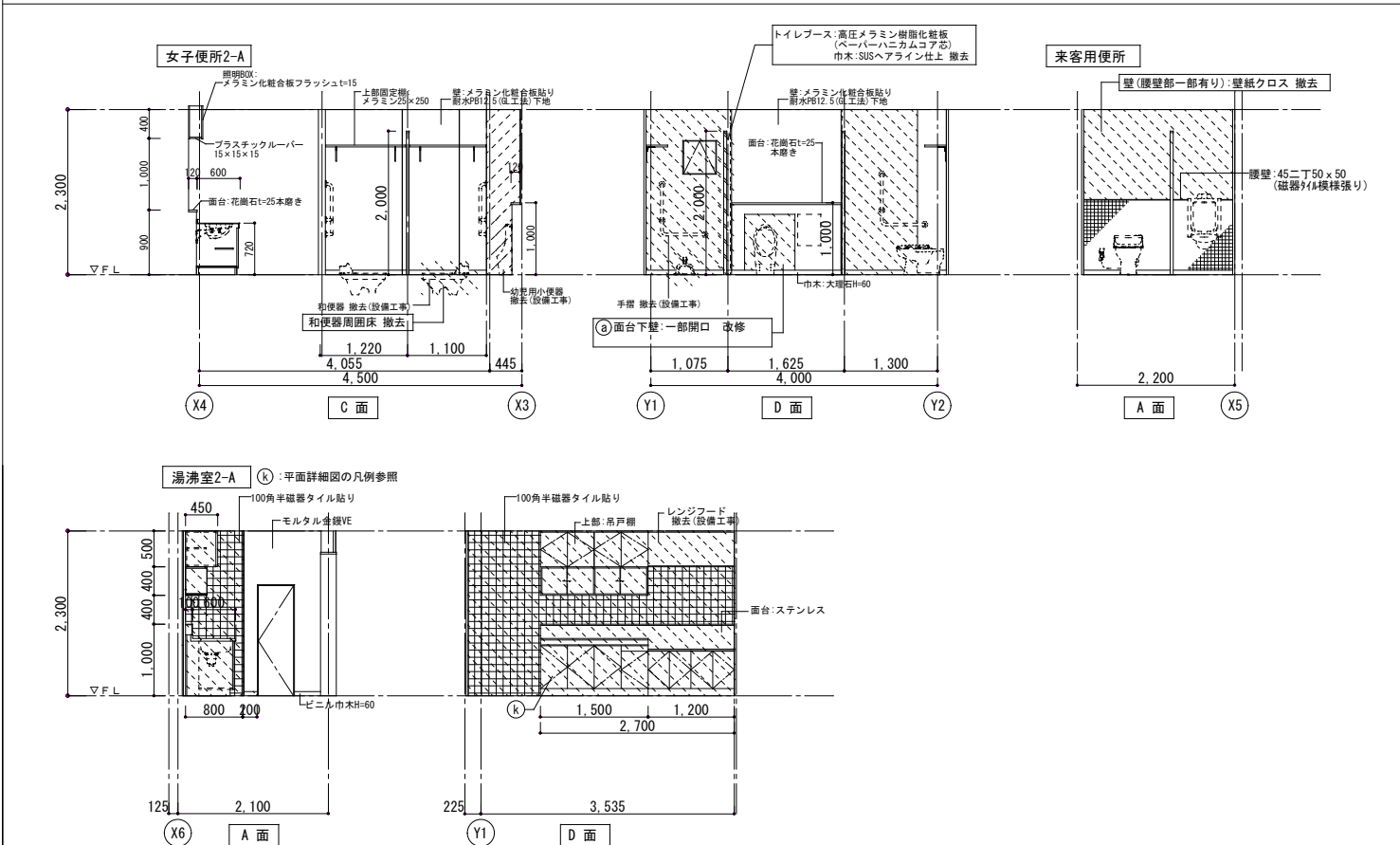
④本館 1階 機械室 平面詳細図（改修前）		④本館 1階 機械室 平面詳細図（改修後）	
			



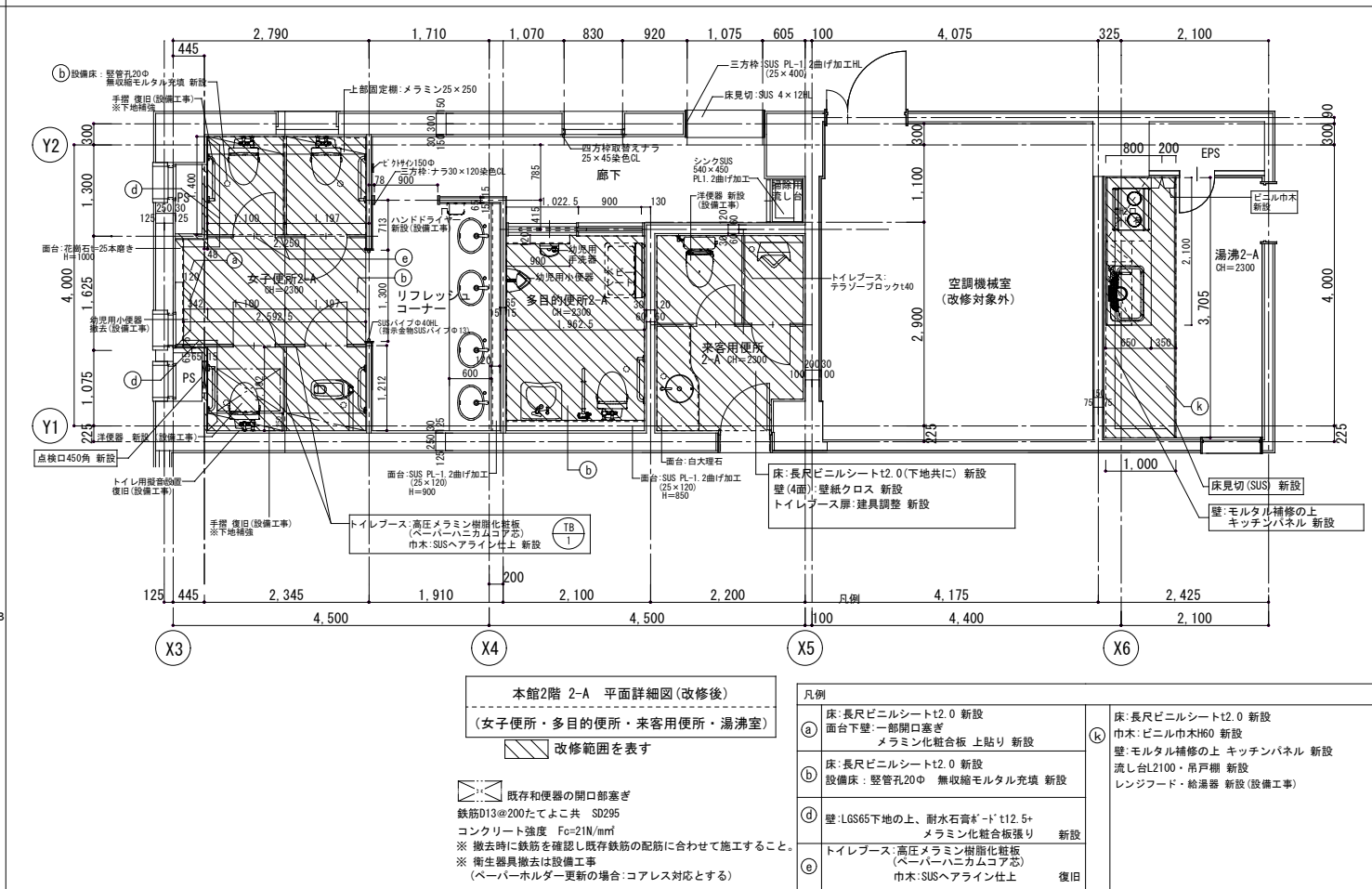
⑥本館2階 2-A (女子便所・多目的便所・来客用便所・湯沸室) 平面詳細図 (改修前)



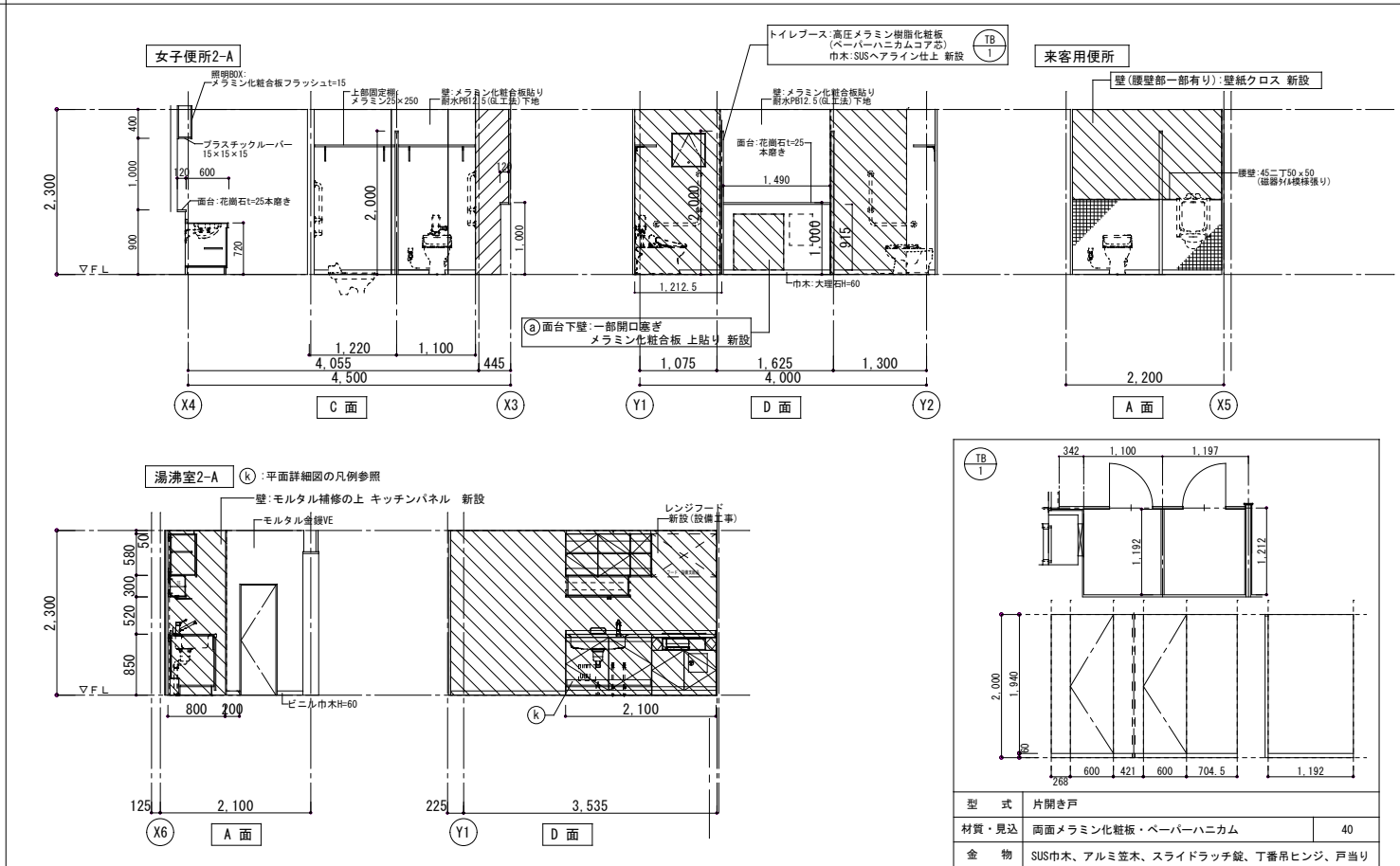
⑥本館2階 2-A (女子便所・多目的便所・来客用便所・湯沸室) 展開図 (改修前)



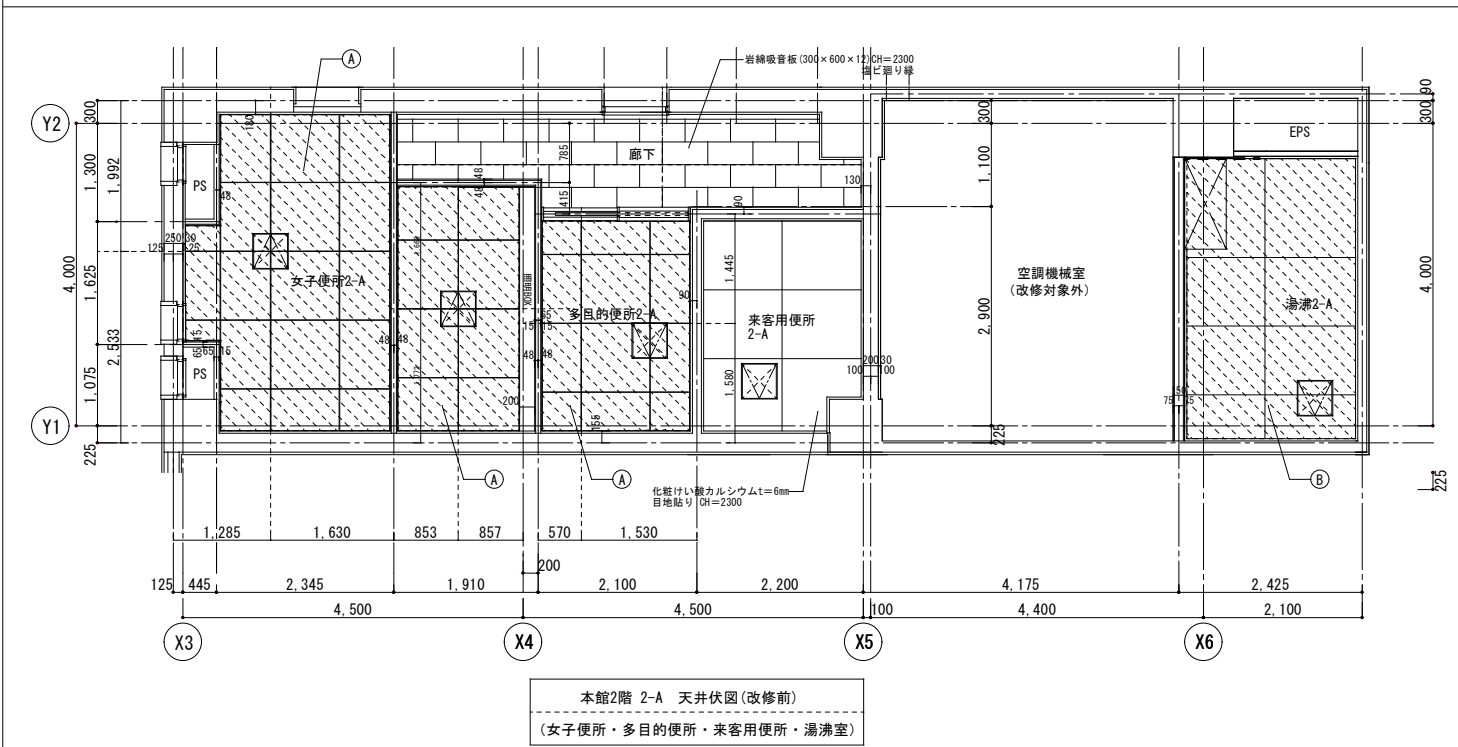
⑥本館2階 2-A (女子便所・多目的便所・来客用便所・湯沸室) 平面詳細図 (改修後)



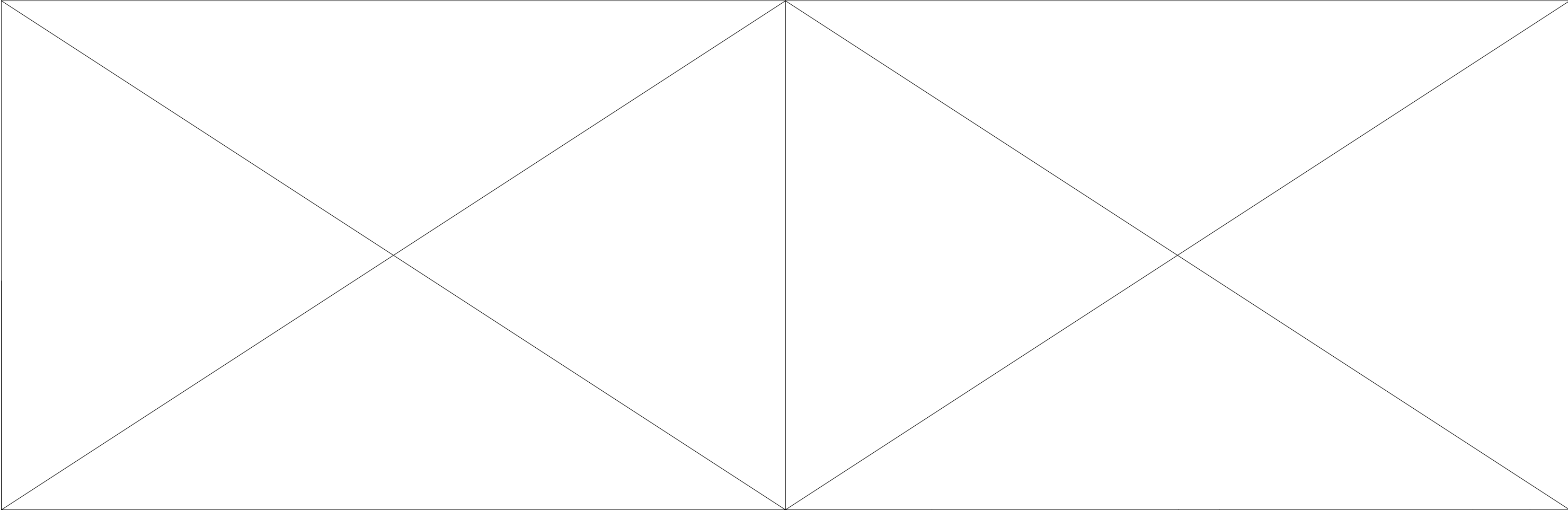
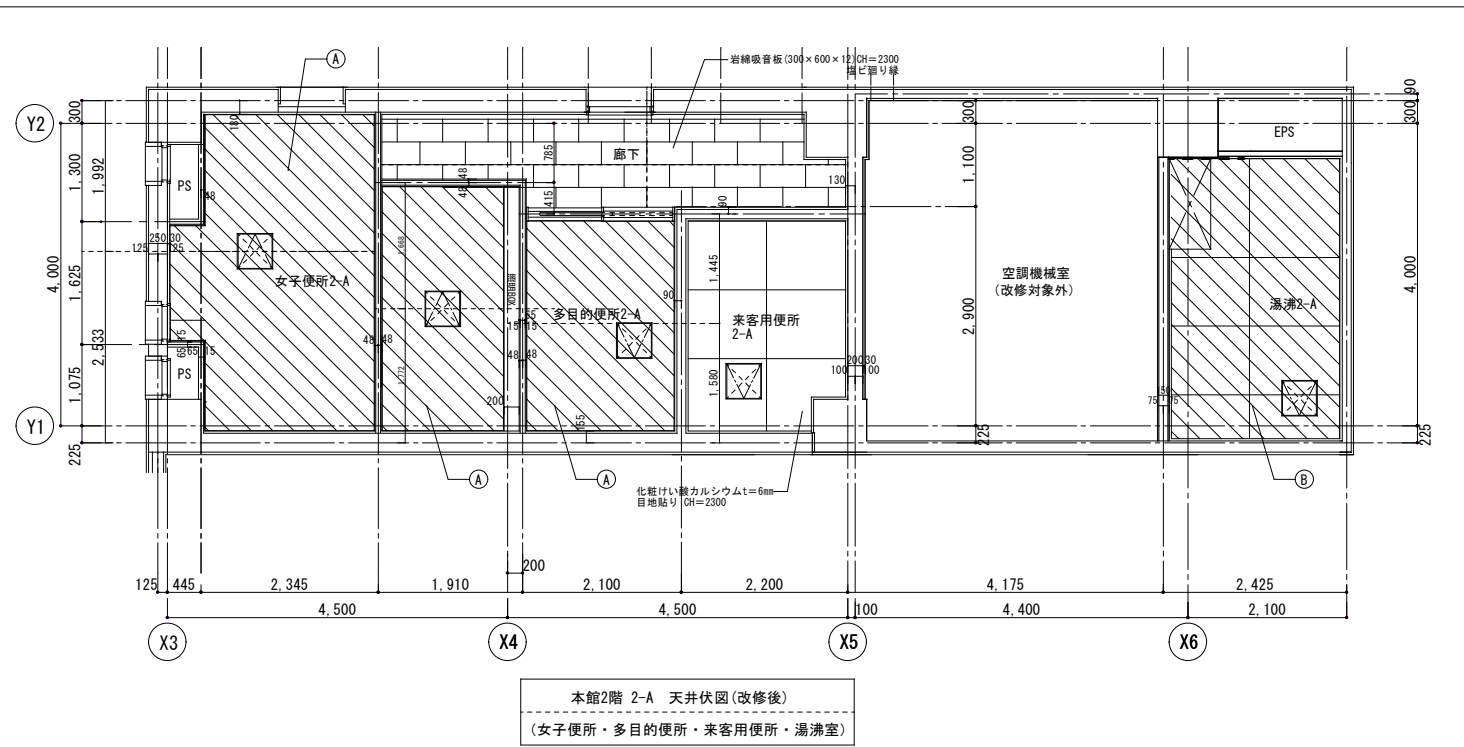
⑥本館2階 2-A (女子便所・多目的便所・来客用便所・湯沸室) 展開図 (改修後)



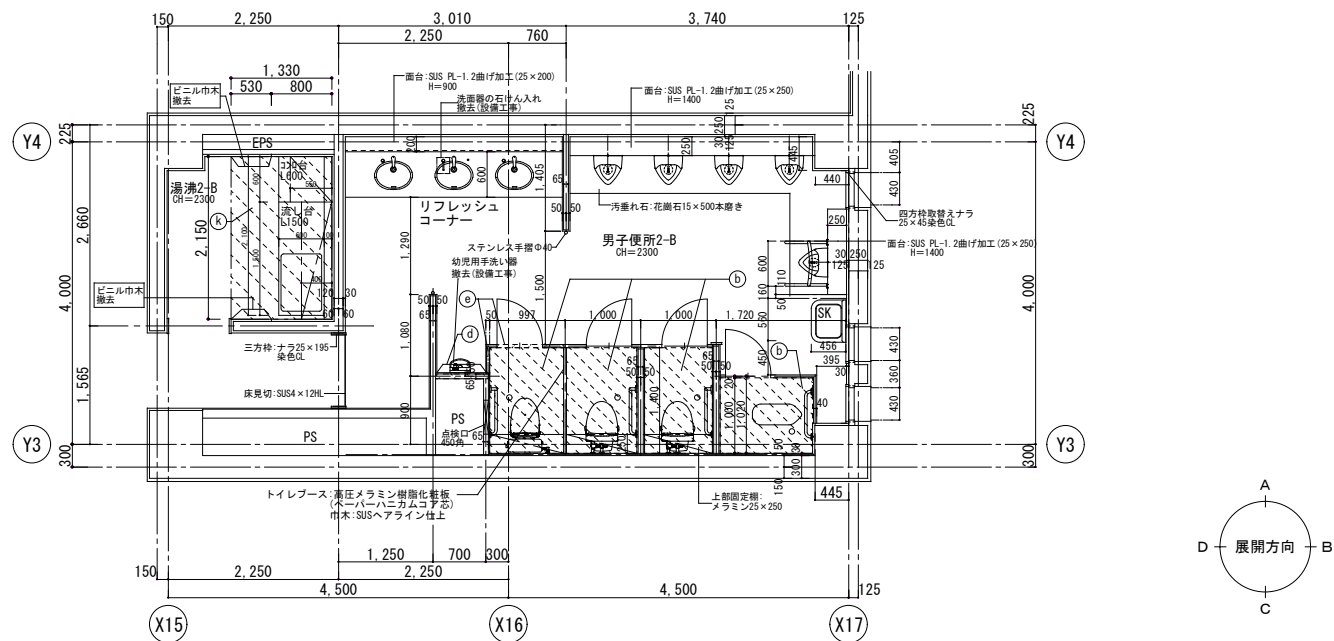
⑥本館2階 2-A（女子便所・多目的便所・来客用便所・湯沸室）天井伏図（改修前）



⑥本館2階 2-A（女子便所・多目的便所・来客用便所・湯沸室）天井伏図（改修後）



⑦本館2階 2-B (男子便所・湯沸室) 平面詳細図・天井伏図 (改修前)



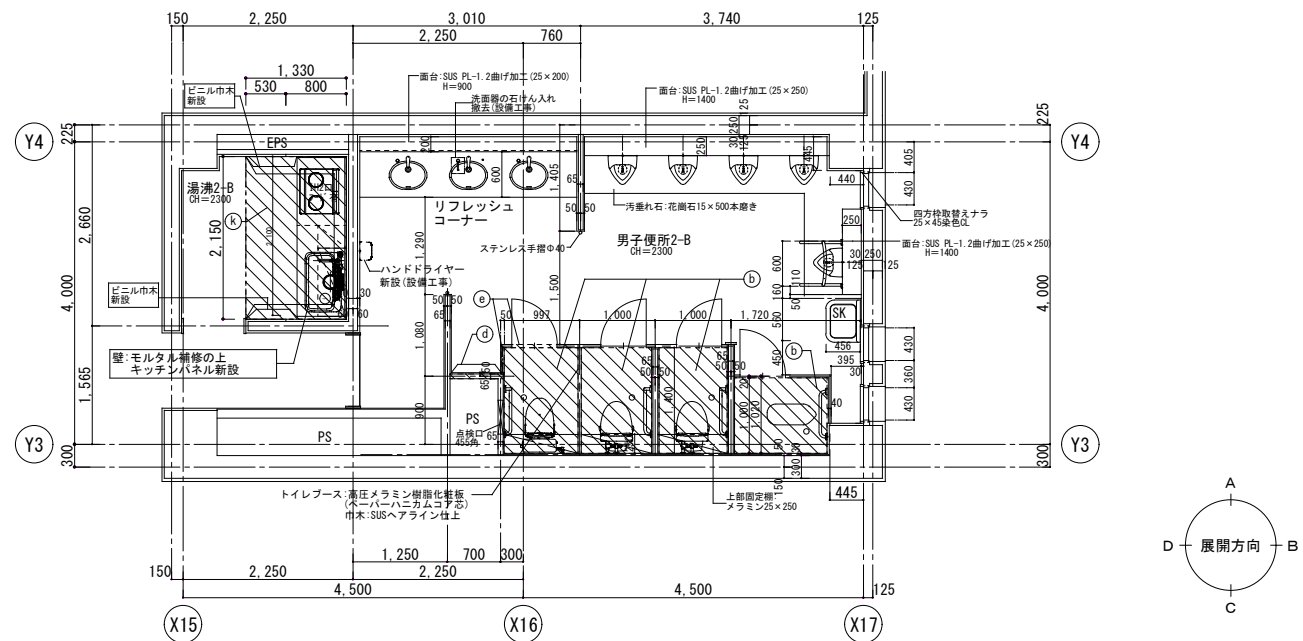
男子便所	31.109	m ²
廊下	4.476	m ²
湯沸室	6.384	m ²
合計	41.969	m ²

本館2階 2-B 平面詳細図 (改修前)
(男子便所・湯沸室)

撤去範囲を表す

凡例		
(b) 床:長尺ビニルシートt2.2 撤去 設備床:壁管孔20φ 改修	(k) 床:長尺ビニルシートt2.2 撤去 巾木:ビニル巾木H60 撤去	
(d) 壁:LS655下地の上、耐水石膏ボードt12.5+メラミン化粧合板張り 撤去	面台:ステンレス 撤去	
(e) トイレブース:高圧メラミン樹脂化粧板(ペーパーハニカムコア芯) 巾木:SUSヘアライン仕上 仮撤去	流し台L1500・コンロ台L600×2・吊戸棚 撤去 レンジフード 撤去(設備工事)	

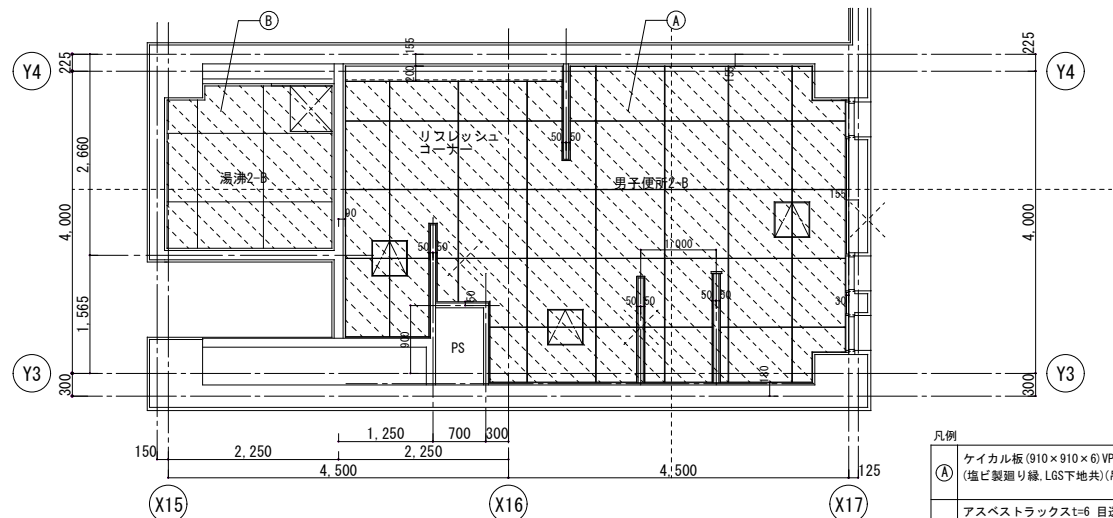
⑦本館2階 2-B (男子便所・湯沸室) 平面詳細図・天井伏図 (改修後)



本館2階 2-B 平面詳細図 (改修後)
(男子便所・湯沸室)

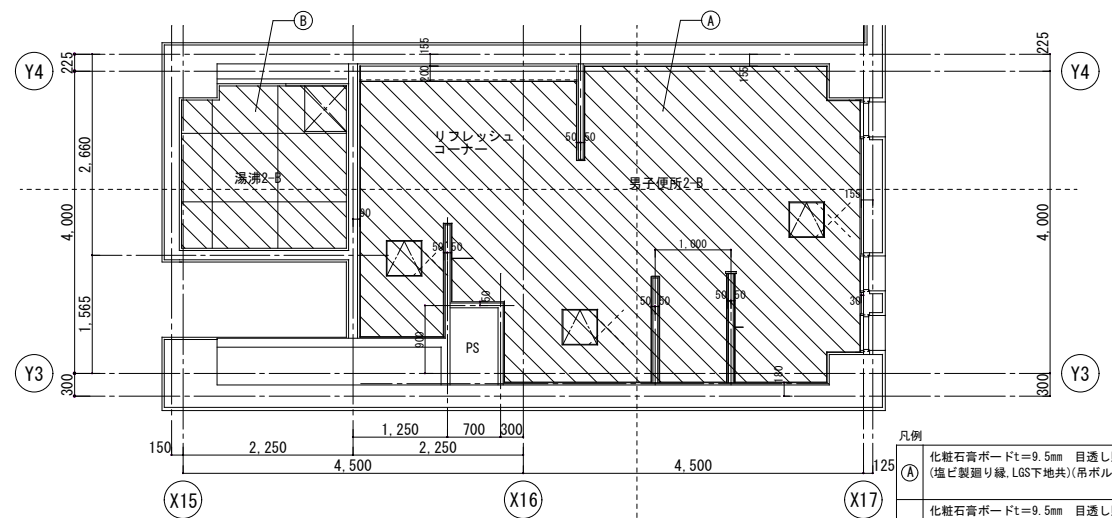
改修範囲を表す

凡例		
(b) 床:長尺ビニルシートt2.0 新設 設備床:壁管孔20φ 無収縮モルタル充填 新設	(k) 床:長尺ビニルシートt2.0 新設 巾木:ビニル巾木H60 新設	
(d) 壁:LS655下地の上、耐水石膏ボードt12.5+メラミン化粧合板張り 新設	面台:ステンレス 新設	
(e) トイレブース:高圧メラミン樹脂化粧板(ペーパーハニカムコア芯) 巾木:SUSヘアライン仕上 復旧	流し台L2100・吊戸棚 新設 レンジフード・給湯器 新設(設備工事)	



本館2階 2-B 天井伏図 (改修前)
(男子便所・湯沸室)

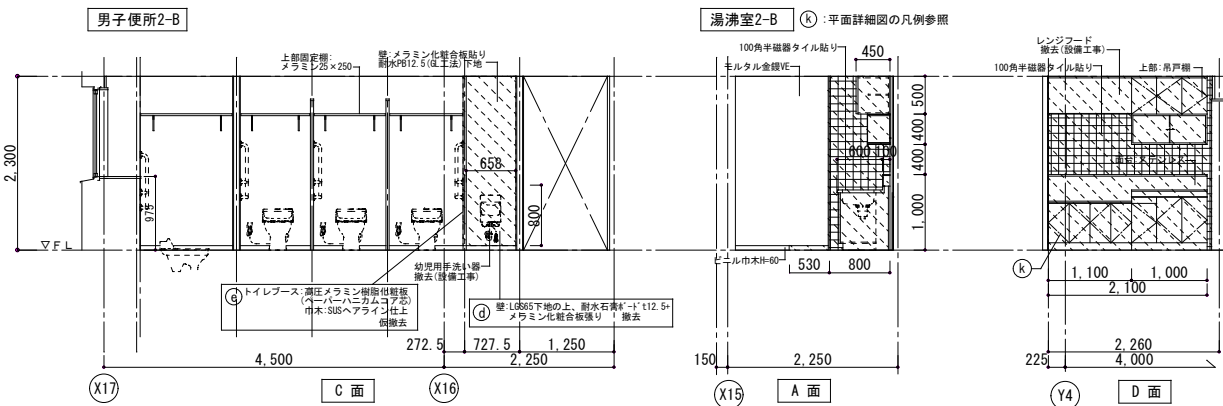
凡例		
(A) ケイカル板(910×910×6)VP 目透し貼り 目地巾6mm CH=2300 (塩ビ製廻り縁:LS6下地共)(吊ボルトのまま) 撤去		
(B) アスベストラックスt=6 目透張り(V目地)AEP (塩ビ製廻り縁:LS6下地共) 撤去		
(V) 天井点検口 450角 撤去		



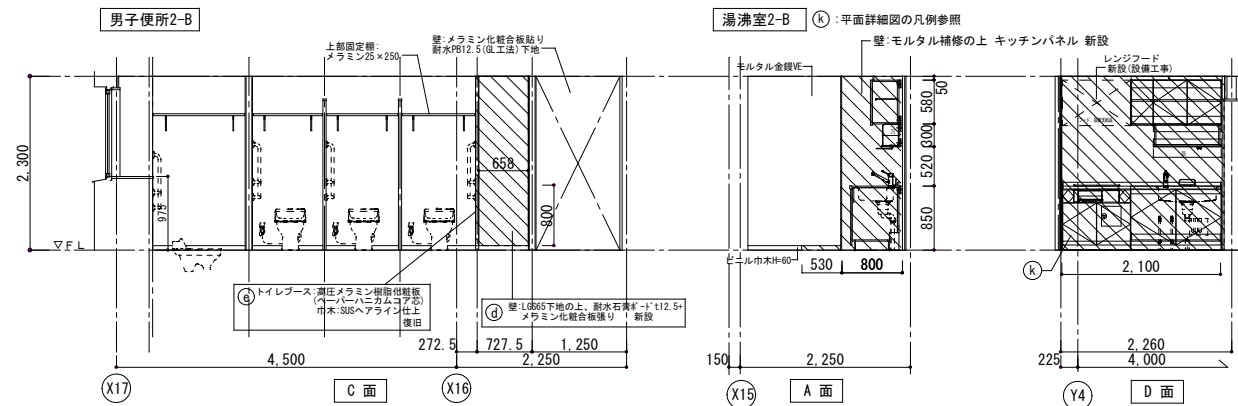
本館2階 2-B 天井伏図 (改修後)
(男子便所・湯沸室)

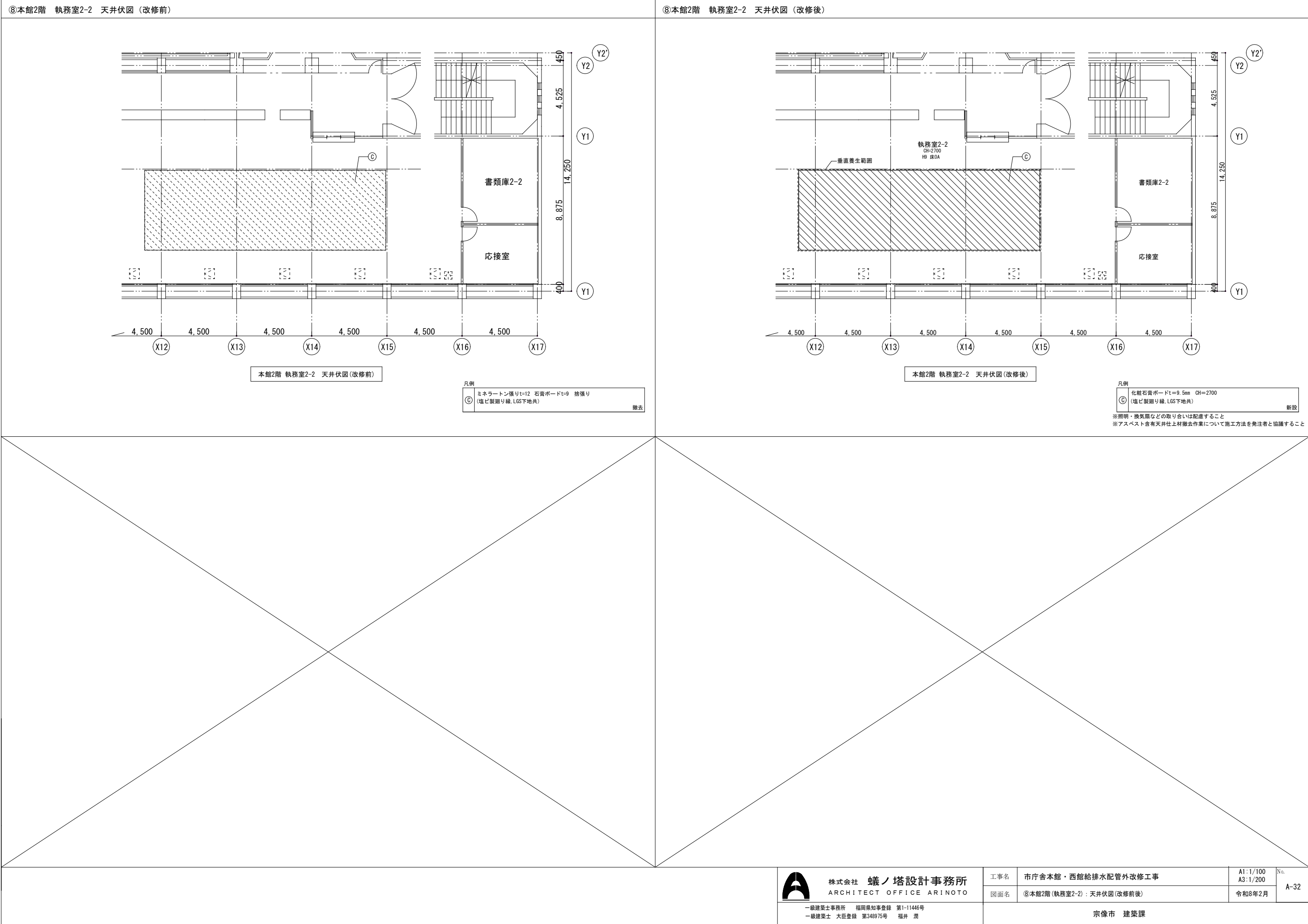
凡例		
(A) 化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り CH=2300 (塩ビ製廻り縁:LS6下地共)(吊ボルト既存流用) 新設		
(B) 化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り CH=2300 (塩ビ製廻り縁:LS6下地共) 新設		
(V) 天井点検口 450角 新設		

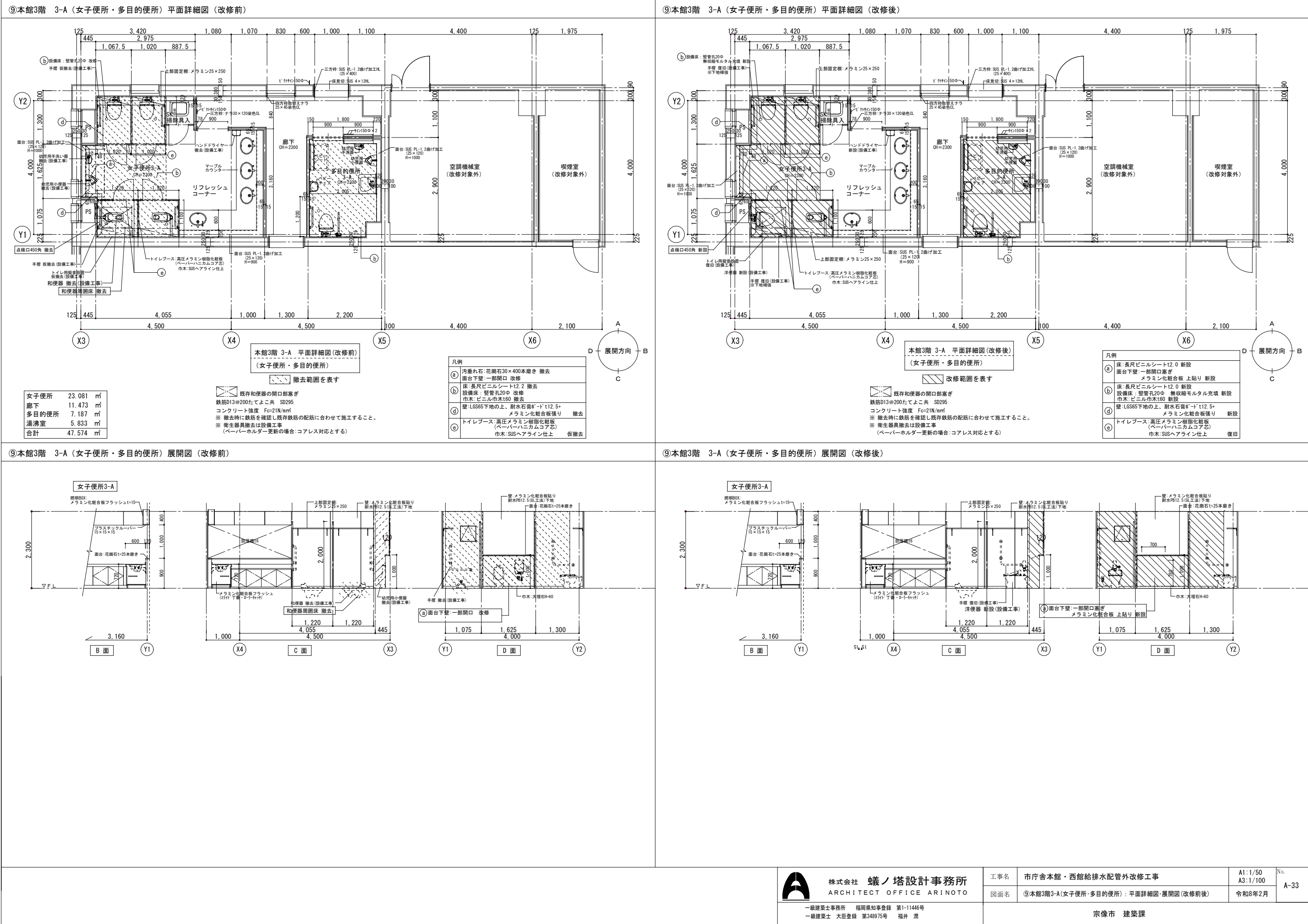
⑦本館2階 2-B (男子便所・湯沸室) 展開図 (改修前)



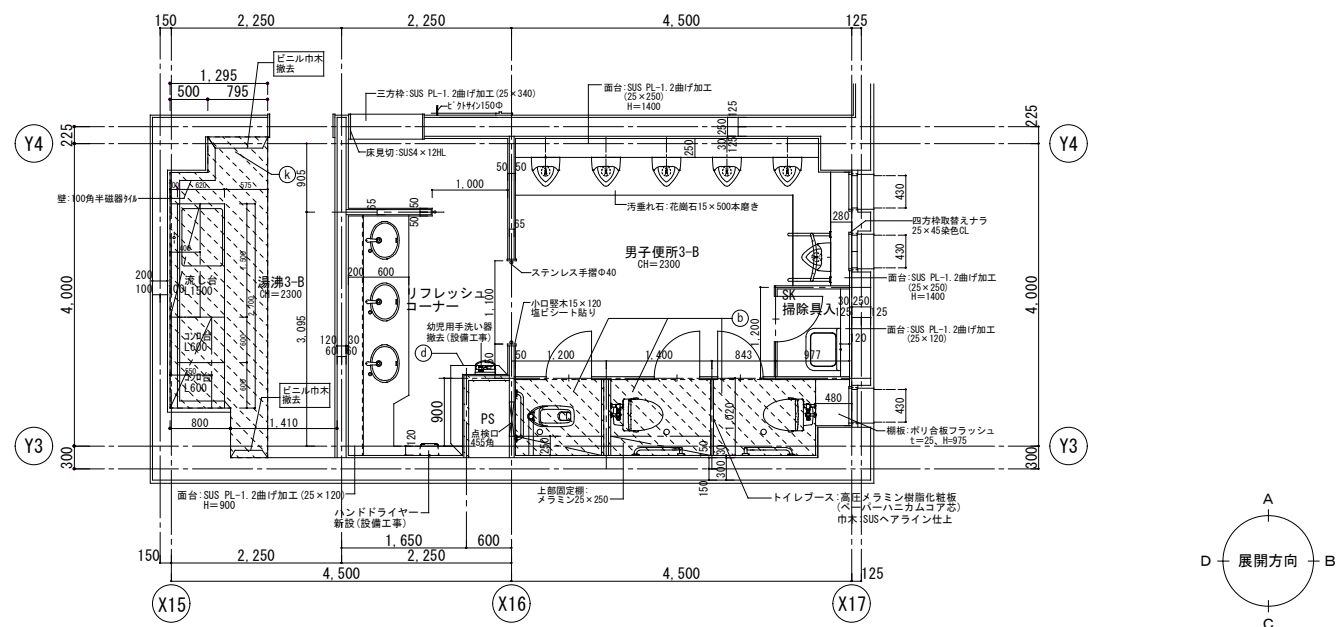
⑦本館2階 2-B (男子便所・湯沸室) 展開図 (改修後)







⑩本館3階 3-B（男子便所・湯沸室）平面詳細図・天井伏図（改修前）



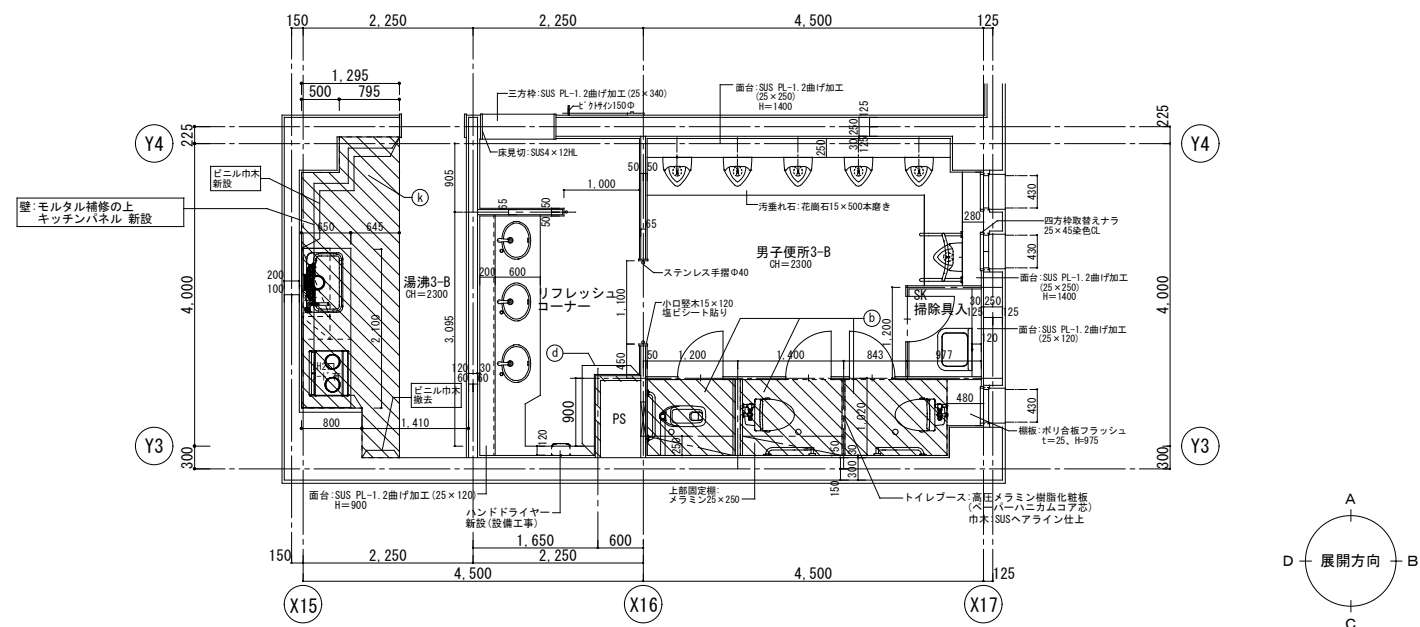
男子便所	31.109	m ²
湯沸室	10.860	m ²
合計	41.969	m ²

本館3階 3-B 平面詳細図(改修前)
(男子便所・湯沸室)

撤去範囲を表す

凡例		
(a) 床:長尺ビニルシートt2.2 撤去	(k) 床:長尺ビニルシートt2.2 撤去	
(b) 設備床: 壁管孔20φ 改修	市木:ビニル市木H60 撤去	
(c) 壁:LS65下地の上、耐水石膏板・d・t12.5+メラミン化粧合板張り 撤去	面台:ステンレス 撤去	
	流し台L1500・コンロ台L600×2・吊戸棚 撤去	
	レンジフード 撤去(設備工事)	

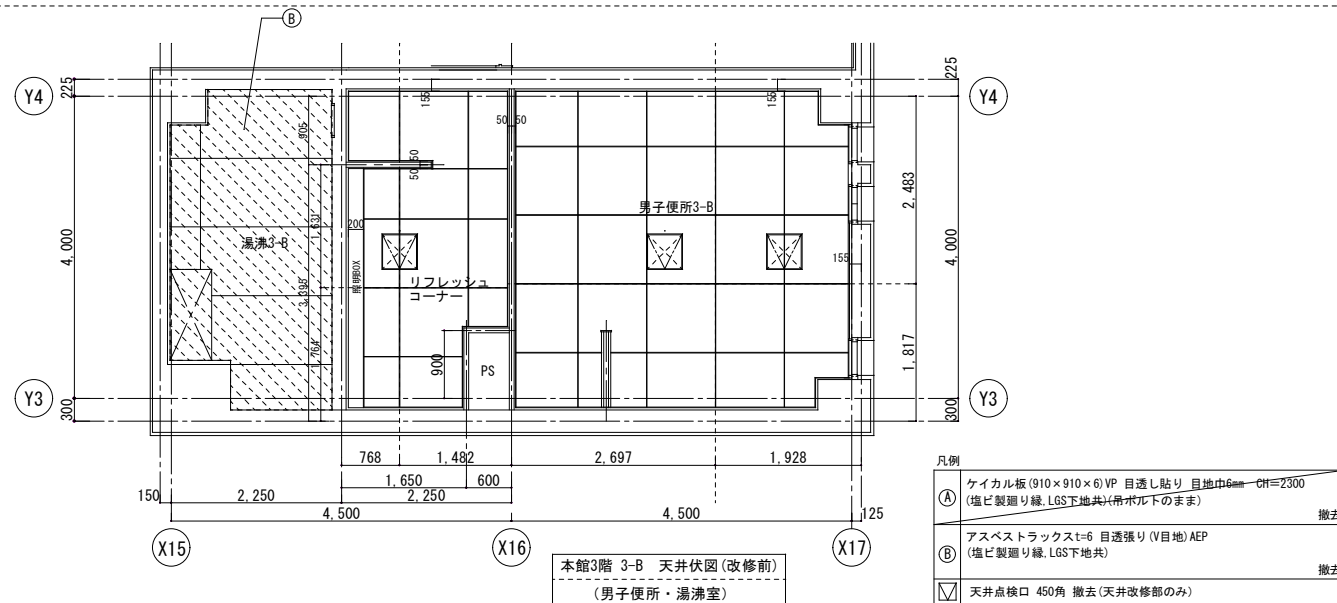
⑩本館3階 3-B（男子便所・湯沸室）平面詳細図・天井伏図（改修後）



本館3階 3-B 平面詳細図(改修後)
(男子便所・湯沸室)

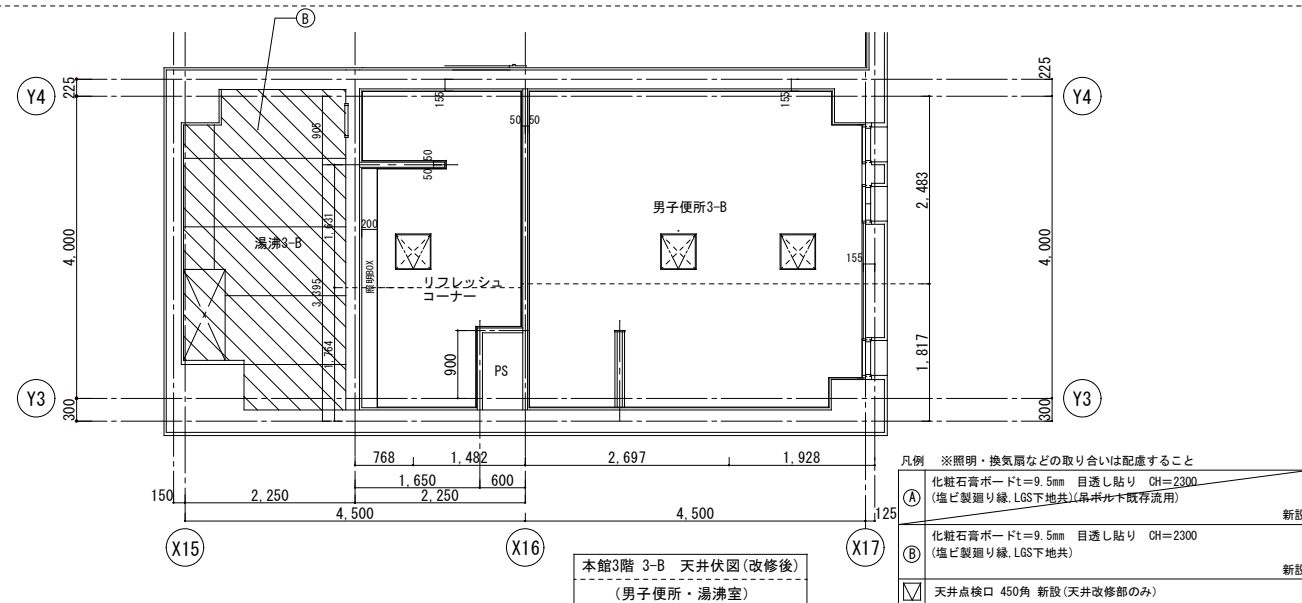
改修範囲を表す

凡例		
(a) 床:長尺ビニルシートt2.0 新設	(k) 床:長尺ビニルシートt2.0 新設	
(b) 設備床: 壁管孔20φ 無収縮モルタル充填 新設	市木:ビニル市木H60 新設	
(c) 壁:LS65下地の上、耐水石膏板・d・t12.5+メラミン化粧合板張り 新設	壁:モルタル補修の上 キッチンパネル 新設	
	流し台L2100・吊戸棚 新設	
	レンジフード・給湯器 新設(設備工事)	



本館3階 3-B 天井伏図(改修前)
(男子便所・湯沸室)

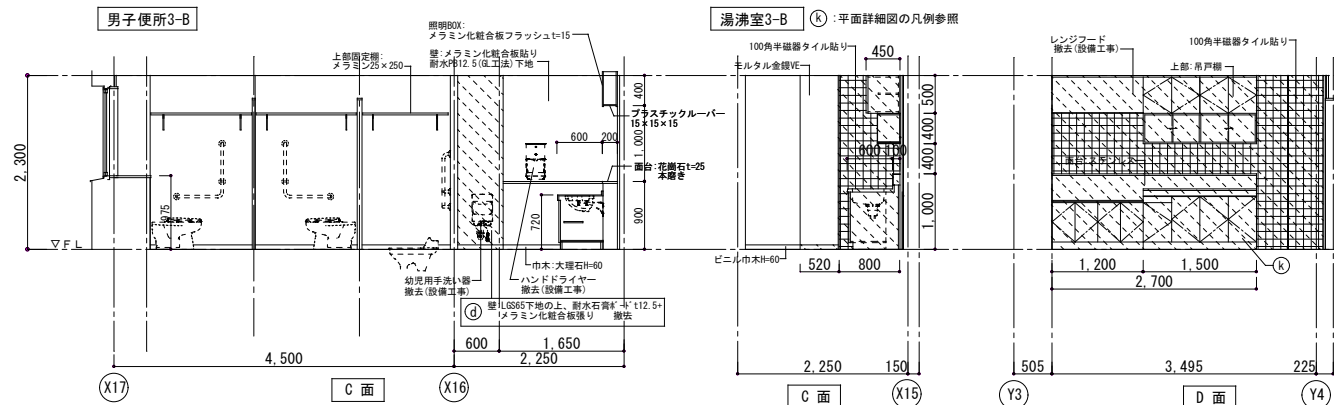
凡例		
(a) ケイカル板(910×910×6)VP 目透し貼り 且地巾6mm CH=2300 (塩ビ製廻り縁、LGS下地共)(吊ボルトのまま)	撤去	
(b) アスベストラックスt=6 目透張り(V目地)AEP (塩ビ製廻り縁、LGS下地共)	撤去	
(c) 天井点検口 450角 撤去(天井改修部のみ)		



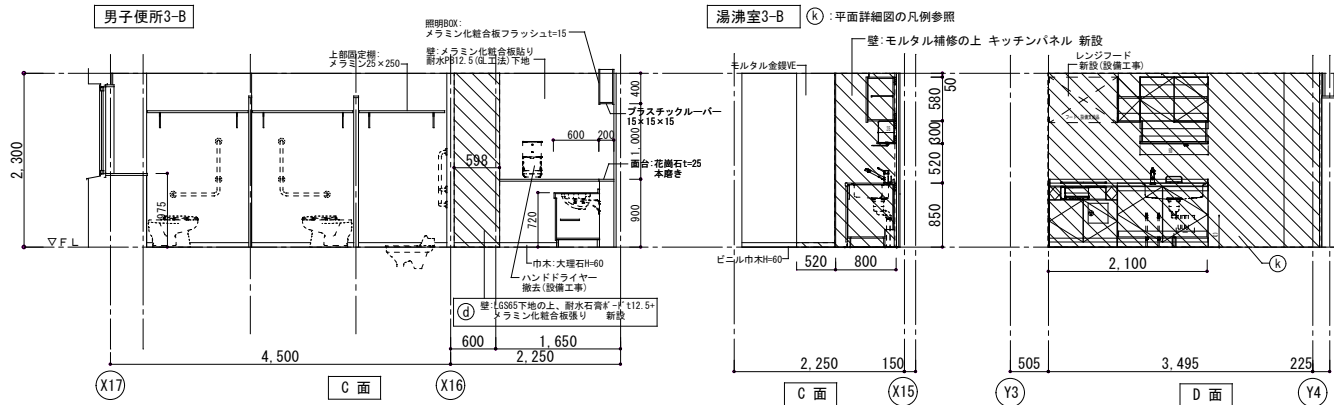
本館3階 3-B 天井伏図(改修後)
(男子便所・湯沸室)

凡例		
(a) 化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り CH=2300 (塩ビ製廻り縁、LGS下地共)(吊ボルト既存流用)	新設	
(b) 化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り CH=2300 (塩ビ製廻り縁、LGS下地共)	新設	
(c) 天井点検口 450角 新設(天井改修部のみ)		

⑩本館3階 3-B（男子便所・湯沸室）展開図（改修前）



⑩本館3階 3-B（男子便所・湯沸室）展開図（改修後）



Architectural floor plan of the 3rd floor (3F) showing various rooms and dimensions. The plan includes a Council Chamber (議長室), Vice Council Chamber (副議長室), Council Secretariat (議会事務局), and a Bath/Washroom (湯沸3-C). Dimensions are provided in millimeters. Notes indicate structural modifications and existing conditions.

Rooms and Dimensions:

- 議長室 (Council Chamber): 4,500 mm x 2,400 mm
- 副議長室 (Vice Council Chamber): 4,500 mm x 2,400 mm
- 議会事務局 (Council Secretariat): 4,500 mm x 2,400 mm
- 湯沸3-C (Bath/Washroom): 1,825 mm x 825 mm
- 洗面3-C (Sink/Washroom): 1,825 mm x 825 mm

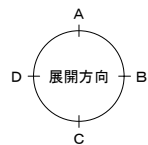
Dimensions and Notes:

- Overall dimensions: 13,500 mm (width) x 5,900 mm (depth).
- Room dimensions: 4,500 mm, 1,825 mm, 825 mm, 1,950 mm, 1,300 mm, 2,400 mm, 2,125 mm, 842 mm, 550 mm, 120 mm, 1,250 mm, 1,950 mm, 1,300 mm, 4,500 mm.
- Notes:
 - ※一部天井改修あり 平面図参照 (Partial ceiling renovation, see plan view)
 - ※一部床改修 モザイクパーケット貼り(下地共に) 既存のまま (Partial floor renovation, mosaic parquet flooring (both subfloor and base) as existing)

※一部床 改修：断面図

モザイク（バケット貼り（下地共に））
既存のまま

1,825



凡例	
⑧	アスベストラックスト=6 目透張り (V目地) AEP (塩ビ製廻り縁, LGS下地共)
▽	天井点検口 450角 撤去 (天井改修部のみ)

[illegible]

凡例	※照明・換気扇などの取り合いは配慮すること	
⑧	化粧石膏ボードt=9.5mm 目透し貼り CH=2300 (塩ビ製廻り縁、LGS下地共)	新設
☑	天井点検口 450角 撤去 (天井改修部のみ)	

Figure 1: Plan view of the shower room (湯室3-C). The diagram shows two sections: (K) and (C). Section (K) is a cross-section showing the shower pan (面台: ステンレス), mortar (モルタル金縷VE), and reinforcement (レンジワード 撤去(設備工事)). It includes dimensions for the shower pan (600 x 1,160), the mortar (1,950 x 2,300), and the reinforcement (1,000 x 1,400). Section (C) is a cross-section showing the shower pan (面台: ステンレス), mortar (モルタル金縷VE), and reinforcement (レンジワード 撤去(設備工事)). It includes dimensions for the shower pan (600 x 1,160), the mortar (1,950 x 2,300), and the reinforcement (1,000 x 1,400).

湯沸室3-C (K) : 平面詳細図の凡例参照

壁:モルタル補修の上 キッチンパネル 新設
レンガファデ
新設(設備工事)

モルタル金網VE

ビニル市木#60

842.5

2,300

▽ F.L.

1,950

2,400

50

850

1,464

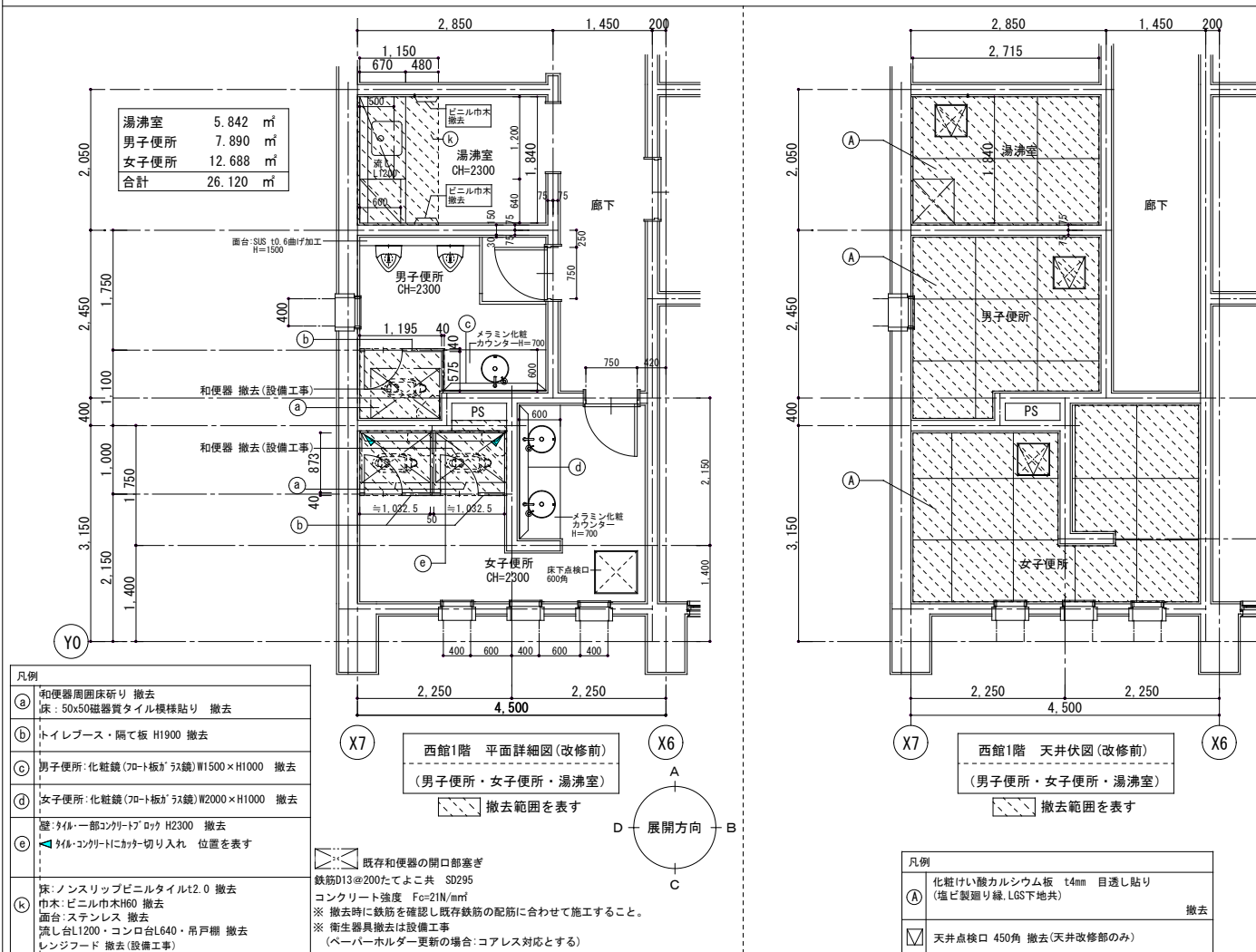
1,356

580

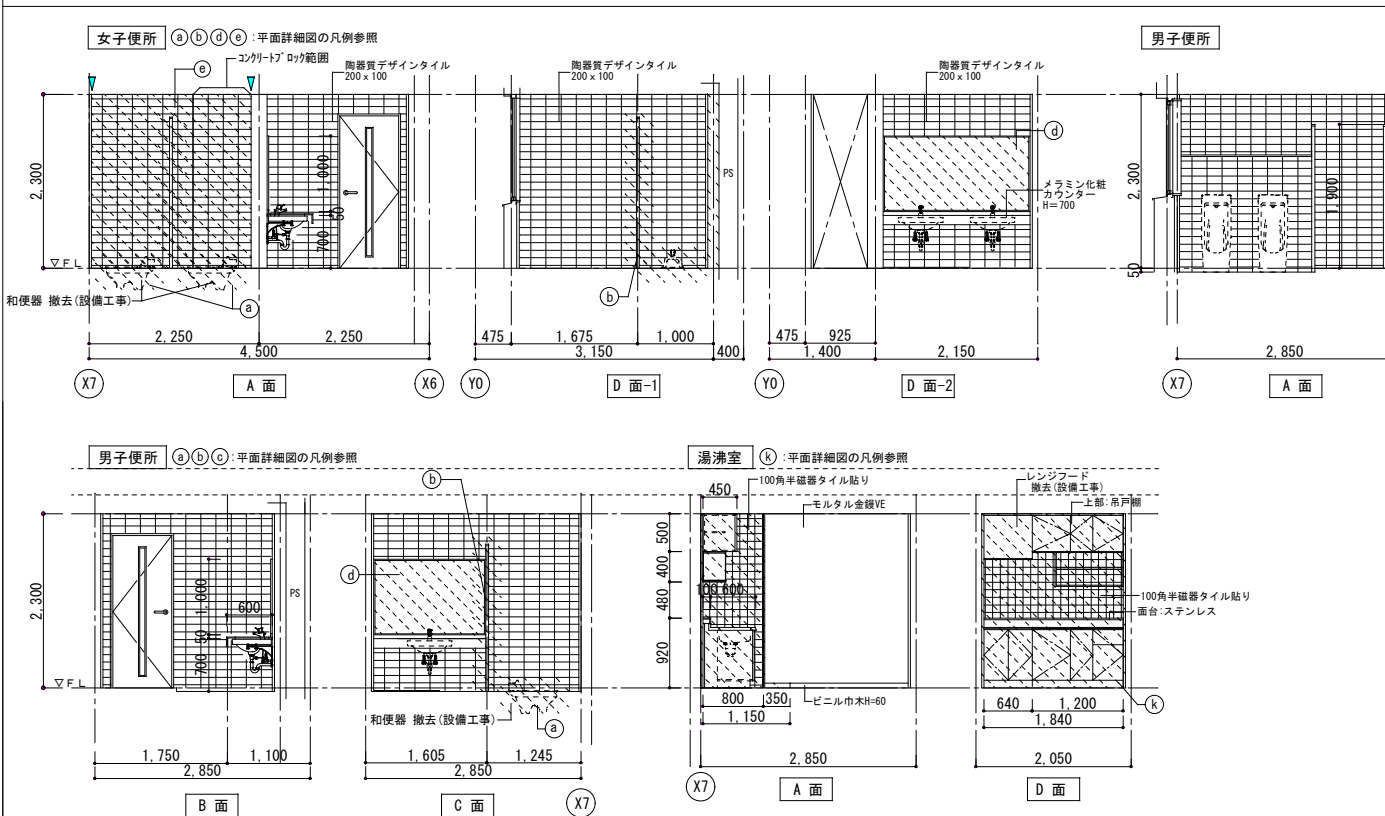
C 面

B 面

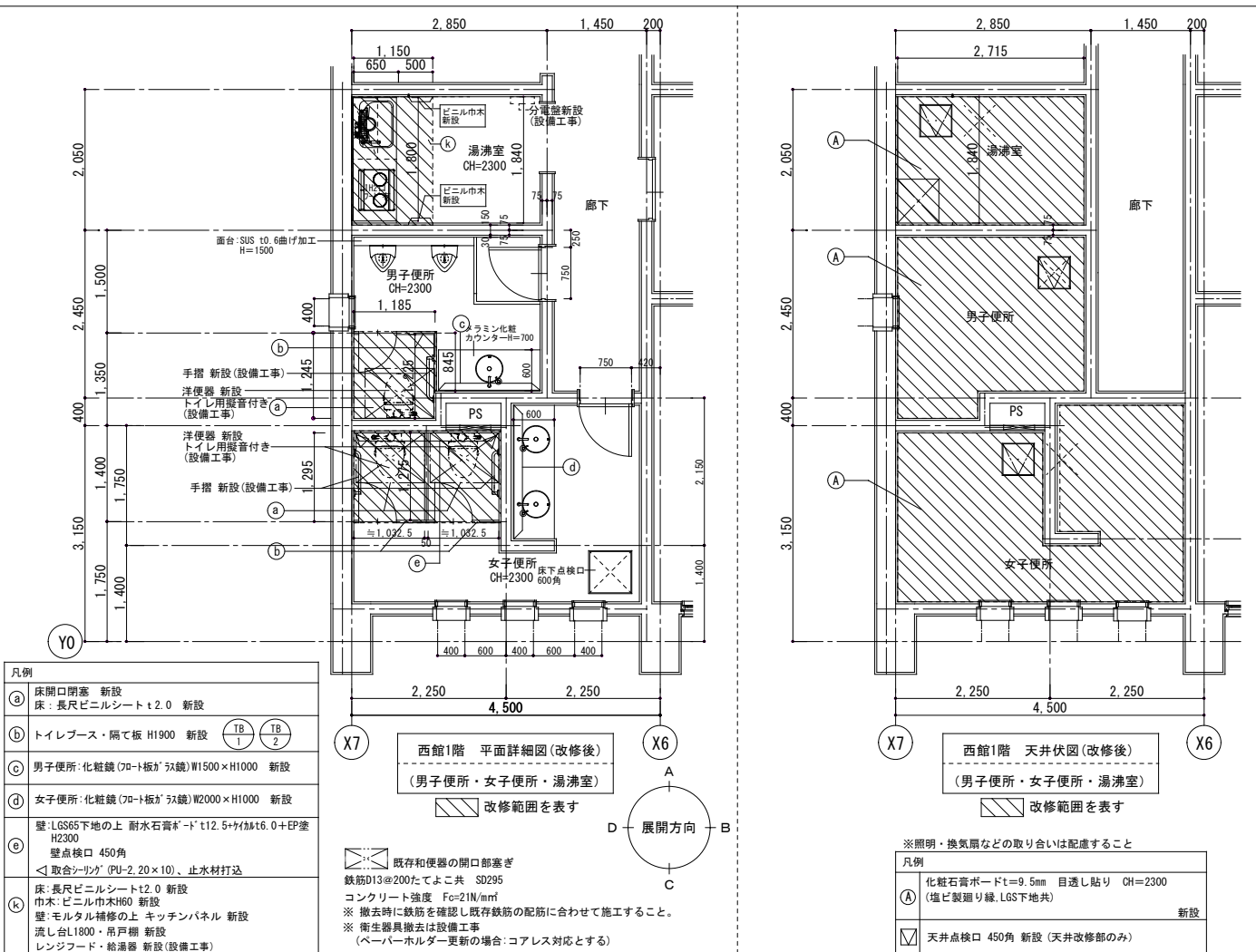
⑫西館1階（男子便所・女子便所・湯沸室）平面詳細図・天井伏図（改修前）



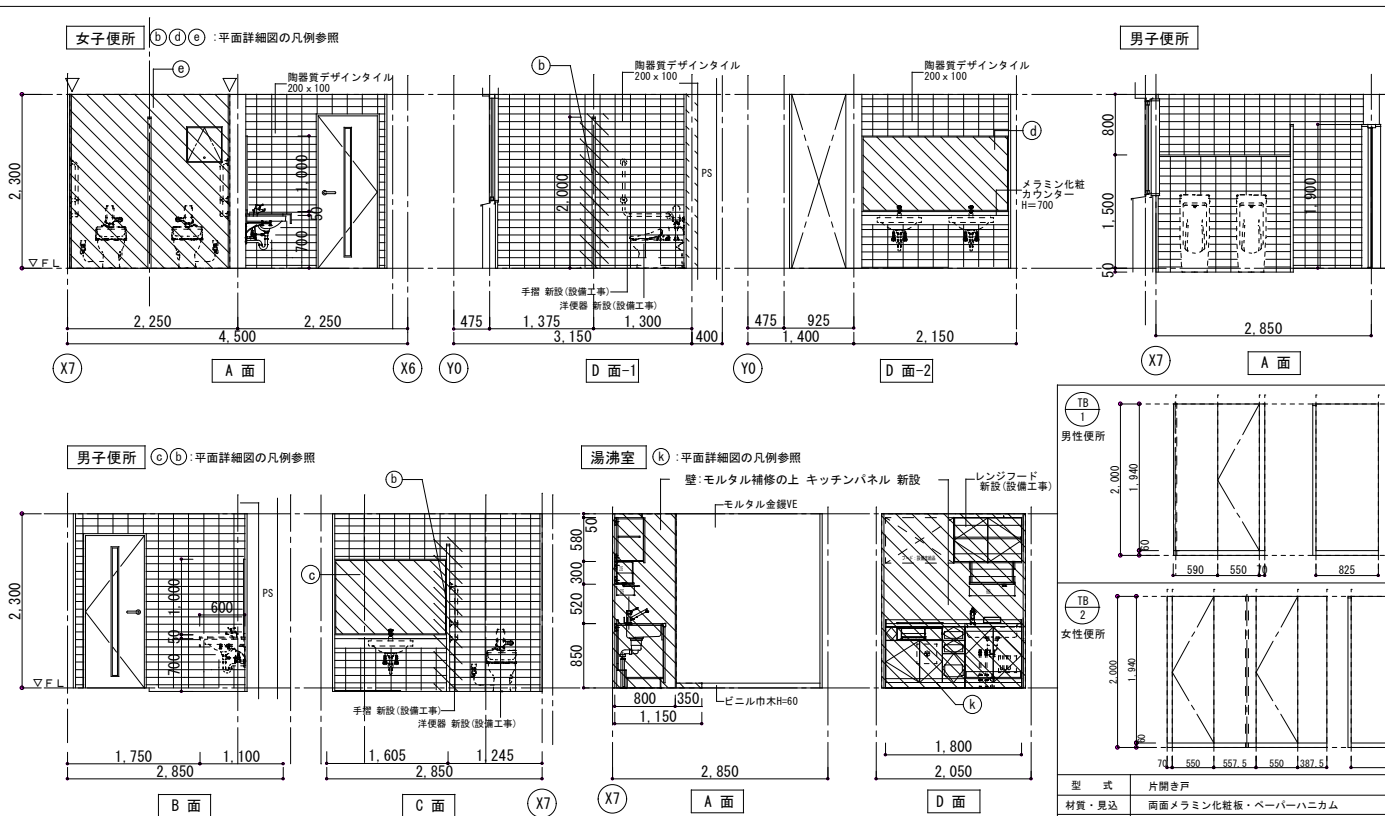
⑫西館1階（男子便所・女子便所・湯沸室）展開図（改修前）



⑫西館1階（男子便所・女子便所・湯沸室）平面詳細図・天井伏図（改修後）



⑫西館1階（男子便所・女子便所・湯沸室）展開図（改修後）



株式会社 蟻ノ塔設計事務所
ARCHITECT OFFICE ARINOTO

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号
一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤

工事名 市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事

図面名 ⑫西館1階(男子便所・女子便所・湯沸室)：平面詳細図・展開図・天井伏図(改修前後)

A1:1/50

A3:1/100

令和8年2月

Nr.

A-36

宗像市 建築課

湯沸室	5.842 m ²
男子便所	7.890 m ²
女子便所	12.688 m ²
合計	26.120 m ²

凡例

(A)	和便器周囲床張り 撤去 床: 50x50磁器質タイル模様貼り 撤去
(B)	トイレブース H1900 撤去
(C)	男子便所: 化粧鏡 (70×ト板8' 32鏡) W1500×H1000 撤去
(D)	女子便所: 化粧鏡 (70×ト板8' 32鏡) W2000×H1000 撤去
(E)	壁: 916、一部コングリト・ロータ H2300 撤去 916、コングリトにカッター切り入れ 位置を表す
(F)	床: ノンスリップビニルタイルt.2.0 撤去 巾木: ビニル巾木H60 撤去 面台: ステンレス 撤去 流し台L1200・コンロ台L640・吊戸棚 撤去 レンジフード 撤去(設備工事)

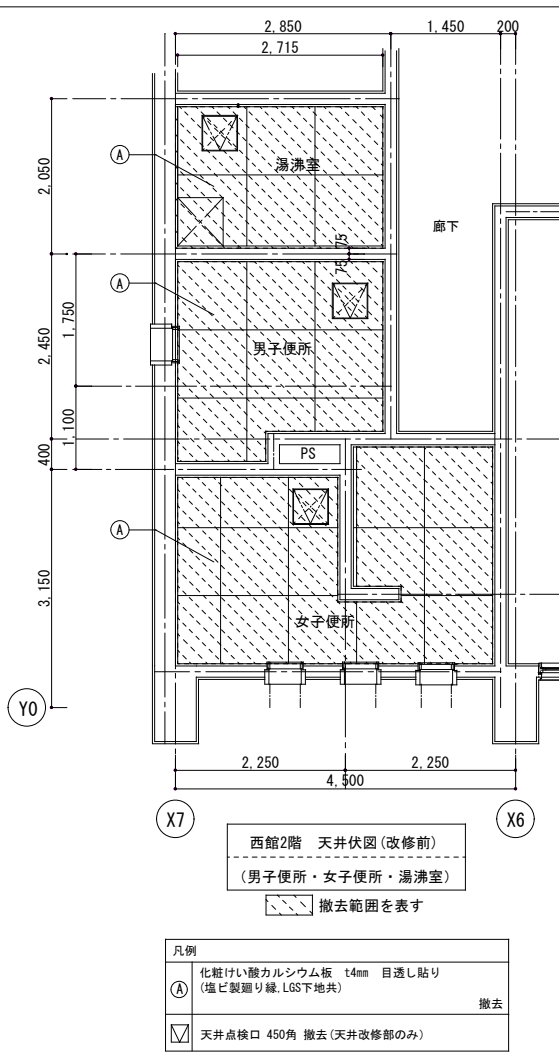
西館2階 平面詳細図 (改修前)

(男子便所・女子便所・湯沸室)

撤去範囲を表す

既存和便器の開口部塞ぎ
鉄筋D13@200たて共 共 SD295
コンクリート強度 Fc=21N/mm²
※撤去時に鉄筋を確認し既存鉄筋の配筋に合わせて施工すること。
※衛生器具撤去は設備工事
(ペーパーホルダー更新の場合: コアレシ対応とする)

展開方向



2.850 1.450 200

1 150 650 500

2.050 1.500 1.350 400 1.400 1.750 3.150 1.750 1.400

Y0

手摺 新設 (設備工事)
洋便器 新設
トイレ用脱音付き (設備工事)

洋便器 新設
トイレ用脱音付き (設備工事)
手摺 新設 (設備工事)

男子便所
CH=2300

女子便所
CH=2300

湯沸室
CH=2300

ビニル巾木 新設

ビニル巾木 新設

メラミン化粧
アワンターN=700

PS

2,250 4,500 2,250

X7 X6

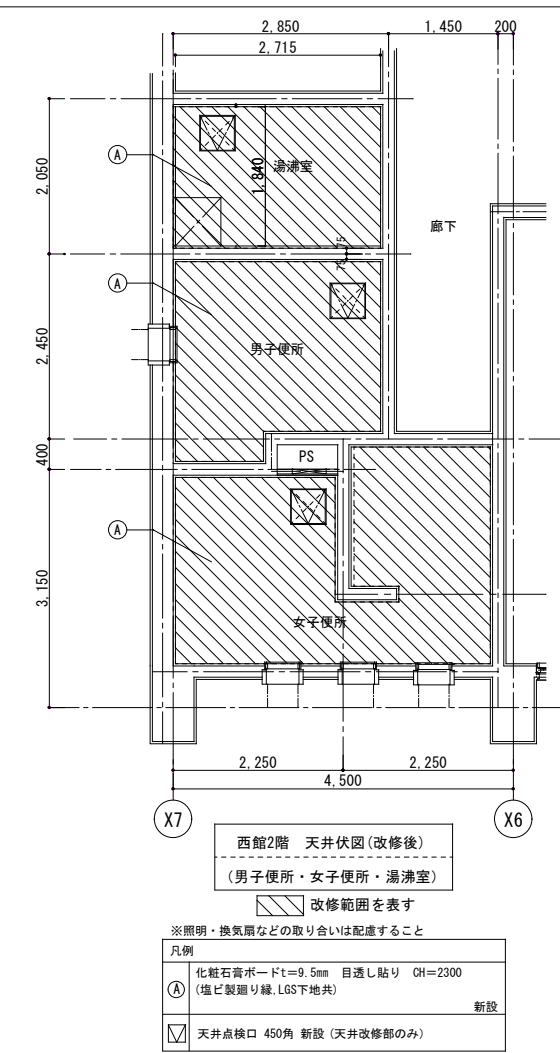
西館2階 平面詳細図 (改修後)
(男子便所・女子便所・湯沸室)

改修範囲を表す

既存和便器の開口部蓋ぎ
鉄筋D13@200たて共 SD295
コンクリート強度 $f_c=21\text{N/mm}^2$
※ 撤去時に鉄筋を確認し既存鉄筋の配布に合わせ施工すること。
※ 衛生器具撤去は設備工事
(ペーパーホルダー更新の場合: コアレス対応とする)

展開方向

凡例
(a) 床開口閉塞 新設 床: 長尺ビニルシート t2.0 新設
(b) トイレブース H1900 新設 TB 1 TB 2
(c) 男子便所: 化粧鏡 (70×165) W1500×H1000 新設
(d) 女子便所: 化粧鏡 (70×165) W2000×H1000 新設
(e) 壁: LG865下地の上 耐水石膏ボード t12.5+ヤマト6.0+EP塗 H2300 壁点検口 455角 〈匍合シリング〉 (PU-2.20×10)、止水材打込
(k) 床: 長尺ビニルシート t2.0 新設 巾木: ビニル巾木H60 新設 壁: モルタル補修の上 キッチンパネル 新設 流し台L1800・吊戸棚 新設 レンジフード・給湯器 新設 (設備工事)



The drawings are organized into three main sections: Women's Restroom (女子便所), Men's Restroom (男子便所), and Shower Room (湯沸室).

女子便所 (Women's Restroom):

- Plan View (A面):** Shows the layout of the women's restroom. It includes a toilet area (X7) and a vanity area (X6). Dimensions include a total width of 4,500 and a depth of 2,300. A note indicates "和便器 撤去 (設備工事)" (Removal of Japanese-style toilet fixture (equipment work)).
- Elevation (D面-1):** Shows the side view of the vanity area (X6). It features a ceramic tile design (陶器質デザインタイル 200 x 100) and a height of 1,000.
- Elevation (D面-2):** Shows the side view of the vanity area (X6). It features a ceramic tile design (陶器質デザインタイル 200 x 100) and a height of 1,000.

男子便所 (Men's Restroom):

- Plan View (A面):** Shows the layout of the men's restroom. It includes a toilet area (X7) and a vanity area (X6). Dimensions include a total width of 2,850 and a depth of 2,300. A note indicates "和便器 撤去 (設備工事)" (Removal of Japanese-style toilet fixture (equipment work)).
- Elevation (D面-1):** Shows the side view of the vanity area (X6). It features a ceramic tile design (陶器質デザインタイル 200 x 100) and a height of 1,000.
- Elevation (D面-2):** Shows the side view of the vanity area (X6). It features a ceramic tile design (陶器質デザインタイル 200 x 100) and a height of 1,000.

湯沸室 (Shower Room):

- Plan View (A面):** Shows the layout of the shower room. It includes a shower area (X7) and a vanity area (X6). Dimensions include a total width of 2,850 and a depth of 2,300. A note indicates "和便器 撤去 (設備工事)" (Removal of Japanese-style toilet fixture (equipment work)).
- Elevation (D面-1):** Shows the side view of the shower area (X7). It features a ceramic tile design (陶器質デザインタイル 200 x 100) and a height of 1,000.
- Elevation (D面-2):** Shows the side view of the shower area (X7). It features a ceramic tile design (陶器質デザインタイル 200 x 100) and a height of 1,000.

女子便所 (b)(d)(e) : 平面詳細図の凡例参照

男子便所

男子便所 (c)(b) : 平面詳細図の凡例参照

湯沸室 (k) : 平面詳細図の凡例参照

女子便所 (X7) **A 面** (X6) (Y0) **D 面-1** (Y0) **D 面-2** (X7) **A 面**

男子便所 (B 面) (C 面) (X7) (X7) **A 面** (D 面)

湯沸室 (X7) (X7) **A 面** (D 面)

男子便所 (TB 1) **男性便所** (TB 2) **女性便所**

型 式 片開き戸
材質・見込 両面メラミン化粧板・ペーパーハニカム

40

2.850 1.450 200

1.150 670 480

500 1.200 1.840 75 75 250 750 420 2.150 1.400

湯沸室 5.842 m²
男子便所 7.890 m²
女子便所 12.688 m²
合計 26.420 m²

面台 SUS 10.6曲げ加工 H=1500

男子便所 CH=2300

和便器 撤去 (設備工事)

和便器 撤去 (設備工事)

メラミン化粧カウンター H=700

メラミン化粧カウンター H=100

女子便所 CH=2300

2.250 4.500 2.250

400 600 400 600 400

Y0

X7

X6

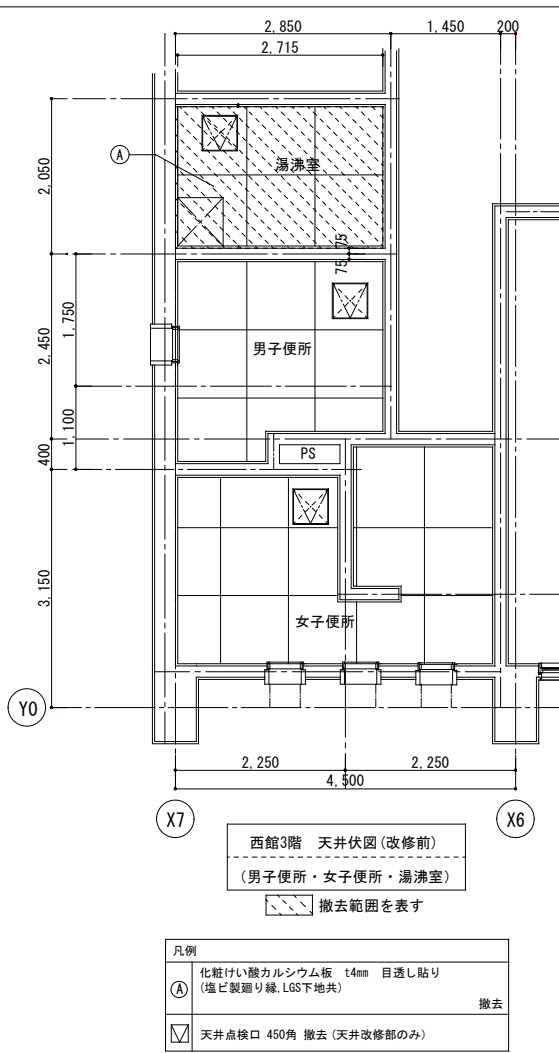
西館3階 平面詳細図 (改修前)
(男子便所・女子便所・湯沸室)

撤去範囲を表す

既存便器の開口部塞ぎ
鉄筋D13@200たてよ共 S295
コンクリート強度 F=21N/mm²
※ 撤去時に鉄筋を確認し既存鉄筋の配筋に合わせて施工すること。
※ 衛生器具撤去は設備工事
(ペーパーホルダー更新の場合: コアレス対応とする)

展開方向

凡例
(a) 和便器周囲床張り 撤去 床: 50x50磁器質タイル模様貼り 撤去
(b) トイレブース HI900 撤去
(c) 男子便所:化粧鏡 (70×16板) 32鏡) W1500×H1000 撤去
(d) 女子便所:化粧鏡 (70×16板) 32鏡) W2000×H1000 撤去
(e) 壁:タイル一部コンクリート付 ロック H2300 撤去 タイルコンクリートにタイル切り入れ 位置を表す
(f) 床:ノンスリップビニルタイル2.0 撤去 巾木:ビニル巾木H60 撤去 面台:ステンレス 撤去 流し台L1200・コンロ台L640・吊戸棚 撤去 レンジフード 撤去 (設備工事)



The drawings are organized into three main sections: Women's Restroom (女子便所), Men's Restroom (男子便所), and Shower Room (湯沸室).

女子便所 (Women's Restroom):

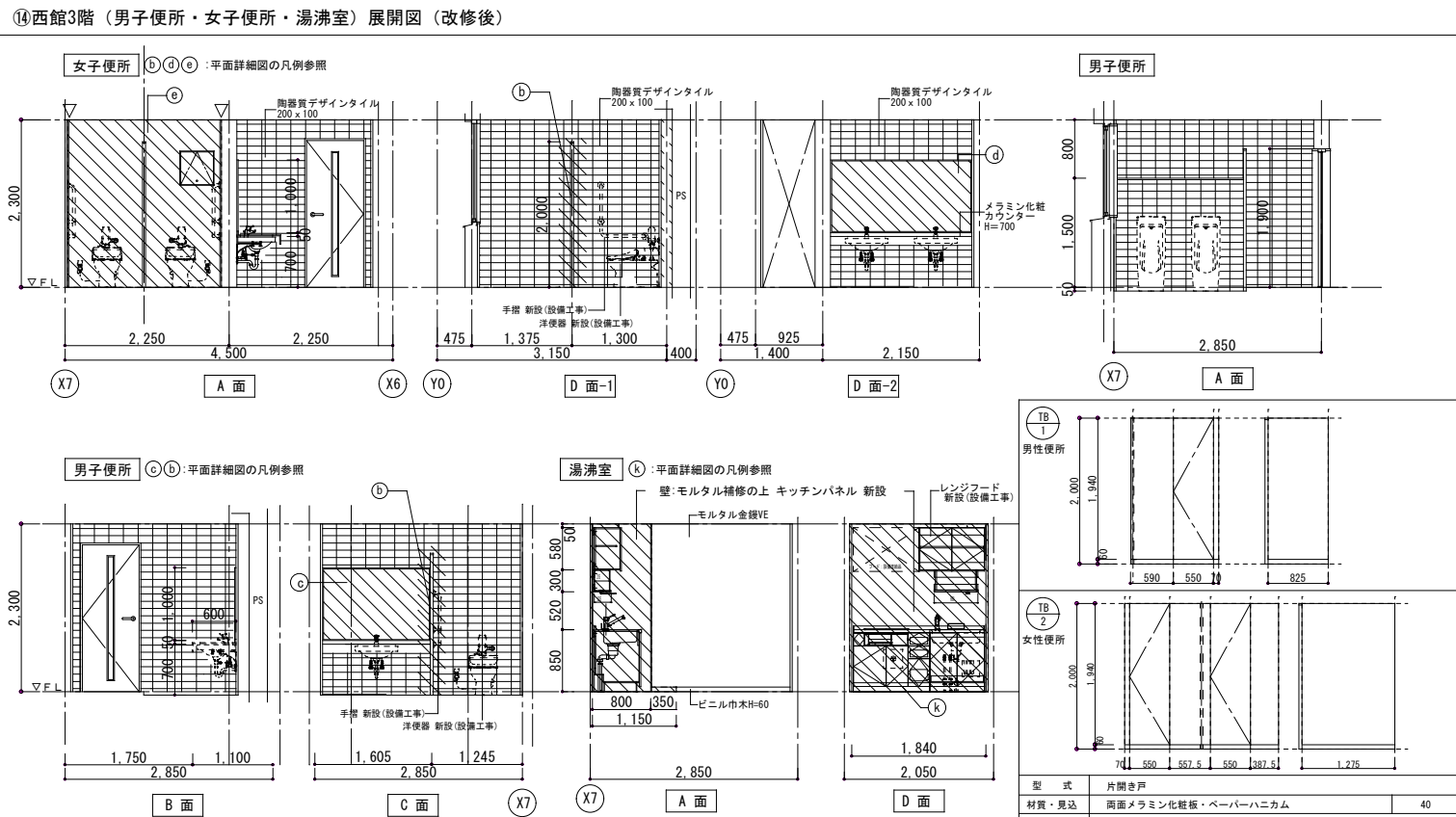
- Plan View (平面詳細図の凡例参照):** Shows the layout of the women's restroom. It includes a main area (A面) with a width of 2,250mm and a total width of 4,500mm. A side area (X7) has a width of 2,300mm. The drawing indicates the removal of existing fixtures (和便器 撤去 (設備工事)).
- Elevation View (D面-1):** Shows the side elevation of the women's restroom. It includes a width of 475mm, a total width of 3,150mm, and a height of 1,000mm. The drawing indicates the removal of existing fixtures (和便器 撤去 (設備工事)).
- Elevation View (D面-2):** Shows the side elevation of the women's restroom. It includes a width of 475mm, a total width of 1,400mm, and a height of 2,150mm. The drawing indicates the removal of existing fixtures (和便器 撤去 (設備工事)).

男子便所 (Men's Restroom):

- Plan View (平面詳細図の凡例参照):** Shows the layout of the men's restroom. It includes a main area (A面) with a width of 1,750mm and a total width of 2,850mm. A side area (X7) has a width of 1,100mm. The drawing indicates the removal of existing fixtures (和便器 撤去 (設備工事)).
- Elevation View (D面):** Shows the side elevation of the men's restroom. It includes a width of 1,605mm, a total width of 2,850mm, and a height of 1,245mm. The drawing indicates the removal of existing fixtures (和便器 撤去 (設備工事)).

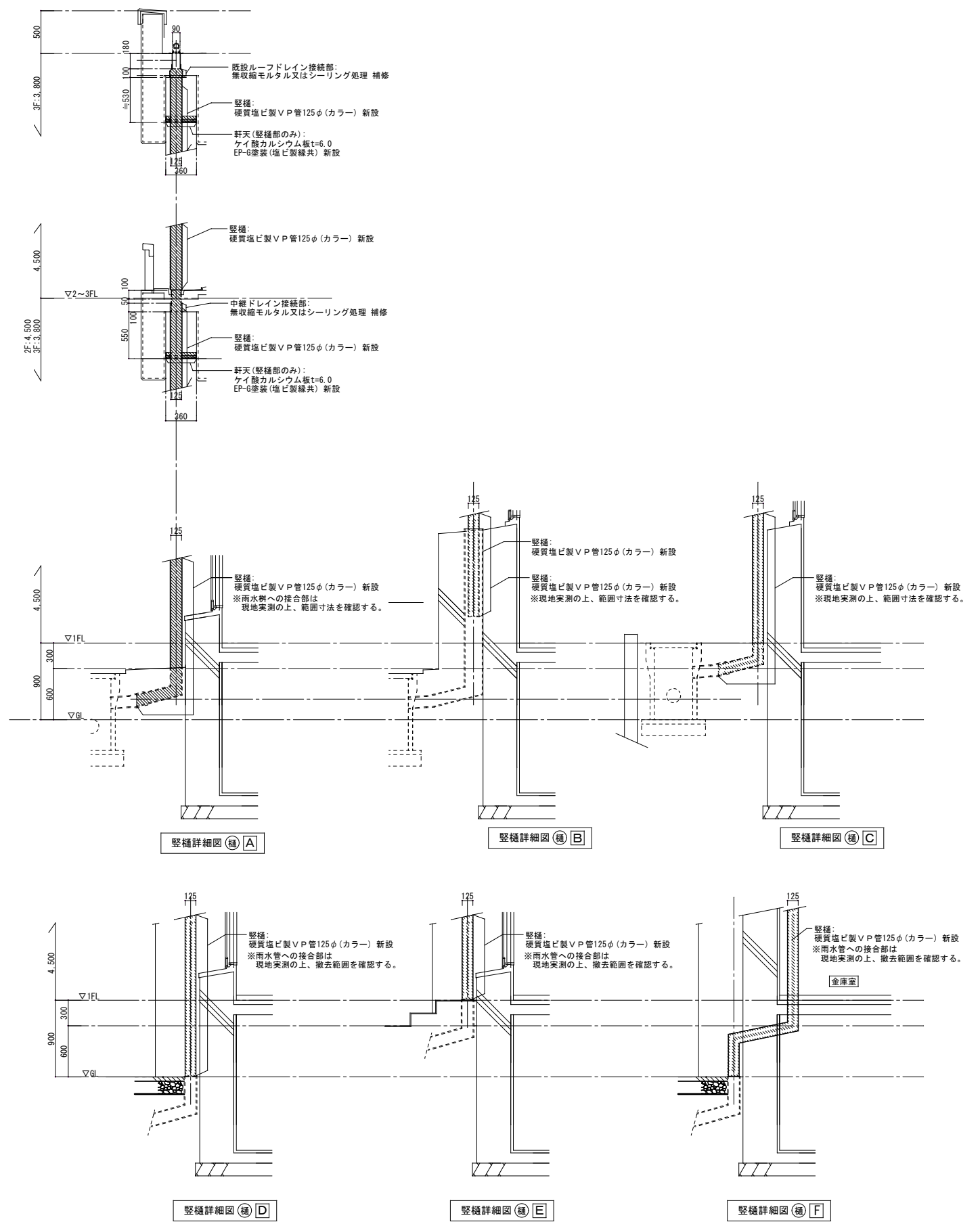
湯沸室 (Shower Room):

- Plan View (平面詳細図の凡例参照):** Shows the layout of the shower room. It includes a main area (A面) with a width of 800mm and a total width of 1,150mm. A side area (X7) has a width of 450mm. The drawing indicates the removal of existing fixtures (和便器 撤去 (設備工事)).
- Elevation View (D面):** Shows the side elevation of the shower room. It includes a width of 640mm, a total width of 1,200mm, and a height of 1,840mm. The drawing indicates the removal of existing fixtures (和便器 撤去 (設備工事)).

[illegible]

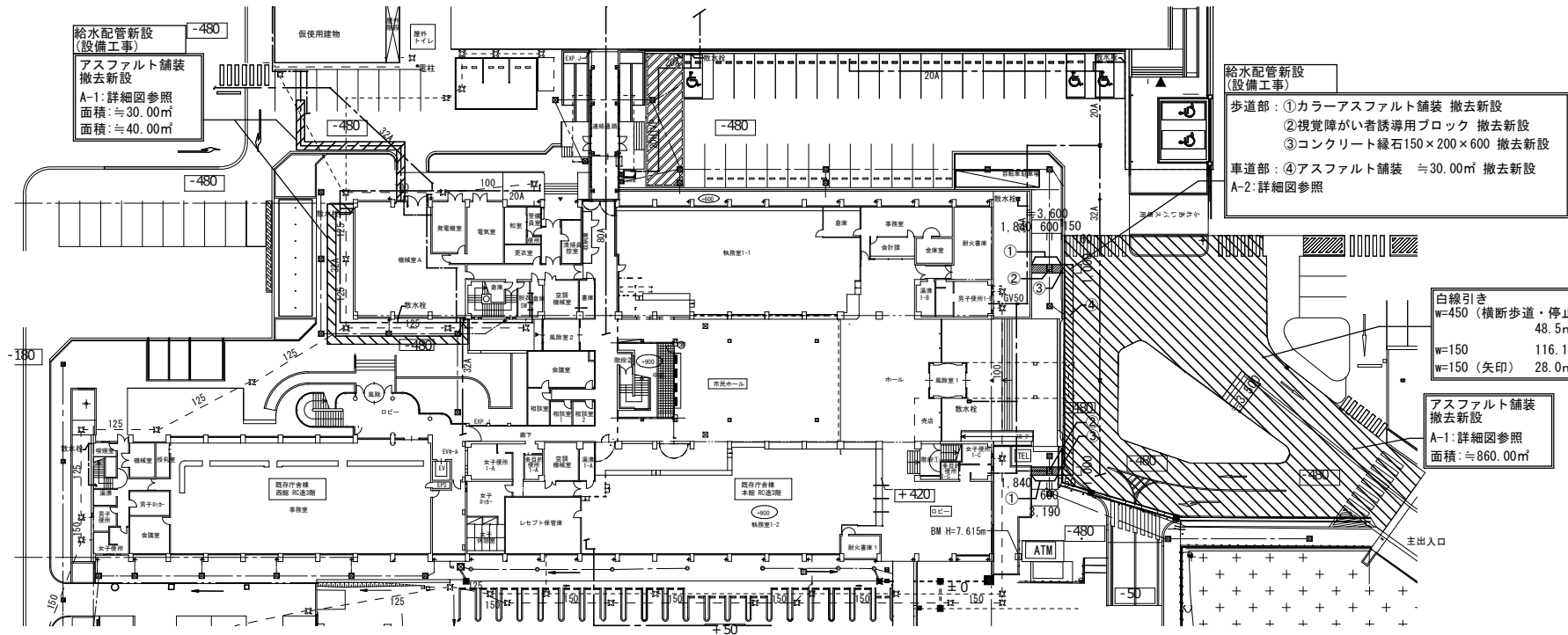
⑮西館1階 事務室 天井伏図 (改修前) 西館1階 事務室 天井伏図 (改修前) 凡例 Ⓐ 岩綿吸音板 (塩ビ製廻り縁, LGS下地共) 撤去	⑮西館1階 事務室 天井伏図 (改修後) 西館1階 事務室 天井伏図 (改修後) ※照明・換気扇などの取り合いは配慮すること 凡例 Ⓐ 化粧石膏ボードt=9.5mm CH=3800 (塩ビ製廻り縁, LGS下地共) 新設 ☑ 天井点検口 450角 新設 (天井改修部のみ)
⑯本館3階 廊下 天井伏図 (改修前) 本館3階 廊下 天井伏図 (改修前) 凡例 Ⓒ ミネラートン張り 石膏ボードt=9 捨張り (塩ビ製廻り縁, LGS下地共) 撤去	⑯本館3階 廊下 天井伏図 (改修後) 本館3階 廊下 天井伏図 (改修後) ※照明・換気扇などの取り合いは配慮すること 凡例 Ⓒ 化粧石膏ボードt=9.5mm CH=2700 (塩ビ製廻り縁, LGS下地共) 新設
	株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤 工事名 市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事 図面名 ⑮西館1階(事務室)・⑯本館3階(廊下): 天井伏図 (改修前後) 宗像市 建築課 A1: 1/100 A3: 1/200 令和8年2月 No. A-39

縦樋 部分詳細図（改修後）

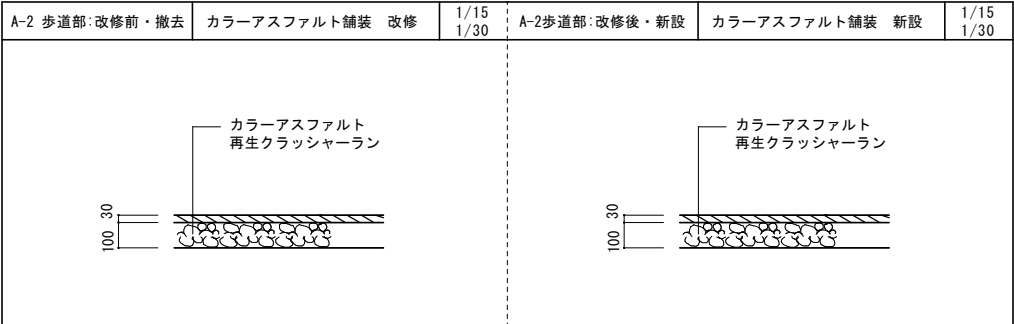
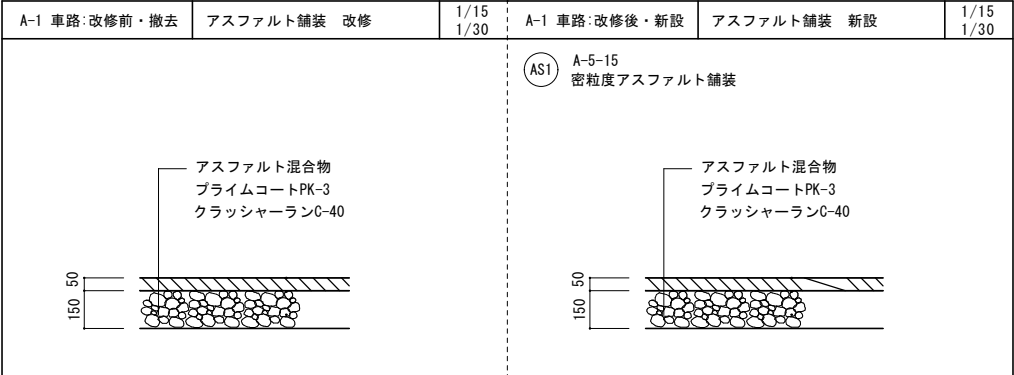


凡 例	[A]～[E]	堅樋位置【A-16：1階平面図 参照】		 株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/30 A3:1/60	No. A-41
					図面名	部分詳細図（堅樋）	令和8年2月	
					一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤	宗像市 建築課		

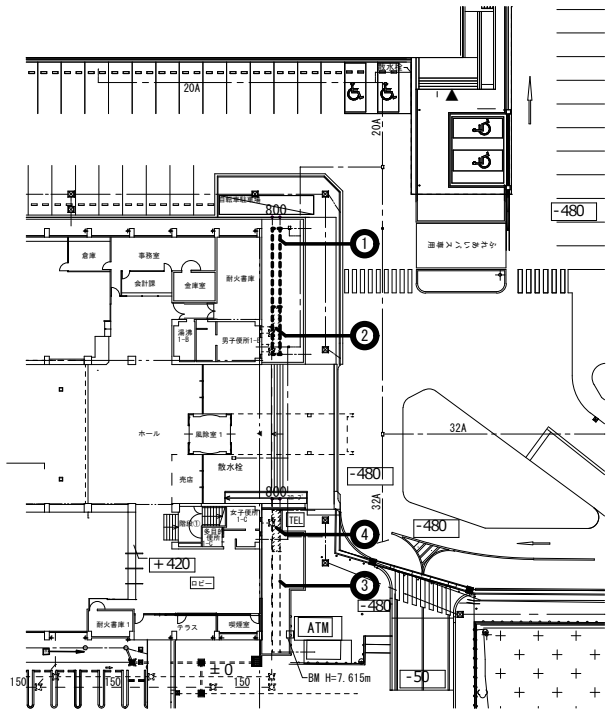
A-1 敷地内 舗装（改修前後）



敷地内舗装改修図 1/400



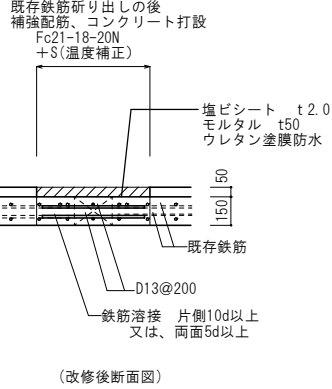
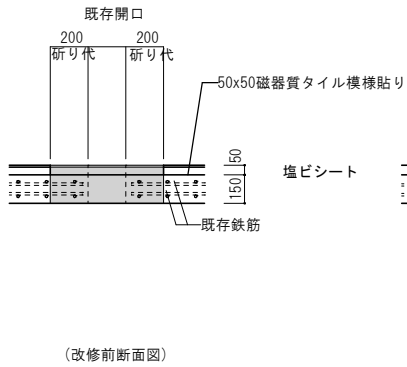
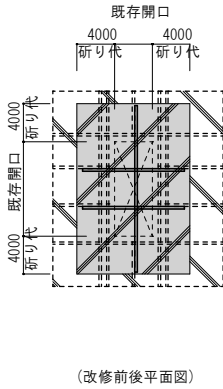
A-2 敷地内 樹木（改修後）



敷地内樹木撤去図 1/400

樹木撤去数量表					
中木伐採・伐根					
番号	樹高さ (m)	根廻り (mm)	枝張 (m)	数量	備考
伐採					
①	1.9	500	0.8	21	
②	1.9	500	0.8	24	
伐根					
③		500		8	
④		500		7	

既存床 (和便器) 開口閉鎖改修図



既存床開口閉鎖図 1/20



株式会社 蟻ノ塔設計事務所
ARCHITECT OFFICE ARINOTO

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号
一級建築士 大臣登録 第349975号 福井 潤

工事名

市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事

図面名

部分詳細図 (屋内外)

図示による

令和8年2月

No.

A-42

宗像市 建築課

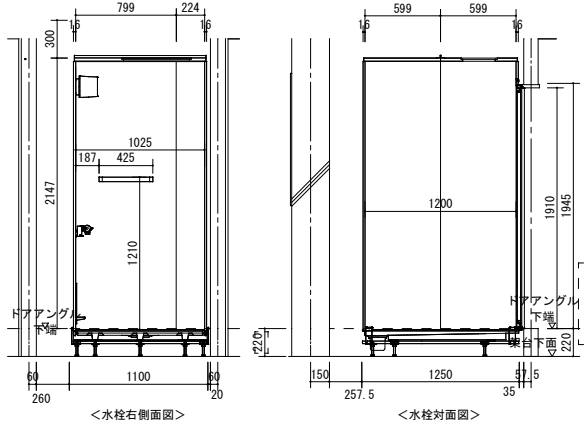
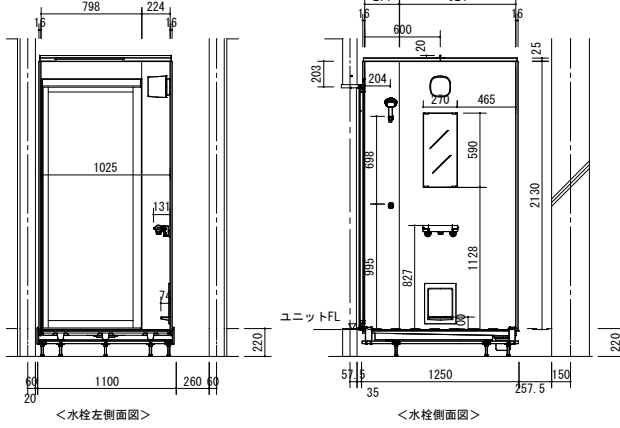
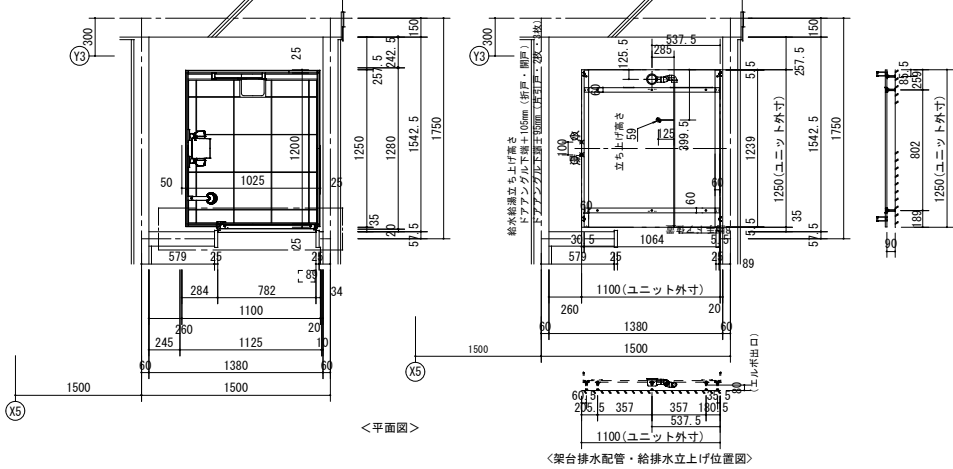
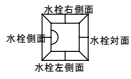
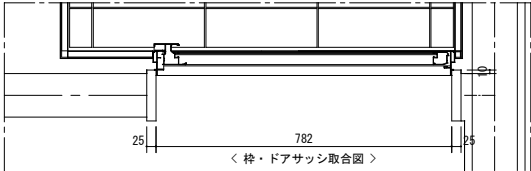
本館1階シャワー・脱衣室： シャワーユニット詳細図(参考図)

シャワーユニット： びったりサイズシャワーユニット/タカラスタンダード 同等品以上

本体仕様表	
ドア操作	取っ手
扉合	ボルト脚架台(低床タイプ)：亜鉛メッキ鋼板
洗場パン	キーブロックフロア：ステンレス/300角磁器タイル貼 保温材内蔵
カウンター	—
浴室パネル	パネル高さタイプ：鏡面鏡質ホーロー 裏面保温材 タオル掛け穴：なし
天井	化粧材「わが」貼(内部発光樹脂) 換気機器開口：なし 天井照明開口：なし
ドア	キックアウト：19高と開き戸(スリスリ/樹脂/5A/9型換気口)
窓1	—
窓2	—
窓枠1	—
窓枠2	—
排水トラップ	A B S樹脂・耐水50mm
排水配管	硬質塩ビパイプ VP50

アクセサリ仕様表	
ミラー	ショートミラー (フック固定)
収納棚	—
タオル掛け	スクエアタイプ(ホワイト)：ABS樹脂製
洗場排水栓	キックアウト(9F300X.TTKST) (樹脂キックアウト)
タオル掛けバー	シャワーフック (シャワー用 KJ)
照明	ソフトスクエアライト (LED 8W電球色)
換気扇	—
給水給湯管	銅管 (10A)

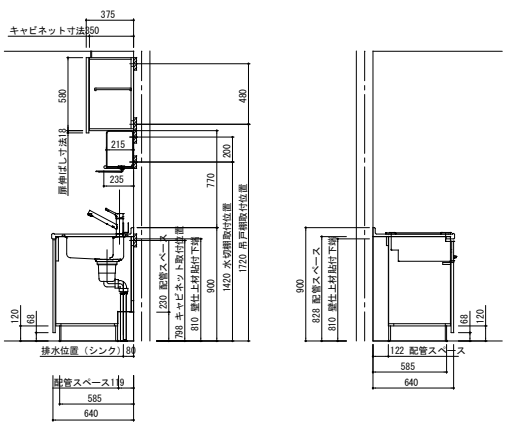
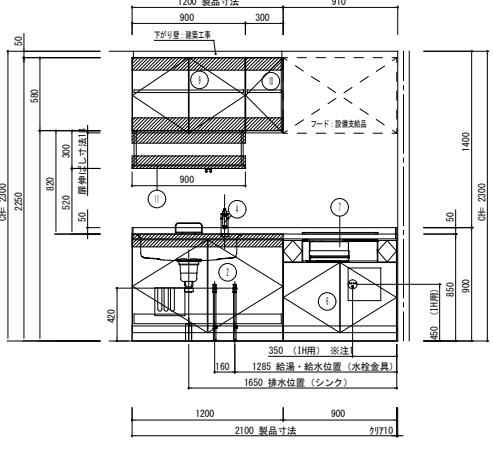
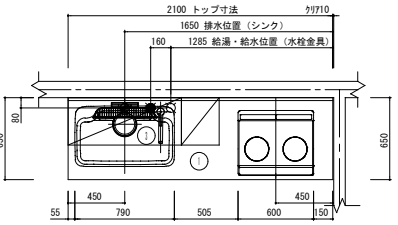
本体カラー			
カウンター	— (カウンターなし)	ドア / 天井	Ⅱ：ホワイト / Ⅲ：ホワイト
パネル(洗場側)	ⅡⅢ：ラミナストーンホワイト	収納棚	—
パネル(風呂側)	Ⅲ：ホワイト	タオル掛け	スクエアタイプ(ホワイト)
排水トラップ	—	シャワーフック	—
洗場	ⅡⅢ：ホワイトグレー		



ボルト脚架台高さについて
ボルト脚架台の高さは
209mm～229mmの調整幅があります

本館1階1-A 湯沸室：キッチン詳細図(参考図)

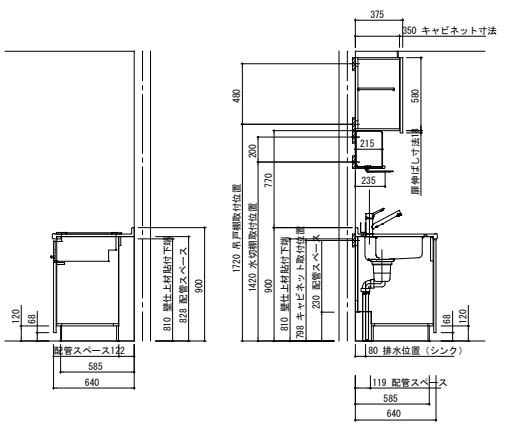
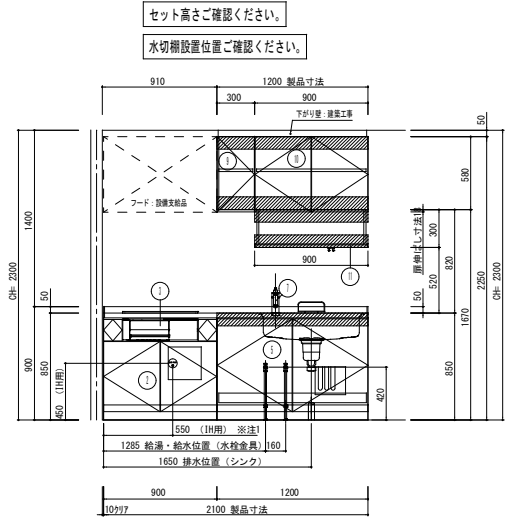
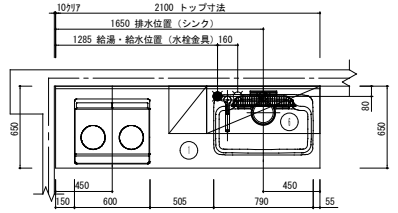
キッチン： シエラS21/LIXIL 同等品以上



品名	品番	数量	備考
1 シェルターユニット・D650	TAMAT210APPL	1	【KA】シルクエンボス
2 シンク用キャビ	TASAL1208M1AR	1	開き扉
3 スキットシンク	APR	1	樹脂排水・コート無
4 タイル/シンク/バー/ス	SPWAC25YJGT	1	72×45(一部開・開閉)
5 直管配管排水セット	PRISERTINT	1	排水円板(小)付
6 シンク用キャビ	TASAL1208M1AR	1	開き扉・小引出しシルバー
7 R41/2口IH	SKL223CJG	1	600トッパ・樹脂製・グレー・遮
8 IHヒーター用なすり板	Y18318000T	1	開き扉
9 扉戸H600・キャッチ	TAMWISOGADJ1N	1	開き扉
10 扉戸H600・キャッチ	TAMWISOGADJ1L	1	開き扉
11 水切棚	NSR001	1	1段

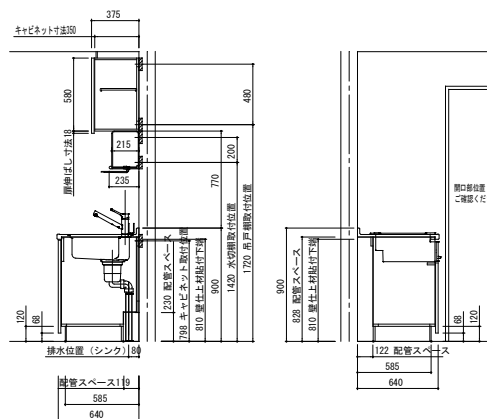
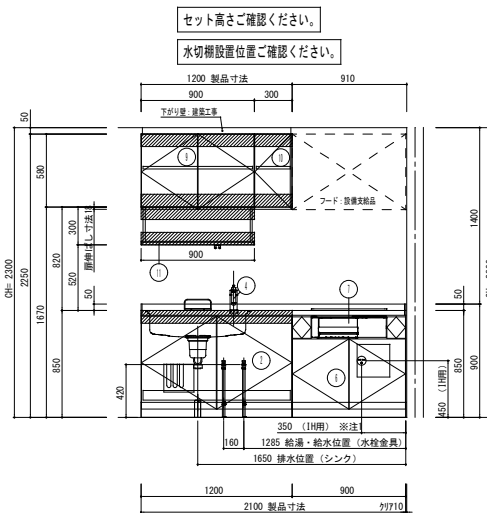
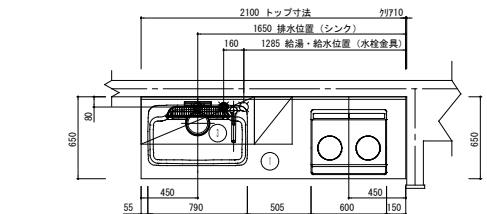
本館1階1-B・3階3-B 湯沸室：キッチン詳細図(参考図)

キッチン： シエラS21/LIXIL 同等品以上



品名	品番	数量	備考
1 シェルターユニット・D650	TAMAT210APPL	1	【KA】シルクエンボス
2 シンク用キャビ	TAC20088M1AR	1	開き扉・小引出しシルバー
3 R41/2口IH	SKL223CJG	1	600トッパ・樹脂製・グレー・遮
4 IHヒーター用なすり板	Y18318000T	1	開き扉
5 シンク用キャビ	TASAL1208M1AR	1	開き扉
6 スキットシンク	APR	1	樹脂排水・コート無
7 タイル/シンク/バー/ス	SPWAC25YJGT	1	72×45(一部開・開閉)
8 直管配管排水セット	PRISERTINT	1	排水円板(小)付
9 扉戸H600・キャッチ	TAMWISOGADJ1N	1	開き扉
10 扉戸H600・キャッチ	TAMWISOGADJ1L	1	開き扉
11 水切棚	NSR001	1	1段

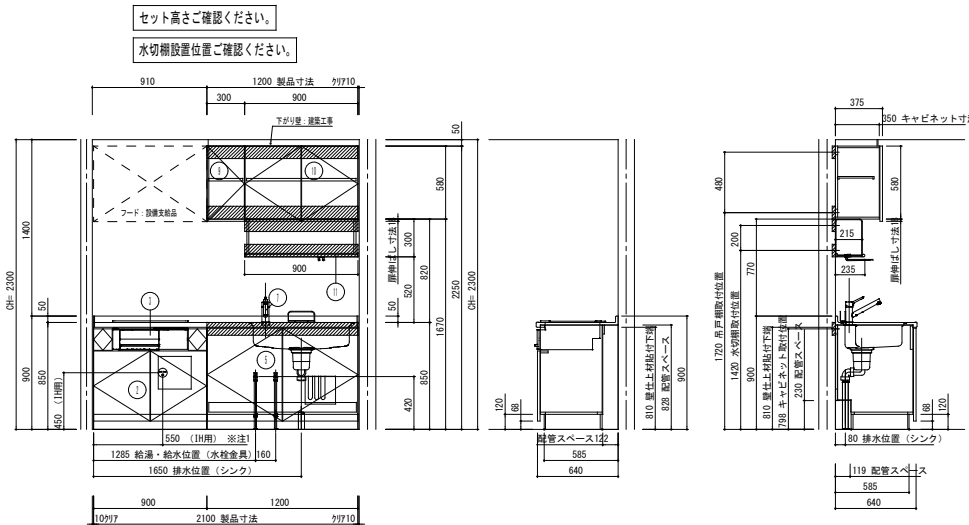
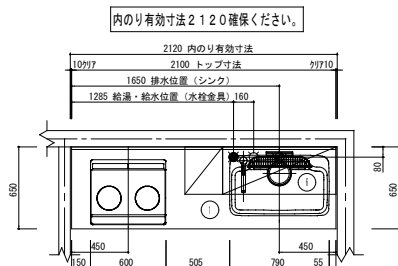
キッチン：シエラS21/LIXIL 同等品以上



品名	品番	数	備考
11 型ワットアップ0650	TKA12100AP01L	1	【K/A】シルクエンボス
2 シンク用キャビ	TAS.L1208B1JAL	1	開き扉
3 スキットシンク	ASPR	1	樹脂排水・コート無
4 P42/シンフルバー水栓	SFW42055XJET	1	1/2インチ・樹脂製・音割3
5 直管排水管排水セット	HTDETINT	1	排水円板（小）付
6 コンロ用キャビ	TACLO0908B1JAN	1	開き扉・小引出しシルバー
7 R41/2口IH	QXCLZ2C3AG	1	600トッパ・熱交換器・ブロー・遮熱
8 IHヒーター用仕切り板	T1BS100G01	1	
9 吊戸棚H600・キャッチ	TANVO5040N1JAN	1	開き扉
10 吊戸棚H600・樹脂製キャッチ	TANVO5040N1JL	1	開き扉
11 水切棚	NS901	1	1段

注1) 250V・15A 2極接地極付コンセント【専用】

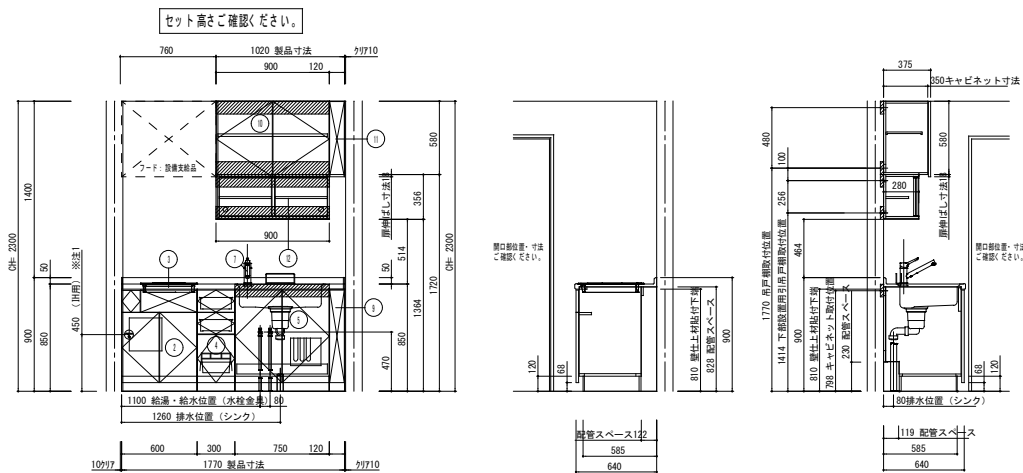
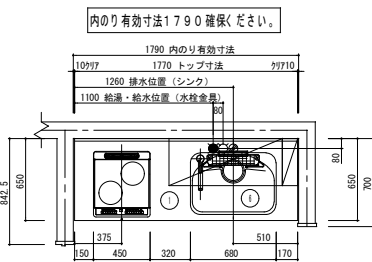
キッチン：シエラS21/LIXIL 同等品以上



品名	品番	数	備考
1 12型ワットポンプ0650	TJMA7210MRJLR	1	【K.A】シムタエンボス
2 コンロ用キャビ	TAC3C0908RJ1W	1	開き扉、小出しシールバー
3 R41ノ2ロIH	CHC228C3J	1	800トプ・熱交換器・グレー・鉄
4 1ヒーター用仕切り板	F18S1H001	1	
5 シンク用キャビ	TASJL1208RJ1W	1	開き扉
6 スキットシンク	ASPL	1	樹脂排水・コード無
7 P42/シングルレバー水栓	SFWMA20SYJ6T	1	クマデス・10分・10分・10分
8 直管配管排水セット	HTHSEJ10T	1	排水木板（小）付
9 18戸用600番排水用キャビ	TANV03040RJ1W	1	開き扉
10 18戸用600番キャビ	TANV03040RJ1W	1	開き扉
11 水切用	NS901	1	1段

注1) 250V・15A 2極接地極付コンセント【専用】

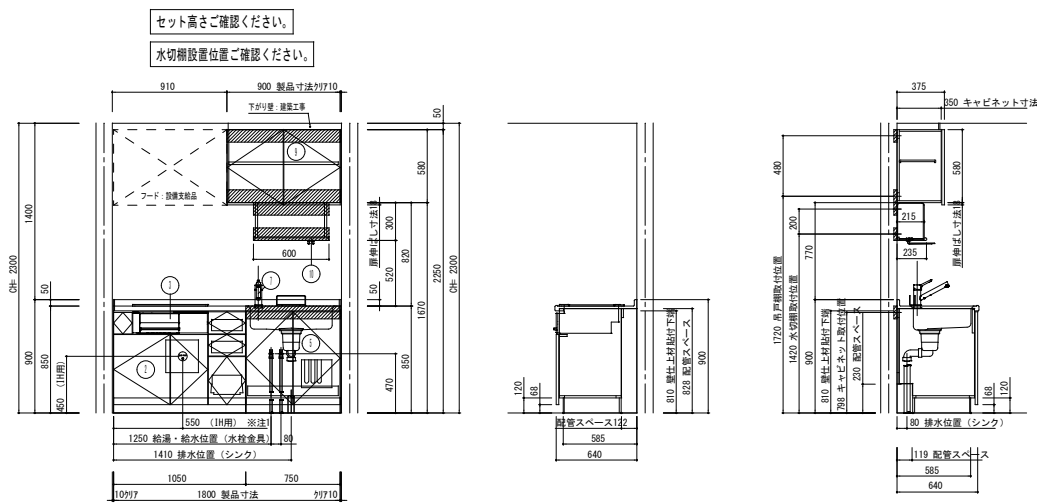
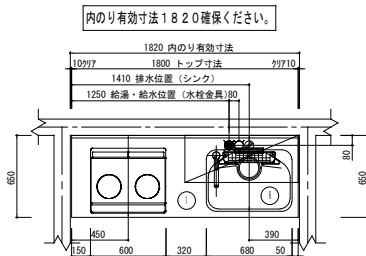
キッチン：シエラS21／LIXIL 同等品以上

[illegible]

注1) 250V・20A 2極接地極付コンセント(側板取付)【専用】

【注意】

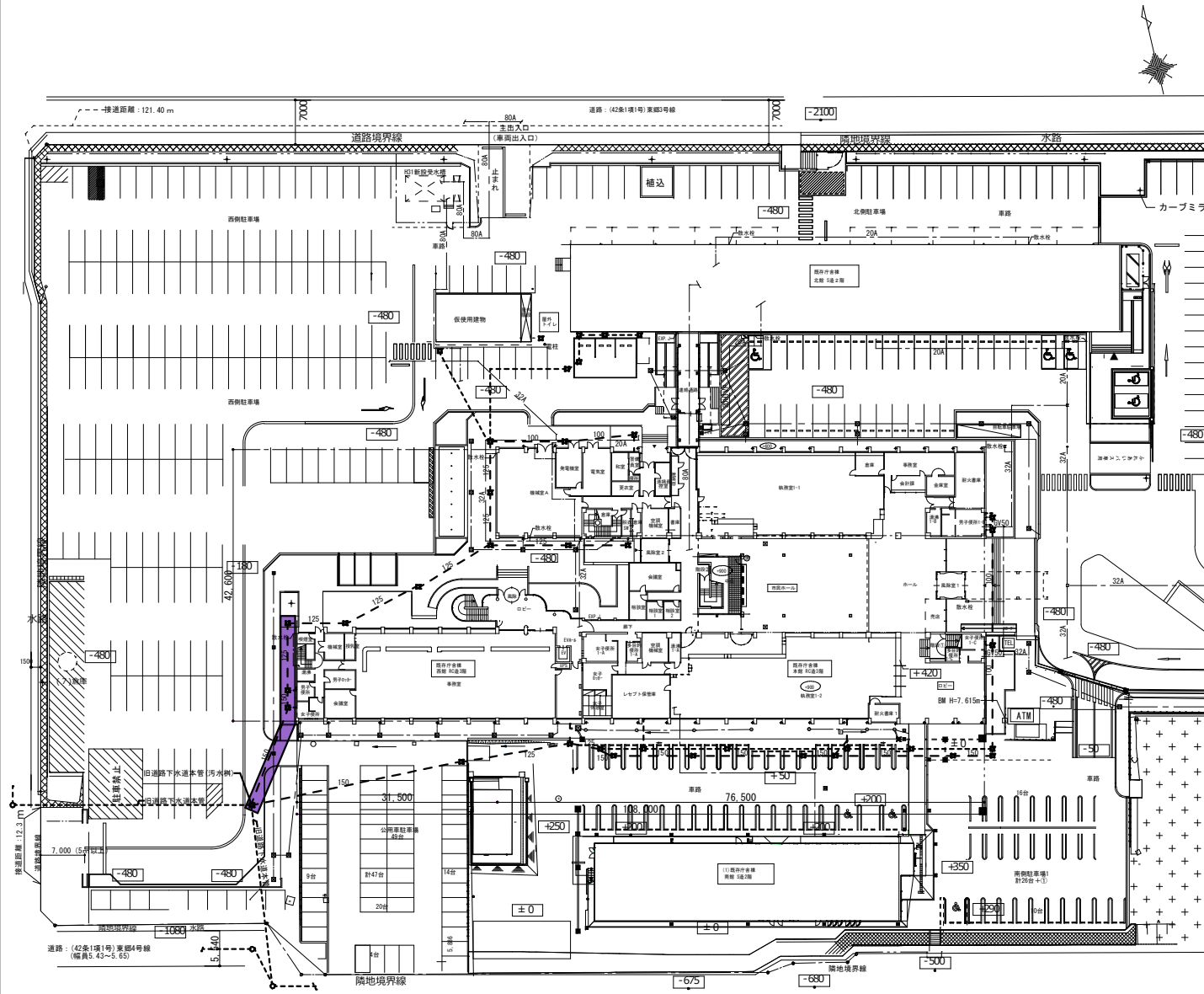
キッチン：シエラS21/LIXIL 同等品以上

[illegible]

注1) 250V・15A 2極接地極付コンセント【専用】



凡 例		枠組み本足場 (600枠)		交通誘導員 (大型車両搬出入時) (15日)	①期工区	高所作業車 (自走式 垂直昇降型クローラ) 14m (2ヶ月)	共 通 事 項 - 仮設計計画については、参考図とする。 - 工事関係者は西側入口からアクセスとする。 (資材運搬に関しては、施設管理者と協議を行い、施設利用者と重複しないこと) - 工事期間中、施設利用者の安全に努めること。 - 敷地内の車輛の運行に際しては、徐行とし歩行者の安全に努めること。	 株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤 宗像市 建築課	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/300 A3:1/600	No.
		昇降足場		グリーンフェンス H=1,180	②期工区	その他範囲：ローリング足場 H5.0m (1ヶ月)			図面名	仮設計計画図 (樋・屋外) (参考図)	令和8年2月	A-45
		工事車両出入口				中庭範囲のみ：枠組み本足場(600枠)、昇降足場 (7日)						
		工事車両動線				③期工区			高所作業車 (自走式 屈伸型クローラ) 12m (1ヶ月)			



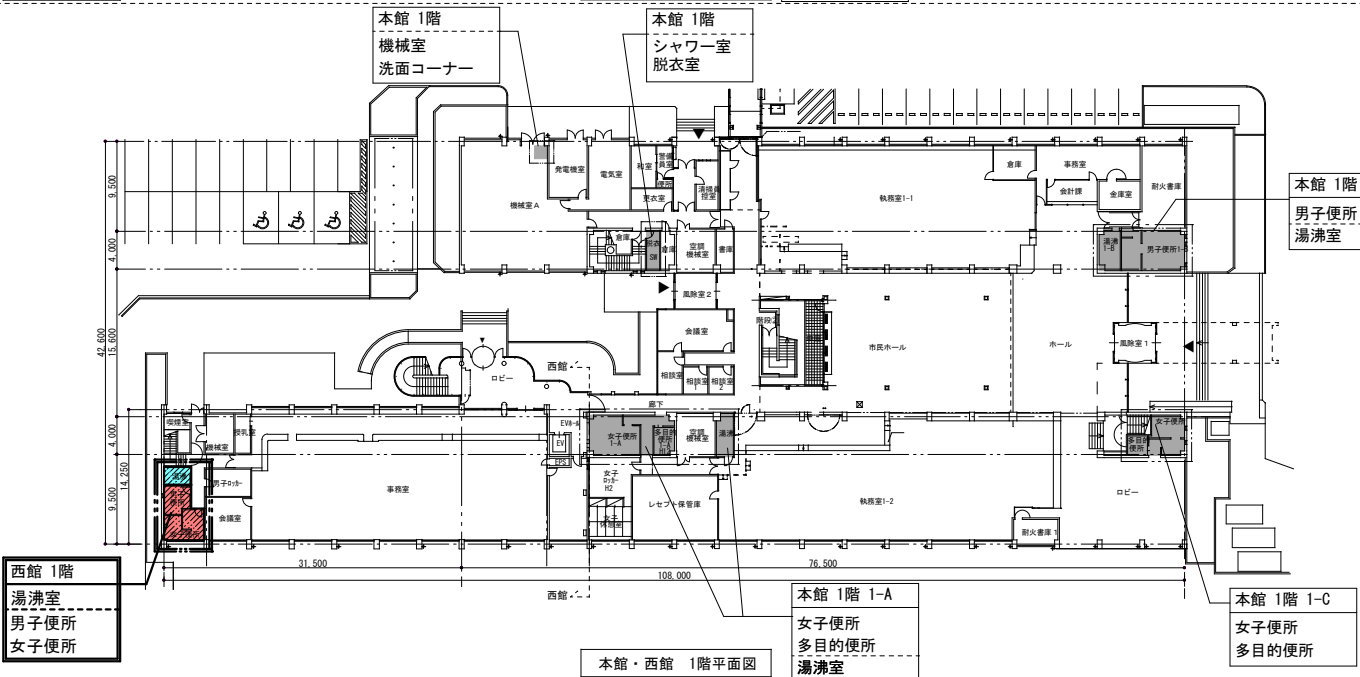
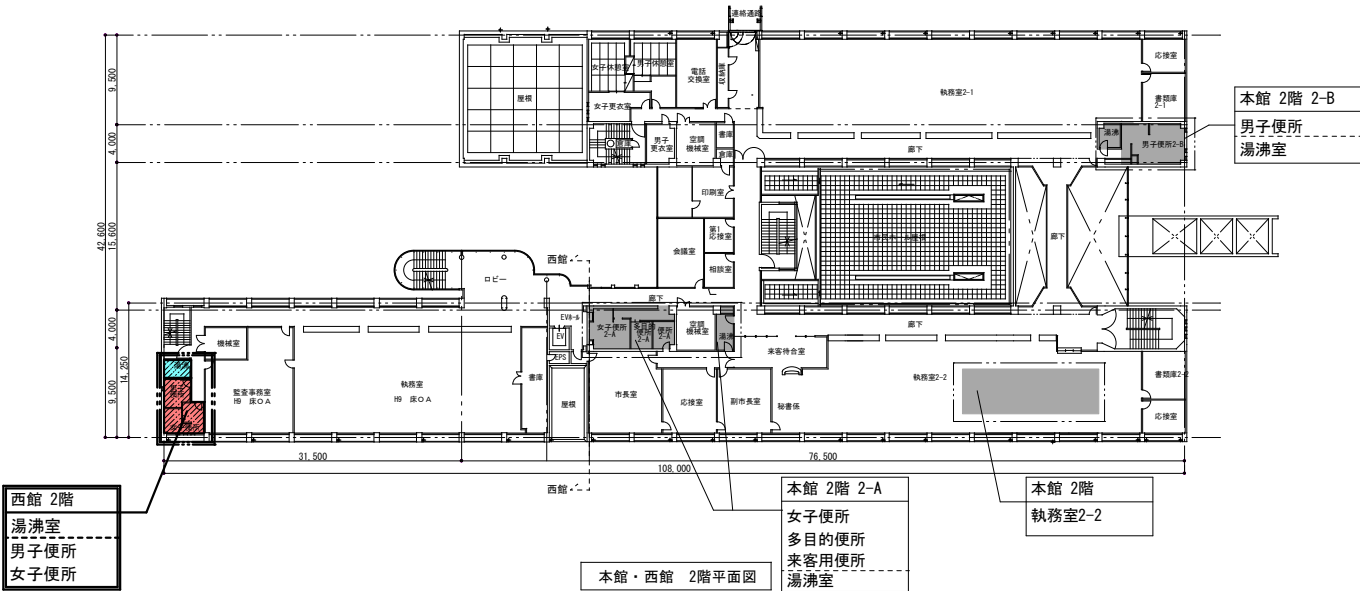
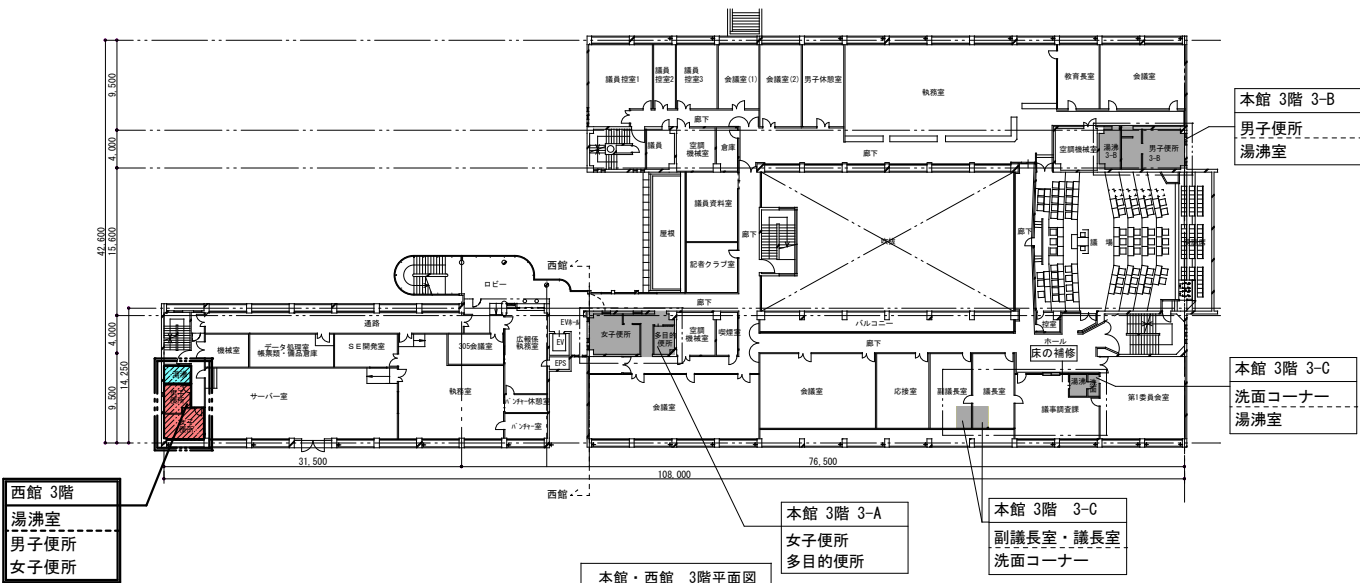
全体外構図

<第1工区工事> (色塗り) :工事範囲 ※ (点線) :使用可能

下記項目の改修工事をする

- ・西館1階：湯沸室、男子便所、女子便所
- ・西館2階：湯沸室、男子便所、女子便所
- ・西館3階：湯沸室、男子便所、女子便所

- 【施工計画注記】
- ・工事車両は施設利用者の安全確保のため、往來の多い時間の出入りを制限する
 - ・本工事は通常業務を継続しながらの施工とする
 - ・給排水の切替作業は、原則として夜間または休日に実施する
 - ・屋外污水配管の洗浄は、原則として夜間または休日に実施する
 - ・既存配管は原則存置とし、使用停止後に閉塞処理を行う



参考図



株式会社 蟻ノ塔設計事務所
ARCHITECT OFFICE ARINOTO

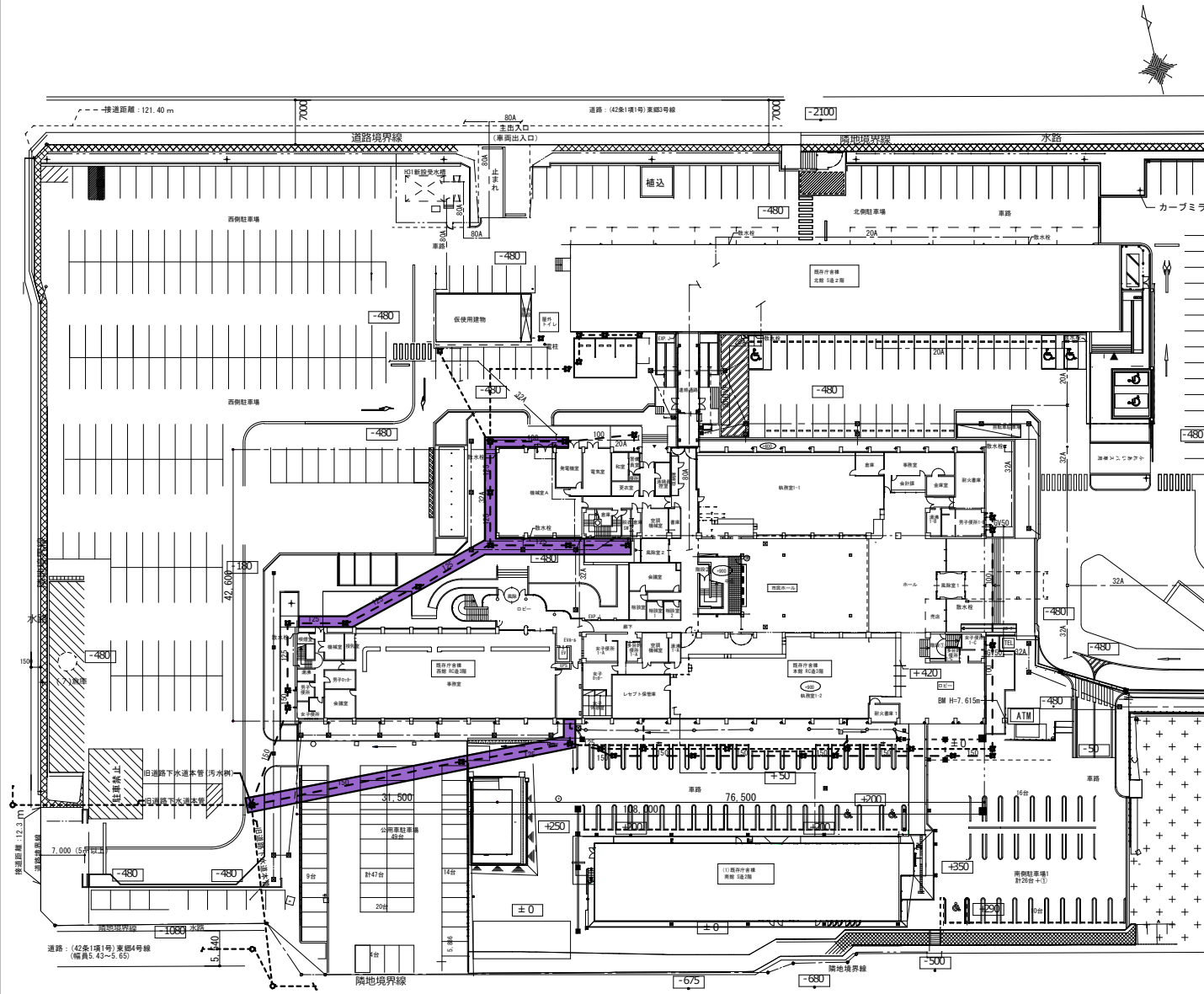
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号
一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤

工事名 市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事
図面名 仮設計計画図(1) (参考図)

宗像市 建築課

A1:1/100
A3:1/200
令和8年2月

No.
A-46



全体外構図

<第2工区工事> (色分け) 工事範囲 ※ 使用可能

下記項目の改修工事をする

・本館1階 1-A区 (女子便所、多目的便所、湯沸室)

・機械室 (洗面コーナー)

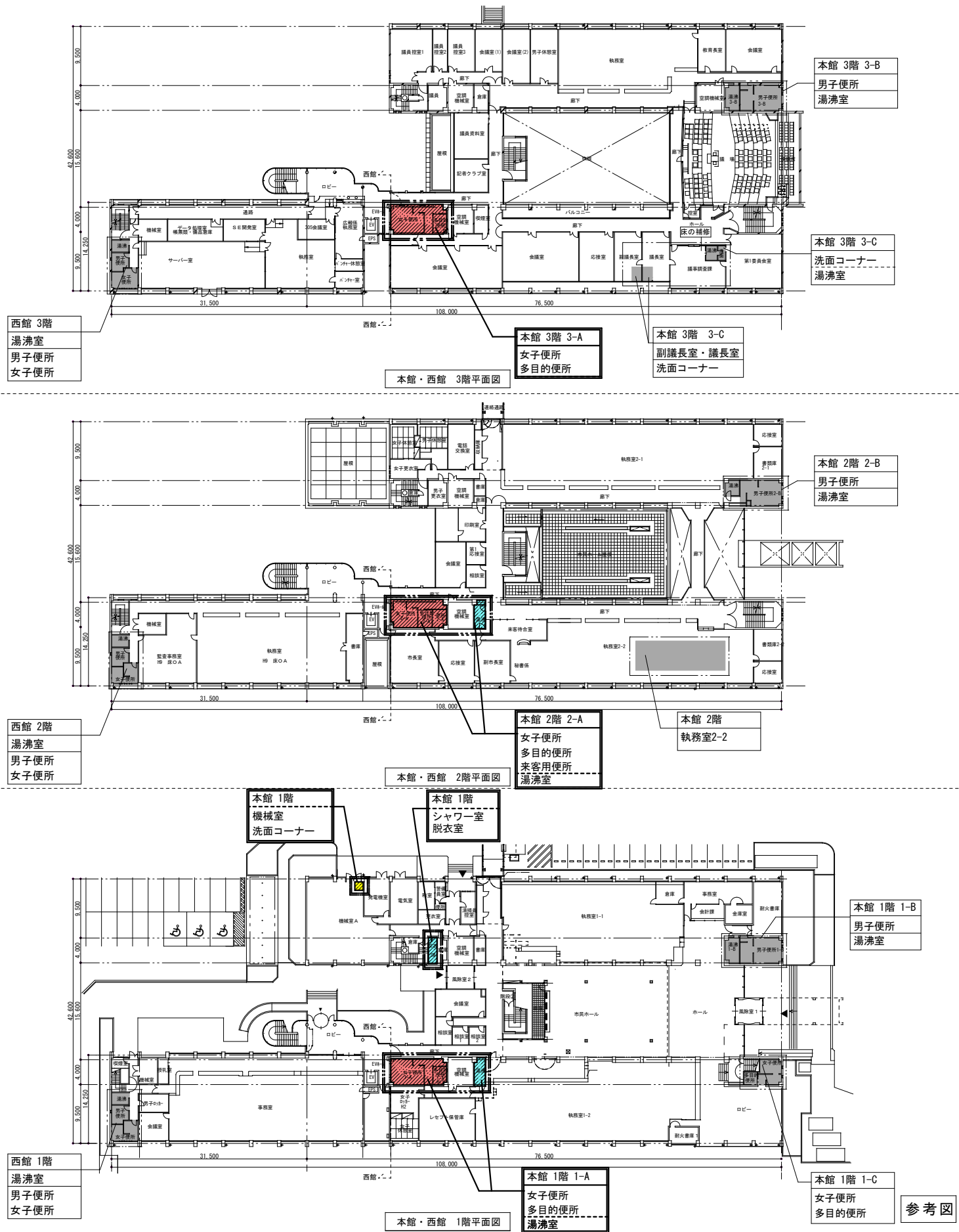
・脱衣、シャワー室

・本館2階 2-A区 (女子便所、多目的便所、来客用便所、湯沸室)

・本館3階 3-A区 (女子便所、多目的便所)

【施工計画注記】

- ・工事車両は施設利用者の安全確保のため、往來の多い時間の出入りを制限する
- ・本工事は通常業務を継続しながらの施工とする
- ・給排水の切替作業は、原則として夜間または休日に実施する
- ・屋外污水配管の洗浄は、原則として夜間または休日に実施する
- ・既存配管は原則存置とし、使用停止後に閉塞処理を行う



西館 1階
湯沸室
男子便所
女子便所

本館・西館 1階平面図

本館 1階 1-A
女子便所
多目的便所
湯沸室

本館 1階 1-C
女子便所
多目的便所

参考図



株式会社 蟻ノ塔設計事務所
ARCHITECT OFFICE ARINOTO

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号
一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤

工事名 市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事
図面名 仮設計計画図 (2) (参考図)

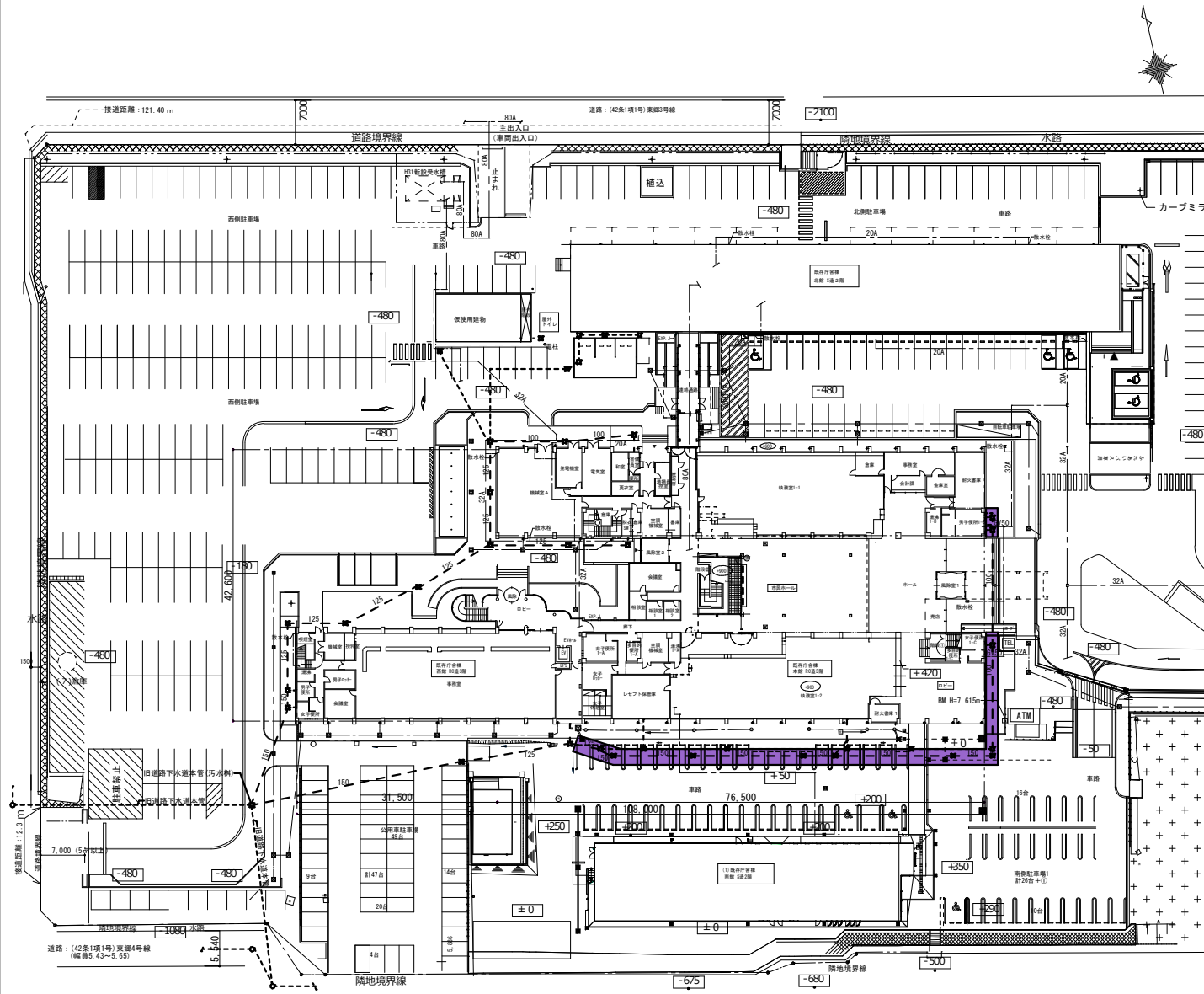
宗像市 建築課

A1:1/100
A3:1/200

令和8年2月

No.

A-47



全体外構図

<第3工区工事> () : 工事範囲 ※ : 使用可能

下記項目の改修工事をする

・本館1階：1-B区（男子便所、湯沸室）

1-C区（女子便所、多目的便所）

・本館2階：2-B区（男子便所、湯沸室）

2-2（執務室）

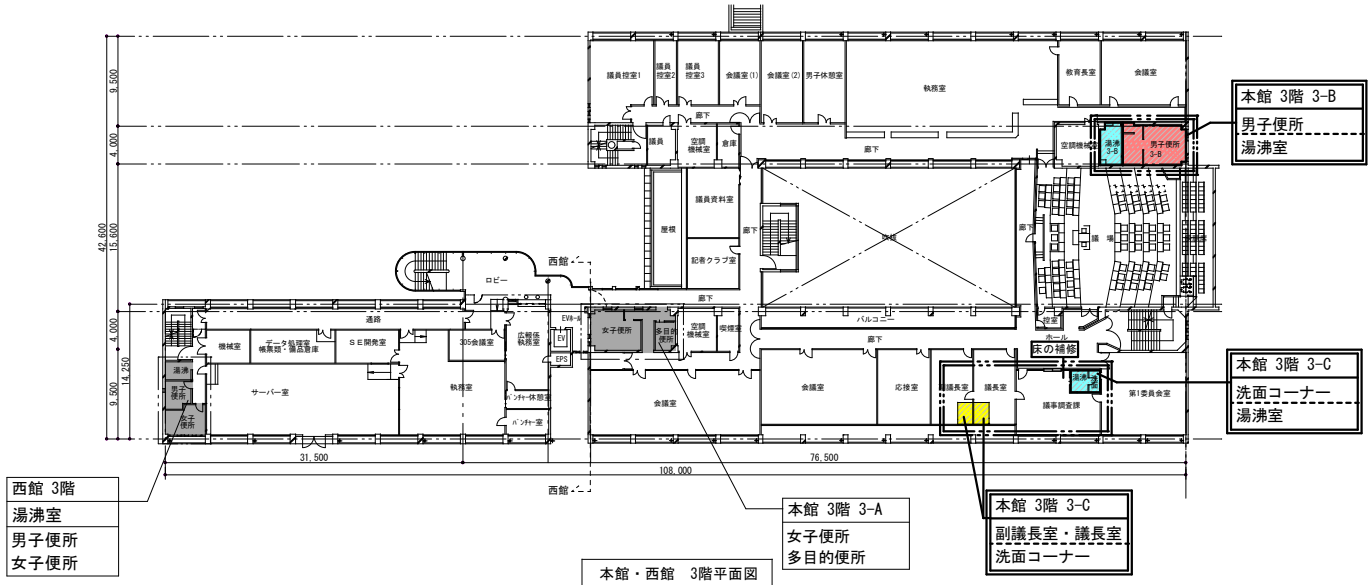
・本館3階：3-B区（男子便所、湯沸室）

3-C区（湯沸室、洗面コーナー）

副議長室・議長室（洗面コーナー）

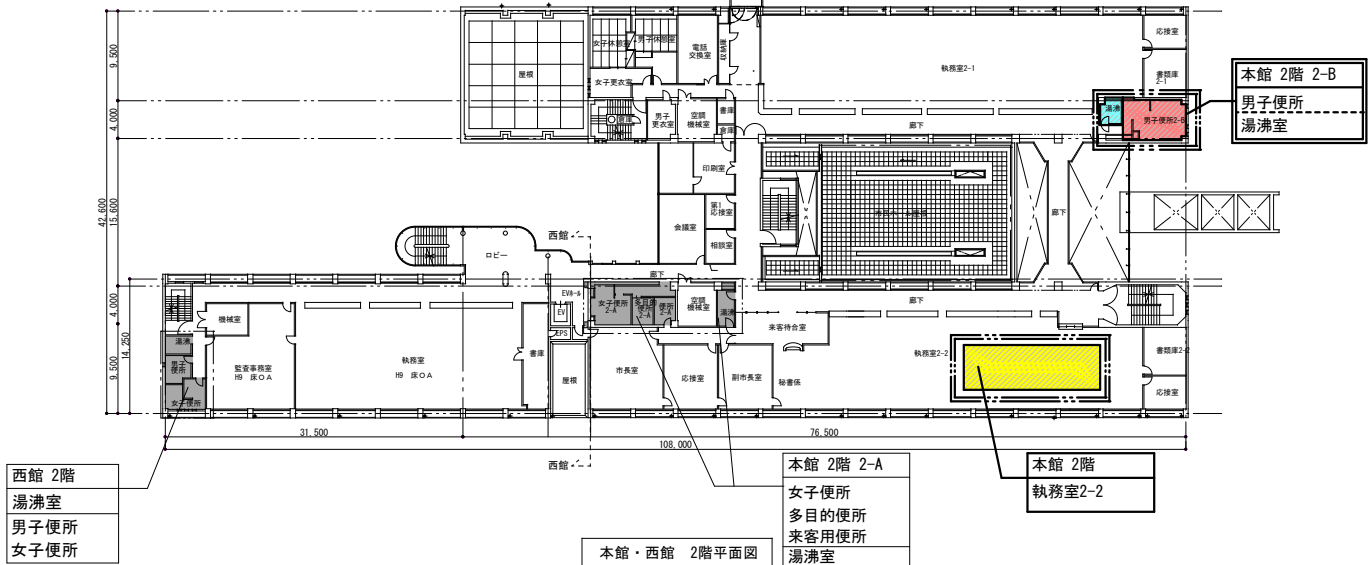
【施工計画注記】

- ・工事車両は施設利用者の安全確保のため、往來の多い時間の出入りを制限する
- ・本工事は通常業務を継続しながらの施工とする
- ・給排水の切替作業は、原則として夜間または休日に実施する
- ・屋外污水配管の洗浄は、原則として夜間または休日に実施する
- ・既存配管は原則置留とし、使用停止後に閉塞処理を行う



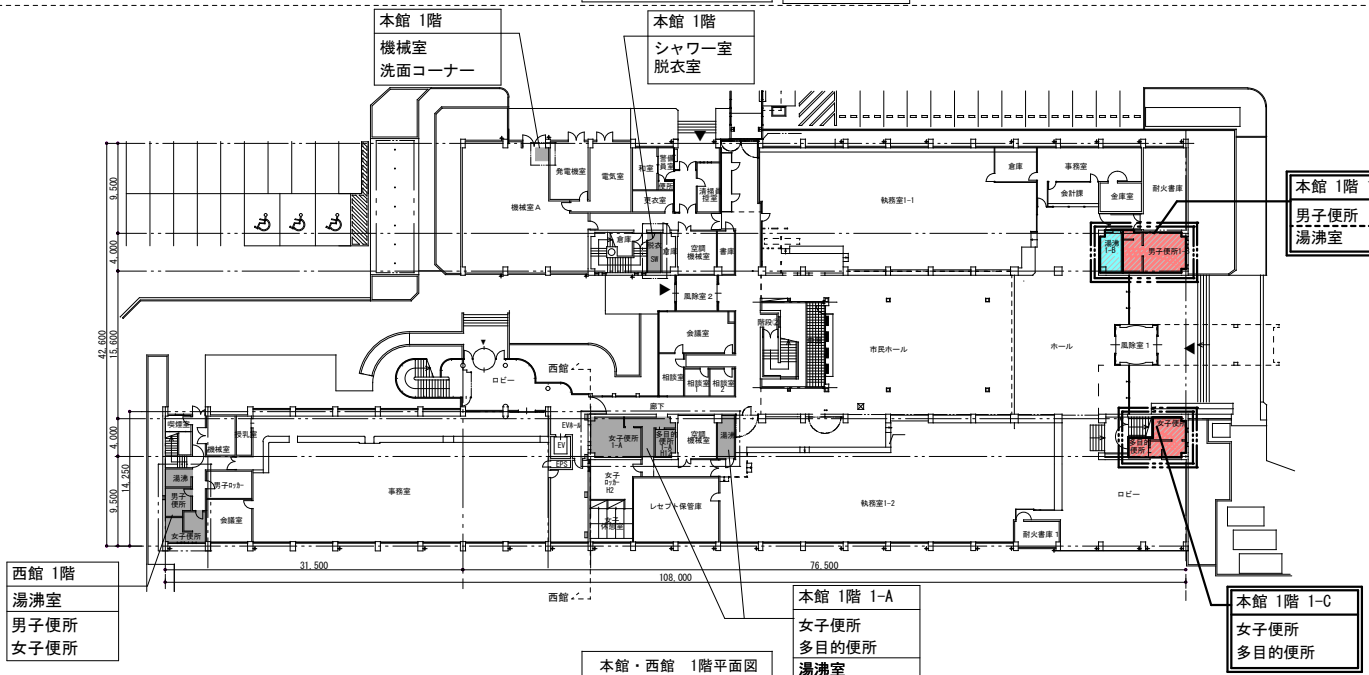
西館 3階
湯沸室
男子便所
女子便所

本館・西館 3階平面図



西館 2階
湯沸室
男子便所
女子便所

本館・西館 2階平面図



西館 1階
湯沸室
男子便所
女子便所

本館・西館 1階平面図



株式会社 蟻ノ塔設計事務所
ARCHITECT OFFICE ARINOTO

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号
一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤

工事名 市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事

図面名 仮設計画図(3) (参考図)

宗像市 建築課

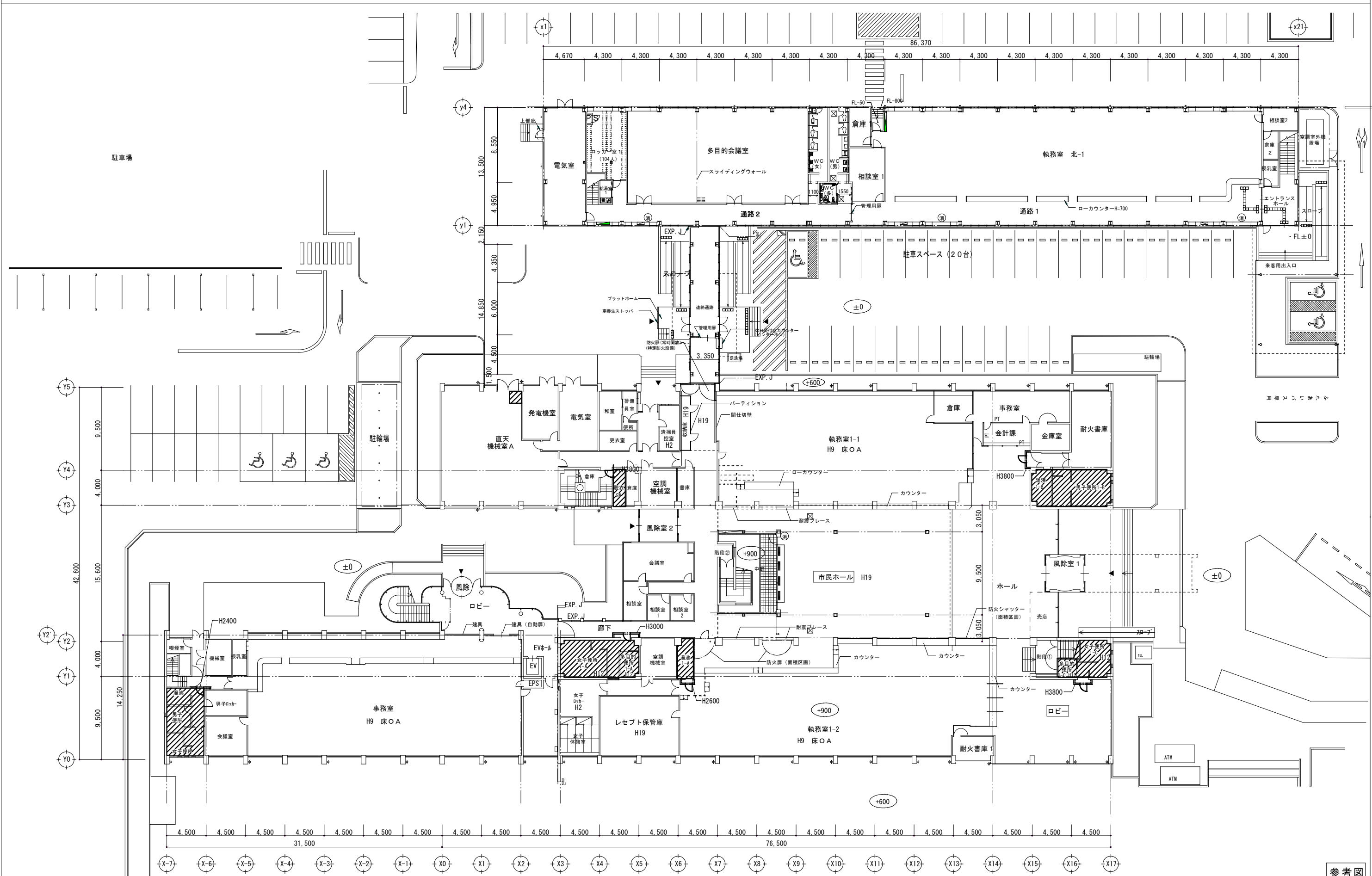
A1:1/100
A3:1/200

令和8年2月

No.

A-48

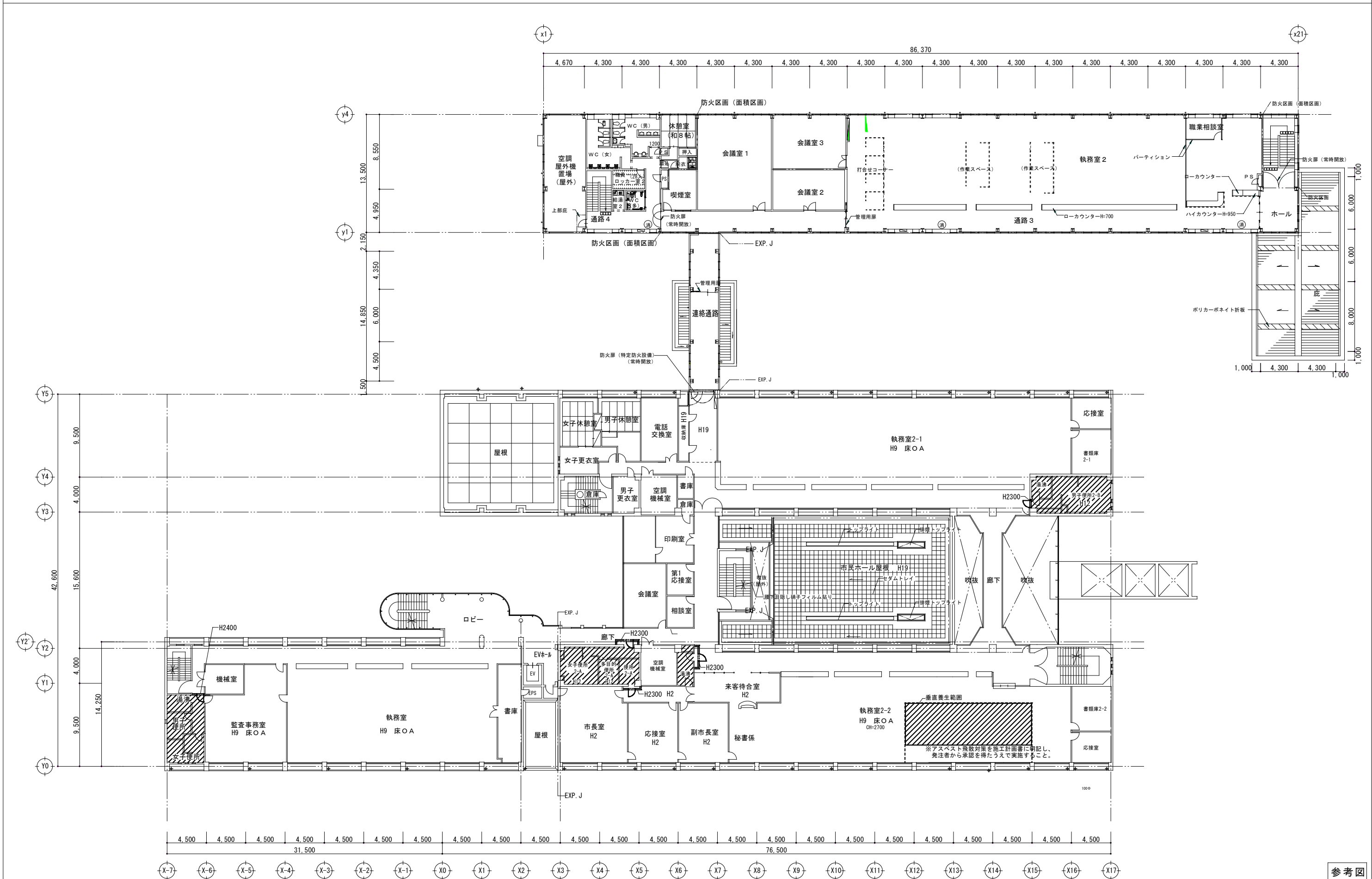
1 階平面図



参考図

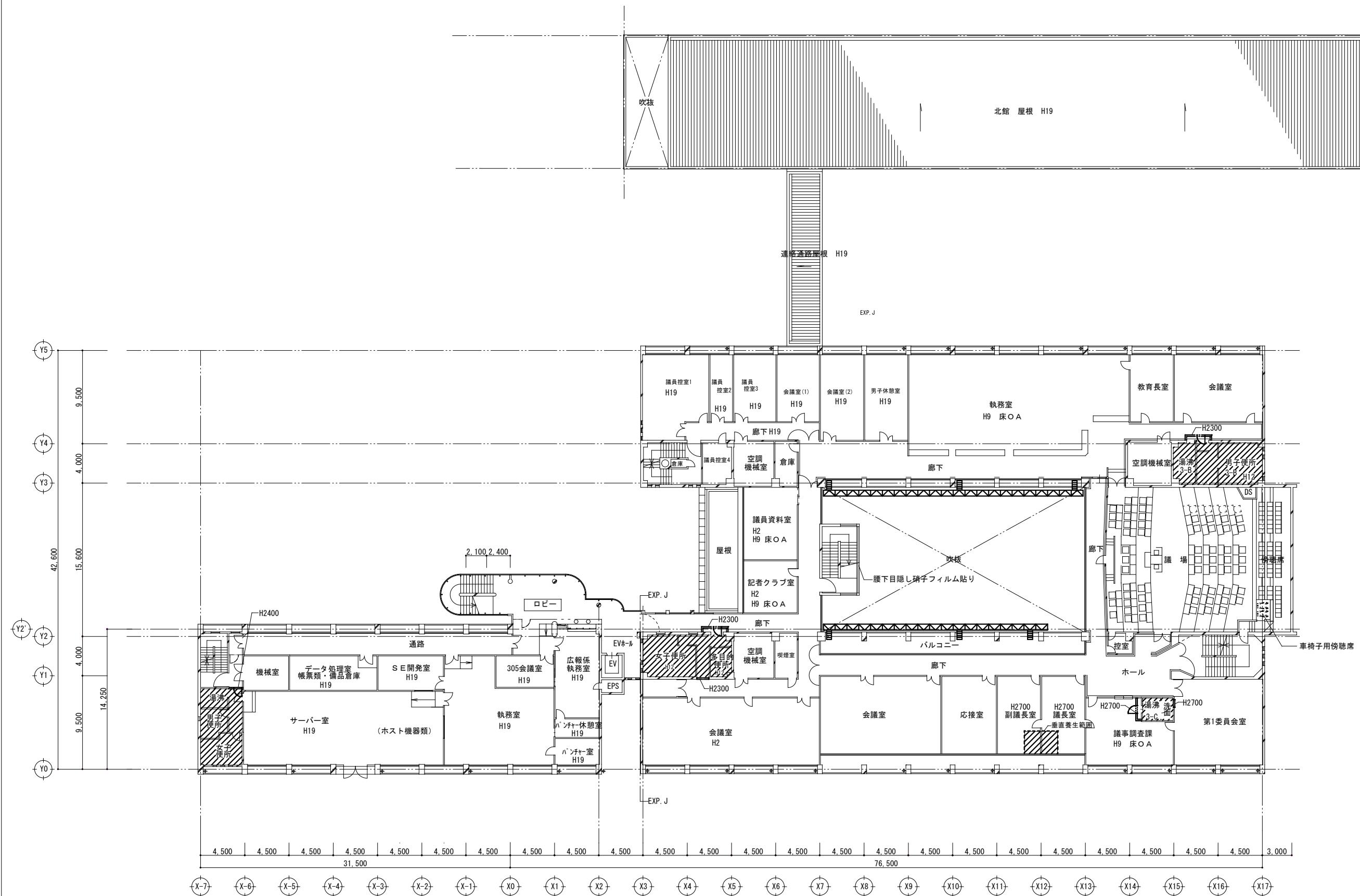
凡 例		改修対象範囲		 株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/200 A3:1/400	No. A-49
		仮設間仕切 天井まで（高さ図示） LGS+PB12.5（片面）			図面名	1階 仮設図（参考図）	令和8年2月	
		仮設間仕切 天井まで（高さ図示） LGS+PB12.5（片面） 出入口（木製扉各1カ所）・鍵（各1カ所）			一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤	宗像市 建築課		

2 階平面図



凡 例		改修対象範囲	 株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/200 A3:1/400	No. A-50
		仮設間仕切 天井まで（高さ図示） LGS+PB12.5(片面)		図面名	2階 仮設図（参考図）	令和8年2月	
		仮設間仕切 天井まで（高さ図示） LGS+PB12.5(片面) 出入口(木製扉各1カ所)+鍵(各1カ所)		宗像市 建築課			

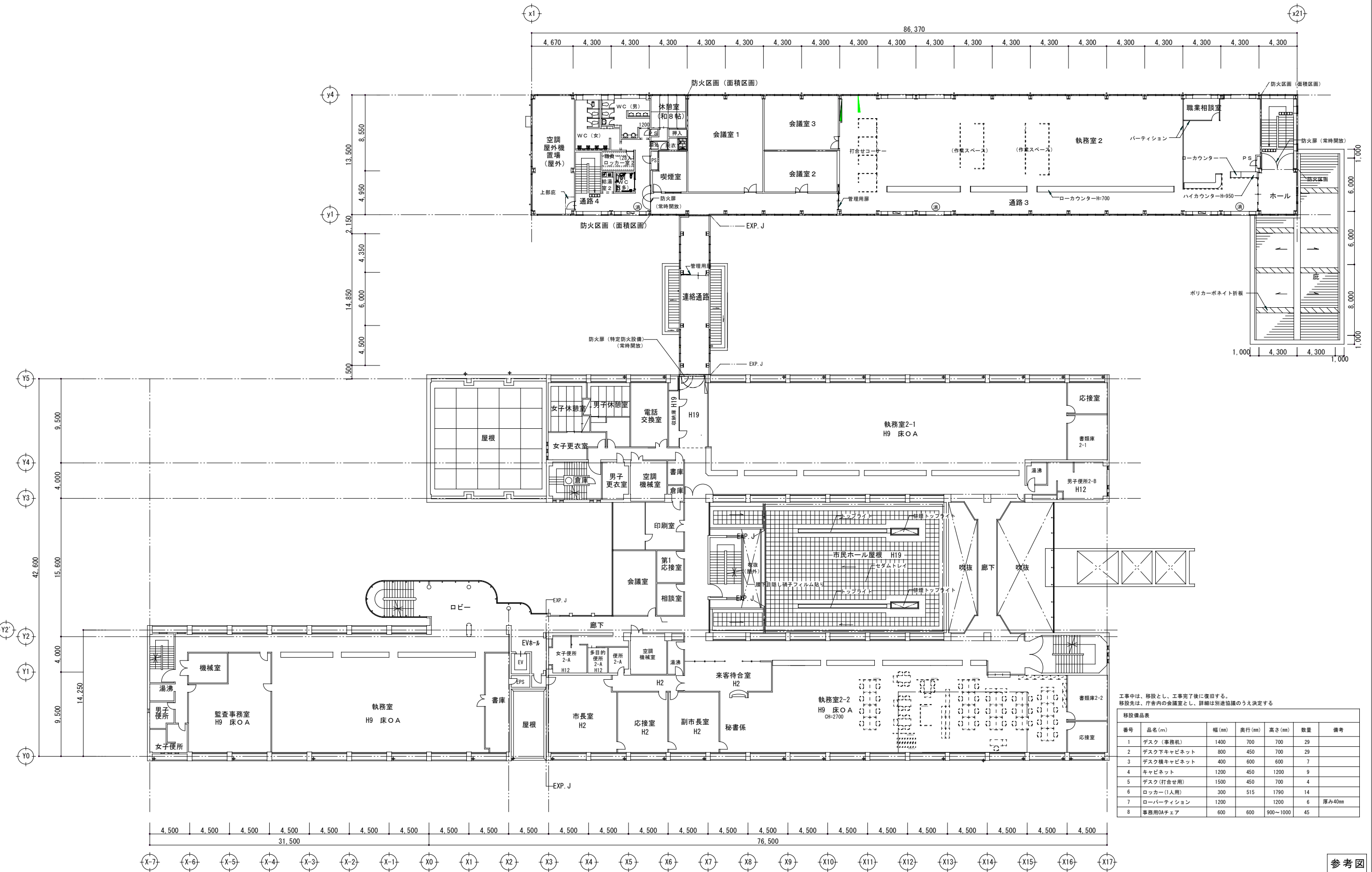
3 階平面図



参考図

凡 例		改修対象範囲				 株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/200 A3:1/400	No. A-51
		仮設間仕切 天井まで（高さ図示） LGS+PB12.5（片面）		ブラケット足場（2段）+昇降足場	図面名		3階 仮設図（参考図）	令和8年2月		
		仮設間仕切 天井まで（高さ図示） LGS+PB12.5（片面） 出入口（木製扉各1カ所）+鍵（各1カ所）			一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤		宗像市 建築課			

2階平面図



工事中は、移設とし、工事完了後に復旧する。
移設先は、庁舎内の会議室とし、詳細は別途協議のうえ決定する

番号	品名 (m)	幅 (mm)	奥行 (mm)	高さ (mm)	数量	備考
1	デスク (事務机)	1400	700	700	29	
2	デスク下キャビネット	800	450	700	29	
3	デスク横キャビネット	400	600	600	7	
4	キャビネット	1200	450	1200	9	
5	デスク (打合せ用)	1500	450	700	4	
6	ロッカー (1人用)	300	515	1790	14	
7	ローバーティション	1200		1200	6	厚み40mm
8	事務用OAチェア	600	600	900~1000	45	

参考図

市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事

電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

福岡県宗像市東郷1丁目1番1号

2. 建物概要

建物名称	構造	用途	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考
本館	RC	3階建 (地下 階 地上 階)	6721.13		
西館	RC	3階建 (地下 階 地上 階)	2137.63		
		階建 (地下 階 地上 階)			

3. 工事項目 (○印の付いたものを適用する)

建物及び設備 工事項目	工事種別					
	本館・西館					屋外
○ 電灯設備	改修	一式				
動力設備		一式				
電動設備		一式				
雷保護設備		一式				
受変電設備		一式				
電力貯蔵設備		一式				
発電設備		一式				
構内情報通信網設備		一式				
構内交換設備		一式				
情報表示設備		一式				
鉄棒・管灯設備		一式				
拡声設備		一式				
誘導支援設備		一式				
テレビ共用受信設備		一式				
監視カメラ設備		一式				
駐車場管理設備		一式				
防犯・入退室管理設備		一式				
○ 火災報知設備	改修	一式				
中央監視制御設備		一式				
電気自動車充電設備		一式				
構内配電線路		一式				
構内通信線路		一式				
テレビ電送障害防除設備		一式				

4. 指定部分

○無 ・有 対象部分 ()

指定部分工期 令和 年 月 日

5. 工事完成期限及び引渡し期限

(1) 工事完成期限 原則工事工期末日の14日前までとする。
なお、工事完成期限とは、管外工事の検査が完了し、発注者が工事の完成した旨の通知を受け取った日とする。

(2) 引渡し期限 工事工期末日までとする。

(3) 指定完成期限 上記 (1) 及び (2) と同様とする。

II. 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁審判庁業務標準制定の下記の仕様書等を適用する。

- 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) (最新版) (以下「標準仕様書」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (最新版) (以下「改修標準仕様書」という。)

(改修標準仕様書の中でいう標準仕様書は、最新版 (電気設備工事編) とする。)

・公共建築工事標準図 (電気設備工事編) 最新版 (以下「標準図」という。)

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を用いる。
なお、機械設備工事の特記仕様書は (/) 図、建築工事の特記仕様書は (/) 図による。

2. 特記仕様

項目及び特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項 目

特 記 事 項

1. 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

- 風圧力
風速 (V 0= m/s)
地表面粗度区分 (・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)
- 積雪荷重
建設省告示第1455号における区域 別表 ()

2. 環境への配慮

(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

- ① 金板、木質フローリング、構造用木材、集成材、車板断熱材、断材、パーティクルボード、その他の木質断熱材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保溫材、断熱材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びステレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
- ② 接着剤は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
- ③ 接着剤は、可燃性 (フタル酸ジエーテル及びフタル酸ジエーテルヘキシル等を含有しない難燃発煙性の可塑剤を除く) が添加されていない材料を使用する。
- ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、美術、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分においては、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

- ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

項 目

特 記 事 項

3. 材料の品質等

(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 下表に機材等名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して管理技術者 (監理) 等の承認を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

- ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
- ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
- ③ 安定的な供給が可能であること。
- ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
- ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

機 材 等	製造業者等名
LED照明器具 (一般室内用に限る。)	
照明制御装置	
可変速運転用インバータ装置	
分電盤	
制御盤	
キュービクル式配電室	
高圧スイッチギヤ (CWP形)	
高圧スイッチギヤ (PWP形)	
高圧交流遮断器	
高圧送電コンデンサ	
高圧開閉ヒューズ	
高圧負荷開閉器	
高圧変圧器 (特定機器)	
交流無停電電源装置	
太陽光発電装置 (パワコンディショナ及び系統連系保護装置)	
監視カメラ装置	
中央監視制御 (監視制御装置)	

4. 電源周波数

・ 50Hz ○ 60Hz

5. 電気工事士

最大電力500[kW]以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。

6. 工事用電力・水その他

本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び公害その他の関係機関への接手料等に要する費用は請負者の負担とする。

7. 監理事務所

・ 設けない ○ 設ける

すべて受注者の負担とする。

構内につくことが ○ できる ・ できない

8. 完成時の提出書類

(1) 完成図製本 (A3) ・CADデータ及びPDFデータ入りCD-R
提出部数: 製本3部 ・CD-R
提出先: ・役場 2部 ・施設管理者 1部

(2) 施工図書
保全に関する説明書 (1部) ・ 工事関係書類一式 (1部)
提出先: ・役場 1部

撮影箇所 ・外部 枚程度 ・内部 枚程度
撮 影 カラー 原紙35mm以上 又は 429万画素以上のデジタルカメラ
提出形態 A4版写真用光沢紙 (紙厚0.26mm以上) に、350dpi以上で作成したものとす。
提出部数 1部
作成要領 ・改修工事の場合は、完成写真と工事着手前の写真を対比させて作成する。
撮影箇所については、事前に管理技術者 (監理) 等の承認を受ける。

9. 足場その他

・ 別契約の関係受注者が設置したものは、無償で使用できる。

- ・ 機械設備工事 ・ 建築工事

○ 本工事で設置する。
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の (2) 手すり設置方式又は (3) 手すり先行専用足場方式により行う。

- ・ 内部足場 (・ 種 ・ 種)
- ・ 外部足場等 (・ 種 ・ 種)

10. 発生材の処理

(1) 引渡しを要するものは ()
(2) 引渡しを要するもの以外

- 構外搬出し、搬出及びその処理費は本工事でとする。

(3) 特別管理産業廃棄物

- ・ 有 (PCB使用機器) ()
PCB使用機器は関係法令により適切に処理し、施設管理者に引渡す。

(4) 再利用又は再資源化を図るもの

- ・ 有 ・ 重汚ラップ ・ 小型2次電池 ()
・ 現場説明書 (その2) による。

13. 建設発生土の処理

・ 埋戻し後の建設発生土は、管理技術者 (監理) 等が指示する構内の場合に敷きならしとする。

- ・ 現場説明書 (その2) による。

14. 工事写真

○ 国土交通省大臣官庁審判庁業務標準型修の「建築工事写真撮影要領 (最新版)」による工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 最新版) によるほか、管理技術者 (監理) 又は機材本部 (調査職員) の指示による。

項 目

特 記 事 項

15. 耐震措置

設備機器の固定は、次によるほか建築設備耐震設計・施工指針 最新版 (国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修) による。

- (1) 設計用水平地震力
機器の質量 [kg] に、次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	・ 特定の施設		・ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 (注1) 屋上及び屋境	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	水 槽 類 (※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備 考】 (※1) : 水槽類にはオイルタンクを含む。

上層階とは2階～6階建の場合は最上階、7～9階の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。
重要機器は次のものを示す。

- ・ 配電盤 ・ 発電装置 (防災用) ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
- ・ 交換機 ・ 自動火災報知受信機 ・ 中央監視制御装置

(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

屋外形ブルボックスのふたの止めねじは、ステンレス製と六角ボルトとする。

16. ブルボックス

○ 屋外及び温気のある場所での接続は、自己融着テープ巻きの上、ビニルテープ等で仕上げる。

17. 電線の接続

分電盤、制御盤及び端子箱等の2次側以降の配管接続経路、配線太さ、配線本数及び管径等は図面と相違しても差し支えない。ただし、相違する場合は管理技術者 (監理) 等の承認を受ける。
また、機械室等の床配線は図面上所管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。

19. 呼び線

長さ1m以上の入線しない電線管には、電線太さ1.2mm以上の樹脂被覆電線等を挿入する。

20. 金属製電線管の仕上げ

露出配管の仕上げは次による。

- 屋外
 - ・ 厚鋼電線管は、溶融亜鉛メッキ仕上げ付着量300g/㎡以上のものとする。
 - ・ 塗装あり (場所:)
- 屋内
 - ・ 塗装なし (場所:)
 - ・ 塗装あり (場所:)

21. 非常用の照明装置の照度測定箇所数

測定数 箇所以上

22. 電流値等の計測

計測箇所 (・ 図示による。)
計測項目 (・ 電流値 (記録期間1分間) ・ 照度)
計測日等 (通常使用状態の電流値: 改修着手前 前日、改修後 当日 (各1回))
照度測定箇所数 (改修前及び改修後の照度測定 箇所以上)
備 考
(1) 計測機器及び計測装置等の詳細は管理技術者 (監理) 等との協議による。
(2) 報告書には、計測装置 (もしくはソフトウェア) の換算機能により算出した電力 (瞬時値) 及び電力量 (積算値30分単位) も記録すること。
(3) 照度測定は作業面照度 (床より0.8m) とし、測定方法はJIS C 7612Cによる。

事務室に設ける○A型、分電盤、端子箱の銅製キャビネット等、及び要圧に配慮する必要がある

壁紙等の色別計測を管理技術者 (監理) 等に提出するものとする。

23. 壁紙等の色別計測

図面に特記なき場合、コンセント・2F15A (接地極付) は、プラグ不要とする。

- ・ のAタップ ・ 二重床用 (・ 鋼合金製 ・ アルミ合金製 ・ 樹脂製)

24. コンセント

二重床用コンセント

25. プレート材質

フラッシュプレート ○ 金属製 ・ 樹脂製 (取付場所:)

26. 地中線の埋設様

構内線路における埋設様の材質及びその層数は、図面に記載のない場合は次による。

- ・ 鉄製 (箇所) ・ コンクリート製 (箇所)

27. はつり

既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

28. 再使用機器

取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後、取付ける。
ただし、絶縁劣化等により再使用に耐えない場合は、管理技術者 (監理) 等に報告する。
管轄は全て新品に切り替える。
(・) 書きの室名は遮天弁を示し、その他は二重弁を示す。

29. 天井仕上区分

30. インバータ装置の規約効率

三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。

電動機出力 [kW]	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22kW以上
定格電圧 200 [V]	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5
定格電圧 400 [V]	87.0	90.5	93.5	94.0	94.5	94.5	95.0	95.0	95.0	96.0	96.5

備考
(1) 規約効率は、JEM-TR 245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。
(2) 規約効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」のIP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

31. 接地極

接地極の材料は下記による。なお、接地極 E B (14φ) の長さは1,500mm 以上とし、10φはB=30、L=900、14φは、B=40、L=1,200としても差し支えない。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
共同 接地	E A D	10Ω以下	E B (14φ) × 3連 → 2極
共同 接地	E A C D	10Ω以下	E B (14φ) × 3連 → 2極
A 種 接地	E A	10Ω以下	E B (14φ) × 3連 → 2極
B 種 接地	E B	Ω以下	E B (14φ) × 3連 → 1極
C 種 接地	E C	10Ω以下	E B (14φ) × 3連 → 2極
D 種 接地	E D	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1,000mm)
高圧避雷器用	E LH	10Ω以下	E B (14φ) × 3連 → 2極
交換装置用	E t	10Ω以下	E B (14φ) × 3連 → 2極
通信用 (10Ω)	E At	10Ω以下	E B (14φ) × 3連 → 2極
通信用 (100Ω)	E Dt	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1,000mm)
電話引込口の保安器用	E Lt	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1,000mm)
測 定 用	E O		E B (10φ) × 1 (L=1,000mm)

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名 称	測 点	取付高 [mm]
ブラケット (一般)	床面～中心	2,100
〃 (直場)	〃	2,500
〃 (縦上)	縦上端～中心	150
避難口誘導灯	床面～下端	1,500以上
廊下誘導照明灯	床面～上端	1,000以下
スイッチ (一般)	床面～中心	1,300
〃 (多機能トイレ)	〃	1,100
カメラ、電話用カメラ、直列型 (一般)	〃	300
〃 (和室)	〃	150
〃 (台所)	台面～中心	150
コンセント (直場)	床面～中心	800
コンセント (車椅子用)	床面～中心	900
引込開閉器 (低圧)	床面～中心	1,500
分電盤、伏置、制御盤、実験盤	床面～中心	1,500 (上端1,900以下)
開閉器箱	〃	1,500
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,300
接地用端子箱	地上、床面～中心	500
雷保護用接地端子箱	床面～下端	800
接地極埋設機	地上～中心	600
給油ボックス	地上～給油口	1,000
端子盤 (EPS・電気室)	床面～中心	1,500
時計計	〃	1,500
子時計、スピーカ	〃	(天井高) × 0.9
アタッチネータ	〃	1,300
出退表示器	〃	(天井高) × 0.9
発信器 (出退表示用)	〃	1,300
インターホン	〃	1,300
外部受信用インターホン機	〃	標準図による
呼出ボタン (多機能トイレ)	〃	900
夜間ボタン (多機能トイレ)	〃	1,800
廊下表示灯 (多機能トイレ)	〃	2,000
テレビ機器収容箱	〃	1,800
火報受信機 (複合型)	床面～操作部	800～1,500
防災設備	床面～中心	1,500
機器収容箱	〃	800～1,500
発信機	〃	800～1,500
警報ベル	〃	(天井高) × 0.9
表示灯	〃	(天井高) × 0.8
通動制御器 (自動閉鎖)	〃	1,500
ガス漏れ検知器 (LPGガス)	〃	300
〃 (都市ガス)	天井面～中心	(天井高) → 200 (壁面取付の場合)

(注) 呼出ボタン (多機能トイレ) の取付け高さ (400) は床に転倒した時を考慮した高さとする。
(備考) (天井高) × 0.9 及び (天井高) × 0.8 は天井高が 2,500～3,000mm の場合に適用する。
天井高3,000mm以上の場合及び上記取付け高さにおいて、機器の使用に支障が生じる場合は管理技術者 (監理) 等と協議する。

32. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に係わる当該権利に限り使用権は、発注者に帰属するものとする。
施工図を管理技術者 (監理) 等が確認後、施工する。

33. 他工事又は他種工との取合い

工事区分表による。ただし、これにより競い合う場合は管理技術者 (監理) 等と協議する。

34. 施工調査

事前調査 (○ 本工事 ・ 別途)
調査項目 (・ 既存資料調査 ・)
調査範囲 (・ 図示 ・)
調査方法 (・ 図示 ・)
・ はつり工事は、事前に定量的調査を行い、管理技術者 (監理) 等に報告を行うこと。

35. 仮設備工事

仮 電 源 (・ 受変電 ・ ・)
(・ 発電 ・ ・)
仮設備期間 (・ 図示 ・ ・)

37. 既存躯体への穿孔

穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は金属探知により電源供給が停止できる付属装置を用いて施工する。

株式会社 蟻ノ塔設計事務所

ARCHITECT OFFICE ARINOTO

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-1146号

一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤

工事名

市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事

図面名

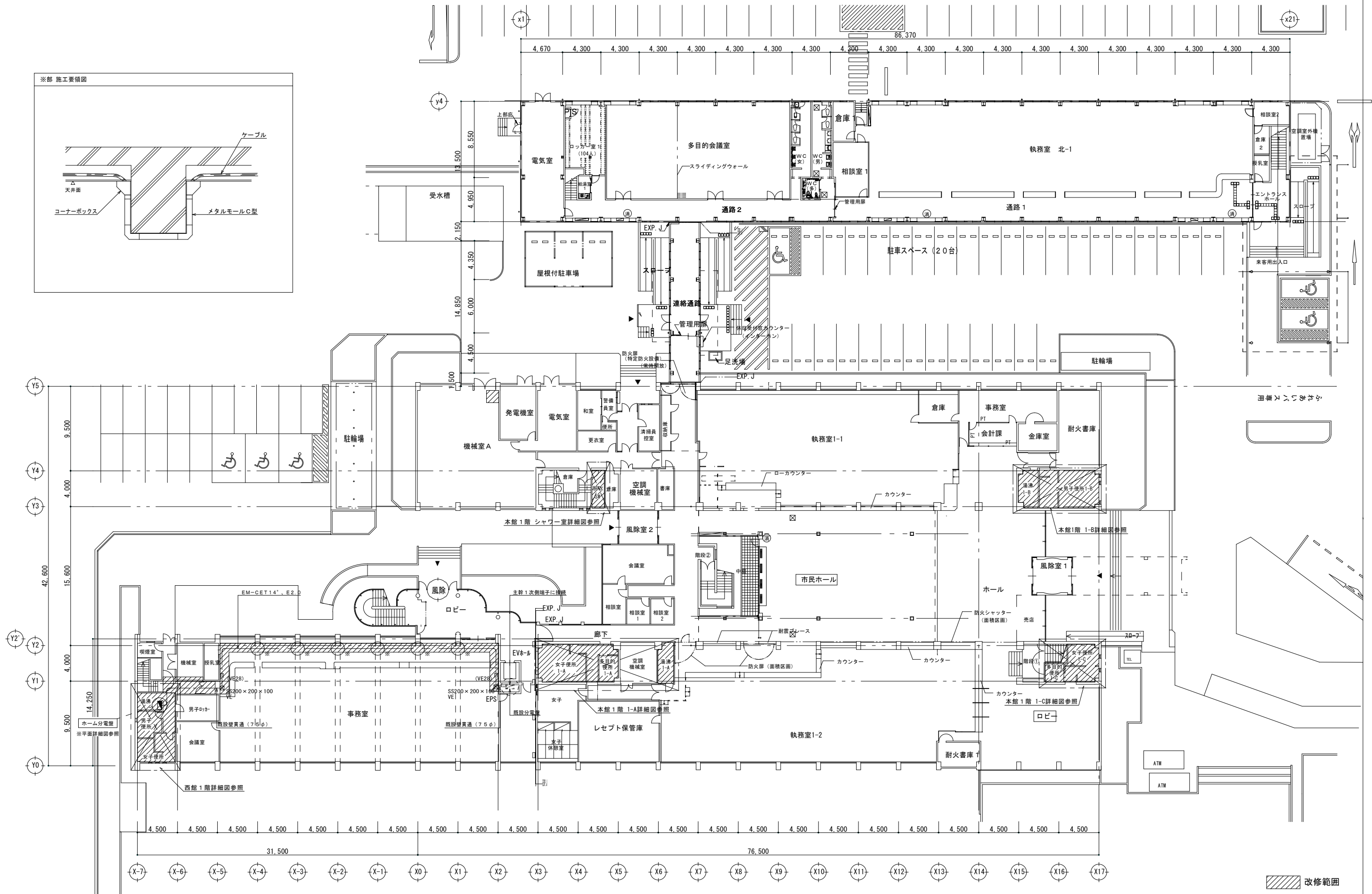
電気設備工事特記仕様書

A1:1/non
A3:1/non

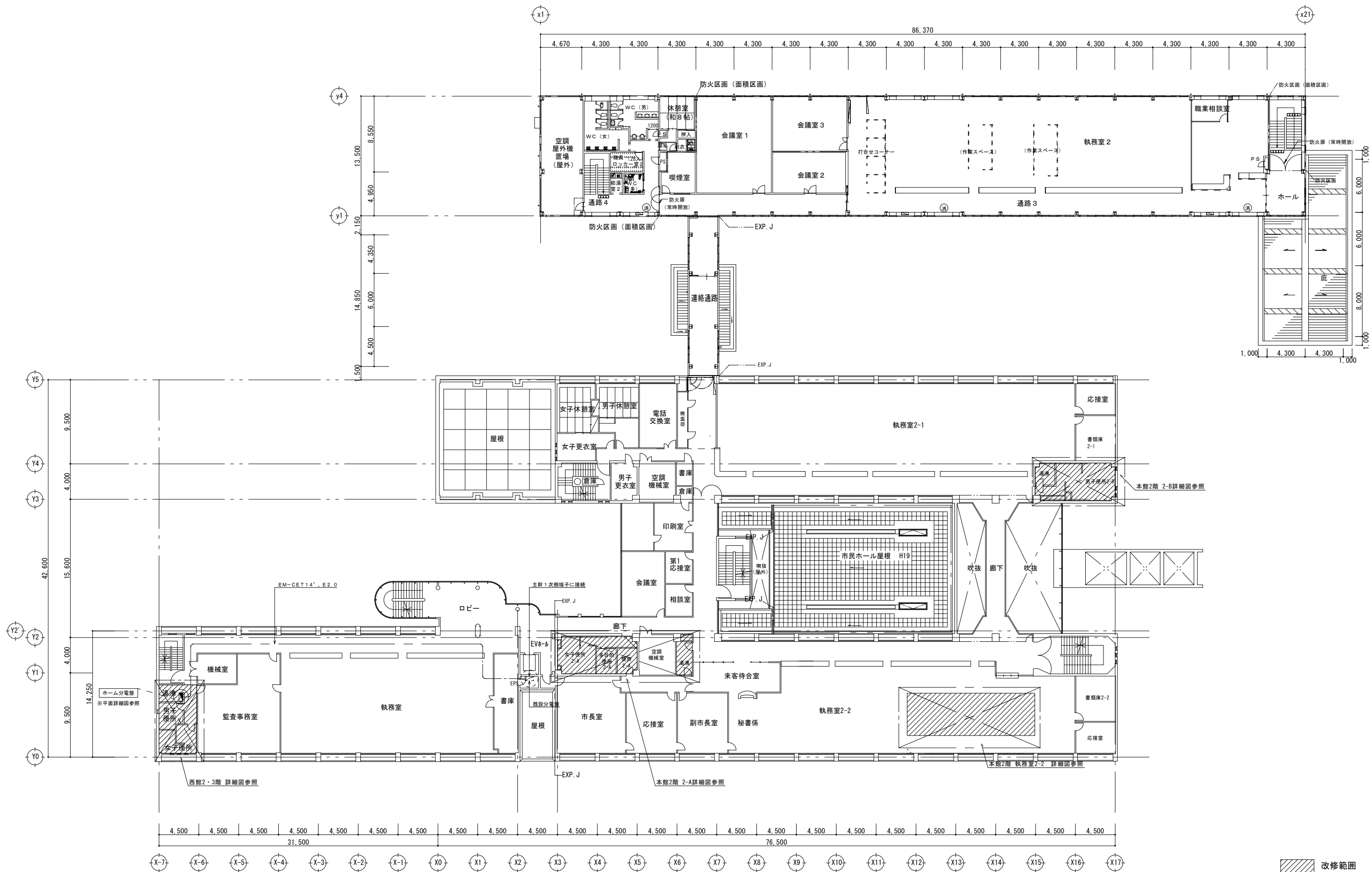
令和8年2月

No.
E-01

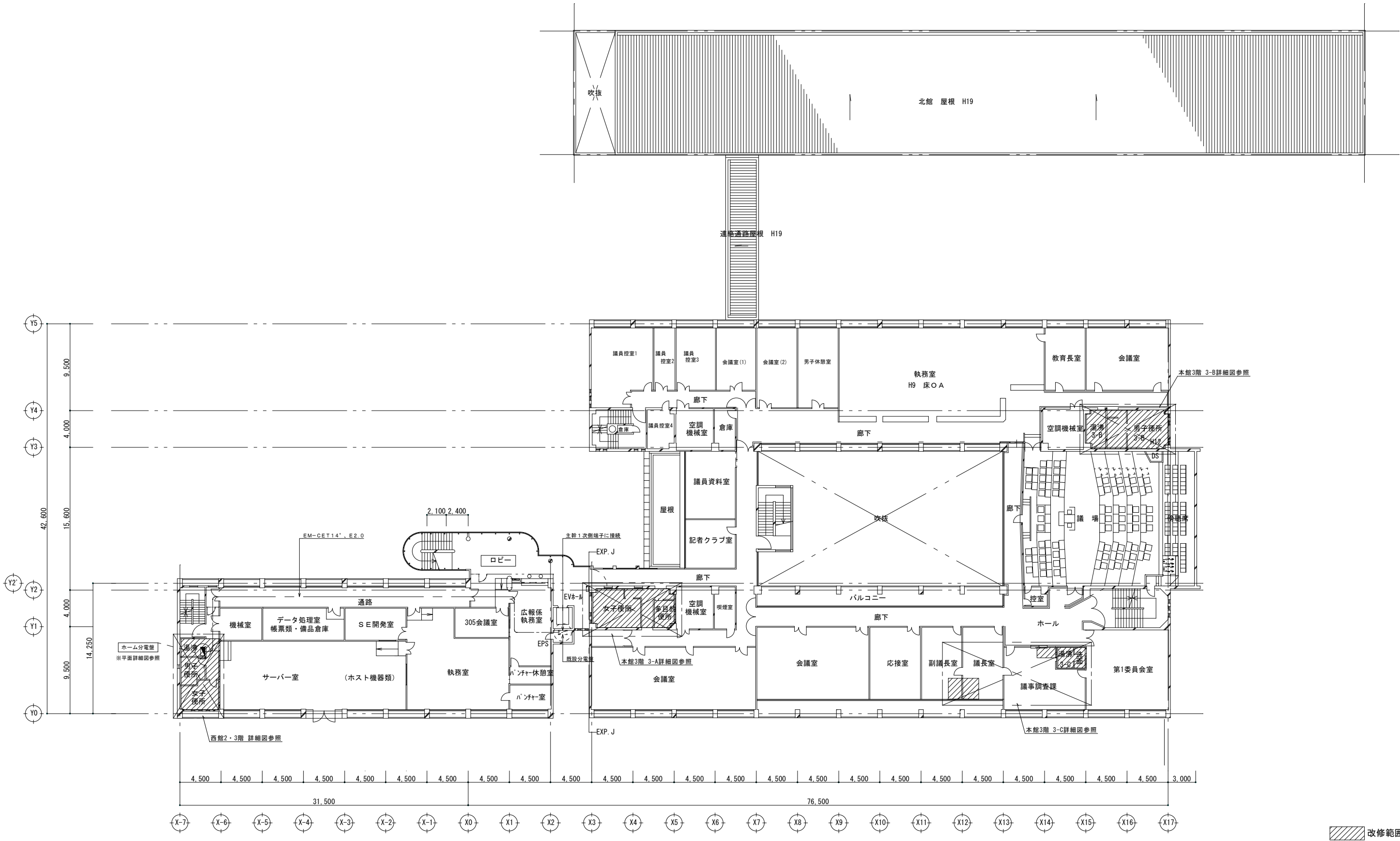
宗像市 建築課



2階平面図

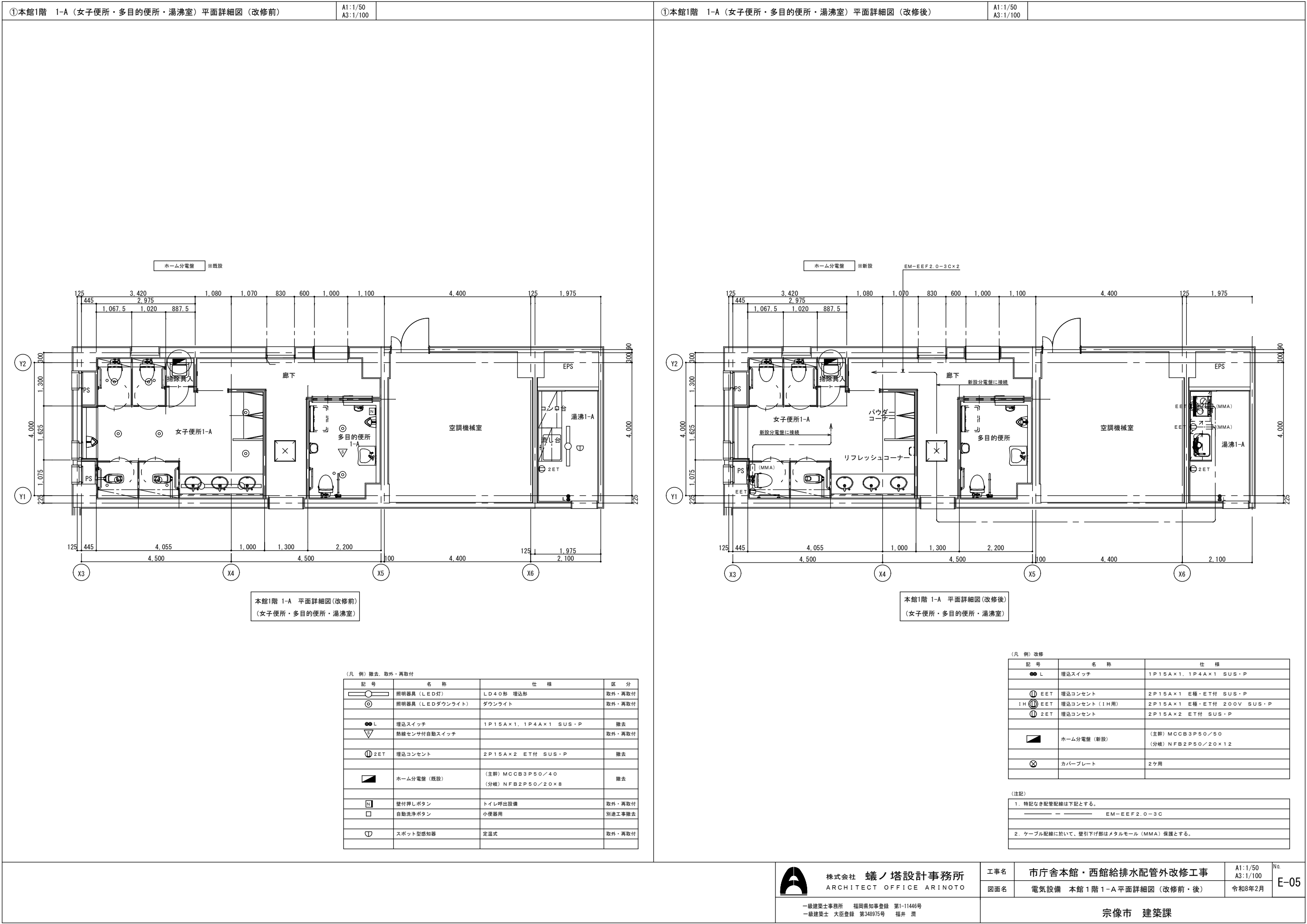


3階平面図



改修範囲

 株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1: 1/200 A3: 1/400	No. E-04
	図面名	電気設備 3階平面図 (改修後)	令和8年2月	
宗像市 建築課				



①本館1階 1-B (男子便所・湯沸室) 平面詳細図 (改修前)

A1:1/50
A3:1/100

①本館1階 1-B (男子便所・湯沸室) 平面詳細図 (改修後)

A1:1/50
A3:1/100

本館1階 1-B 平面詳細図 (改修前)
(男子便所・湯沸室)

本館1階 1-B 平面詳細図 (改修後)
(男子便所・湯沸室)

(凡 例) 撤去、取外・再取付

記 号	名 称	仕 様	区 分
	照明器具 (LED灯)	LD40形 埋込形	取外・再取付
	照明器具 (LEDダウンライト)	ダウンライト	取外・再取付
	埋込スイッチ	1P15A×1, 1P4A×1 SUS・P	撤去
	埋込コンセント	2P15A×2 ET付 SUS・P	撤去
	ホーム分電盤 (既設)	(主幹) MCCB3P50/40 (分岐) NFB2P50/20×6	撤去
	スポット型感知器	定温式	取外・再取付

(凡 例) 改修

記 号	名 称	仕 様
	埋込スイッチ	1P15A×1, 1P4A×1 SUS・P
	埋込コンセント	2P15A×1 E極・ET付 SUS・P
	埋込コンセント (IH用)	2P15A×1 E極・ET付 200V SUS・P
	埋込コンセント	2P15A×2 ET付 SUS・P
	ホーム分電盤 (新設)	(主幹) MCCB3P50/50 (分岐) NFB2P50/20×10

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記とする。
EM-EEF2.0-3C

2. ケーブル配線に於いて、壁引下げ部はメタルモール (MMA) 保護とする。

株式会社 蟻ノ塔設計事務所
ARCHITECT OFFICE ARINOTO

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号
一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤

工事名

市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事

図面名

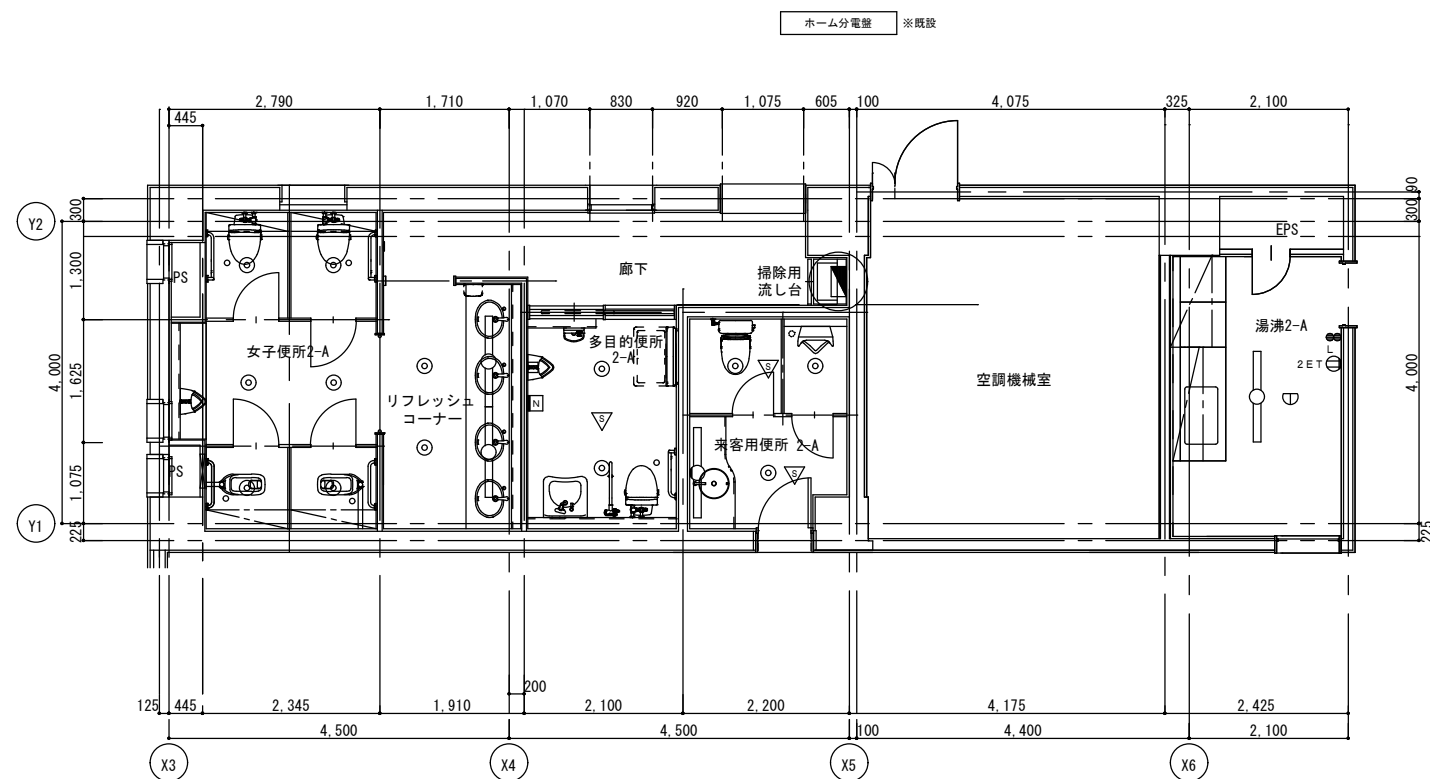
電気設備 本館1階1-B平面詳細図 (改修前・後)

No.

E-06

令和8年2月

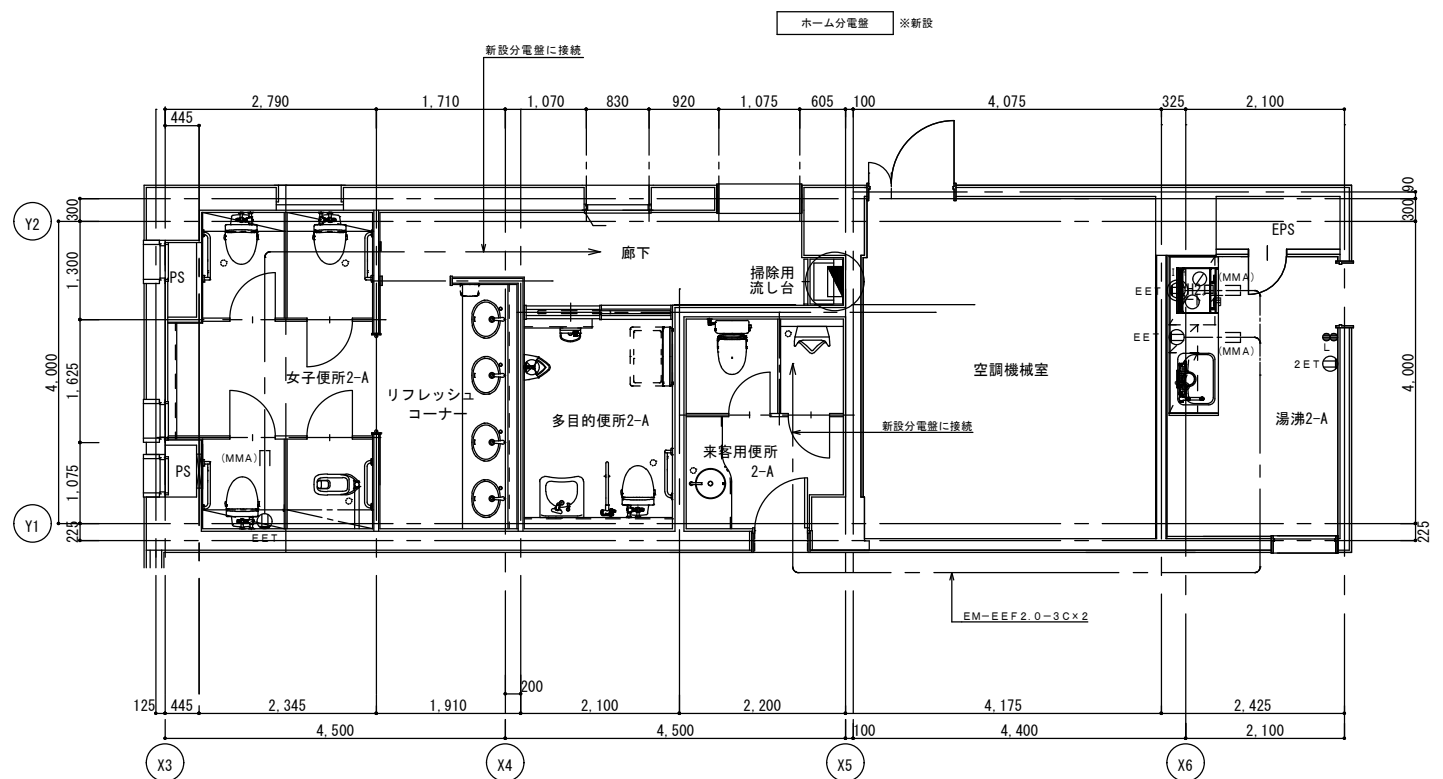
宗像市 建築課



本館2階 2-A 平面詳細図(改修前)
(女子便所・多目的便所・来客用便所・湯沸室)

(凡 例) 撤去。取外・再取付

記 号	名 称	仕 様	区 分
	照明器具 (LED灯)	LD40形 埋込形	取外・再取付
	照明器具 (LED灯)	LD40形 壁付形	取外・再取付
	照明器具 (LEDダウンライト)	ダウンライト	取外・再取付
 L	埋込スイッチ	1P15A×1、1P4A×1 SUS・P	撤去
	熱線センサ付自動スイッチ		取外・再取付
 2ET	埋込コンセント	2P15A×2 ET付 SUS・P	撤去
	ホーム分電盤 (既設)	(主幹) MCCB3P50/40 (分岐) NFB2P50/20×8	撤去
 N	壁付押しボタン	トイレ呼出設備	取外・再取付
	自動洗浄タン	小便器用	別途工事要
	スポット型感知器	定温式	取外・再取付



本館2階 2-A 平面詳細図(改修前)
(女子便所・多目的便所・来客用便所・湯沸室)

(凡 例) 改修

記 号	名 称	仕 様
●● L	埋込スイッチ	1P15A×1, 1P4A×1 SUS・P
① EET	埋込コンセント	2P15A×1 E極・E付付 SUS・P
1H ① EET	埋込コンセント (1H用)	2P15A×1 E極・E付付 200V SUS・P
① 2ET	埋込コンセント	2P15A×2 E付付 SUS・P
	ホーム分電盤 (新設)	(主幹) MCCB3P50/750 (分岐) NFB2P50/20×12
⊗	カバープレート	2ヶ用

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記とする。

— — — — — EM-EEF2.0-3C

2. ケーブル配線に於いて、壁引下げ部はメタルモール（MMA）保護とする。

⑧本館2階 2-B男子便所・湯沸室)平面詳細図・天井伏図(改修前)

A1:1/50
A3:1/100

⑧本館2階 2-B(男子便所・湯沸室)平面詳細図・天井伏図(改修前)

A1:1/50
A3:1/100

ホーム分電盤 ※既設

本館2階 2-B 平面詳細図(改修前)
(男子便所・湯沸室)

(凡 例) 撤去、取外・再取付			
記 号	名 称	仕 様	区 分
	照明器具 (LED灯)	LD40形 埋込形	取外・再取付
	照明器具 (LEDダウンライト)	ダウンライト	取外・再取付
	埋込スイッチ	1P15A×1, 1P4A×1 SUS・P	撤去
	埋込コンセント	2P15A×2 ET付 SUS・P	撤去
	ホーム分電盤 (既設)	(主幹) MCCB3P50/40 (分岐) NFB2P50/20×6	撤去
	スポット型感知器	定温式	取外・再取付

ホーム分電盤 ※新設

本館2階 2-B 平面詳細図(改修後)
(男子便所・湯沸室)

(凡 例) 改修		
記 号	名 称	仕 様
	埋込スイッチ	1P15A×1, 1P4A×1 SUS・P
	埋込コンセント	2P15A×1 E極・ET付 SUS・P
	埋込コンセント (1H用)	2P15A×1 E極・ET付 200V SUS・P
	埋込コンセント	2P15A×2 ET付 SUS・P
	ホーム分電盤 (新設)	(主幹) MCCB3P50/50 (分岐) NFB2P50/20×10

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記とする。
EM-EEF2.0-3C×2

2. ケーブル配線に於いて、壁引下げ部はメタルモール (MMA) 保護とする。

株式会社 蟻ノ塔設計事務所
ARCHITECT OFFICE ARINOTO

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号
一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤

工事名

市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事

図面名

電気設備 本館2階2-B平面詳細図(改修前・後)

No.

E-10

令和8年2月

宗像市 建築課

⑪本館3階 3-A（女子便所・多目的便所・湯沸室）平面詳細図（改修前）

A1:1/50
A3:1/100

⑪本館3階 3-A（女子便所・多目的便所・湯沸室）平面詳細図（改修後）

A1:1/50
A3:1/100

本館3階 3-A 平面詳細図(改修前)
(女子便所・多目的便所・湯沸室)

(凡 例) 撤去、取外・再取付

記 号	名 称	仕 様	区 分
■	壁付押しボタン	トイレ呼出設備	取外・再取付
□	自動洗浄ボタン	小便器用	別途工事撤去

本館3階 3-A 平面詳細図(改修後)
(女子便所・多目的便所・湯沸室)

(凡 例) 改修

記 号	名 称	仕 様
⑪	EET 埋込コンセント	2P15A×1 E極・ET付 SUS・P
⊗	カバープレート	2ヶ用

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記とする。
————— EM-EFF2.0-3C

2. ケーブル配線に於いて、壁引下げ部はメタルモール（MMA）保護とする。

株式会社 蟻ノ塔設計事務所
ARCHITECT OFFICE ARINOTO

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号
一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤

工事名

市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事

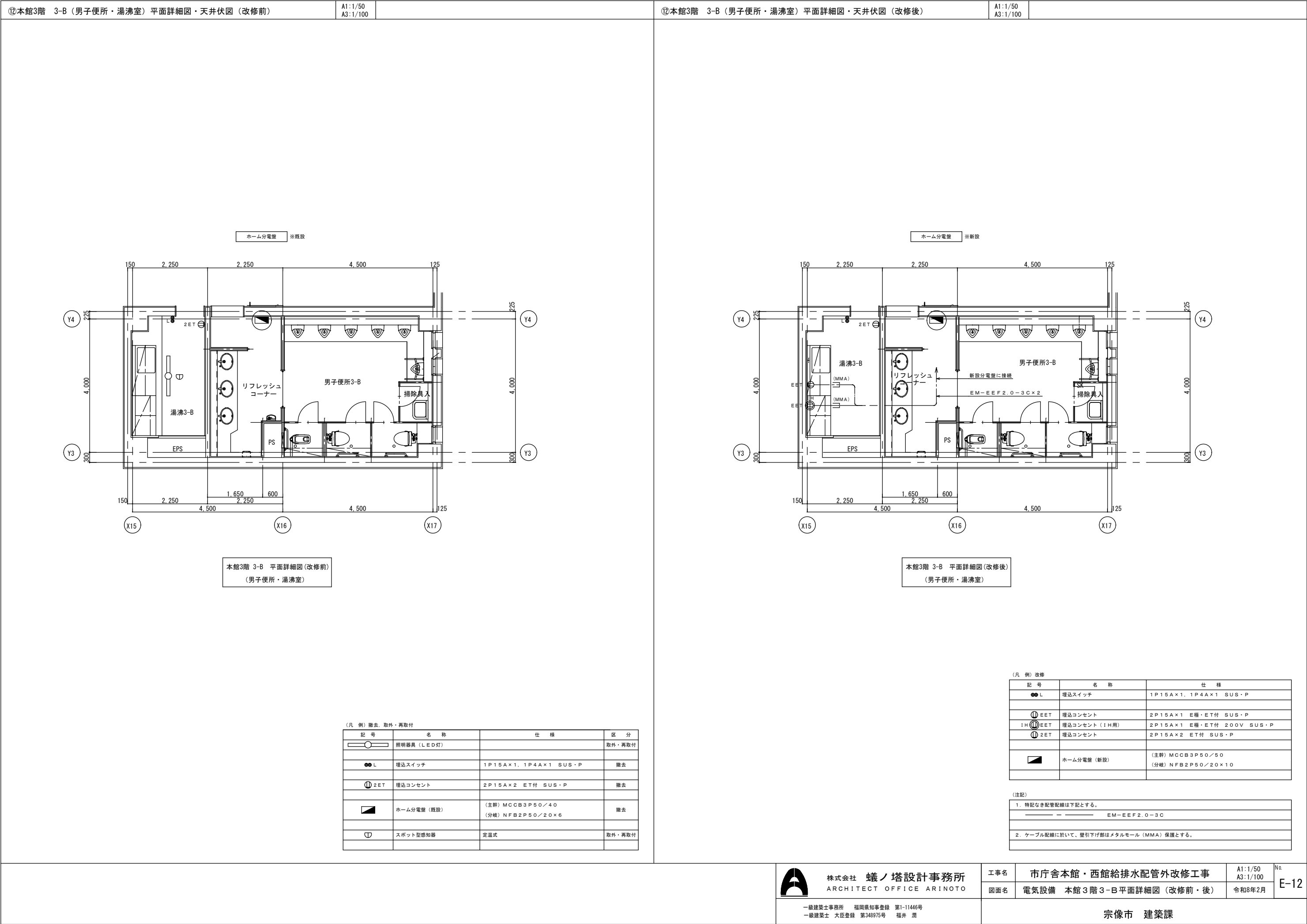
図面名

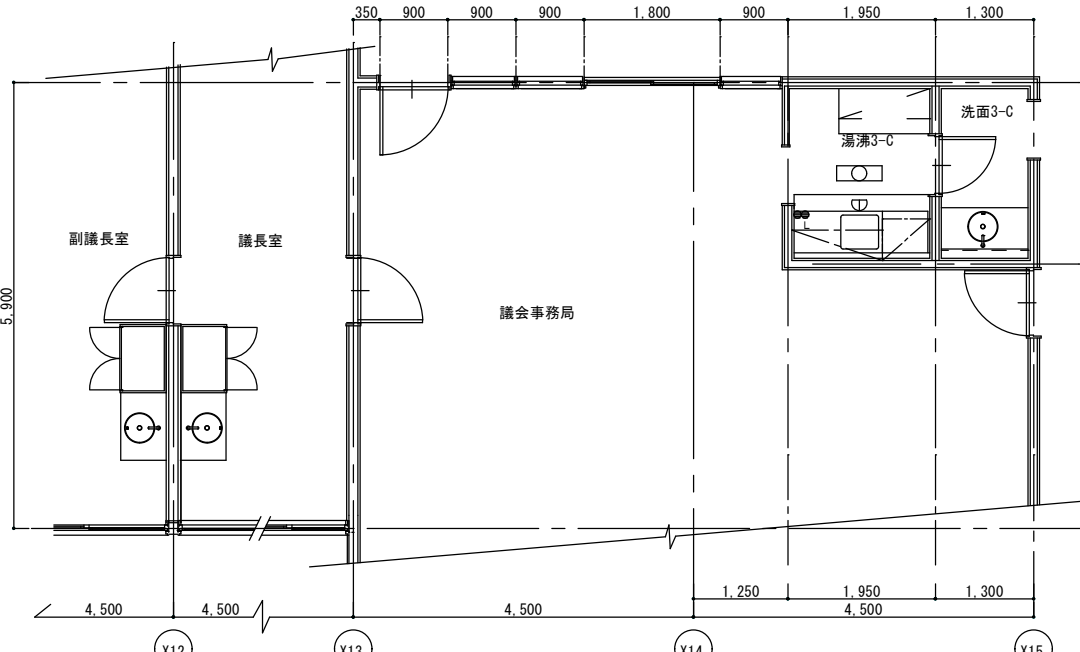
電気設備 本館3階3-A平面詳細図（改修前・後）

No.

E-11

宗像市 建築課



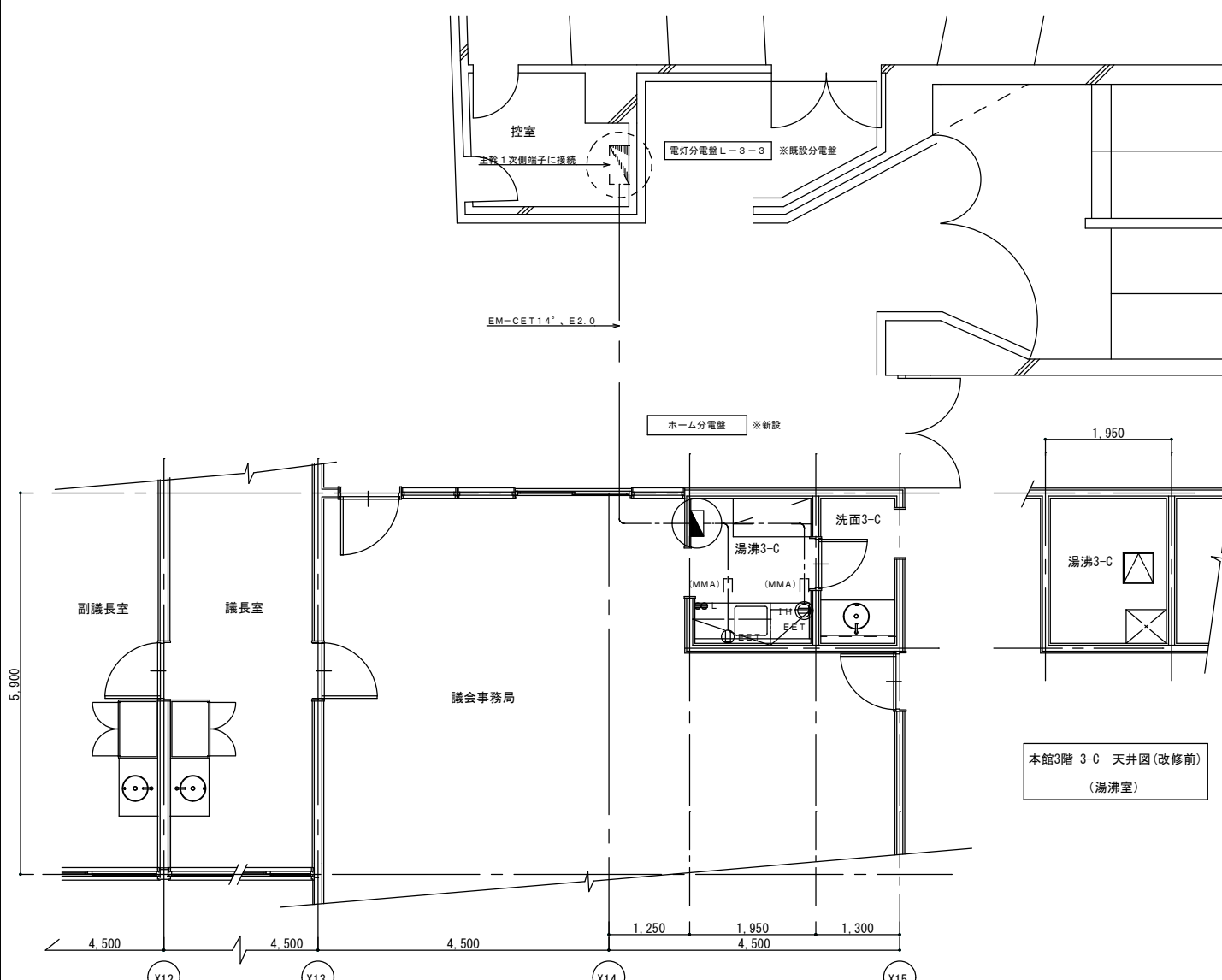


本館3階 3-C 天井図(改修前)
(湯沸室)

本館3階 3-C・各洗面コーナー 平面詳細図(改修前)
(湯沸室・副議長室・議長室)

(凡 例) 撤去、取外・再取付

記 号	名 称	仕 様	區 分
	照明器具 (LED灯)	LD20形 埋込形	取外・再取付
	埋込スイッチ	1P15A×1、1P4A×1 SUS・P	撤去
	スポット型感知器	定温式	取外・再取付



本館3階 3-C 天井図(改修前)
(湯沸室)

本館3階 3-C・各洗面コーナー 平面詳細図(改修前)
(湯沸室・副議長室・議長室)

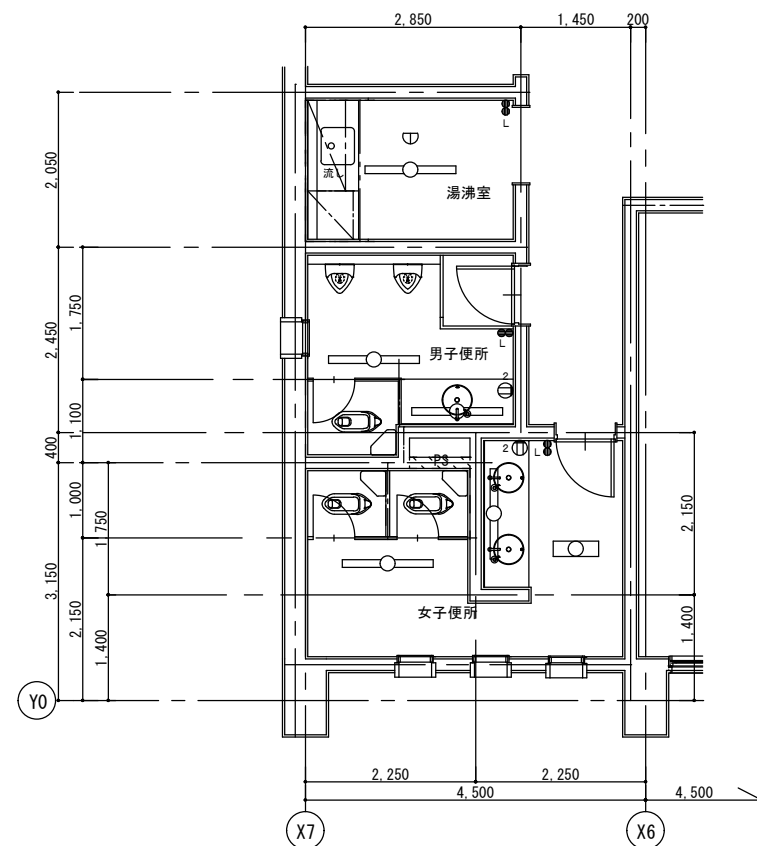
(凡 例) 改修

記 号	名 称	仕 様
	埋込スイッチ	1P15A×1、1P4A×1 SUS・P
	埋込コンセント	2P15A×1 E極・ET付 SUS・P
	埋込コンセント (IH用)	2P15A×1 E極・ET付 200V SUS・P
	ホーム分電盤 (新設)	(主幹) MCCB3P50/50 (分岐) NFB2P50/20×6

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記とする。
EM-EEF2.0-3C

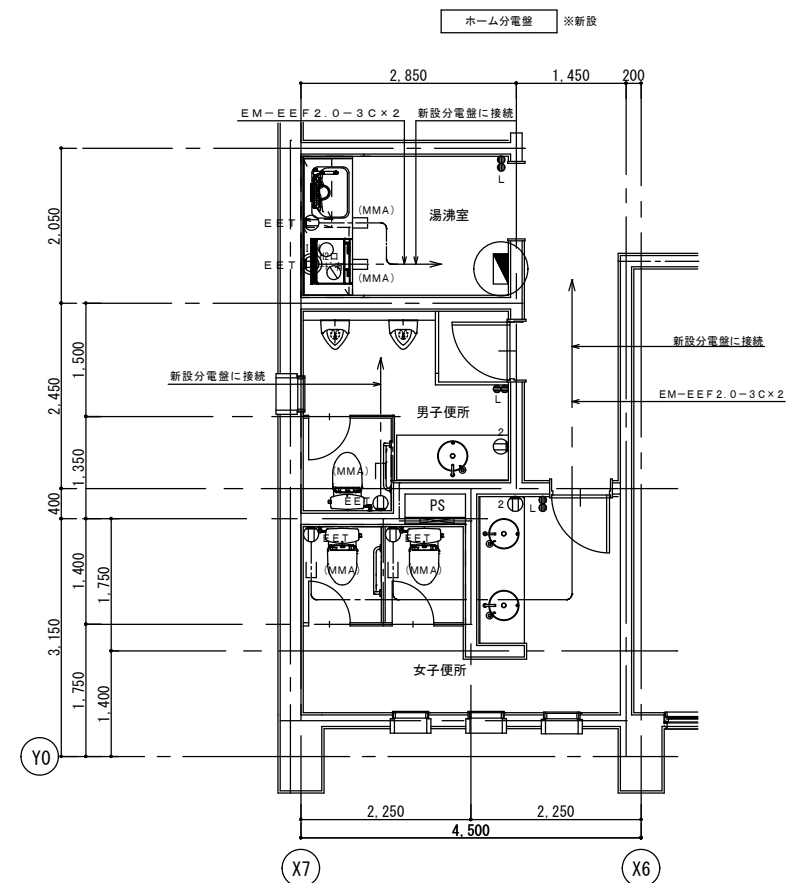
2. ケーブル配線に於いて、壁引下げ部はメタルモール (MMA) 保護とする。



西館1階 平面詳細図(改修前)
(男子便所・女子便所・湯沸室)

(凡 例) 撤去, 取外, 再取付

記 号	名 称	仕 様	区 分
	照明器具 (LED灯)	LD40形 埋込形	取外・再取付
	照明器具 (LED灯)	LD20形 埋込形	取外・再取付
 L	埋込スイッチ	1P15A×1、1P4A×1 SUS・P	撤去
 2	埋込コンセント	2P15A×2 SUS・P	撤去
	スポット型感知器	定温式	取外・再取付

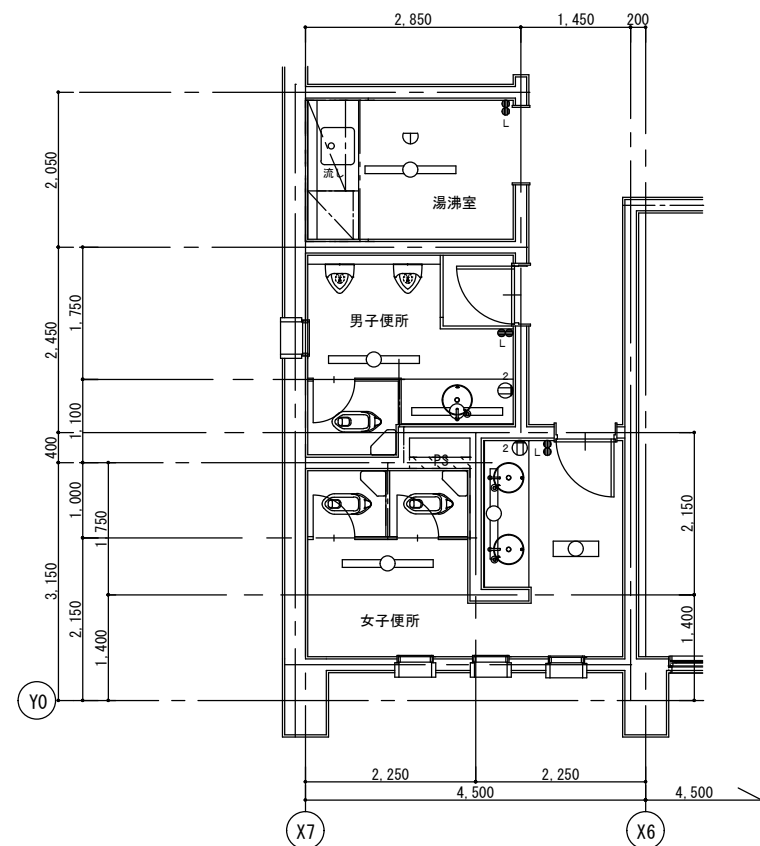


西館1階 平面詳細図(改修後)
(男子便所・女子便所・湯沸室)

(凡 例) 改修		
記 号	名 称	仕 様
 L	埋込スイッチ	1P15A×1, 1P4A×1 SUS・P
 2	埋込コンセント	2P15A×2 SUS・P
 EET	埋込コンセント	2P15A×1 E種・ET付 SUS・P
1H  EET	埋込コンセント (1H用)	2P15A×1 E種・ET付 200V SUS・P
	ホーム分電盤 (新設)	(主幹) MCCB3P50/50 (分岐) NFB2P50/20×12

(注記)

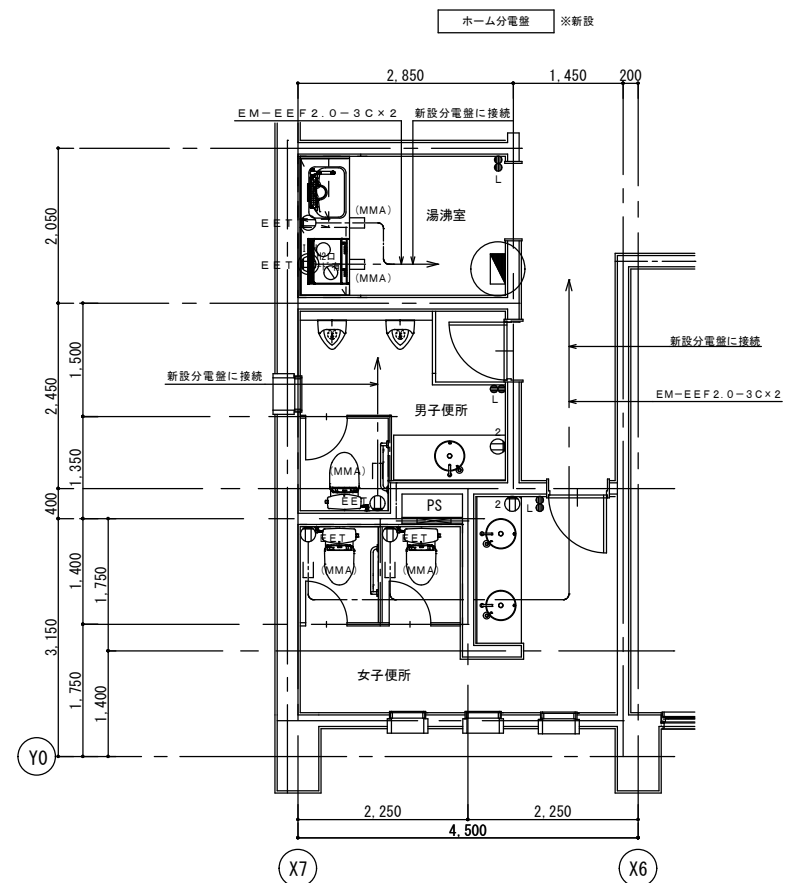
1. 特記なき配管配線は下記とする。
— EM-EFF2.0-3C
2. ケーブル配線に於いて、壁引下げ部はメタルモール（MMA）保護とする。



西館2階 平面詳細図(改修前)
(男子便所・女子便所・湯沸室)

(凡 例) 撤去, 取外・再取付

記 号	名 称	仕 様	区 分
	照明器具 (LED灯)	LD40形 埋込形	取外・再取付
	照明器具 (LED灯)	LD20形 埋込形	取外・再取付
	埋込スイッチ	1P15A×1, 1P4A×1 SUS・P	撤去
	埋込コンセント	2P15A×2 SUS・P	撤去
	スポット型感知器	定温式	取外・再取付



西館2階 平面詳細図(改修後)
(男子便所・女子便所・湯沸室)

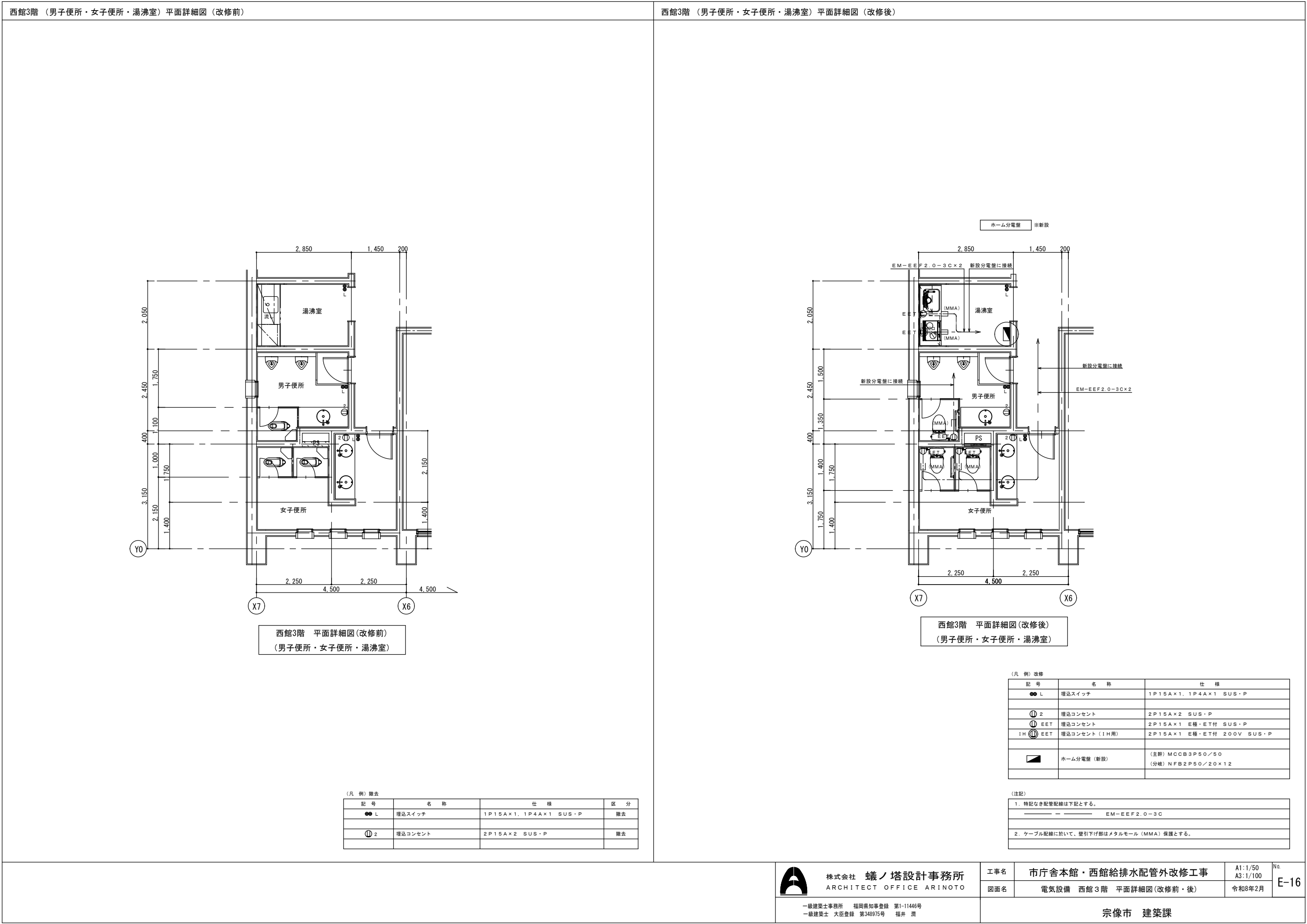
(凡 例) 改修		
記 号	名 称	仕 様
●● L	埋込スイッチ	1P15A×1, 1P4A×1 SUS・P
① 2	埋込コンセント	2P15A×2 SUS・P
① EET	埋込コンセント	2P15A×1 E種・E付付 SUS・P
1H ① EET	埋込コンセント (1H用)	2P15A×1 E種・E付付 200V SUS・P
	ホーム分電盤 (新設)	(主幹) MCCB3P50/50 (分岐) NFB2P50/20×12

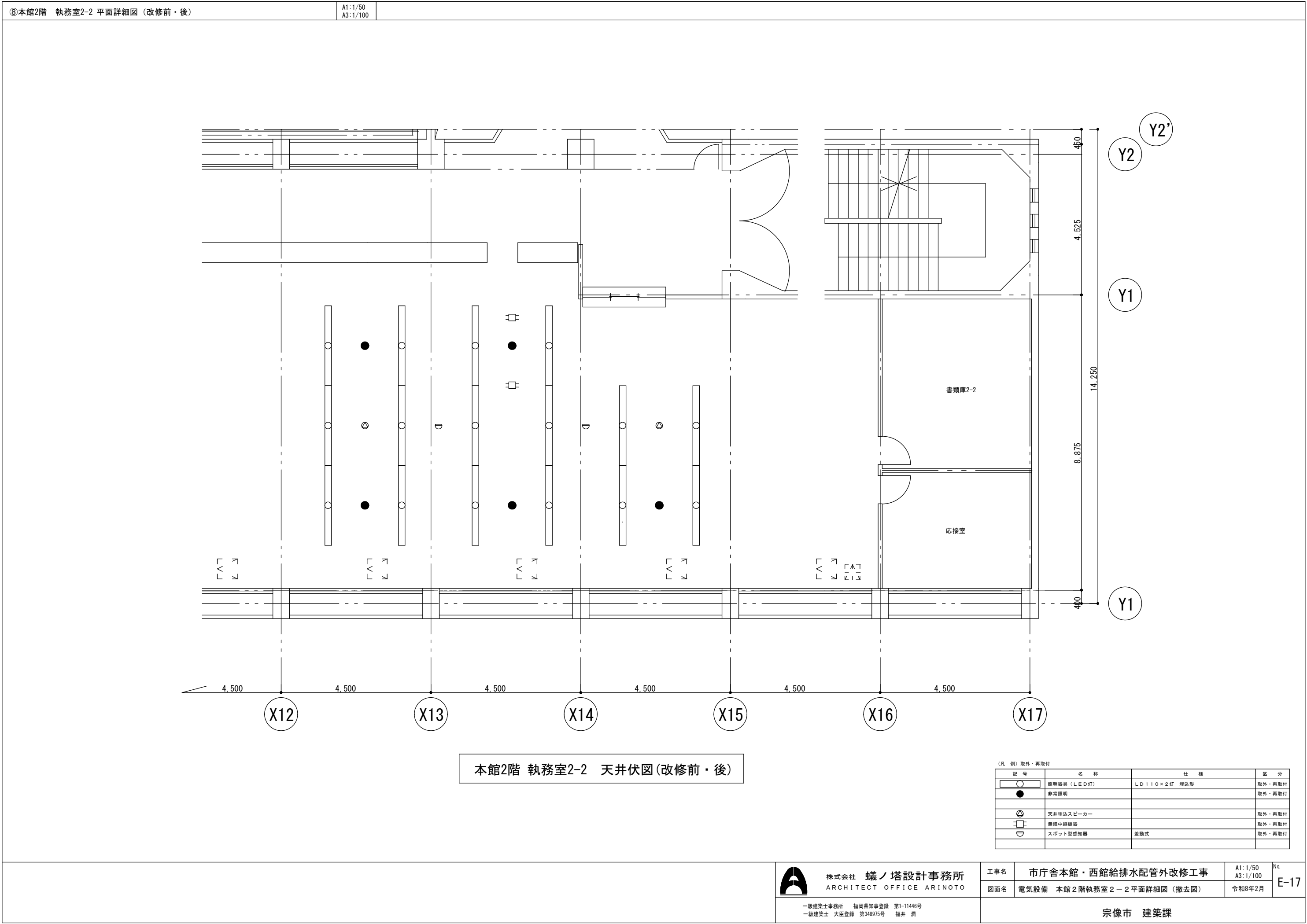
(注記)

1. 特記なき配管配線は下記とする。

— — — — — EM-EEF2.0-3C

2. ケーブル配線に於いて、壁引下げ部はメタルモール（MMA）保護とする。





機械設備工事特記仕様書

Ⅰ. 工 事 名 称 市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事

Ⅱ. 工 事 概 要

Ⅰ. 工 事 場 所 福岡県宗像市東郷1丁目1－1

Ⅱ. 建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階 数	延面積 (㎡)	防火対象物の 種 別	戸数・浄化槽入槽受水槽有効容量等
本館・西館	RC造	3 階			

Ⅲ. 工 事 種 目 (○印を付けたものを適用する)

建物別及び壁外	工 事 種 別				
工事種目	本館・西館				屋 外
○ 衛生器具設備	新設 一式	一式	一式	一式	
○ 給水設備	新設 一式	一式	一式	一式	新設 一式
○ 排水設備	新設 一式	一式	一式	一式	一式
○ 給湯設備	新設 一式	一式	一式	一式	
・ 消火設備	一式	一式	一式	一式	一式
・ ガス設備	一式	一式	一式	一式	一式
・ 換気設備	一式	一式	一式	一式	
・ 空気調和設備	一式	一式	一式	一式	
・ 排煙設備	一式	一式	一式	一式	
・ 中水設備	一式	一式	一式	一式	一式
・ 浄化槽設備					一式
・ さく井設備					一式
・ 電気設備工事※	一式				一式
・ 建築工事※	一式				一式
※ 各工事の特記仕様書を確認のこと					

Ⅳ. 本 工 事 設 備 概 要 (○印を付ける) ※ を付けたものは既設設備とする。

給排水衛生設備	給水方式	上水水源 (○市水 ・ 井水 ・ 小規模簡等 ・ 簡等 ・ 専用水道) ・ 上水道直接給水方式 ○ 直結増圧給水方式 ・ ポンプ回転数制御方式 ・ 高架水槽方式 (・ 市水 ・ 井水 ・ 中水) ・ 圧力水槽方式 (・ 市水 ・ 井水 ・ 中水)
	排水方式	○ 建物内汚水と雑排水 (○ 分流 ・ 合流) ○ 重力式 ・ ポンプアップ式 ・ 敷地外放流方式 ・ 直放式 (○ 合流式 ・ 分流式) ・ 非直放流 (浄化槽)
	浄化槽の形式	・ ユニット型 ・ 現増能工型 ・ 放流水質BOD 20 mg/L ・ 合併処理
	給湯設備	○ 局所式 ・ 中央式
	消火設備の種類	・ 屋内消火栓 (・ 1号・2号・易操作性1号) ・ ｼﾌﾞﾘﾝｸﾞ ・ 連結散水 ・ 連結送水 ・ 屋外消火 ・ 水噴霧消火 ・ 泡消火 ・ 不活性ｶﾞｽ ・ ｵｲﾙﾌｨｰﾙ消火 ・ 粉末消火
	ガスの種別	・ 都市ガス ○ 液化石油ガス ・ 簡易ガス
空気調和設備	空調方式	・ ダクト方式 ・ ファンコイルユニット ・ ダクト使用方式 ・ パッケージ方式 (・ 中央式 ・ 各階式 ・ 個別式) ・ 直接暖房 (・ 蒸気 ・ 温水) ・ 温風暖房 ・ 暖房専用 ・ 将来冷房可能 ・ 温風暖房機 ・ 空気調和機
	主要熱源機器	・ 温水 ・ 蒸気 ・ 鍋爐製ボイラ ・ 調製ボイラ (・ 立てボイラ ・ 評価煙管式ボイラ) ・ 温風暖房機 ・ ヒートポンプチャラー (・ 水冷 ・ 空冷) ・ 往復動冷凍機 ・ 遠心冷凍機 ・ 吸収冷凍機 ・ 直置き吸収冷凍機
	全熱交換器	・ 回転形 ・ 静止形
	換気設備	・ 機械換気 (・ 有 ・ 無)
	排煙設備	・ 機械排煙 (・ 有 ・ 無) ・ 法規 (・ 建基法 ・ 消防法)

Ⅴ. 法令による区画 (有の場合は、図示等による)

建築基準法	防火区画	112条区画 (・ 有 ・ 無) 114条区画 (・ 有 ・ 無)
	延焼のおそれがある部分 (・ 有 ・ 無)	
	修繕区画 (・ 有 ・ 無)	
消防法	令8区画 (・ 有 ・ 無)	
	共生区画 (・ 有 ・ 無)	
その他の区画		

Ⅵ. その他 (工事内容、留意事項等)

※工事内容、留意事項等を必ず記載のこと。

Ⅶ. 工 事 仕 様

Ⅰ. 共 通 仕 様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁整備部公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編 最新版) ・ 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編 最新版) ・ 公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編 最新版) ・ 同標準仕様書 (建築工事・電気設備工事編 最新版) ・ 同建築改修工事標準仕様書 (建築工事・電気設備工事編 最新版) ・ 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修公共住宅建設工事共通仕様書 (最新版)並びに福岡県建築都市部監修福岡県建築工事の手引きによる。

Ⅱ. 特 記 仕 様

- 重および項目は番号に ○印のついたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は、原則として※印を選択するが、それ以外を適用する場合は ○印をつけて選択する。
- 図面に明記なくとも関係法規上・機能上・意匠上当然と認められるものは、本工事にて施工すること。
- 共用版の仕様については、監督職員 (係員) の承認を受けること。

①発生材の処理

②残土処分

3.工事実績情報の登録
(工事カルテ)

④官公署その他の
手続き

⑤工事写真

6.測定表

⑦完成図等

⑧他工事との取合い

⑨技能士の適用

①監督員事務所

2.工事用電力・水
・その他

③工事表示板等

④足場

⑤矢板

①機材

②容量等の表示

③耐震施工

④防火区画等を貫通
する配管

⑤給水器具の材質

⑥ライニング鋼管の継手

⑦吊り及び支持等

⑧埋設設備テープ

⑨地中埋設機

⑩地中埋設及びコン
クリート内の防食

11.コンクリート強度

⑫はつり

13.ポンプ電動機の極数

14.電線管

15.電線

①大便器

2.大便器洗浄方式
小便器

4.小便器洗浄方式

5.標示板

6.洗面化粧台

7.水栓

⑧鏡

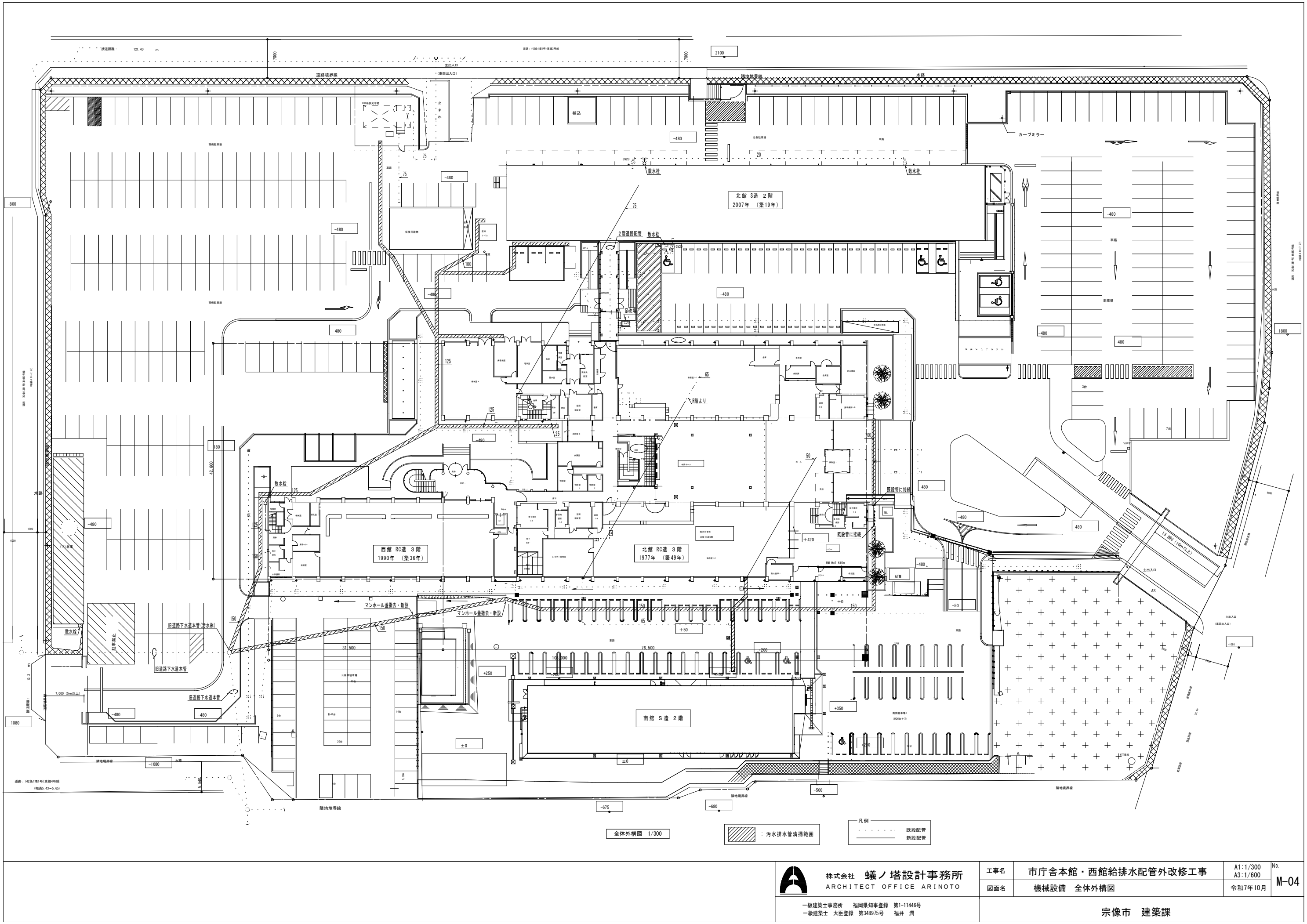
9.化粧柱

10.水栓柱

①和風大洗器（※排水型 ・ 一般型） ※割カカバー（防火区画貫通部）
②洋風大洗器（※排水型） ・ 一般型 ・ 身体障害者用
③皿排水型FV（バキュームブレーカ付） ○ロータンク
・床置型 ・壁掛型
トラップ（・脱脂式 ・ 固定式）
・自動洗浄（個別感知）（・一体型 ・ 埋込型 ・ 露出型） ・ 手動洗浄（※排水型FV）
大便器は1組に1個、小便器は2組に1個とする。（※シール ・ 陶器製 ・ アクリル製）
※洗濯化粧台キャビネット部材は、ホルムアルデヒド放散量が日本農林規格（JAS）で
定められている基準のものとする。
※排水コマ付 ・ 普通コマ付
○普通形 ・ 遮断防止用耐食形 ・ 耐食形 ・ 遮断防止用耐食形 ・ 身体障害者用
・ 露出形 ・ 埋込形
707 □×1300（※ジコシオン）

給排水設備	1.	量水器	・親メーター（※資材品） ・買取り ・子メーター（ ・資材品 ※買取り） ・水道事業者指定品（ ・資材品 ※買取り） ・国土交通省型 ・その他 ○その他の部分 JIS ○SKK ・ 10K ）	※計量法 検定合格品とする。
	2.	量水器類		
	③	弁類	・水道連結部分 JIS （※10K ・ ） ○その他の部分 JIS ○SKK ・ 10K ）	
	4.	弁類		
	⑤	配管材料	一般配管 ・塩化ビクリンゲ鋼管（SGP-VA） ○塩化ビクリンゲ鋼管（SGP-VB） ・ポリホリ鋼管（SGP-PB） ・硬質塩化ビニル管（HVP）（屋内） ・鉄製管（ ・種） ・ステンレス鋼管（SUS）（ ・圧接継合 ・溶接継合 ・監督継合） ・炭素鋼ポリエチレン管またはポリブデン管（さや管工法） ※さや管と内管は別々に施工すること。 屋内地中配管 ・塩化ビクリンゲ鋼管（SGP-VD） ・ポリホリ鋼管（SGP-PD） ※ブルジョム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。 屋外地中配管 ○塩化ビクリンゲ鋼管（SGP-VD） ・ポリホリ鋼管（SGP-PD） ・硬質塩化ビニル管（HVP） ・硬質塩化ビニル管（VP） ※ブルジョム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。 ・ポリエチレン管 1種（PE）（ ・溶着継合 ・金属継手継合） 厨房、浴室等のシンダー内配管 ・塩化ビクリンゲ鋼管（SGP-VD）	
	6.	引込納付金等	※別途	
	7.	ポンプ基礎	・標準基礎 ・防振基礎	
	8.	他の設備項目の適用	下記のものとは、空気調和設備の当該項目を適用する。 イ）防振継手 ロ）フアグアイド（ハ）防振吊り金物及び支持金物（ただし排水管のみ） ※標準部（ ・（a） ・（b） ※（c）スリクッション）による。 ○一般敷地（Q900mm ・ mm） ○横内車両通路（Q900mm ・ mm） ※用いる（図4による。） 塩化ビクリンゲ鋼管と給排水・銅合金製配管附属品等との接続	
	⑩	建物導入部配管		
	⑪	管の埋設深さ		
	⑪	器具接続用管組		
排水設備	①	配管材料	○汚水管 ・排水用鉄鋼管 ・硬質塩化ビニル管（VP） ・硬質塩化ビリサイクル管（RF-VP）○縦続強化モルタル被覆硬質塩化ビニル管 ・排水用ライニング鋼管 ○雑排水管 ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管（VP） ・カラーVP ・硬質塩化ビリサイクル管（RF-VP）○縦続強化モルタル被覆硬質塩化ビニル管 ・排水用ライニング鋼管 ○屋外排水管○硬質塩化ビニル管（OP ・ VU）※呼び径125以上は原則としてVUとする。 ○小口埋立上り管・硬質塩化ビリサイクル管（※RS-VP ・ VU） ○通気管・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管（VP） ・カラーVP ・硬質塩化ビリサイクル管（RF-VP）○縦続強化モルタル被覆硬質塩化ビニル管 ・鋼管（ ・ねじ込み式 ・動継手 ・ ） ・排水用ライニング鋼管（ ・動継手 ・ ） 図5による。 特記以外JIS SK とする。 排水鉄管系統の床上接続部直下に取り付ける管は45°2回曲りとする。 図面詳細による。 図面詳細による他、下記による。 ミカゲ（未舗装部） 鉄鉄（歩道部） 保護鉄鉄1〜8（車道部） ビニル製伸縮継手 日本建築業工事業会の認定を受けたものとする。 排水流し下のビニル製排水管には差込（W）ソケットを使用すること。 図示による。	
	2.	管継合		
	③	可燃材の区画処理		
	4.	弁類		
	5.	床土除根口直下の曲管		
	6.	コンクリート解ふた		
	⑦	小口埋立ふた		
	8.	伸縮継手		
	9.	グリストラップ		
	10.	差込ソケット（W）		
	11.	滴水試験継手		
給排水設備	①	管類	イ）ステンレス鋼管（ ・圧接継合 ・溶接継合） ○鉄造ステンレス鋼管 ・耐熱塩化ビクリンゲ鋼管 ・鋼管 ・保温付被覆鋼管 ・被覆断熱鋼管 ・炭素鋼ポリエチレン管またはポリブデン管（さや管工法） ロ）鋼管使用の場合はM管とし、電気防止継手を取得付ける。 ※用いる（図4による。） JIS SK とする。ただし、特記部分はJIS 10K とする。 オーバーフローはクロムメッキ鋼管にて最寄りの流しに間接排水する。 ガス通過用鉄鋼管は、JIS S 3025によるSUS304（厚さ0.3mm以上）とする。 イ）腐蝕水槽の保護（ ・要 ・不要） ロ）コンクリート埋設部（ ・防水麻布巻 ・保温工事） ○開閉式 ・貯留式 ・風呂給湯器（オートタイプ） ○ガス ・灯油 ・電気	
	2.	器具接続用管組		
	3.	弁類		
	4.	貯留式ガス通過器		
	⑤	排気漏れびく理突		
	6.	保温		
	⑦	通気器		
消火設備	1.	消火ポンプの基礎	・標準基礎 ・防振基礎 ・要 ・不要	
	2.	フット弁・呼吸機及びサクションカバー		
	3.	屋内消防栓弁	※減圧弁付	
	4.	保温	・屋内消防栓（ ・要 ※不要） ・屋外出消防栓（ ※要 ・不要） ・配管用炭素鋼鋼管（白）（屋内） ・外面被覆鋼管（ ・SGP-VP ・ SGP-PS）	
	5.	管類		
	6.	消防設備士	※要	
ガス設備	1.	種類	・都市ガス 発熱量 KJ/m3 ・液化石油ガス	
	2.	管類	・ガス供給事業者のガス供給規定による。 一般配管 ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・ガス用ステンレス製フレキシブル管 ・硬質塩化ビクリンゲ鋼管 ・ポリエチレン被覆鋼管 ビット内配管 ・硬質塩化ビクリンゲ鋼管 ・ポリエチレン被覆鋼管 屋外埋設配管 ・ポリエチレン管JIS K 6774	
	3.	都市ガス	イ）ガスメーター 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 イ）ガスメーター（ ・買取り ・借用） ロ）集合装置（ ・別途工事 ※本工事） ハ）転倒防止用の鎖（ ・別途工事 ※本工事） ニ）ボンベ置場のコンクリート基礎（※別途工事 ・本工事）	
	4.	液化石油ガス	運動スイッチ（ ・要 ・不要） ・本工事 ・別途工事 ※ガス運搬警報器工事は、住宅工事においては原則として行わない。 液化石油ガス設備士による施工とする。 （財）日本エネルギー機器供養協会、検査合格品とする。 ※要 ・不要 ・標準部（ ・（a） ・（b） ※（c）スリクッション）による。	
	5.	ガス通過器の付属品		
	6.	ガス漏れ警報器		
	7.	施工資格		
	8.	ガス栓		
	9.	絶縁継手		
	10.	建物導入部配管		
換気設備	1.	ダクトの種類	※低圧ダクト ・高圧ダクト	
	2.	ダクトの工法・種類	イ）給気用ダクト ・アングル工法 ・コーナーボルト工法（ ・共振 ・スライドオン） ・スパイラルダクト ・耐火二層管工法 ・VP管工法 ロ）排気用ダクト ・アングル工法 ・コーナーボルト工法（ ・共振 ・スライドオン） ・スパイラルダクト ・耐火二層管工法 ・VP管工法	
	3.	ダクトの分岐方法	イ）給気用ダクト ※割込み方式 ・置付け方式 ロ）排気用ダクト ※割込み方式 ・置付け方式 ※指定色仕上げ ・指定なし	
	4.	換気フード		
	5.	厨房換気フード	イ）換気フードの補強及び支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製風道の当該事項による。 ロ）材質 ※ステンレス製 ・亜鉛鉄板製 ハ）グリーンフィルターは、設置台数と同数の予備品を納入する。 ※厨房 ※浴室（シール有） 下記のものとは、空気調和設備の当該項目を適用する。 イ）風量測定口 ロ）チャンパー等 ハ）吸入口及び吸込口の材質 ニ）防振ダンパー ホ）消音器（ ・防振基礎） ・位置（ ・標準基礎 ・防振基礎） ・天吊（標準部による。） ※要（調べの箇所のみ） ・不要	
	6.	多連節の範囲		
	7.	他の設備項目の適用		
	8.	送風の基礎		
	9.	通風用換気扇の取替		

12	自動制御設備	1.	中央監視制御	・要 ・不要 別紙による。							
		2.	中央監視制御装置の構成・機能								
3.	電源装置	・要 ・本工事 ・別途電気工事	・不要								
13	空調設備			1.	温湿度調整目標値						
空気		外気	室内								
			温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)					
夏季		34.5℃	27.5℃	58.8%	26℃	18.7℃	50%	℃	%	℃	%
冬季		2.1℃	-1.1℃	50.7%	22℃	13.9℃	40%	℃	%	℃	%
和室		2.	電気工事の範囲	※施工区分表による。・図面詳細による。 イ) 冷媒 ※R407C (R407C, R410A, R134a等) ロ) 冷媒管 (※断熱材被覆銅管 (製造者標準品) ・銅管) ハ) 冷媒管及びドレン管の区画処理 (・有 (※国土交通大臣認定工法) ・その他) ・無) ニ) ドレン管の材質 ・配管用炭素鋼管 (白) ・カラーVP ・結露防止層付強化ビニル管 ・硬質塩化ビリヤル管 (RF-VP) ホ) 室外機の基礎 (・標準架台 ・防護架台) ヘ) ※グリーン購入法適合品とする。							
		3.	パッケージエアコン								
設備		4.	配管材料 (パッキン等を除く)	イ) 給水管 ・塩化ビニリング鋼管 (・SSP-VB) ・ ロ) 冷温水管 ・配管用炭素鋼管 (白) ・耐熱塩化ビニリング鋼管 ・一般配管用ステンレス鋼管 ハ) 排水管 ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管 (VP) ・カラーVP ・結露防止層付強化ビニル管 ・硬質塩化ビリヤル管 (RF-VP) ニ) 冷却水管 ・塩化ビニリング鋼管 (※SSP-VB) ・ ホ) 高気及び油配管は配管用炭素鋼管 (黒) とする。 ヘ) 冷媒管 ・銅管 ・断熱材被覆銅管 (製造者標準品) ト) 外壁管の区画処理 (・有 (※国土交通大臣認定工法) ・その他) ・無) チ) 断熱管、安全管及び断熱水槽よりボラへの給水管の配管材料は、水道用亜鉛メッキ鋼管とする。							
		5.	冷媒	※R407C (R407C, R410A, R134a等) ・自然冷媒 (CO2, NH3) JIS 5K とする。ただし特記部分はJIS 10K とする。 ・ベローズ形 ・合成ゴム製 (・合成ゴム製 ・3山ベローズ形) ※表は標準仕様書による。							
6.		弁類	・ベローズ形ステンレス製 ・合成ゴム製								
7.	防振緩衝	・防振緩衝									
8.	7k6p7g 5t0t	・ベローズ形ステンレス製 ・合成ゴム製									
9.	ダクト	イ) 種別 (※低圧ダクト ・高圧ダクト) ロ) 工法・種別 (・アングル工法 ・コーナーボルト工法 (・共振 ・スライドオン) ・スライダルト工法 (・ステンレスダクト) ・直付け方式) ハ) 分岐方式 (※割込み方式) ・直付け方式 標準仕様書によるほか、取付を指示された部分に取付ける。 イ) シーリングディフューザーには、下記の接続チャンパーを設ける。 a) ネット径が200φ以下 400×400×250H b) ネット径が200φをこえるもの 500×500×300H ロ) プリーズタイプ収出口には、下記の接続チャンパーを設ける。 a) シングル形 200×(L+100)×300H b) ダブル形 250×(L+100)×300H ハ) 外壁に面するガリリに直接取り付けるチャンパー、ホッパーには排水弁を設ける。 イ) ユニバーサル収出口 ・鋼製製 ・アルミ製 ロ) シーリングディフューザー ・鋼製製 ・アルミ製 ハ) 吸込口 ・鋼製製 ・アルミ製 (※気吸込口には防虫網付とする。) 下記のものは本仕様による。 イ) 操作方式 ・電気式 ・空気式 ロ) 復帰方式 ・連続式 (※電気式 ・空気式) ・手動式 ハ) 温度ヒューズ (・取り付ける ・取り付けない) ニ) 表示用端子 (・設ける ・設けない) 鋼板厚 (・4.5mm ※3.2mm)									
10.	風量測定口	下記のものは本仕様による。 イ) 建物内の空気抜き等の保溫は、空気抜きすまどとし、上縁は温水管の項による。 ロ) 空気調和機・ファンコイルユニット等の排水管の保溫は、給排水衛生設備の排水管の項による。 ハ) 送り風道の保溫 (・要 ・不要) ニ) 断熱水槽の保溫 (・要 ・不要) ホ) 内貼りチャンパー等の保溫 (・要 ・不要) ヘ) 隔べい風道の保溫でフランジ部は保溫材2枚重ねとする。 イ) 内貼りの材料及び工法は、標準仕様書の当該事項による。 ロ) 施工箇所は、指示した風道並びにチャンパー類とする。 ハ) 内貼りチャンパー類の寸法表示は、外形寸法とする。									
11.	チャンパー等	イ) パッケージ型空気調和機 (・防振パット ※本台 ※転倒防止装置) ロ) ユニット型空気調和機 (・標準架台 ・防護架台) ハ) 遠隔機 (・標準架台 ・防護架台) ニ) ポンプ (・標準架台 ・防護架台) ホ) 冷凍機 (・標準架台 ・防護架台) ヘ) テラユニット (・標準架台 ・防護架台) 防振つり金物 (・シングル ・ダブル) (・中央機室 ・各階機室)									
12.	吸出口・吸込口の材質 (シャッター式)	※標準仕様書による。									
13.	防振ダンパー	※標準仕様書による。									
14.	煙道	※標準仕様書による。									
15.	保溫	※標準仕様書による。									
16.	清音内貼り	※要 (※標準仕様書による) ・図示による) ・不要 ・流量調節弁 ・流量計 (流量設定が可能なもの) 用調節弁									
17.	機器類の架台	イ) 防油堤 (コンクリート製) ※別途工事 ・本工事 ロ) フロートスイッチの機能は、下記による。 ・給油ポンプの起動、停止 ・満油警報 ・満油警報 ハ) 油面計 (・フロート式 ・ゲージ式) イ) タンク室 ・設けられない ・設ける (・別途工事 ・本工事) ロ) 計量器 (・計量器 ・直読式 (防水蓋スプリング付、プロテクター式) ・遠隔式) ハ) 土工事 ・オープンカット ・矢板 (・有 ・無) ・特殊基礎 (・有 ・無)									
18.	機械室 (配管・風道) のつり金物	※ファンコイルユニット付属品 イ) 運転表示ランプ 台数の1/2以上 ロ) フィルター 各装置台数の1/2以上 ※自動巻動空気油適用フィルター (各台1巻) ※ユニット型空気油適用器 個									
19.	温度計	※要 (指定機種) ・不要 ※要 (指定機種) ・不要 ・設ける ・設ける (標準の接続部に直径80φ以上のフランジ付とする。) ・設けない									
20.	圧力計及び流量計	令和 7 年 10 月									
21.	瞬間流量計	工事名称 市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事 機械設備工事特記仕様書 (1)									
22.	ファンコイルユニット	工事場所 福岡県宗像市東部1丁目1-1									
23.	油サービスタンク	設計者氏名 福岡県土木事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤									
24.	地下貯油槽	株式会社 蟻ノ塔設計事務所									
25.	予備品	ARCHITECT OFFICE ARINOTO									

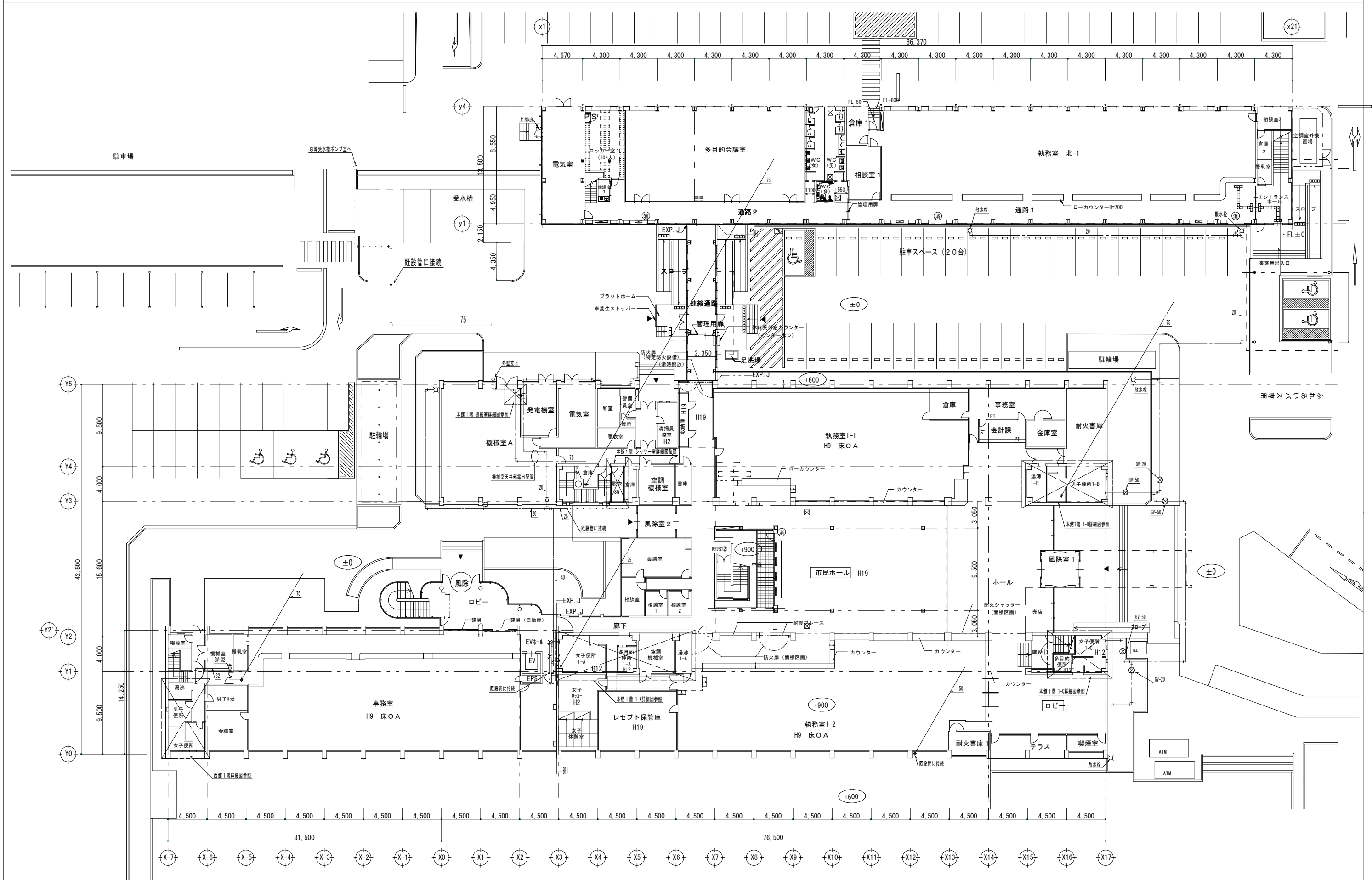


 株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/300 A3:1/600	No. M-04
	図面名	機械設備 全体外構図	令和7年10月	
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤		宗像市 建築課		

The drawing illustrates the water supply and drainage system for a building complex, including a West Building (西館) and a Main Building (本館). The system is detailed across four levels: 1st floor (1F), 2nd floor (2F), 3rd floor (3F), and 4th floor (4F). The drawing includes a vertical elevation on the left showing floor levels (▽ PFL, 3,000, 3,800, 4,500, 5,200, 6,000) and a horizontal elevation at the bottom showing floor levels (▽ 1F, 2F, 3F, 4F). The piping system is shown with various valves (GV-20, GV-32, GV-40, GV-50, GV-65) and flow directions. The system is divided into three main sections: 1st floor (1F), 2nd floor (2F), and 3rd floor (3F). The 1st floor system includes a 1st floor shower room and mechanical room system (1階シャワー室・機械室系統), a 1st floor A system (1階A系統), and a 1st floor B system (1階B系統). The 2nd floor system includes a 2nd floor A system (2階A系統), a 2nd floor B system (2階B系統), and a 2nd floor C system (2階C系統). The 3rd floor system includes a 3rd floor A system (3階A系統), a 3rd floor B system (3階B系統), and a 3rd floor C system (3階C系統). The 4th floor system includes a 4th floor A system (4階A系統), a 4th floor B system (4階B系統), and a 4th floor C system (4階C系統). The drawing also shows a legend (凡例) indicating that solid lines represent existing piping (既設配管) and dashed lines represent new piping (新設配管). The drawing is titled '給排水系統図' (Water Supply and Drainage System Diagram).

管種	材質・規格	設置場所
排水管	J I S K 6 7 4 1 硬質塩化ビニル管 VP (埋設・ビット内)	(屋内)
通気管	J I S K 6 7 4 1 硬質塩化ビニル管 VP (埋設・ビット内)	(屋内)
給湯管	J I S K 6 7 4 1 硬質塩化ビニル管 VP (ビット内)	(屋内)
給湯管	保温付ステンレス鋼管	

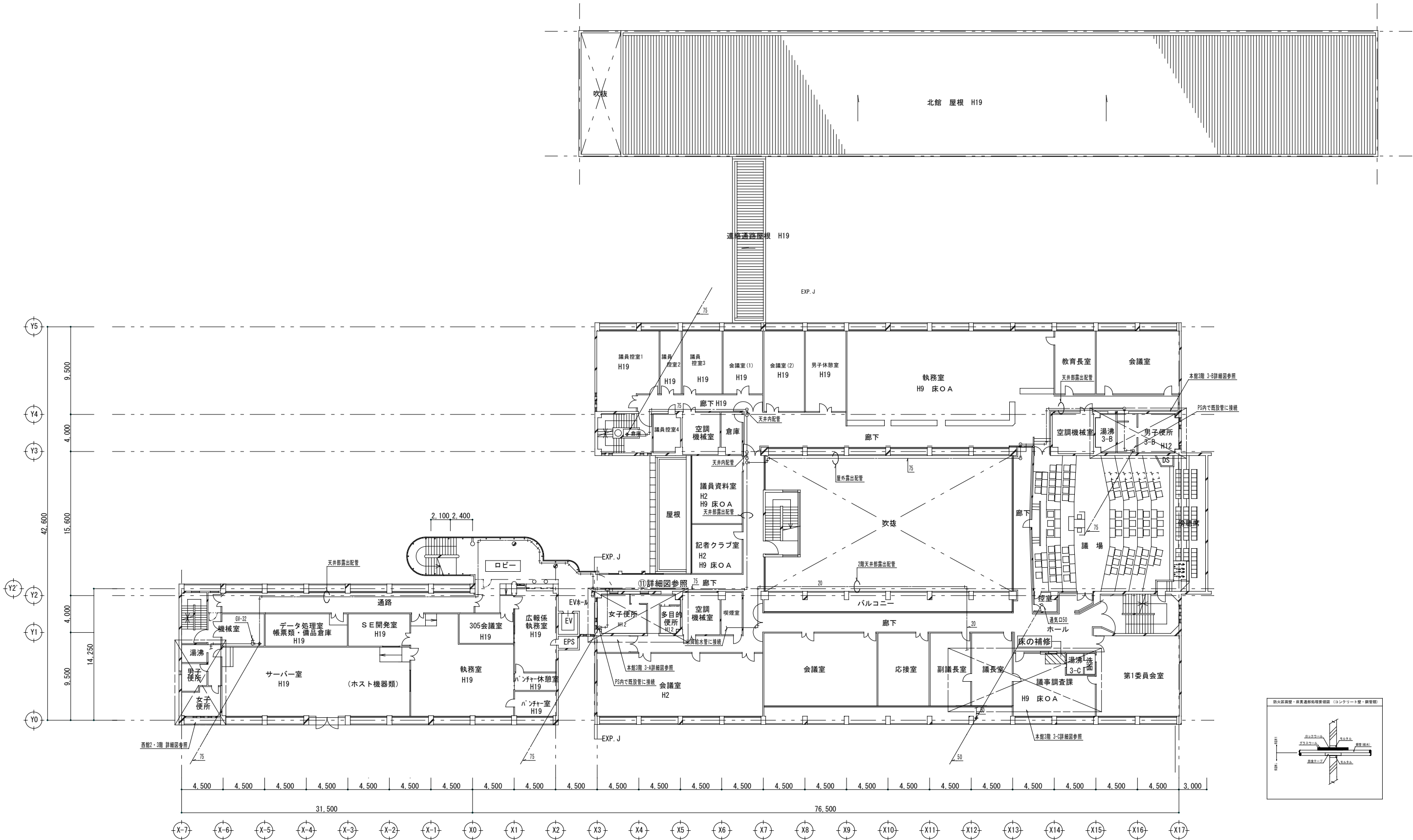
1階平面図



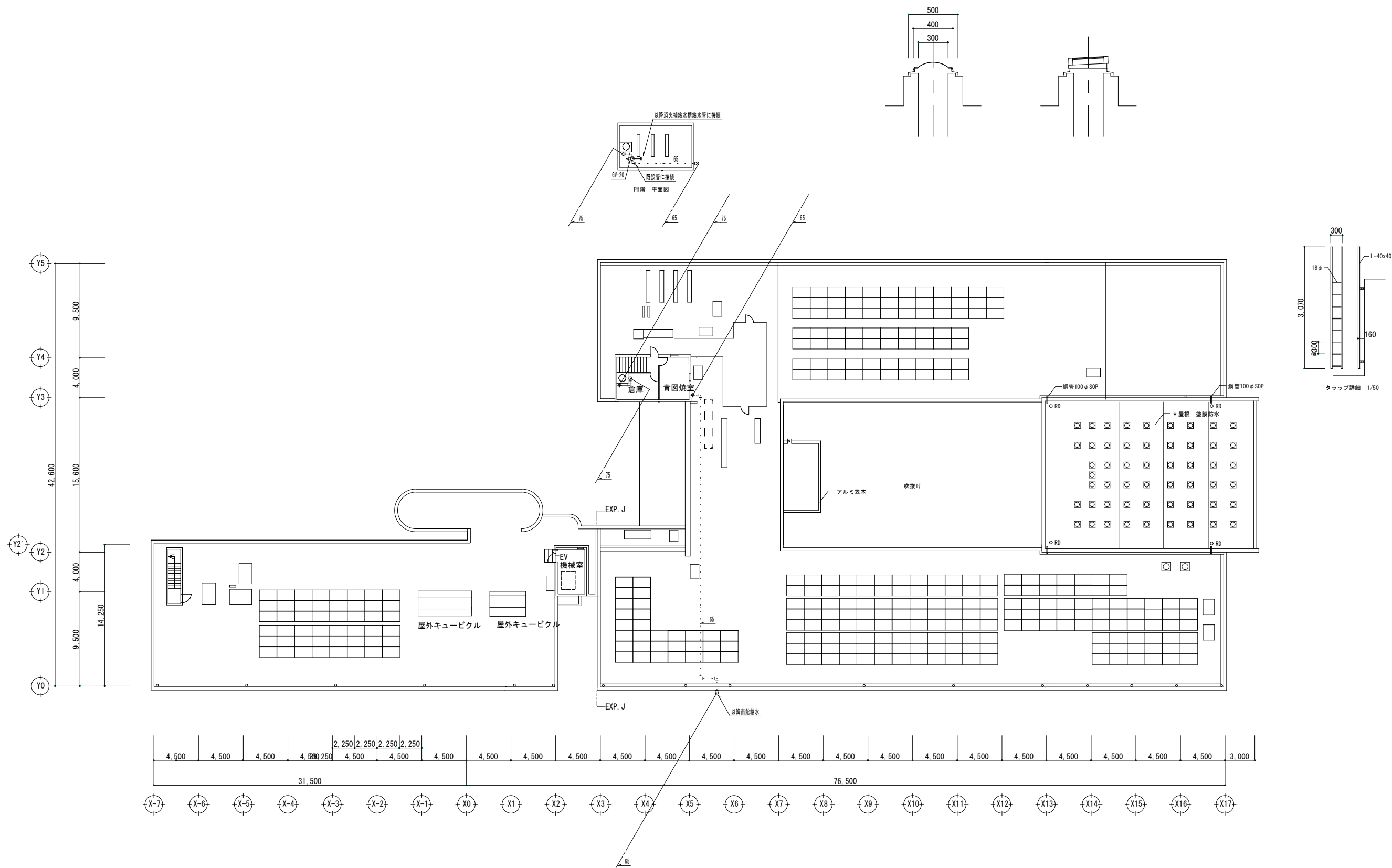
 株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/200 A3:1/400	No. M-06
	図面名	機械設備 1階平面図	令和7年10月	
宗像市 建築課				

[illegible]

3階平面図



R階平面図



株式会社 蟻ノ塔設計事務所
ARCHITECT OFFICE ARINOTO

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号
一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤

工事名

市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事

図面名

機械設備 R階平面図

A1: 1/200
A3: 1/400

令和7年10月

No.

M-09

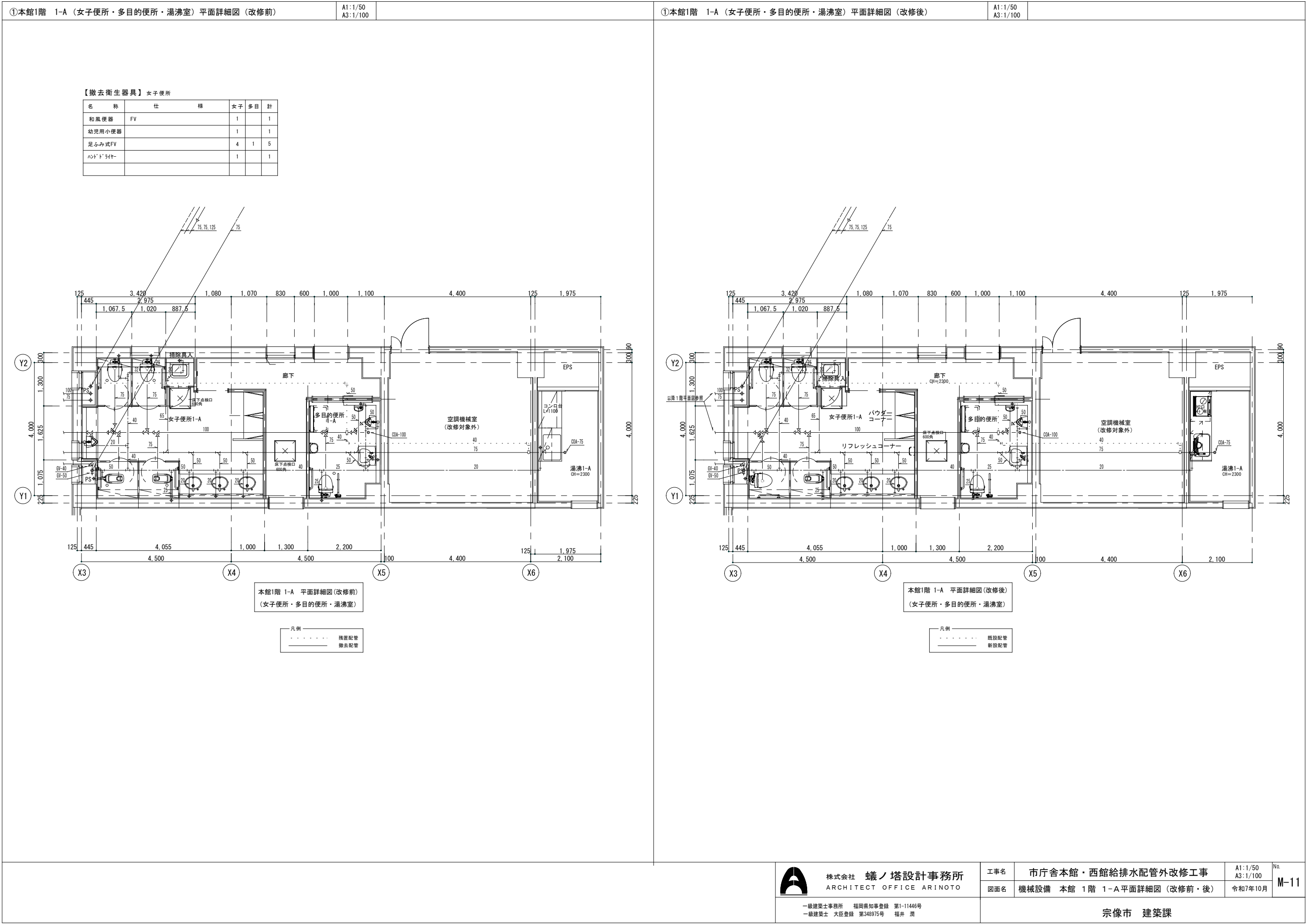
宗像市 建築課

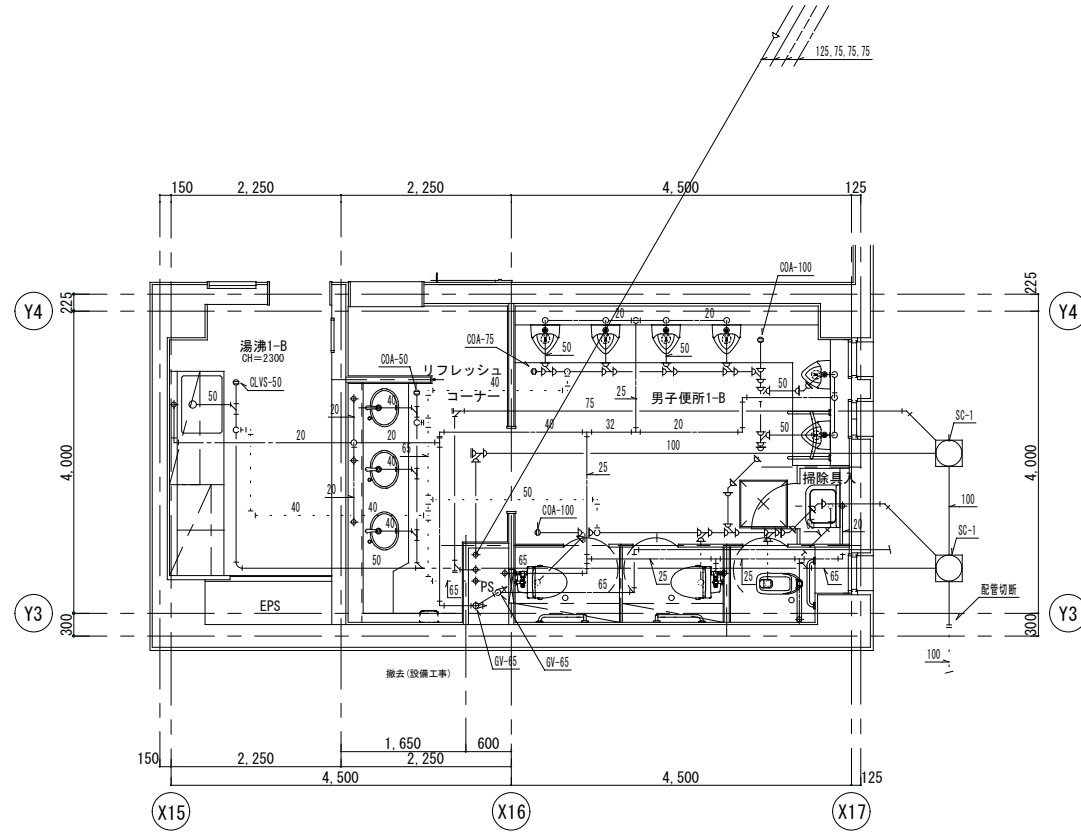
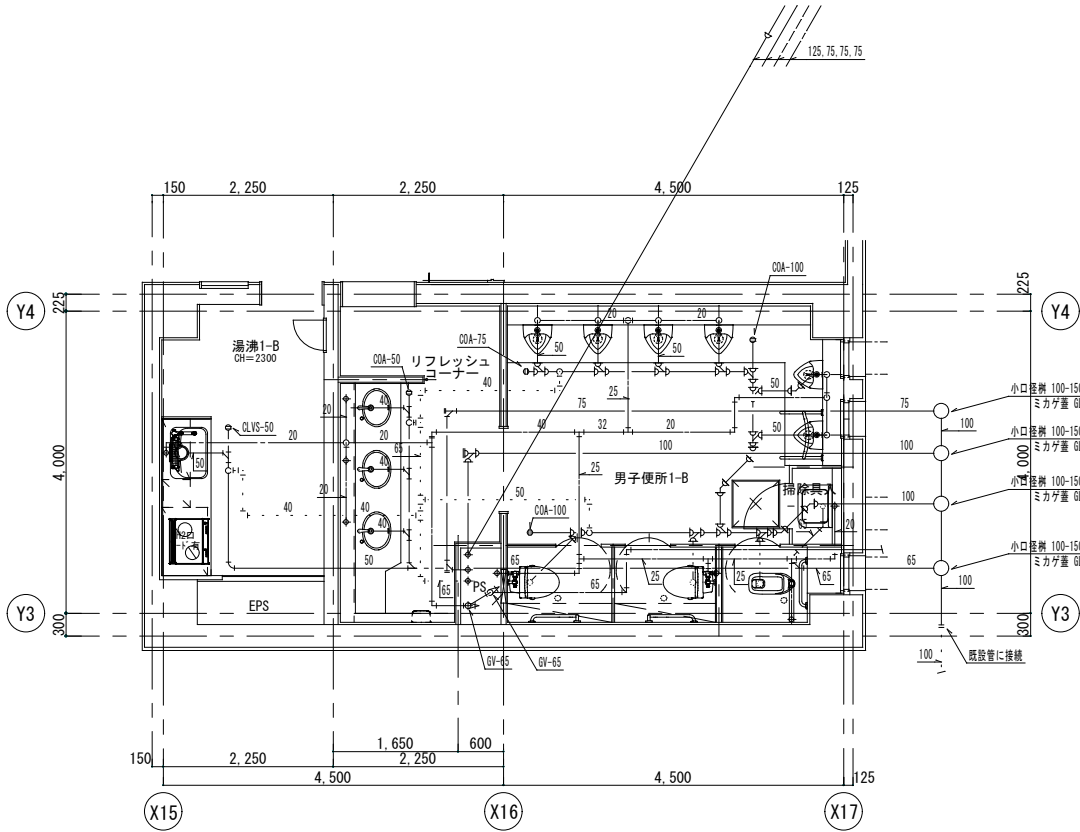
衛生器具表

器 具 名 称	品 番	附 属 品	設 置 場 所																								合 計	備 考				
			本館 1 階 (1-A)		本館 1 階 (1-B)		本館 1 階 (1-C)		本館 1 階		西館 1 階		本館 2 階 (2-A)		本館 2 階 (2-B)		西館 2 階		本館 3 階 (3-A)		本館 3 階 (3-B)		西館 3 階									
			女 子 便 所		男 子 便 所		女 子 便 所		シ ャ ワ ー 室	機 械 室	男 子 便 所	女 子 便 所	女 子 便 所		男 子 便 所		男 子 便 所	女 子 便 所	女 子 便 所		男 子 便 所		男 子 便 所	女 子 便 所								
洋風便器	CS232B	SH232BA, TCF4714AK (洗浄便座), YH601FMR (棚付芯なし二連紙巻器),								1	2						1	2						1	2						9	
洋風便器	CFS494NVNA	TCF5841P (洗浄便座), YH601FMR (棚付芯なし二連紙巻器),	1									2							1												4	
洗面器 (小形)	L210C	TLE28SS1A (自動水栓), TLDS2105JA, TL250D,							1																						1	
手洗器	L30D	T205UNRC (立水栓), T22BS, TL220D,								1																					1	
化粧棚	YAK600CR									1																					1	
化粧鏡	YM3545A	350 × 450H,								1																					1	※建築工事
洗濯パン	PWP640N2W	640 × 640, PJ2009NW (縦引きトラップ),								1																					1	※建築工事 (トラップのみ機械設備工事)
横水栓	TW11R	緊急止水弁付								1																					1	
ハンドドライヤー	TYC320W	AC100V	1		1		1				1	1	1		1			1	1	1		1									13	

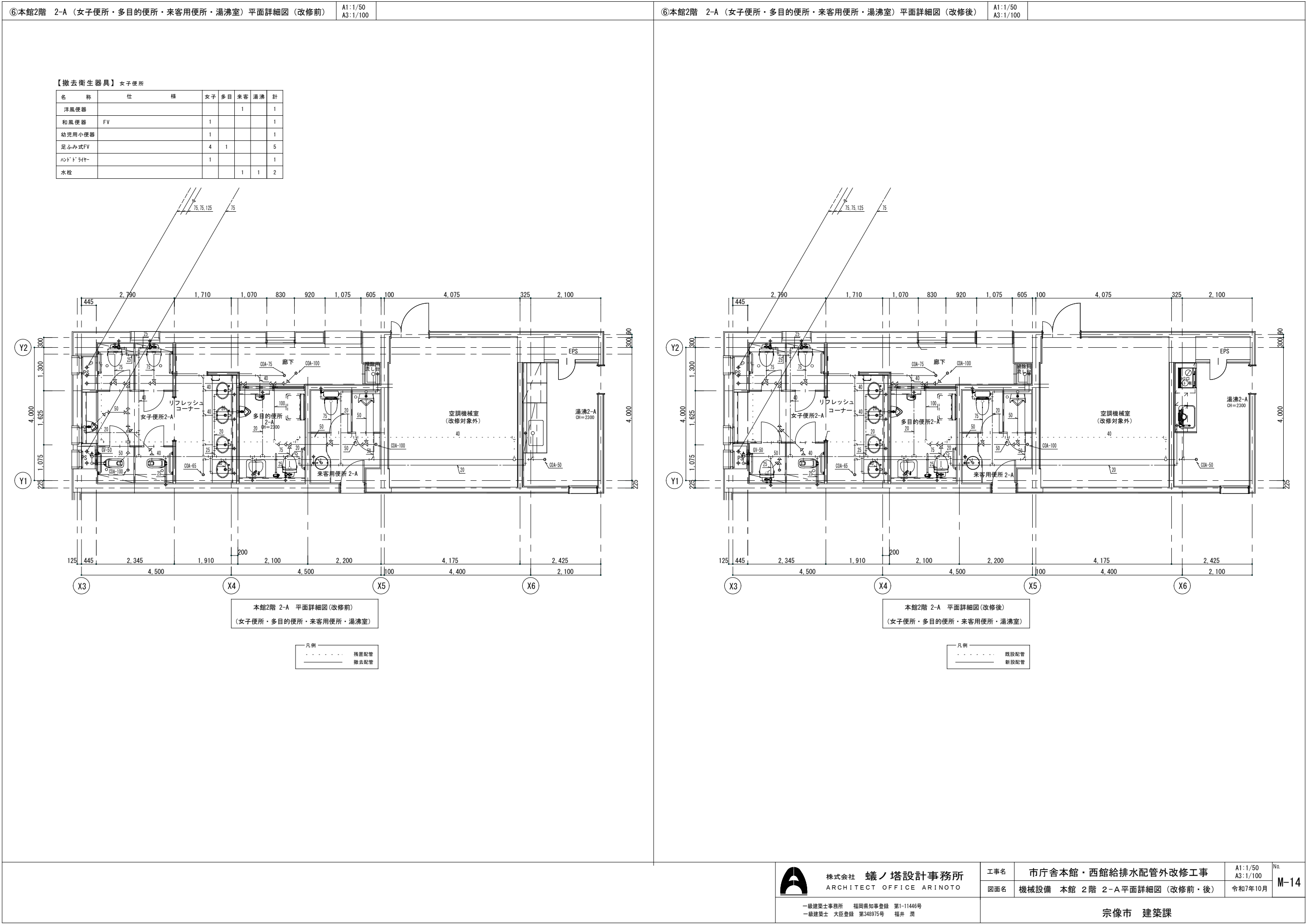
機器表

記号	機器名称	機器仕様	電動機			数量	設置場所	備考
			相	電圧	容量			
GH 1	ガス給湯器	屋外壁掛型 給湯専用 LPG仕様			KW		1階	
		給湯能力 16号	1	100	0.75	1	シャワー室	
		付属品 リモコン						

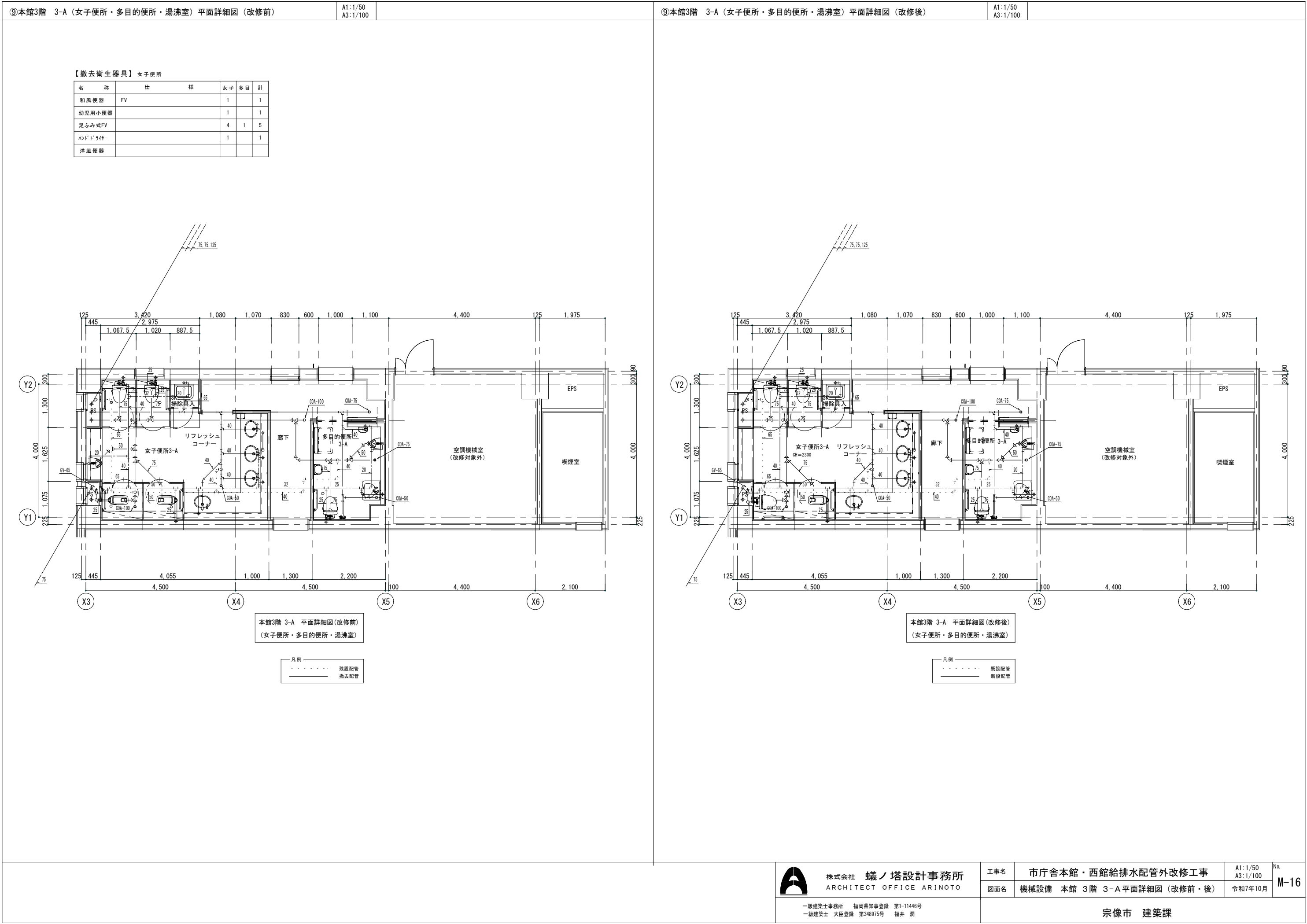


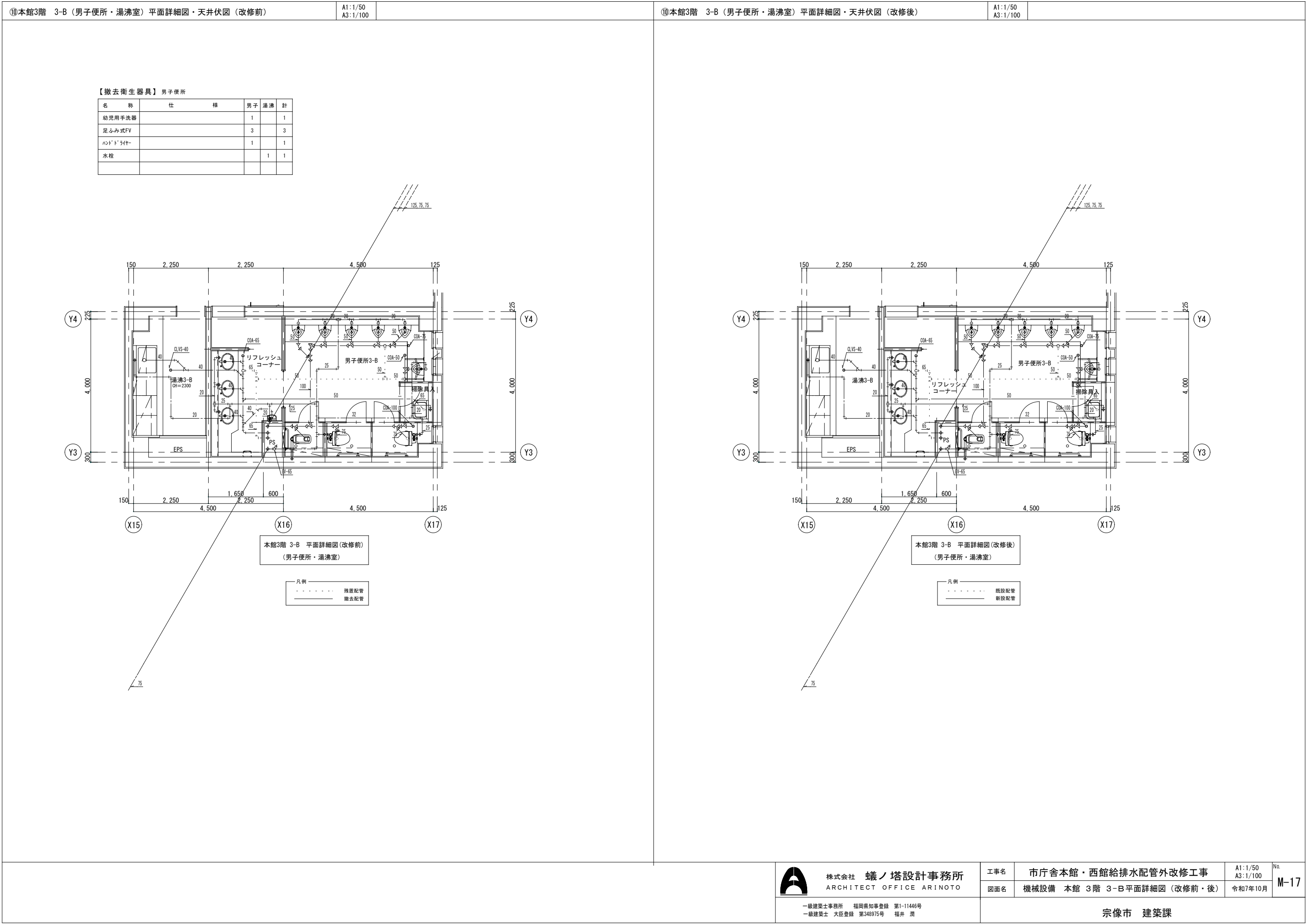
②本館1階 1-B（男子便所・湯沸室）平面詳細図（改修前）		A1:1/50 A3:1/100																										
【撤去衛生器具】 男子便所 <table><tr><th>名 称</th><th>仕 様</th><th>男 子</th><th>湯 沸</th><th>計</th></tr><tr><td>足ふみ式FV</td><td></td><td>3</td><td></td><td>3</td></tr><tr><td>ハンドドライヤー</td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr><tr><td>水栓</td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>  本館1階 1-B 平面詳細図(改修前) (男子便所・湯沸室) 凡例 - - - - - 残置配管 ————— 撤去配管				名 称	仕 様	男 子	湯 沸	計	足ふみ式FV		3		3	ハンドドライヤー		1		1	水栓			1	1					
名 称	仕 様	男 子	湯 沸	計																								
足ふみ式FV		3		3																								
ハンドドライヤー		1		1																								
水栓			1	1																								
②本館1階 1-B（男子便所・湯沸室）平面詳細図（改修後）		A1:1/50 A3:1/100																										
 本館1階 1-B 平面詳細図(改修後) (男子便所・湯沸室) 凡例 - - - - - 既設配管 ————— 新設配管																												
 株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤		<table><tr><td>工事名</td><td>市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事</td><td rowspan="2">A1:1/50 A3:1/100 令和7年10月</td><td rowspan="2">No. M-12</td></tr><tr><td>図面名</td><td>機械設備 本館 1階 1-B平面詳細図（改修前・後）</td></tr></table>	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/50 A3:1/100 令和7年10月	No. M-12	図面名	機械設備 本館 1階 1-B平面詳細図（改修前・後）	宗像市 建築課																			
工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/50 A3:1/100 令和7年10月	No. M-12																									
図面名	機械設備 本館 1階 1-B平面詳細図（改修前・後）																											

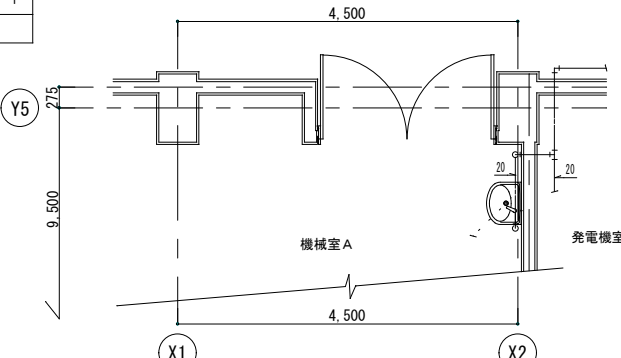
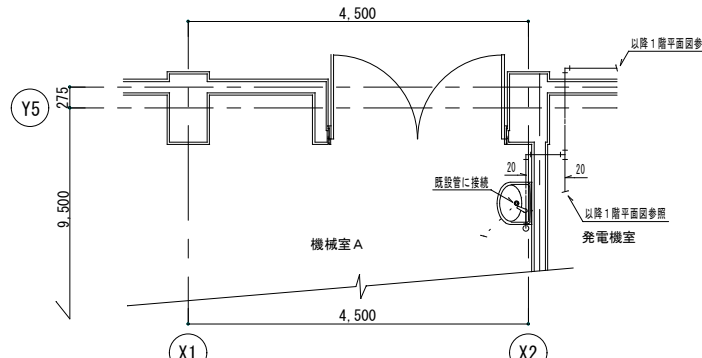
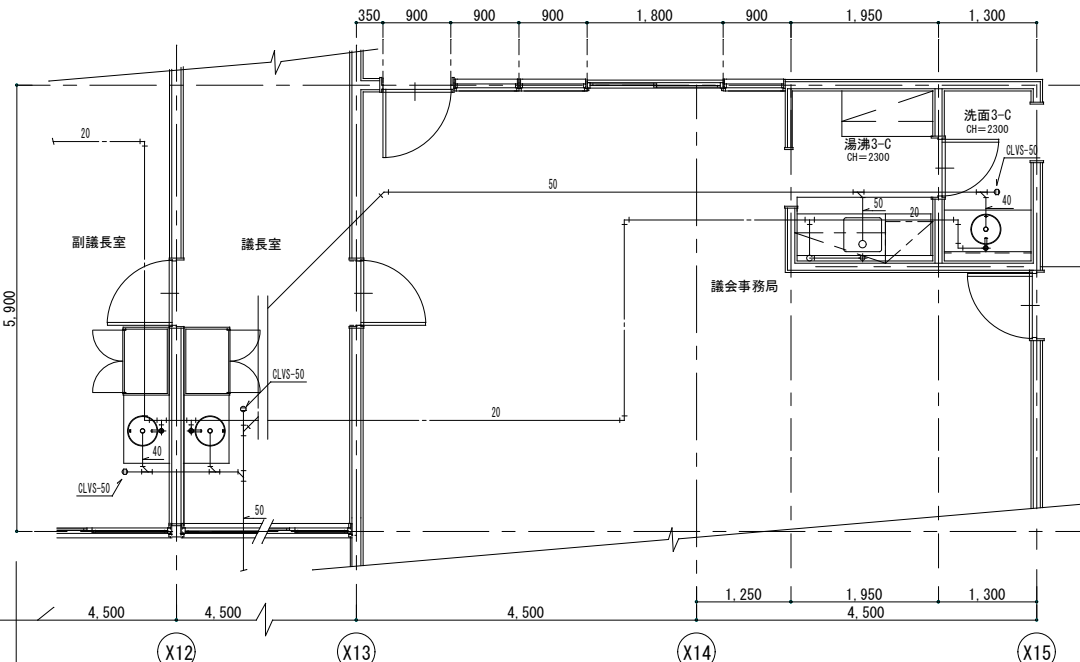
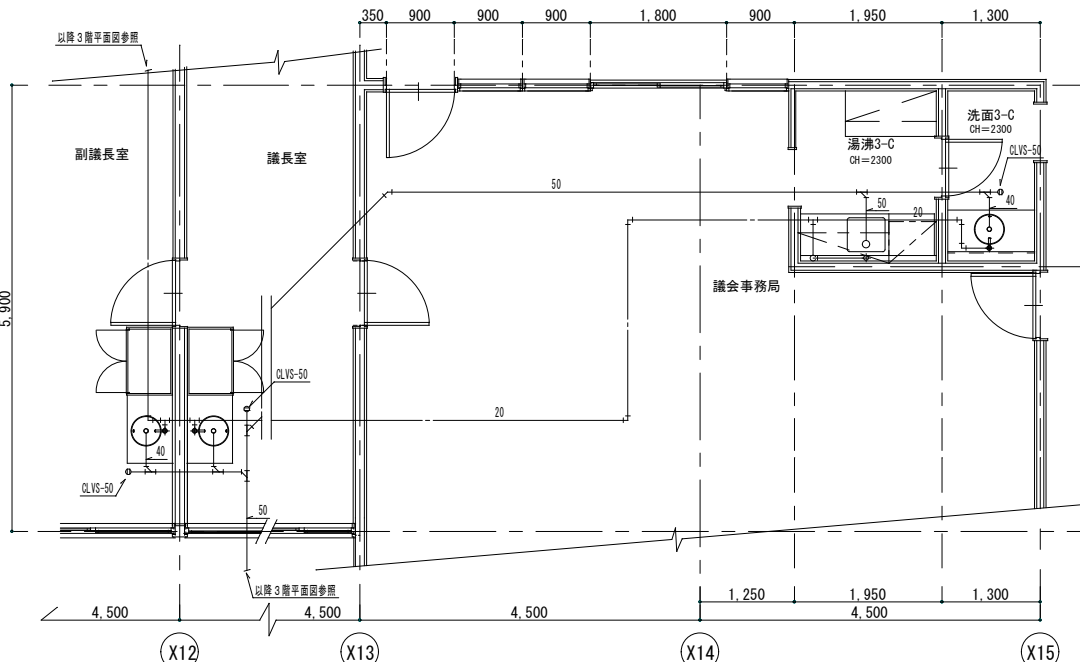
③本館1階 1-C（女子便所・多目的便所・湯沸室）平面詳細図（改修前）		A1:1/50 A3:1/100																									
【撤去衛生器具】 女子便所 <table><tr><th>名 称</th><th>仕 様</th><th>女子</th><th>多目</th><th>計</th></tr><tr><td>幼児用小便器</td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr><tr><td>幼児用手洗器</td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr><tr><td>足ふみ式FV</td><td></td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 本館1階 1-C 平面詳細図(改修前) (女子便所・多目的便所) 凡例 - - - - - 残置配管 ————— 撤去配管			名 称	仕 様	女子	多目	計	幼児用小便器		1		1	幼児用手洗器		1		1	足ふみ式FV		2	1	3					
名 称	仕 様	女子	多目	計																							
幼児用小便器		1		1																							
幼児用手洗器		1		1																							
足ふみ式FV		2	1	3																							
③本館1階 1-C（女子便所・多目的便所・湯沸室）平面詳細図（改修後）		A1:1/50 A3:1/100																									
本館1階 1-C 平面詳細図(改修後) (女子便所・多目的便所) 凡例 - - - - - 既設配管 ————— 新設配管																											
株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤		<table><tr><td>工事名</td><td>市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事</td><td>A1:1/50 A3:1/100</td><td rowspan="2">No. M-13</td></tr><tr><td>図面名</td><td>機械設備 本館 1階 1-C平面詳細図（改修前・後）</td><td>令和7年10月</td></tr></table> 宗像市 建築課	工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/50 A3:1/100	No. M-13	図面名	機械設備 本館 1階 1-C平面詳細図（改修前・後）	令和7年10月																		
工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	A1:1/50 A3:1/100	No. M-13																								
図面名	機械設備 本館 1階 1-C平面詳細図（改修前・後）	令和7年10月																									



⑦本館2階 2-B男子便所・湯沸室）平面詳細図・天井伏図（改修前）		A1:1/50 A3:1/100																														
【撤去衛生器具】 男子便所 <table><tr><th>名 称</th><th>仕 様</th><th>男 子</th><th>湯 沸</th><th>計</th></tr><tr><td>幼児用手洗器</td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr><tr><td>足ふみ式FV</td><td></td><td>4</td><td></td><td>4</td></tr><tr><td>ハンドドライヤー</td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr><tr><td>水栓</td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			名 称	仕 様	男 子	湯 沸	計	幼児用手洗器		1		1	足ふみ式FV		4		4	ハンドドライヤー		1		1	水栓			1	1					
名 称	仕 様	男 子	湯 沸	計																												
幼児用手洗器		1		1																												
足ふみ式FV		4		4																												
ハンドドライヤー		1		1																												
水栓			1	1																												
本館2階 2-B 平面詳細図(改修前) (男子便所・湯沸室) 凡例 - - - - - 残置配管 ————— 撤去配管																																
⑦本館2階 2-B（男子便所・湯沸室）平面詳細図・天井伏図（改修前）		A1:1/50 A3:1/100																														
本館2階 2-B 平面詳細図(改修後) (男子便所・湯沸室) 凡例 - - - - - 既設配管 ————— 新設配管																																
株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤 <table><tr><td>工事名</td><td>市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事</td><td rowspan="2">No. M-15</td></tr><tr><td>図面名</td><td>機械設備 本館 2階 2-B平面詳細図（改修前・後）</td></tr><tr><td colspan="2">宗像市 建築課</td><td></td></tr></table>		工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	No. M-15	図面名	機械設備 本館 2階 2-B平面詳細図（改修前・後）	宗像市 建築課			A1:1/50 A3:1/100 令和7年10月																						
工事名	市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事	No. M-15																														
図面名	機械設備 本館 2階 2-B平面詳細図（改修前・後）																															
宗像市 建築課																																





④本館 1階 機械室平面詳細図（改修前）		A1:1/50 A3:1/100																
【撤去衛生器具】 機械室A <table><tr><th>名 称</th><th>仕 様</th><th>機 械</th><th>計</th></tr><tr><td>手洗器</td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>化粧棚</td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>  本館1階 洗面コーナー 平面詳細図(改修前) (機械室) 凡例 残置配管 ———— 撤去配管			名 称	仕 様	機 械	計	手洗器		1	1	化粧棚		1	1				
名 称	仕 様	機 械	計															
手洗器		1	1															
化粧棚		1	1															
④本館 1階 機械室平面詳細図（改修後）		A1:1/50 A3:1/100																
 本館1階 洗面コーナー 平面詳細図(改修後) (機械室) 凡例 既設配管 ———— 新設配管																		
⑪3階 3-C・各室洗面コーナー（湯沸室・副議長室・議長室） 平面詳細図・天井伏図（改修前）		A1:1/50 A3:1/100																
 本館3階 3-C・各洗面コーナー 平面詳細図(改修前) (湯沸室・副議長室・議長室) 凡例 残置配管 ———— 撤去配管																		
⑪3階 3-C・各室洗面コーナー（湯沸室・副議長室・議長室） 平面詳細図・天井伏図（改修後）		A1:1/50 A3:1/100																
 本館3階 3-C・各洗面コーナー 平面詳細図(改修前) (湯沸室・副議長室・議長室) 凡例 既設配管 ———— 新設配管																		
株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤		工事名 市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事 図面名 機械設備 本館 1階 機械室 本館3階 3-C 平面詳細図(改修前・後)	A1:1/50 A3:1/100 令和7年10月	No. M-18														
宗像市 建築課																		

⑤本館1階 シャワー・脱衣室 平面詳細図・天井伏図（改修前）		A1:1/50 A3:1/100	⑤本館1階 シャワー・脱衣室 平面詳細図（改修後）		A1:1/50 A3:1/100																									
【撤去衛生器具】 シャワー室 <table><tr><th>名 称</th><th>仕 様</th><th>シャ-</th><th>屋外</th><th>計</th></tr><tr><td>洗面器</td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr><tr><td>化粧鏡</td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr><tr><td>水栓</td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr><tr><td>ガス給湯器</td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr></table>		名 称	仕 様	シャ-	屋外	計	洗面器		1		1	化粧鏡		1		1	水栓		1		1	ガス給湯器			1	1				
名 称	仕 様	シャ-	屋外	計																										
洗面器		1		1																										
化粧鏡		1		1																										
水栓		1		1																										
ガス給湯器			1	1																										
⑤本館1階 シャワー・脱衣室 展開図（改修前）		A1:1/50 A3:1/100	⑤本館1階 シャワー・脱衣室 展開図（改修後）		A1:1/50 A3:1/100																									
株式会社 蟻ノ塔設計事務所 ARCHITECT OFFICE ARINOTO 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11446号 一級建築士 大臣登録 第348975号 福井 潤			工事名 市庁舎本館・西館給排水配管外改修工事 図面名 機械設備 本館 1階 シャワー・脱衣室 平面詳細図 展開図（改修前・後）			A1:1/50 A3:1/100 令和7年10月 No. M-19																								
			宗像市 建築課																											

西館 1 階（男子便所・女子便所・湯沸室）平面詳細図（改修前）					西館 1 階（男子便所・女子便所・湯沸室）平面詳細図（改修後）																																		
【撤去衛生器具】女子便所 <table><tr><th>名 称</th><th>仕 様</th><th>男子</th><th>女子</th><th>湯沸</th><th>計</th></tr><tr><td>和風便器</td><td>タンク式</td><td>1</td><td>2</td><td></td><td>3</td></tr><tr><td>水栓</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					名 称	仕 様	男子	女子	湯沸	計	和風便器	タンク式	1	2		3	水栓				1	1																	
名 称	仕 様	男子	女子	湯沸	計																																		
和風便器	タンク式	1	2		3																																		
水栓				1	1																																		
西館1階 平面詳細図(改修前) (男子便所・女子便所・湯沸室)					西館1階 平面詳細図(改修後) (男子便所・女子便所・湯沸室)																																		
凡 例 残置配管 ———— 撤去配管					凡 例 既設配管 ———— 新設配管																																		

西館2・3階（男子便所・女子便所・湯沸室）平面詳細図（改修前）					西館2・3階（男子便所・女子便所・湯沸室）平面詳細図（改修後）																																		
【撤去衛生器具】女子便所 <table><tr><th>名 称</th><th>仕 様</th><th>男子</th><th>女子</th><th>湯 沸</th><th>計</th></tr><tr><td>和風便器</td><td>タンク式</td><td>1</td><td>2</td><td></td><td>3</td></tr><tr><td>水栓</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					名 称	仕 様	男子	女子	湯 沸	計	和風便器	タンク式	1	2		3	水栓				1	1																	
名 称	仕 様	男子	女子	湯 沸	計																																		
和風便器	タンク式	1	2		3																																		
水栓				1	1																																		
西館2・3階 平面詳細図(改修前) (男子便所・女子便所・湯沸室)					西館2・3階 平面詳細図(改修後) (男子便所・女子便所・湯沸室)																																		
凡例 残置配管 撤去配管					凡例 既設配管 新設配管																																		